建築と社会

社団法人 日本建築協会
昭和44年12月25日発行 第50輯第12号
毎月1回25日発行
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

12 1969
VOL. 50

特集／九州からの報告

ARCHITECTURE AND SOCIETY



創業50周年
50
1919－1969
50年の信頼



屋根防水/地下防水/橋梁防水に

三ツ星ベルト

E・P・Tゴム完全防水シート

ネオ・ルーフィング EB

- シート厚み1.1mm→1.3mm.!
  工法は簡単に、性能も一段と向上しました。
  いままでのブチルゴム系、クロロプレン系のものにくらべて耐候性、耐摩耗性、耐破断強度は特にすぐれています。
- PC版、ALC版、木毛板、鉄板、木材、発泡断熱材などほとんどの下地材料に完全施工できます。



ネオ・ルーフィングシーティング作業

三ツ星ベルト
ネオ・ルーフィング工業会

札幌	(株)浜建	TEL (0122) 26－5 6 7 6 代
仙台	日新建工(株)仙台支店	TEL (0222) 25－5 4 3 1 代
東京	高山工業(株)	TEL (03) 251－0 1 6 1 代
東京	(株)三柏商会	TEL (03) 251－7 5 1 7 ～ 9
東京	金岡工業(株)	TEL (03) 363－4 3 4 1 代
東京	桑原建材(株)	TEL (03) 368－6973・8794
茨城	(株)奈良屋商店	TEL (0292) 31－0 1 7 1 ～ 6
茨城	(株)奈良屋商店日立支店	TEL (0294) 22－1 1 5 5
静岡	(株)三井工業所	TEL (0542) 85－9 1 5 1
富士	(株)三井工業所富士営業所	TEL (0545) 61－1 6 8 8
山形	(株)山形建材	TEL (02362) 2－8161・3－0175
名古屋	中央建材工業(株)	TEL (052) 251－3 5 4 1 代
金沢	北川瀝青工業(株)	TEL (0762) 41－1 1 3 1 代
福井	北川瀝青工業(株)福井営業所	TEL (0776) 23－8 8 4 7
富山	北川瀝青工業(株)富山営業所	TEL (0764) 41－3 2 6 1 ～ 2
新潟	北川瀝青工業(株)新潟営業所	TEL (0252) 45－7 6 8 8 ～ 9
長野	五十鈴建材(株)	TEL (02657) 2－7 1 8 1 代
大阪	(株)久保商店	TEL (06) 364－0 2 0 6 代
大阪	(株)木下謹三商店	TEL (06) 443－0 1 1 5 代
大阪	高山工業(株)大阪営業所	TEL (06) 364－9 0 1 5
大阪	ネオ・ルーフィング防水(株)	TEL (06) 372－4571・5608
高松	ネオ・ルーフィング防水(株)高松出張所	TEL (0878) 31－6 3 3 2
神戸	石井建材有限会社	TEL (078) 51－5 3 5 3 代
松山	(株)山本商会	TEL (0899) 31－6 2 6 1
広島	青盛建材(株)	TEL (0822) 21－2 2 8 1 ～ 6
岡山	青盛建材(株)岡山営業所	TEL (0862) 23－8 2 8 5 ～ 7
福岡	青盛建材(株)福岡営業所	TEL (092) 28－5 5 6 6 ～ 8
福岡	(株)工材社	TEL (093) 38－1 4 6 8 代
宮崎	(株)大二商会	TEL (0985) 2－5001・6084
鹿児島	(株)北原建材商会	TEL (0992) 23－9 3 9 5

※くわしくは下記へお問合せください。

三ツ星ベルト

本社／神戸市長田区浜添通4丁目　TEL (078) 67－5071大代表
東京支店 (03) 552－1421　名古屋支店 (052) 262－3551
福岡営業所 (092) 29－5931　北海道営業所 (0122) 23－9101



福岡地方合同庁舎

設　計	建設省九州地方建設局営繕部
所在地	福岡市中比恵町18
建築面積	4,472m²
延面積	32,973m²
構造規模	SRC造、B1、8F
工　期	昭和42年1月～昭和43年12月

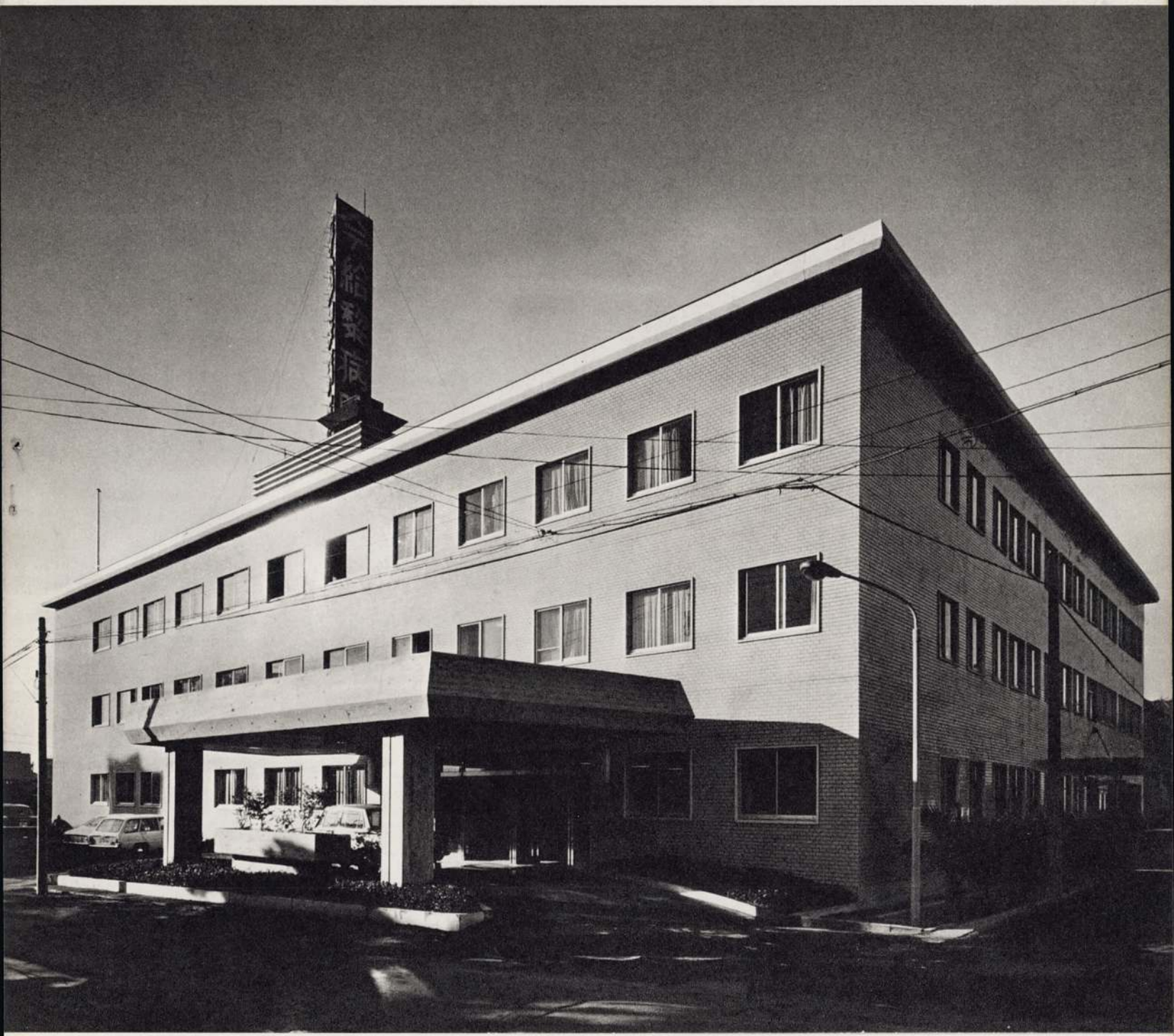
施　工　株式会社　**大林組福岡支店**



41－鹿児島市新屋敷町市街地住宅

施　工　株式会社　**鴻池組九州支店**

設　計	松田設計事務所
所在地	鹿児島市新屋敷町１－７
建築面積	677.94m²
延面積	8,467.73m²
構造規模	ＳＲＣ造、Ｂ２、12Ｆ、Ｐ１
工　期	昭和41年９月～昭和43年７月



総合病院　今給黎病院

所在地	鹿児島市下竜尾町３４
建築面積	1,216.965㎡
延面積	3,635.370㎡
構造規模	ＲＣ造、Ｂ１、３Ｆ
工期	昭和43年６月～昭和44年４月

設計施工　清水建設株式会社 九州支店



福岡空港ビルディング

施　工　大成建設株式会社 福岡支店

設　計	㈱梓建築事務所
所在地	福岡市大字上臼井板付
建築面積	5,120㎡
延面積	17,329㎡
構造規模	S造1部RC、4F一部B
工　期	昭和42年10月～昭和44年5月



電気ビル本館

所在地	福岡市渡辺通２－１－82
建築面積	2,848.0㎡
延面積	46,818.5㎡
構造規模	ＳＲＣ造、Ｂ４、12Ｆ、Ｐ４
工期	昭和41年10月～昭和43年９月

設計施工　株式会社　**竹中工務店 九州支店**



熊本交通センター

施　工　三井建設株式会社 福岡支店

設　計	㈱石本建築事務所
所在地	熊本市桜町3－10
建築面積	6,772.5㎡
延面積	本館B1、7F、P2
構造規模	SRC　延19,805㎡
	ボーリング場B1、3F
	延 3,487㎡
工　期	昭和42年10月～昭和44年2月

株式会社 石本建築事務所福岡事務所

福岡市天神4丁目5番17号　須崎公園ビル　電話　57－5805

所長　有田桂太

本社　東京都中央区京橋1－2　セントラルビル8階　電話(代) 271－3521 / 281－6704～6

支所　札幌・大阪・名古屋

大旗連合建築設計K.K

九州支社　北九州市戸畑区新池1丁目4－4・TEL(87)4395・7852

本社　広島市大手町2丁目11番2号(農林ビル5階)・TEL48-3734～6・47-4992

有限会社 上別府建築士事務所

代表取締役　上別府武雄

本社　鹿児島市中町9番13号　電話　㉓3774・㉖0639

志賀設計株式会社

代表取締役　志賀信男

福岡市塩屋町1－21　N.Sビル　電話　㉜5631～4

永園設計株式会社

代表取締役　永園岩夫

本社　鹿児島市山下町7番8号　電話　鹿児島(26)8831

支店　大阪市東淀川区十三西ノ町3丁目20ノ1　電話　大阪(309)3890

日建設計工務株式会社

取締役社長　塚本猛次

本社　大阪市東区横堀2丁目38番地　電話大阪(203)2361

福岡支所　福岡市天神1丁目14番16号福岡不動産ビル　電話福岡(75)6533

北九州支所　北九州市小倉区浅野町2番地小倉興産ビル　電話小倉(53)1487

株式会社 松田設計事務所

代表取締役　松田昌平
代表取締役　松田順吉

福岡市綱場町2番1号明治屋ビル　〒812　TEL. 27−7441(代表)
出張所　東京都渋谷区神宮前5丁目2の18　〒150　TEL. 400−3854

株式会社 三島設計事務所

代表取締役　三島庄一

福岡市薬院一丁目4番8号　電話　75−0333(代表)

安藤建設株式会社 九州支店

支店長　野口　清

福岡市大名1−8−10　電話　092−74−8031
本社・東京都中央区八重州4−7

株式会社 鴻池組九州支店

取締役社長　鴻池藤一
九州地区担当重役　秋竹敏實
取締役支店長　霜出邑二

福岡市大名1−14−45　電話　福岡(75) 7237(代表)

戸田建設株式会社 福岡支店

取締役支店長　中島　謙

福岡市白金2丁目13街区12号　電話　092−52−1421
本社・東京都中央区京橋1丁目3番地
福岡支店管内営業所・北九州、長崎、熊本、大分、鹿児島、宮崎

三井建設株式会社

代表取締役社長　稲垣　登

本社　東京都中央区日本橋室町2丁目1の1　電話(270)8651
支店　福岡市大手門1丁目9−200 三井建設ビル　電話(76) 2266

◀会　員　の　受　章

このたび下記会員諸氏は，秋の叙勲ならびに褒章を受けられました。ここに誌してその栄誉をお慶び申し上げます。

秋の叙勲

勲二等　旭日重光章　広　田　寿　一氏（住友金属工業㈱会長）
勲三等　瑞　宝　章　大　前　玉　男氏（三機工業㈱社長）
〃　〃　児　玉　正　雄氏（関西ペイント㈱社長）
勲四等　〃　玉　置　豊次郎氏（大阪工業大学教授）
勲五等　双光旭日章　菅　谷　三　郎氏（大阪電気暖房㈱会長）
〃　瑞　宝　章　安　田　誠　一氏（安田レール㈱会長）

黄綬褒章

大鳥居　満　也氏（㈱大鳥居工業所会長）
岡　橋　作太郎氏（日建設計工務㈱副社長）
菅　谷　健　児氏（大阪電気暖房㈱副社長）
高　橋　慶　夫氏（㈱大阪建築事務所社長）
南　　長　吉氏（斉久工業㈱大阪支店長）

◀アデュー1969年・忘年懇親会

会員皆様のご健闘に，感謝をこめて本会独自の新企画による忘年懇親会を下記要項で開催いたします。申込期間中にお早くお申込下さるようご案内申しあげます。

日　時　12月17日（水）開会・午後6時→閉会・8時
会　場　太閤園（ビュッフェ・スタイルのパーティ）
大阪市都島区東野田2—1　電351—8201
（最寄駅：市バス片町・東野田／京阪片町／徒歩5分）
会　費　1,500円（別に補助があります）
申　込　会費を添えて事務局へお越し下さい。申込者には忘年懇親会参加証をお渡しします。但し，申込期日・12月1日～6日まで，申込取消は9日まで，10日以後は会費をご負担願います。
定　員　500名
余　興　一流芸能人による新しいパーティ・ショー
お土産　出席者全員に贈呈（会員有志の寄贈品）
抽せん　当せん者に会員有志の寄贈品進呈
■忘年懇親会開催ご案内の「はがき」は11月22日に全会員に発送いたしました。

◀第15回工高生デザインコンクール入選者

・設計課題「ユース・ホステル」
・応募校　19校　　応募作品　96点

	氏　名	学　校　名	学年
入選 最優秀賞	沢　清　司	大阪市立　都島工業高等学校	3年
入　選	加　藤　一　国	同　上	3年
〃	下　農　博　己	同　上	2年
〃	椎　原　研	大分県立　鶴崎工業高等学校	3年
〃	大　石　昌　夫	神奈川県立　神奈川工業高等学校	3年
〃	臺　辰　雄	東京都立　田無工業高等学校	3年
〃	野　崎　由　典	名古屋市立工芸高等学校	2年
〃	松　原　裕　男	同　上	3年
〃	滝　沢　紀　男	長野県　上田千曲高等学校	3年
〃	藤　岡　辰　雄	同　上	3年

◀建築6団体合同新年交礼会

恒例により，6団体合同の新年交礼会を下記により開催いたします。相互廻礼の煩を省くよう一堂に会して年頭の祝詞を交換いたしたいと存じます。なお定例開催日は1月4日でありますが本年は日曜日に当りますので1日繰り下げ5日にいたしました。

日　時　昭和45年1月5日（月）午後1時30分～2時30分
会　場　大阪コクサイホテル8階宴会場（大阪市東区内本町）
会　費　800円（当日欠席されても会費をいただきます）
申　込　12月18日までに会費を添えて各便宜の団体へお申込み下さい。名簿を作成いたしますので締切日を厳守願います。
□昭和44年に建設関係功労者として顕彰された生存叙勲者と褒章受章者をご招待して栄誉を祝します。
□共催団体　日本建築協会　大阪府建築士会
日本建築学会近畿支部　日本建築家協会関西支部
大阪建設業協会　日本建築材料協会

◀大阪市都心部再開発のパイオニヤ —竣工間近い船場センタービルの見学会—

大阪のまんなか「船場」に，4階建ての巨大なビル，幅42m，延長約930mに10棟（東から1～10号館）が建ち並び，その屋上を12車線の高架道路が走り，ビルの両側にはそれぞれ4車線の平面道路と，その下に地下鉄が走るという，世界的に珍らしい構造で，繊維卸を中心とした機能と面目を一新するための，目下素晴らしい「船場センタービル」が誕生しつつあります。

この見学会は大阪市建築局建築部のご厚意により，資料の提供をうけ，同部企画課主幹伊原敬二氏のご案内により催すことにいたしました。

日　時　昭和45年1月23日（金）15.00（集合）→17.00（解散）
集合場所　地下鉄1号線本町駅南上・御堂筋西側高架道路下10号館東側・目標会旗

建築概要

所在地　大阪市東区唐物町および北久太郎町地内（築港深江線高速道路下）
施主　株式会社　大阪市開発公社
設計・監理　大阪市建築局・日建設計工務KK・KK大阪建築事務所
施工　KK大林組・KK奥村組・KK熊谷組・KK鴻池組・清水建設KK・大成建設KK・KK竹中工務店
建築面積　31,228㎡
建築延面積　167,200㎡
構造・規模　RC造・1部SRC造
1号館……地下2F・地上2F
2号館……地下2F・地上3F
3～9号館……地下2F・地上4F
10号館……地下2F・地上2F
用途　繊維卸売店舗・飲食サービス店舗・小店舗・事務所・駐車場・荷さばき場・機械設備室その他
工期　昭和42年7月→昭和45年2月

定　員　50名
申　込　往復はがきに限ります。はがきには1枚1名限り氏名・勤務先名および所在地・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上昭和45年1月13日までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知いたします。

画期的新製品

大きな音を遮ぎる壁は重い！

というのが常識でした

この KILD® 壁は

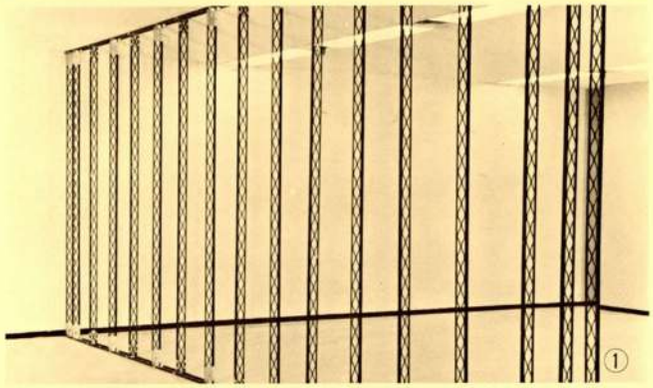
その常識を打破ったのです

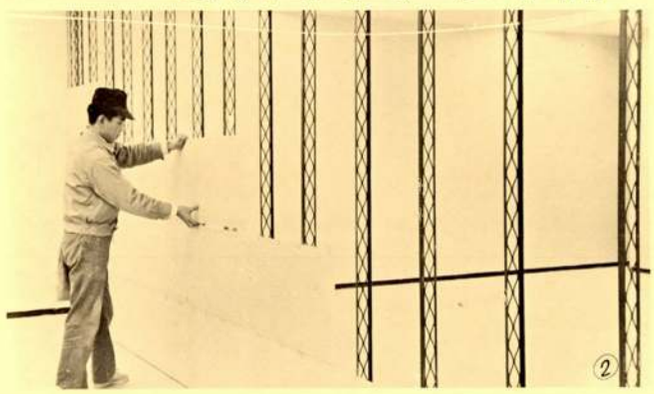
乾式軽量遮音間仕切壁　(特許実用新案 11件出願中)

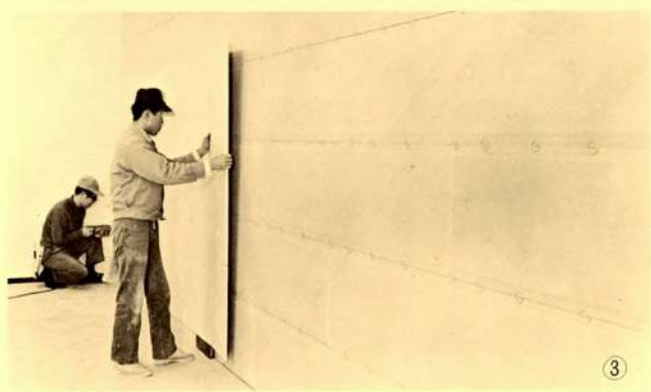
KILD®

専用遮音ボード

丸ツバメ遮音ボード


①


②


③

遮音性能

遮音値　49デシベル(コンクリート 176㎜厚相当)
重　量　63kg／m²　(コンクリート 400kg／m²)
高層ビル・ホテル/集合住宅/病院/会議室/学校に最適

KILD壁の特長

■遮音性大　■軽量　●防火性大　■仕上自由
■配線配管自由　■施工簡単　■工期短縮
■変位対応性大

写真説明

①床と天井にランナー（エコニースタッド）を取付け、床ランナー、天井ランナーに間柱(エコニースタッド)を取付ける。
②下地ボードを間柱に下段よりクリップで止める。
③仕上げボードを下地ボードの上に接着剤と釘で貼りつける。あとはペンキまたは布貼りで仕上げる。

（ご一報次第カタログ進呈）

ボード製造

三井東圧化学(株)
建材部

本　社　(〒100) 東京都千代田区霞が関　霞が関ビル
電話 (03)　581−6111(大代)
支　店　大　阪・名　古　屋・福　岡・札　幌

製造・販売・施工

株式会社 マンテン

本　社　(〒542) 大阪市南区日本橋筋３−２
電話 (06)　632−１１５１(代)
東京営業所　(〒136) 東京都江東区亀戸２−３−17
電話 (03)　682−３２４１(代)
名古屋出張所　(〒460) 名古屋市中区宮前町４−16 東海塗料ビル
電話 (052) 262−６７７１(代)
福岡出張所　(〒812)　福岡市博多駅東１−12−26　岩瀬ビル
電話 (092)　43−４３５６

北極から熱帯までの厳しい自然の中でその良さが実証された

BPシングル

丈夫で軽く美しく
施行しやすい新屋根材!!

我が国でも高級住宅の屋根材として大流行



アメリカ大陸の北極圏から熱帯圏に乃ぶ広い範囲で
住宅の屋根という屋根のほとんど90%が　シングルで葺かれている事実
そして技術的にみても　あらゆる点において　その品質が断然すぐれている事実
日本でもその愛好者が日増しにふえている事実
それほどまでに比類なき優秀さを保証されているシングル
BPシングルを私どもは　このほどカナダから輸入することにいたしました
それは建築の屋根材として　シングルというものが
一刻も早く皆さまに親しまれ　正しい施工によって　その良さを知っていただき
永く日本の屋根に定着しますことを　心から願うからにほかなりません

マルエス 日新

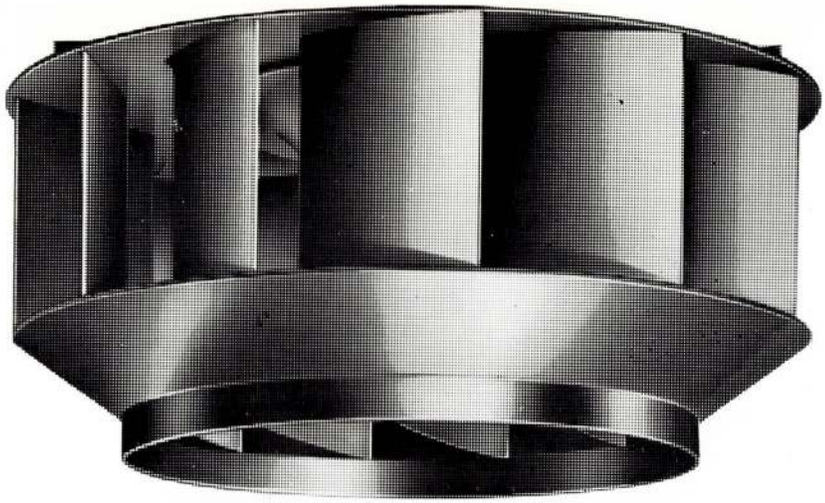
日新工業株式会社

本　　社：東京都足立区千住東2−21−28　TEL (03) 882−2424
大阪支店：大阪市西区新町北通1−18　TEL (06) 531−5281
営 業 所：札　幌・名　古　屋・広　島・九　州

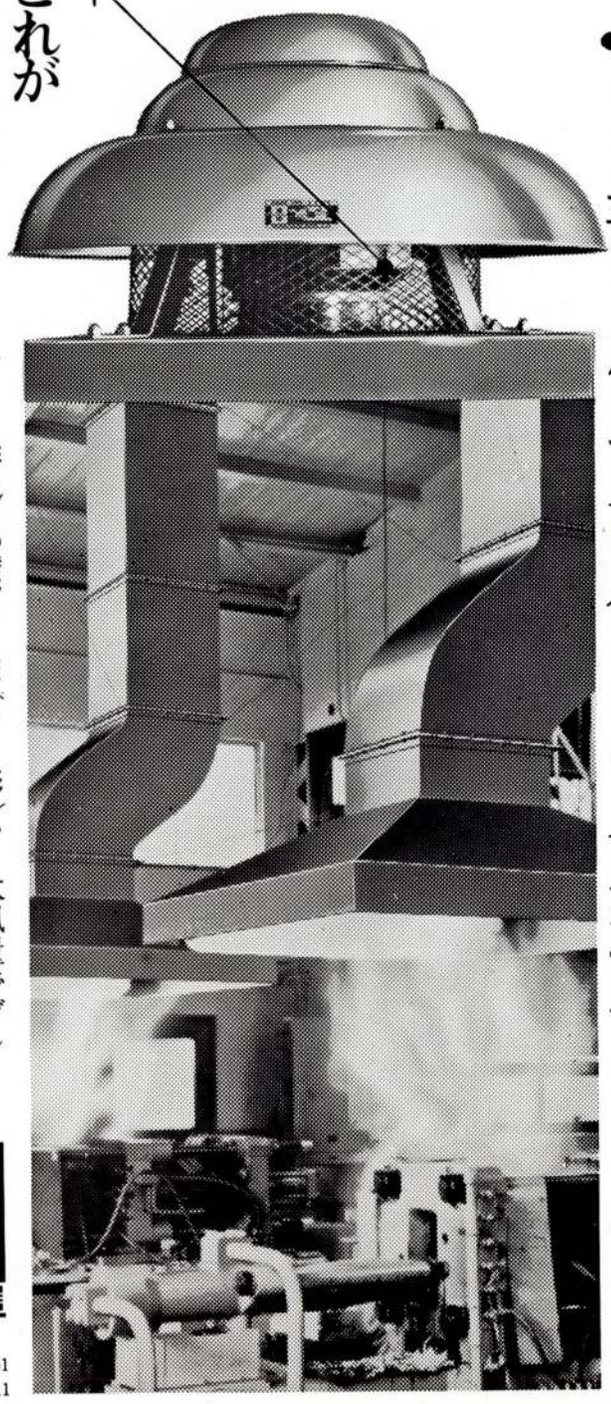
〈営業品目〉

- ウエルドルーフイング
- メルタンルーフイング
- SPビニロンルーフイング
- ビニエスタイルSP
- ソフトタイル
- ダンプレスシート
- NS防水（ネオプレン＋ハイパロン）
- NPシート防水（EPT＋ブチル）
- マルエスコーキング

日本で唯一！高静圧・大風量の翼形ターボ



これが静圧に強い〈翼形ターボ〉換気に威力を発揮！



ダクト排気に翼形ターボ（RA形）を　大風量でグングン空気を吸いあげ、静圧の高い、換気のしにくい場所（水柱50ミリまで）でも威力を発揮。騒音も少ない。

軽い、サビない、長寿命！　主要部品は耐食アルミ製。取付け作業は簡単。屋根にも負担をかけない。サビ止めの塗装がいらず経済的。しかも長寿命。

モートルを排気から完全遮閉　排気が直接モートル部に当らない設計で、ガス・蒸気・ホコリ等による故障がない。モートル自動冷却方式で長寿命。

こんな場所の換気に　蒸気・ガス・熱気の多い工場や厨房室の局所換気に。また、ビルの集中換気に——。

耐食アルミで、サビない、軽い

ナショナル・イルグ
屋上換気扇
〈ルーフベンター〉

ナショナル
松下電器

●カタログ進呈 大阪・城東局区内 松下精工・送風機事業部　電話・大阪(939)1161
東京・港局区内 松下精工・送風機東京事業所 電話・東京(453)3111

法令コーナー

28

日本建築協会法規委員会

質疑などの投稿をお待ちしております

◇法令相談

駐車場法に関して

質問1　駐車場の附置が義務づけられる区域およびその指定状況について

答　①　駐車場整備地区，②商業地域，③前二者の周辺地域内で条例で定める地区，④その他の地域で自動車交通の混雑しておりまたは混雑することが予想される地域で条例で定める地区，について駐車場の附置が義務づけられています。昭和44年3月現在指定されている地域は全国25都市延べ104,547haで都市別にみると〔表1〕のとおりです。

〔表1〕

都市名	附置地区指定状況（ha）				
	駐車場整備地区	商業地域	周辺地域	ふくそう地域	計
東京都	2,521.0	5,268.8	26,022.0	14,682.0	48,493.8
横浜市	407.7	1,963.0	22,300.0	0	24,670.7
名古屋市	411.8	3,078.6	215.3	0	3,705.7
京都市	305.4	526.8	0	0	832.2
大阪市	640.0	1,842.0	1,630.0	0	4,112.0
神戸市	417.8	249.2	221.7	0	888.7
北九州市	253.2	1,645.2	0	0	1,898.4
札幌市	200.0	887.0	0	0	1,087.0
仙台市	169.5	265.4	135.7	0	570.6
秋田市	00	456.4	1,146.0	173.0	1,775.4
川崎市	88.4	137.1	5,997.0	0	6,222.5
新潟市	202.7	128.3	0	0	331.0
長野市	0	300.0	1,948.8	122.8	2,371.6
飯田市	0	48.4	147.3	19.7	215.4
諏訪市	0	53.0	202.9	125.0	380.9
金沢市	0	417.0	0	0	417.0
静岡市	86.8	262.5	0	0	349.3
浜松市	0	366.0	0	0	366.0
沼津市	0	319.0	0	0	319.0
福井市	162.0	83.0	577.0	0	822.0
岡山市	0	600.8	1,222.2	0	1,823.0
広島市	207.4	46.1	280.0	0	533.5
福岡市	233.4	1,121.6	0	0	1,355.0
大分市	0	343.0	418.5	0	761.5
鹿児島市	85.0	159.9	0	0	244.9
計	6,392.1	20,568.1	62,464.4	15,122.5	104,547.1
構成比（%）	(6.1%)	(19.7%)	(59.7%)	(14.5%)	(100.0%)

（注）　駐車場整備地区と商業地域とが重複する場合は，駐車場整備地区として算定

質問2　附置駐車場の台数計算について

答　大阪市の場合を例にとりますと，〔表2〕のとおりです。

注）　特定用途とは自動車の駐車需要を生じさせる程度の大きい用途であり，劇場，映画館，観覧場，放送用スタジオ公会堂，集会場，展示場，結婚式場，斎場，旅館，ホテル，料理店，飲食店，待合，キャバレー，カフェー，ナイトクラブ，バー，舞踏場，遊技場，体育館，百貨店その他の店舗，事務所，病院，卸売市場，倉庫および工場が該当する。

〔計算例〕

商業地域で新築の場合，ビルの床面積を6,000㎡とすると

6,000㎡−2,000㎡（基礎控除）＝4,000㎡

4,000㎡÷300㎡＝13.3……14台以上

〔表2〕

地区または地域	駐車場整備地区または商業地域		周辺地区
建築物の用途	特定用途	特定用途以外の用途	特定用途
建築物の規模	延べ面積が2,000平方メートルをこえるもの	延べ面積が3,000平方メートルをこえるもの	特定部分の延べ面積が3,000平方メートルをこえるもの
駐車施設の規模の基準	延べ面積が2,000平方メートルをこえる部分の面積に対して300平方メートルまでごとに1台	延べ面積が3,000平方メートルをこえる部分の面積に対して450平方メートルまでごとに1台	特定部分の延べ面積が3,000平方メートルをこえる部分の面積に対して450平方メートルまでごとに1台

質問3　別敷地に駐車施設を附置できる特例はどのような場合に認められるか

答　建築物の構造または敷地の状態により，とくにやむをえない場合において建築物の敷地からおおむね200メートル以内の場所に駐車施設を設置するとき認められます。

とくにやむを得ない場合とは，その都度審査し判断することにしていますが，一般的には敷地の状態がつぎのような道路または場所に面し，自動車の出入口が設けられない場合が考えられます。

1. 幅員6メートル未満の道路
2. 縦断勾配が10%をこえる道路
3. 交差点，横断歩道，踏切，軌道敷内，坂の頂点附近
4. 交差点または曲りかどから5メートル以内の場所
5. 横断歩道の前5メートル以内の場所
6. 安全地帯，停留所から10メートル以内の場所

ただし建築物である駐車場では上記以外に建築基準法にもとづく制限が適用されます。

質問4　路外駐車場とはどのような駐車場をいうか，附置義務駐車場でも路外駐車場の構造設備に関する技術的基準に適合しなければならないか

答　路外駐車場の定義として「道路の路面外に設置される自動車の駐車のための施設であって一般公共の用に供されるものをいう」と定めている。

一般公共の用に供されるとは，不特定多数の者の直接の利用に供されることということができる。駐車料金を徴収することは一般公共の用に供することとは相反しない。しかし駐車場の一定の区画について特定の者に独占的な使用権を設定して，その区画について他の者の自動車の使用を一切排除するような契約をするような場合には最早一般公共の用に供するものということができないものと考えられる。

駐車場法施行令に定められる構造および設備の基準は500平方メートル以上の路外駐車場に適用され，かつ駐車料金を徴収する場合は路外駐車場管理者は位置，規模，構造，設備，その他必要な事項を都道府県知事に届け出なければならないことになっている。

なお，附置義務駐車場というのは駐車場を作る原因による名称であって，路外駐車場かどうかはその駐車場を一般公共の用に供するかどうかという利用の仕方によってきまるものであり，構造基準の適用もそれによってきまるものである。

質問5　特殊駐車装置にはどのようなものがあるか

答　路外駐車場の構成要素である①自動車の出口入口②車路③駐車の用に供する部分，のいずれかの部分で自動車が自らのエンジンの力を使わないで他の機械の力で移動することができるように組込まれた装置を特殊駐車装置という。特殊駐車装置は建設大臣が審査の結果その装置が駐車場法施行令の規定による構造または設備と同等以上の効力があると認めた場合に認定しており，この場合施行令の規定は適用されない。

認定基準では特殊駐車装置を次のように分類している。

①垂直循環方式（メリーゴーランド方式）
②水平循環方式
③多層循環方式
④二段方式
⑤自動車用エレベータ
⑥方向転換装置（ターンテーブル）
⑦エレベータ方式
⑧エレベータ・スライド方式
⑨平面往復方式

（参照）　昭和43年10月16日建設省都再発第53号駐車場法施行令第15条の認定基準について（通達）

質問6　特殊装置の面積の算定方法について

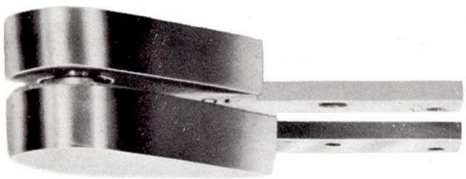
答　特殊駐車装置においては，メリーゴーランド方式のトレイや水平循環方式のパレットが駐車の用に供する部分とされるが，その面積の算定については実際上困難なものが多い。そこでその面積の算定の容易なものについてはその面積によるもとし，その算定が困難なものには，小型自動車または軽自動車のみの駐車の用に供する特殊装置については自動車1台当り12平方メートルとし，普通自動車の駐車の用に供することができる特殊装置については自動車1台当り15平方メートルとみなして算定することとしている。

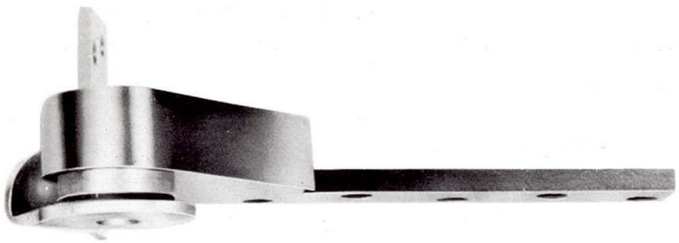
（大阪市総合計画局　**橋井啓一**）

サンエイ

●回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品

立枠付 ピボットヒンジ





■ 本品は特に各部品の材料を吟味し、表面が錆びないようボンデライジング加工を施した上に**防錆塗装**をしております。

■ 焼付塗装仕上製品の他に、他の持出し吊の腕部（吊込後扉から露出する部分）にＳＵＳ27（18.8）**ステンレス製ヘアーライン仕上**の化粧カバーを付けてあります。

■ 回転部分にナイロンベアリング及びスラストベアリングを嵌入してあります。

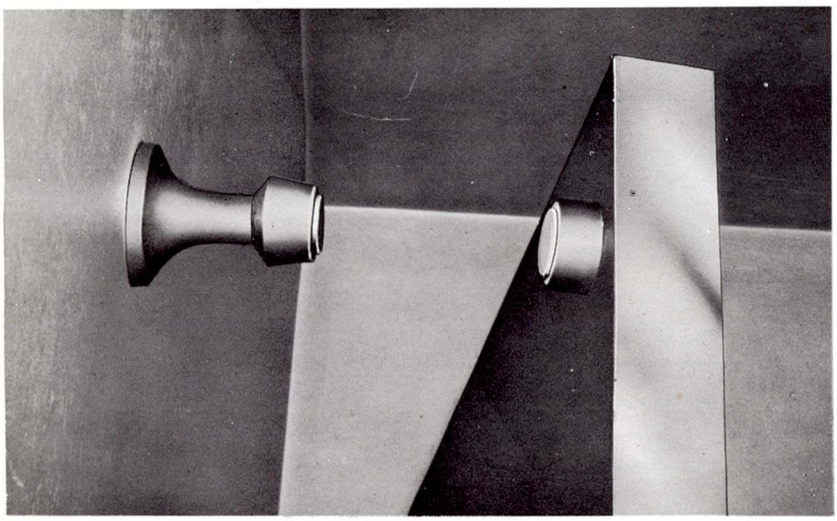
■ 別製の設計製作をも歓迎致します。

■弊社製立枠付ピボットヒンジは……
実用新案登録第517316号の立枠には何んら抵触致しておりません。

住友の永久磁石を使った〈新しいドアー・ホルダー〉

サンエイ

マグダー



＊軽快なワンタッチ

従来のゴム戸当りと違って、ワンタッチで軽く接触するだけで、ホールドします。

＊強い磁気力

磁気力が強力なため、風力などであふられて離れるようなことは全然ありません。

●設備場所を床にお求めの場合、**床用デザイン**のものも用意しております。

555

三榮建材工業株式会社

大阪市生野区巽矢柄町一五一番地　大阪(751) 3653～5
東京出張所　東京都墨田区本所２－11－11　東京(623) 7677

読者の頁

投稿をおまちしております。掲載の分には規定の稿料を差上げます。

□ 都市住宅の難しさと課題

現代とその社会を，"都市化時代" "情報化社会" "大量消費時代" などと概念規定することは，事象の全体的ニュアンスを表現するために有効であるかも知れない。しかしながら，現代社会，とくに現代都市に起因する種々な事象は，相互に対立もしくは矛盾をはらんで進行しているように思われる。

テレビや洗濯機や冷蔵庫など，生活耐久消費財は，部屋の中に所狭しと存在を旺歌し，さらに，クーラー，ピアノ，マイカーへの欲望は，"より豊かな生活" の幻映をかきたてているが（注1），日々の基本的な生活行為は，高度な社会機構への没入と，マス・コミ，コマーシャリズムの無批判な許容を余儀なくされている（注2）。利潤と生産性のあくなき追求と生産立地の無作為と無暴さが，公害，交通を始めとして，流通，衛生，行財政，土地経済など全般にわたる都市問題として具現している。衣・食・生活やレジャー，レクリェーションのレベルや機会は多様化したが，日ごとに変わる流行ファッション，有害・うそつき食品，排気ガスを逃れるためのクーラーや酸素スタンド，自然と文化財を踏みにじるマス・レクリェーションと，その全体系は矛盾そのものである。

急速な経済成長に反して，生活環境水準の遅滞や悪化の実態を生活白書は指摘している（注3）。産業構造審議会が明言するように（注4），"情報化社会" の意味するところも，人間生活の利便の向上というよりは，生産効率や情報処理が極度に追求される高度管理社会であるようだ。戦後の消費経済や物量主義にもとづく価値観の変化は，生活環境の苛酷さと相まって，出生率の低下や人口構造の老齢化傾向をさえも相関させるに至っている（注5）。経済成長は社会発展の条件であるとはいえ，自然や人間自体を喰物にして作用しているのが今日の状況であるとさえ思わせる。これらの矛盾を解きほぐす鍵として，一定の目標設定への予測とリサーチの科学や，システムズ・アプローチの方法論が必要とされている（注6）。

都市的課題としての住宅問題は，こうした状況にあって，生活と生存の基盤としての理念以前に，よかれあしかれ，まず量的不足の解消が目標とされる。これまでの住宅供給体制に加えて，「住宅産業」が急速に伸展しており，今日の経済動向の特徴の第一は，都市自体の問題や矛盾を都市産業として，利潤の目標設定におくことだといわれる。

ところで，一般に「都市住宅」が包括する範囲は何であろうか。立地上の意味からすれば，都市内はもちろんのこと，ニュータウン（ベッド・タウン）としての公管団地や電鉄経営による郊外分譲住宅なども，市街地の生産・消費構造に依存して成立しているから，都市住宅と規定されよう。農（漁）村住宅と対置すれば，農業など土地や資源に密着した第一次産業を除いて，何らかの形で都市に集積し，それを基盤として成立しているから，第二次，第三次産業に従事する人々の住宅ともいえようか。形式からすれば，マンションや公団住宅のように大量供給や集合のメリット（共同性・経済性など）を追求したものから，町家や建売住宅（持家）あるいは店舗など職住併用住宅，別荘などがあろう。そして，都市スラムや木賃アパートが都市住宅の底辺を形成する。したがって，「都市住宅」のもつ意味，あるいは都市の構造や環境とかかわりあいをもつ生活空間単位としての居住空間ともいえる。人は，都市での生産活動と社会参加に対して都市住宅を獲得し，そしてそれは，今日の都市事情と関連なしでは存在しえないものである。

こうみてくると，「都市住宅」を論ずることは難しい。今日の都市住宅のすべてが，すでに，都市の制約条件や矛盾の相克の反映である点で難しい。都市は，集積と発展の因果として，労働力すなわち都市住宅を必要としてきたが，主として郊外スプロールとして派生させ，肥満体化して全体的な機能低下を招き，自らの内部諸器官の制御作用，自浄作用をマヒさせてしまった。

居住生活もそれに対応して，利便性，快適性，そして人間性までもが阻害されている。さらに集積による相乗経済効果に迅速に対応してゆくためには，量的解決が先んじて質的な課題と両立しがたい点においても然りである。民間建売住宅は絶対量不足や持家政策に大いに貢献したが，居住水準としての質をただせば問題が多いだろう。

そして，土地問題は，これらのいずれにも増して難しい。土地問題の何らかの対策なくしては，スプロールといえども，単なる量的解決といえども，不可能な事態となっている。公団住宅においても，安くて大規模な土地を求めて増々郊外化し，職住接近施策としての市街地方法（ゲタバキ住宅・面開発）も用地確保と高地価に悩み，事業費や金利が，そのまま家賃償却となる現制度においては，いまや三万円を越える家賃となるような表われ方をする。

ところで，ここでいう難しさとは，その対象領域や問題にとりくむ学問，現代都市の矛盾などに関連して，いずれも都市住宅の住宅問題（都市問題）としての把え方である。たとえば，住生活や住空間の追求は，生活行為（生活様式）や家族型を通じて社会構造へ，空間機能や生活環境を通じて都市的領域への関連となって，それらが具現する課題や矛盾と対決せざるを得ない。住宅の課題が，建築学の範囲を越えて，社会，経済，理学，医学をも包括した体系となる由縁だと思う。

ところが，今日言うところの「住宅産業」は，この難しさを看過したところで成立しょうとするものではないだろうか。住宅産業は，いまや，電鉄，商事，金融などの不動産部門，電機メーカー，従来のプレファブ住宅部門，鉄鋼ファブリケーターなどを中心に群雄割拠の呈で伸展の構えである。これらは，プレファブ化やユニット方式の技術的背景をもとに，素材(部材)の規格化と品質管理を確立した工程的な住宅商品としての大量供給を目ざすと考えられるから，ちょうど，自動車生産のような形をとるだろう。ところが，自動車は，生産体制を確立して以来，日に日に，スピードや耐久性能はあげたが，車の普及と氾濫の結果としての今日の交通マヒや事故禍や公害は念頭になかった。安全性すら軽視した次元で商品価値が設定されていた。これと同じ危険性が，住宅産業にも十分ひそむといえるだろう。

居住単位として，性能豊かな設備装備や，一定の基準に準拠した居住性（日照，広さ，プライバシーなど）は，まだしも確保されよう。しかし，上下水道，エネルギー脈絡，公共施設，教育施設，交通，オープン・スペース（公園，広場）といった共同利便的な公益施設は，行程上，利潤にみあわないとして，既存のものに頼ることになる。あるいは，おざなりなものでしかない。それとも営利的運営となって利便性も高くつくことになるかも知れない。

住宅問題は，住宅不足とともに，まさに，このような生活環境基盤自体の不備とそれからくる居住水準の低下や不効率や不利便を伴っているから，住宅産業が単に，住宅の商品経済にのみ終止すれば，問題の何ら根本的解決たりえない。この点で，住宅問題そのものと，住宅産業を論ずることの意味あいの差があると思われ，結局，その目標設定と価値基準において相違があるように思われる。

住宅問題の中での都市住宅の課題は，その難しさとの対決である。その目標設定と価値基準に対応して，すぐれてミステムズ・アプローチが必要となろう。ここにおいて，都市住宅の目標とは，やはり，住宅本来のもつべき意味と機能——生活エネルギーの回復と蓄積の場，子弟の養育と人間形成，それを通じての連帯的人間社会の基盤となることであり，その意味において都市レベルの居住水準と利便性を有することであって，価値基準とは，これらの理念に根ざしたチェック・ポイントといってもよいだろう。そして，目標達成手段の一つとして共同性の概念があると思う。

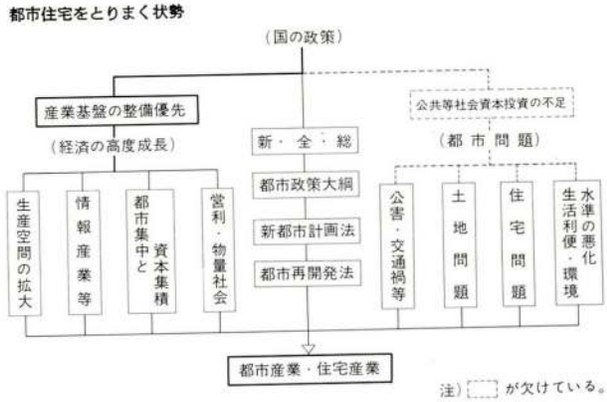
集合住宅（住宅団地）の共同性は，単に，住戸の形態的な集合や高層化にみいだされるので

はなく，エネルギー供給，管理，公共サービス，共同施設，屋外環境（空間）の整備，合理化あるいは集約化にみいだされ，それらを骨格として，新しいコミュニティの形成のあるときに意義を発するものである。いまや集合住宅は，住戸のもつべき目的と機能の，共同化と個別化の指標を判別化して，さらに共同住宅としての共同性の概念を追求すべきだし，屋外空間も単にフィジカルな意味から，子供を始め，人間全体の触発と融合の場としての積極的な意味をもたねばならない。

住宅建設に附随して，このような生活空間の整備，拡充，革新を伴ってこそ都市住宅の条件であり，住宅問題への根本的アプローチであると思う。そして，政府等施政サイドは，このような共同性に対してこそ，大はばな推進の姿勢を示すべきであって，この観点から，土地や建設コストや管理運営上の現実的制約条件を解きほぐしていくのが本旨だといえる。

しかるに，今日の住宅政策は問題の根本的視点に立たず，自らの無為無策を民間ディベロッパーの自力資本に頼り，義務転換をするとともに，生産，生活空間をとわず，利潤の対象化とする方向に迎合するがごときである。図において，公共等社会資本の整備を計って，実体化し，全国民の立場から国の施策として住宅問題（都市問題）に取り組むべきであると同時に，産業基盤投資への一方的優先を廃して是正と制御に転換し，適正な経済発展を計るべきであって，都市産業，住宅産業に対しては，むしろ，公共的立場の都市（再）開発，住宅供給，環境整備の指針たるべきである。

都市住宅をとりまく状勢



注）[ ] が欠けている。

都市本来の意味をその歴史に照して，文化の創造と遺跡の場たるべきと主張することは許されるだろう。そして創造は，人間の生活の基盤と主体性の確保されたところで始めて可能であることを思うと，現代都市はいまこそ都市住宅の課題を克服して，歴史の過程の中で，次の時代への継承となりうる文化的所産を有しうる環土を一日も早く整えるべきであろう。

住宅公団大阪支所　**塚本　正司**

注1）「消費者動向予測調査」経済企画庁44年5月
注2）世論調査「日本総点検」読売44年10月16日
注3）「44年度国民生活白書」経済企画庁44年7月
注4）通産省産業構造審議会情報産業部会報告
注5）厚生省人口問題審議会報告「わが国の人口再生産の動向」44年8月
注6）中央公論「システムと現代の方法」44年11月号その他参考文献
「都市問題」西山夘三ほか著
「現代日本の都市社会」島崎稔ほか著

†主の平安

本誌9月号作品作風欄に「西宮トラピスチヌ修道院」を掲載しましたところ，同院より次の便りをいただきました。

秋冷の候となり，ご清栄のおんことお喜び申し上げます。

このほどは"建築と社会"九月号とそれに当修道院のものを別にご寄贈いただき，まことにありがとうございました。この美しいグラフをローマの本会総長やフランスの母院長などに贈りたいと存じております。どんなに喜ばれますかと私どももうれしゅう存じます。

神様の御祝福のますますゆたかに皆様の上にありますようお祈り申し上げます。

まずはご厚礼まで。

10月17日

兵庫県西宮市鷲林寺町90の2　トラピスト修道院

政岡基次君をいたむ

東畑謙三



故 政岡 基次氏

生年月日	明治40年2月9日
昭和6年	京都帝国大学工学部建築学科卒業
昭和6年	KK松村組入社，この間常務取締役・監査役歴任
昭和39年	KK松村組退職
昭和10年	政岡土地KK入社，代表取締役，現在に至る
昭和37年	日新ビルダーズKK取締役会長就任

公職歴
大阪府2級建築士選考委員，日本建築協会理事，大阪府建築士会監事，大阪府建築士会理事，同副会長，大阪府建設工事紛争審査会委員，中央建築士審査会試験委員・大阪市建築審査会委員，同会長，日本建築総合試験所常任理事，大阪市立大学工学部非常勤講師，京都大学工学部非常勤講師を歴任。

褒賞

昭和40年	大阪府知事より表彰をうける
昭和43年	建設大臣より表彰をうける
昭和44年	従六位　勲五等　瑞宝章をうける
昭和44年10月24日	呼吸麻痺により死去。享年62才

建築業界に種々の職域あり，その各職域にもまた多くの会があるが，政岡基次君ほどこれらの会に関係が多かった技術者は少ないであろう。多くの会の名誉ある職に名前が出ていて，しかも会合には必ず出席して業界を指導された。これは君が裕福な家に育ち，生れながら長となる性格があり，また一方大学時代，実務時代に君独特の勉強振りで誰にも負けぬ技術の修得者であり，業界人皆これを認めた結果だと思う。

松村組在勤時代修得された施工法は，君の母校である京都大学建築学科での名講義として残っているし，また大学時代に天沼先生の下で勉強された日本建築の細部の研究は，とても片手間にされたものとは想えぬものがある。戦時中，海軍に徴用されて日本西部の航空基地の建設を担当された時に先夫人を無くされたのであるが，その当日まで周囲の者には何一つ漏らされなかったほど，公私の別を明らかにされた。

君は私より数年下ではあるがそれは年令だけのこと，仕事のことでは公私を問わずいつも教えられていた。こんな友人を持つことは幸福なことであった。業界で人が必要なときに諸先輩に相談に行くといつも政岡君の名前が真先きに出てくるのである。想うことは皆同じ，それが治らぬ病気とはいえ，急逝され全く残念である。ただこうなれば，故人の意志をついで業界のために二人分つくしたいものである。

□ 建築と技術革新

近頃の職人不足と賃金の急騰は目を見はらせるスピードであり切実に考えさせられる問題を多く含んでいる。現在急激に，技術職人（特に大工，左官等）の徒弟制がくずれていっている。このことはすでに現場に出られる方は痛感しておられることと思うが，職人不足とつながりひいては労賃のあまりにもすさまじい値上りにも影響している。ドラッガーの「断絶の時代」にも書かれてあるが，近年，青年層は中卒者が減りだんだんと大学卒の人数がふえている。若いうちから親方について……というようなシステムが現在ほとんど見られない。むろんそれらのシステムが正しいとは言えないが。このことはあくまでも世界的，社会的現象でありどうすることもできない。むしろ高卒者等の頭脳に中級程度の熟練技能を教育できる機関，それに工具のより高い精度と工程の機械化等を考慮すべきではないだろうか。何か目先だけの革新ばかり追うのではなく，抜本的対策に協会側も積極的に参加し，公共的に推し進めて頂きたいものである。もう10年もすると我々の思いもよらない建材または工法で，どんどんと工事が進められていくような時代になるであろう。我々も，もっと柔軟的な学びを自らの姿勢としてとり入れていかなければと痛感する今日この頃である。

山陽電気鉄道KK建築課　**森田　茂夫**

インテリア・エレメントの

□ アンサンブル展

GLデザイン・コミッテイ監修の「現代インテリアの構成要素展」が'69.11月2日～11月23日までGLインテリア相談室（京都市東山区四条通祇園石段下）において開催された。

□ 無技能労働者をどうするか
—10月号建築の眼の原稿に対する意見—

本誌10月号「建築の眼」の篠田駿二氏執筆の「無技能労働者をどうするか」に些少感じるところがあったので，記したいと思います。

氏のいわれる無技能労働者—土方—については，確かにこれからの重要な問題のひとつと思います。しかし，あの文章で著者の筆はあまりにも彼等を侮辱しすぎたように思います。

現在建っている土木・建築物の大部分は大かれ少なかれ彼等「土方」の汗まみれ，泥まみれの労働を得て，その姿を全うなるものにしているのです。その意味で「土方」というものは建設の現場において，重要な1エレメントといえます。その証拠に「土方」の人数が足りなかったら工事予定が滞るでしょう。しかるに氏は彼等を「全く箸にも棒にもかからない人間」，「働いて金を得ている者のうちの最低以下の人間」と罵倒しています。しかし，今まで，いや現在もその彼らによって，どんどんと建設工事は進んでいるのです。逆に上記の言葉こそ非難されるべきであり，およそ建設に携わる者の吐く言葉ではないと思います。また，実際，現場で彼等を指揮監督する人が，そのような目で彼等を見ていたなら，うまく彼等を使いこなせないのも当然の結果と思います。

次に実際の「無技能労働者」についてですが，一法として「固定化」が考えられます。すなわち現在彼等は日雇人夫であり，一つの工事が終ると，また次の現場へ金のにおいをかいで移るという，大変不安定，流転の生活で，そのことが，彼等に彼等自身の生活・精神を向上させるチャンスを失なわせる一因となり，さらに無気力，無意志に拍車をかけているものと思います。そこで固定化とは，彼らを日給から月給，すなわち，各々の建設会社の正作業員とし，さらに彼等に技能を身につけるよう指導してゆくことで，そうすれば彼等の職場・収入も安定し，家族生活も安定するから当然彼等の心情も安定向上し，仕事にも熱を入れるようになるでしょう。また，技能指導により，現在不足している技能者の養成もできるわけです。

また，前に些少記したように，「土方」を無気力，無意志にする一因として，直接，土方を使う現場監督の態度があると思いますが，その点は，関係諸氏の反省を望み，ペンをおきたいと思います。

大阪市西淀川区花川南の町125　前川方　**松尾　耕正**

□ 構造設計者のささやかな要求

われわれ，建築に関する仕事をしていると，街を歩いていて可愛コチャンのミニスカートにつぎ，他人の設計した建物に関心をもつのは私一人ではないであろう。

近頃のように建築技術が発展し，高層建築が続々と建ちつつある現在であるが，世界一の地震国日本で，建築物を建てる場合，やはり構造体の重要性を，もっと，建築設計者たるもの，再認識の必要があろう。建物で一番重要度の高い柱，梁等を意匠的に，極力小さく，小さくされ，ひどいときには，取除くことさえ，平気で行なうのである。構造屋の必死の説得もむなしく，意匠屋に押切られ，構造屋自体も地震さえなければ大丈夫だろうと，安閑と考えているためか，超高層建築の華々しいスターの陰に大きな欠陥が眠っているのが現状ではなかろうか。新潟地震および函館での地震の被害をもう一度想い出し，建築設計の礎としたいものだ。建物は，毎日風雨にさらされ，寒暑に耐え，人的あるいは，自然の災害を受けながら，半永久的に生き続けるのである。納まりが悪い，意匠的に都合が悪いからと柱，梁等の構造体を無理することは思わしくない。地震国である日本は，いうまでもなく，横力に対する構造で，その構造要素が筋違，および，耐力壁にしても，平面計画上，建物内の動線を遮断し，非常に建築計画上，利用価値を低下させ，意匠的にも大変嫌な構造体であることは，いなむことはできない。しかし，構造の根本を理解して，健全な生命を守ることに努力することにあり，よりすぐれた，デザインが生まれるものと私は信ずる。

私は，ここで一番望みたいことは，建物の設計計画の段階において，意匠屋，構造屋，電気屋，設備屋等のお互に話合いの場がほしい。しかし実状は，技術者不足のためか，あるいは，経済的理由のためか基本計画の段階においてあまりにも，お互い話合いの時間が少な過ぎるように思われてならない。われわれ建築設計者一人一人が健全な建物を設計するよう心掛けることにより，明るい社会となり，人間の生活における，4ツの機能，住む・働く・遊ぶそしてそれらを相互につなぐ場は一段と仲良く手をつなぎ合って住みよい社会となるだろう。　**竹下紀久男**

□ 建築設備の設計期間

建築において空気調和衛生設備は動脈でありまた消化系統でもあるとよくいわれる。最近設備の占める割合は工事金額的にもまた設備内容的にも益々多くを占めるようになりつつある。工事金額的には全工事費の30～40%を設備が占めるのはもう常識であり，設備内容としては電灯の照明は1,000ルックスにもなりつつあり，空気調和における温湿度の要求度もきびしさを加え，また近年問題となっている大気汚染などの公害にも対処すべき多くの問題を加えつつあるのであって，建築設備の重要性はいよいよ認められてきているように思える。

ところがこの重要な設備の設計に当って考えられる期間が極めて短かいことを指摘したい。われわれ建築設備の中の一部門である空気調和衛生設備の設計施工に従事する技術者としては，その設備が人間活動の根源である日常生活の快適な状態を，いかに合理的に，いかに安価に提供できるかを日夜勉強し，建築設備を施して施主にも満足を与え，ひいては社会に貢献しているものであると自負している。この場合建築と設備の協調，あるいは調和が必要であることはいうまでもないのであるが，設計段階においては未だ充分な調整ができているとはいえないのが実状である。

建築界にいまだに残っている「設備は建築に附帯隷属したもの」という観念を打破し，建築設計者は限られた設計時間を自分の分野でギリギリまで使いはたすような不心得をやめて，建築と設備の調和したよりよい設計を合理的にまとめあげるようにして貰いたいと思うのである。設備は建築の内容物ではあっても生きたものであり設備あっての建築ともいえるのであるから，その納まりなどについて事前協議はもちろん，設計期間の割当てに当っても設備設計のための充分な期間を考慮すべきである。

設備設計において道楽がすぎると非難されるような充分な設計期間を与えられることが，時にはあってもよいと常々思っているものである。　須賀工業株式会社大阪支店　**玉田　雅美**

□ 何かを想う

私の職場から高速道路がよくみえる。眼下より遠くビルの谷間に消えている。毎日この高速道路を眺めながら私はこのデッカイ怪獣が大きく成長して行くのを思うと，何とも言えない気持になる。高速道路のみでなくこの大阪もアミーバのように日に日に大きくなり，もはや大阪市と言う表現ができなくなっているのである。いわゆるメガロポリスというものである。

都市計画は元々なかったのだ。やっと建築基準法ぐらいなもので制限しているのである。これもたいした力がなく郊外には木造アパートと言う洞窟が何万戸とでき人々はささやかな自分の殻の中に生活を見いだしているのである。

少しでも空地が有れば蟻のようにたかり，その地価を大きく高揚させているのだろう。長年かかって細々とためた貯金も土地を買えば，残りは少なくなり，マイホームはプレハブ住宅を買うぐらいのお金しか残らないのである。近頃いわれている住宅産業とやらはこのへんに生きのびる活路をみいだしているのだろう。人間がマイホームを求めるかぎり真の意味での都市計画はまず望めないだろう。

かって原始時代そこは家族があったのだろうか，男も女も同じように働いていたことだろう。女性が家庭に入るようになり家族が生まれたのだろう。女性が家庭に安住するようになり，家族的個人主義が生まれ，所有権いわゆるマイホームを持ち，土地定着しようとするのだろう。家族からの解放ことこそ真の都市計画の実現となるのではないだろうか。

まじめに都市のことを思う者ならば反万博を唱えるのは当然だろう。千里に向って高速道路を造ってみたところで何になるだろう。莫大な費用を費やして廃墟を造っているのだろうか。実はこの廃墟という言葉を私は好きであるのだが。実際は現実の大阪のようにパチンコ屋や酒屋やバーやごちゃごちゃとした所が人間の住む所かもしれないのだろうか。

豊中市服部寿町1-11-202　**藤野　高久**

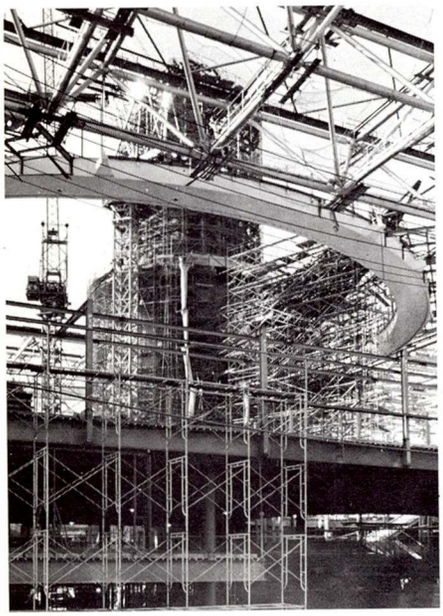
EXPO '70 NEWS

日本万国博建築ニュース 8

■太陽の塔〈生命の樹〉

設　計　集団制作建築研究所
施　工　ＫＫ大林組、ＫＫ竹中工務店
　　ＫＫ藤田組

高さ65ｍ、正面・先端部・背面にそれぞれ異なった表情の顔をもち、過去・現在・未来を表わす。内部は直径１ｍ。





▲44.11.11現在

■アメリカ館

設　計　Davis, Brody, Chermayeff, Geismer, de Harak Associates
協力設計　ＫＫ　大林組
施　工　ＫＫ　大林組

敷地面積　19,978m²　　最高高さ　12.5m
建築面積　9,440m²　　起　工　昭和44年１月23日
延面積　7,911m²
構　造　ドーム・鉄骨鉄筋コンクリート造

建築史上最初のケーブル屋根エア・ドーム構造と呼ばれるもので、隋円形の穴の周囲に高さ７ｍの芝張り土手を盛りあげて、その上に長径142ｍ、短径83.5ｍの屋根がかけられる。屋根はワイヤーロープの網によって支えられたグラスファイバーのシートで、圧縮空気によりふくらまされ柱は１本もない。従って内部は、昼は太陽光線がふりそそぎ、夜は照明で輝き、大展示空間となる。
展示は２層となり、アメリカの発展の過程、アポロ計画の内容が示される。

▼44.11.11現在

■オーストラリア館

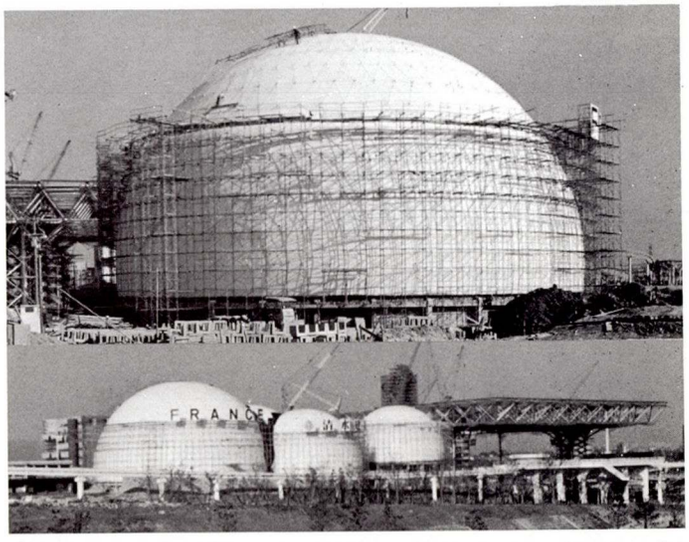
設　計　James Maccormick
協力設計　芦原義信
施　工　清水建設ＫＫ

敷地面積　8,147m²
建築面積　3,575m²
延面積　4,118m²
構　造　鉄骨鉄筋コンクリート造
階　数　地上４階、地下１階
最高高さ　33m
起　工　昭和43年12月15日

片持ちばり形の建物で、〝空のカギ〟のように曲がったその頂点から、直径約48ｍの円形屋根が宙づりになっている。また、地面より１段低くなった庭に、スペース・チューブ（空間筒）と名づける展示館・資料用ホールが建てられる。
円形屋根の下は2,000人を収容する待合室で、パノラマ映画が上映される。スペース・チューブの内部は２本の動く歩道で展示を鑑賞する。

▼44.11.11現在





■フランス館

設　計　Jean Couler & Denis Sloar
協力設計　清水建設ＫＫ
施　工　清水建設ＫＫ

敷地面積　10,876m²　階　数　地上４階
建築面積　4,511m²　最高高さ　30.8m
延面積　7,828m²　起　工　昭和43年11月17日
構　造　鉄骨造

カサを広げたような円形の天井をもつエア・ドーム方式の建物で、直径50ｍのものと70ｍのものが２つづつ並び、そのうちひとつは直径50ｍの球体、他は半球体で、３つは展示会場、他のひとつはレストラン及び劇場として使用される。円形天井はプラスチック製で、館内と館外との気圧差によって形を変えることができる。プラスチックのドームは全面スクリーンとなる。



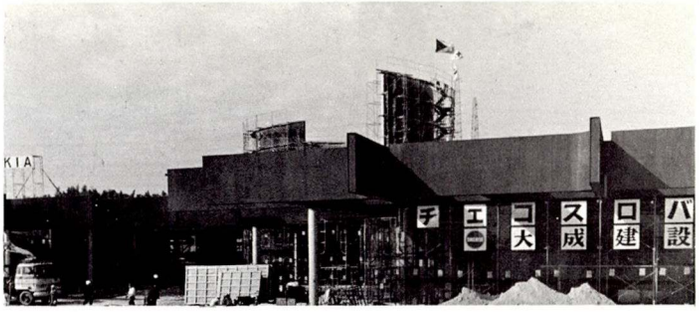
44.11.11現在

■スカンジナビア館

設　　計　Bent Severin
協力設計　ＫＫ　大林組
施　　工　ＫＫ　大林組

建築面積　3,242m²　階　　数　地上２階、地下１階
建築面積　1,296m²　最高高さ　8.5m
延 面 積　2,011m²　起　　工　昭和43年７月29日
構　　造　鉄骨造

ノルウエー、スウェーデン、フィンランド、デンマーク、アイスランドの北欧五ケ国の共同出展。外部壁面に照明器具が装置され、夜空に浮かび上がってみえる。
展示は、〝自然の保護〟をテーマに、人間が自然に対して行なってきた建設的な面と破壊的な面とがスライドで展開される。右に建設的な面、左に破壊的な面が描き出され、床に備えつけられた発声装置が解説を加えてくれる。



■チェコスロバキア館

設　　計　Arch. Rudis Palla
協力設計　大成建設ＫＫ
施　　工　大成建設ＫＫ

敷地面積　7,270m²　階　　数　地上1階、地下1階
建築面積　2,517m²　最高高さ　17.5m²
延 面 積　3,095m²　起　　工　昭和44年２月21日
構　　造　鉄骨造

展示館は、静的な構造を強調した平家建で、ラメラ構造といわれる幾何学的な設計の屋根が特徴。この屋根は、中央に向かって低く傾いており、床は階段なしに入場者が流れて行くようにカーブを描いている。外壁はガラス、床は陶製タイルが使われる。
館内は、円筒形２階建の映画ホールを中心に、展示部、レストラン、売店等から構成され、映画ホールの外壁には、チェコスロバキア名産のガラス・モザイクが張られる。



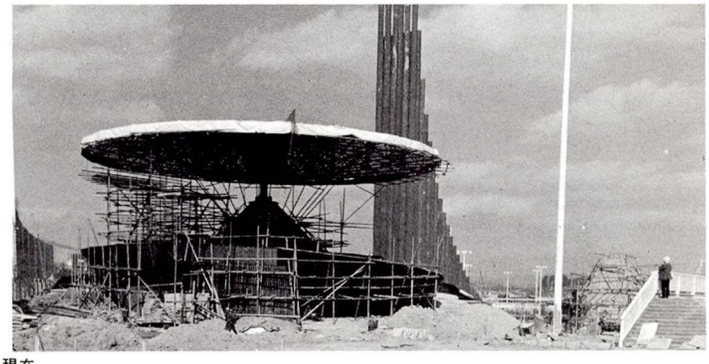
44.11.11現在

■松下館

設　　計　吉田五十八
施　　工　共同企業体
　　（代表 ＫＫ 大林組）

敷地面積　10,313m²　階　　数　地上３階
建築面積　2,650m²　最高高さ　18.1m
延 面 積　1,887m²　起　　工　昭和43年12月３日
構　　造　鉄骨鉄筋コンクリート造

敷地の周囲に植えた約１万本の竹を背景に、天平時代の建築様式を取り入れた堂宇２棟を池にうかべるという構想。
展示館の前棟では、〝タイム・カプセル〟と、その収納物を中心とした開発の姿が展示される。タイム・カプセルは、特殊ステンレス鋼の球型で、内径１m、容積50万cm³、重量 2.5トン。万国博終了後、２個を地下に埋設する。後棟へは渡り廊下で接続、ここには茶席と休憩室がつくられる。



■ワコール・リッカーミシン館

設　　計　連建築設計事務所
施　　工　ＫＫ　竹中工務店

敷地面積　1,600m²　階　　数　地上１階、地下１階
建築面積　957m²　最高高さ　16m
延 面 積　1,147m²　起　　工　昭和43年11月７日
構　　造　鉄骨造一部鉄筋コンクリート造

展示館は、直径36m、重さ40トンの円形屋根を直径50cmのパイプでささえ、約60トンのオモリで安定させる。
展示は3 部分に分けられ、第一部は１階及び地階で、愛のある憩いの世界を創造しようというもの。第２部は、電子工学、音響学をとり入れた来場者の参加の場。第３部は、世界13カ国から13組の挙式者を招いて結婚式を挙げるという催し。



◀44.11.11現在

■日立グループ館

設　　計　東日建設コンサルタンツ
施　　工　ＫＫ　大林組

敷地面積　5,000m²　階　　数　地上４階
建築面積　1,924m²　最高高さ　23m
延 面 積　2,699m²　起　　工　昭和44年１月10日
構　　造　鉄骨造

直径46m、高さ22mの円盤型の建物で、コンピューターを核として開発されたシミュレーター電子技術やレーザー光線を利用して〝日立シミュレート・トラベル〟と名づける科学旅行が計画されている。地上のウエイティング・サークルからエスカレーターで屋上のスカイロビーへ、次にエレベーターで３階へ行き未来の旅行を楽しみ、２階でそのシミュレーションの機構を理解する仕組になっている。

すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス



新大阪繊維シティ
設計　株式会社ＲＩＡ建築綜合研究所
施工　共同企業体（竹中工務店・大林組）
使用場所　カベ（外壁）屋根

軽　量（比重 0.5コンクリート¼の重量）

断　熱（コンクリートの１０倍の断熱性）

耐　火（法　定　耐　火　材　料）

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまで
あらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被
覆に使用されますが次の建物には特に最適です

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

SIPOREX

シポレックス販売株式会社

本　　社　東京都千代田区岩本町２ノ１ノ16(森川ビル)
　　電話　東　京（861）代　表　７　２　４　１
大阪支店　大阪市西区京町堀通１ノ125(東洋ビル)
　　電話　大　阪（443）代　表　７　７　４　１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３ノ２(大商ビル)
　　電話　名古屋（581）代　表　７　４　２　１

□ 写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a．所在地　b．建築面積　c．延面積　d．構造規模　e．工　期



487. 日生・日立ビル

設計：日本生命相互会社,KK大林組
施工：KK　大　林　組
a．大阪市東区北浜４丁目６
b．2,483.634m²
c．27,070.305m²
d．SRC造，B２,９F，３PH
e．昭和42年９月～昭和44年８月



488. 広島労働会館増改築

設計：河内義就設計事務所
施工：KK　鴻　池　組
a．広島市金屋町１番１７号
c．既存面積 2,311.07, 増築面積 3,440.89m²
d．SRC造，B１，６F，PH２
e．昭和43年８月～昭和44年10月



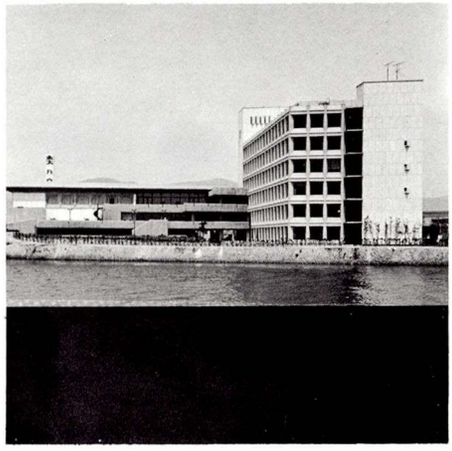
489. 夙川アンビロン

設計：赤松菅野建築設計事務所
施工：KK　大　林　組
a．西宮市霞町１０６番地
b．896.39m²
c．6,313.69m²
d．RC造，B１，７F
e．昭和43年12月～昭和44年９月



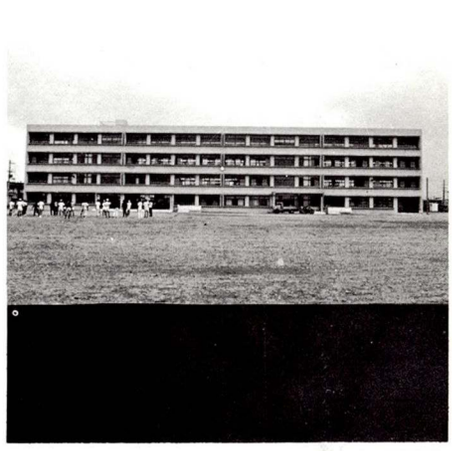
490. クラレ白鷺総合結婚式場

設計：倉敷レイヨンKK
施工：KK　大　林　組
a．大阪市福島区鷺州南1丁目32番地
b．710m²
c．1,826m²
d．RC造，３F
e．昭和44年１月～昭和44年９月



491. 広島医師会館

設計：日建設計工務KK
施工：KK　藤　田　組
a．広島市観音本町１の１
b．2,169.82m²
c．7,130.60m²
d．RC造，事務棟6F，講堂棟3F
e．昭和43年６月～昭和44年７月



492. 寝屋川市立第五中学校

設計：KK　ユーエー建築事務所
施工：阪神土木工業KK
a．寝屋川市上神田2丁目364番地
b．720.19m²
c．2,733.62m²
d．RC造、４F
e．昭和43年12月～昭和44年７月



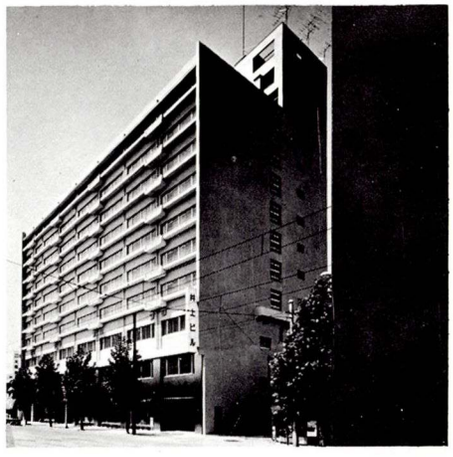
493. 日本冷蔵株高槻食品工場

設計：梓建築事務所
施工：KK　鴻　池　組
a．大阪府高槻市上牧神内160－1
b．3,492m²
c．4,375m²
d．S造，平家
e．昭和43年11月～昭和44年４月



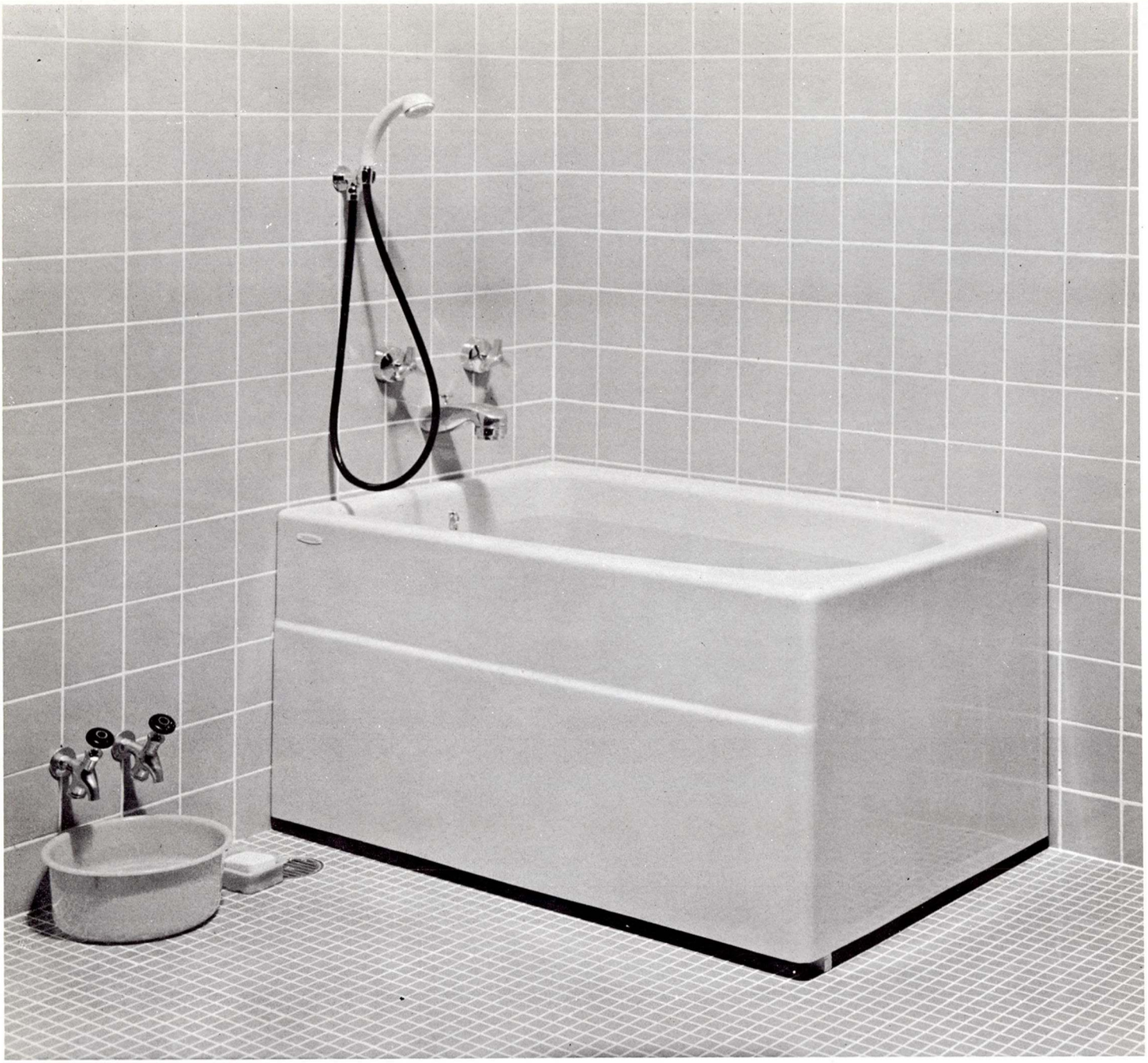
494. 神戸村野工業高等学校記念館

設計：松浦構造設計事務所
施工：KK　明和工務店
a．神戸市長田区五番町８丁目５
b．241.4m²
c．700.0m²
d．RC造，３F
e．昭和43年８月～昭和44年８月



495. 西院市街地住宅

設計：渡辺建築事務所
施工：KK　鴻　池　組
a．京都市右京区西院三蔵町
b．789m²
c．8,337m²
d．４F迄SRC造，５F以上RC造，B１，10F，PH３
e．昭和43年５月～昭和44年８月



和風と洋風の持味をプラスしたポリバス=P1801

P1801は、洋風バスのゆったりと足を伸ばしてくつろげる寸法と、和風バスのたっぷりと首までつかれる深さを生かした、和洋折中タイプのポリバスです。材質は丈夫さと保温力に定評のあるFRP。美しいピンク・ブルー・グリーン・ライトブルー、4色がそろっています。

埋込工事のいらない据置タイプの利点として、工事費が安上りな点も見のがせないポイント。給湯式・外釜式・BF釜いずれのセットも可能にしました。日本で最初にFRP浴槽を開発した東洋陶器が、これからの浴室におすすめする、新しい自信作です。

TOTO

東陶

東洋陶器株式会社

本　　社　北九州市小倉区篠崎町４５８
TEL　(093)－93－5151　〒８０２
大阪営業所　大阪市東区高麗橋５の３２
TEL　(06)－203－5701　〒５４１



クラスメート

55〔南満洲工業専門学校　昭和10～13年卒〕

（敬称略）

前列左より

渡辺　武　——昭和10年卒——
（東大阪市土木部長）

村田治郎先生
（恩師）

松田悦一　——昭和10年卒——
（日本マイウォール工業ＫＫ代表取締役）

後列左より

片岡敏男　——昭和13年卒——
（奥村組設計部長）

延満勝朗　——昭和10年卒——
（帝人殖産）

小松源逸　——昭和12年卒——
（小松建築研究所）

（昭和44年11月6日　於京都グランドホテル）

当時の満洲はわが日本の生命線といわれた。満洲事変を契機に、内地（日本）から心ある若者が大志を抱いて満蒙雄飛したものである。その頃の満鉄は日本の国策会社として、南満洲の鉄道の経営や産業開発事業のほか、一部では行政面までも掌握していた。母校はその満鉄が経営し、設備と優れた教授陣に恵まれた贅沢な学校であった。昭和10～13年の卒業で、満洲国建国の大義名分と「五族協和」の精神とかいう御旗のもとで、大陸の建設に活躍したいわゆる満洲組である。今はその満洲国もなく、母校もその姿が変わり、新らしく迎える後輩もない末細りの伏水会員である。恩師村田治郎先生を囲み、遠き満洲時代のなつかしい想い出に話題がいつまでも尽きなかった。

村田先生の建築史と建築計画の講義の時間は、いつも短かく感じられた。ノートを終えて頭を挙げてみるともう姿が消えていた想い出がある。また、恩師といえば、鷲尾健三先生の構造は名講義すぎて遂にわからず仕舞い、今になって有難さが身にしみる。

渡辺　工専ラガーとして全満に勇名を轟かせた名スリーコーターである。卒後満洲国建築局に奉職、現在東大阪市の公僕として活躍中である。

延満　広島工業出身の秀才型で、山椒は小粒でもの根性型である。卒後満鉄鉄道部勤務、終戦後抑留２年、帰国後帝人から帝人殖産に移り、目下住宅産業に熱中しているとか。

松田　満洲産業５ヶ年計画に参画し、大陸産業建設方面に活躍、引揚帰国後七転八起の苦労の連続、目下建築の空間利用効率化への研究と技術開発に専念中である。

小松　卒後関東軍の建技将校として活躍、大和ハウス工業の設計部長を経て、目下東京で設計事務所自営、プレハブ建築でのエキスパートであるらしい。

片岡　戦時中は海軍施設部に奉職、建技将校として活躍したものである。目下建設会社の設計部長として頑張っている。

なお、当日急用のため、三村豊（三村工務店社長——10年卒——）、岩崎吉太郎（東畑建築事務所取締役設計部長——11年卒——）、舟橋亨（成幸工業ＫＫ常務取締役——11年卒——）、武田正五郎（雑賀建築設計事務所—11年卒——）、間瀬竣吉（住宅金融公庫大阪支所建築課長——12年卒——）の諸氏が出席できず残念である。

（松田記）



完全責任施工　年限保証

日本アスの アスファルト防水

■シグマートによるウエルドシステム防水工法
■特殊絶縁防水工法(特許出願中)
■メルタン防水工法



50 年の実績が生んだ防水

シグマート.SPウエルドルーフィング

■全国に配置された組合員の強力な連繋で完全な施工工事をお受けいたします

地区別	会社名	電話
北海道地区	日本スレート株式会社	札幌 23—7511代
	日新建工(株)札幌出張所	札幌 22—5015
東北地区	信栄工事(株)仙台出張所	仙台 23—1735
	日新建工(株)仙台支店	仙台 25—5431代
関東地区	伊藤建材株式会社	東京 842—1431代
	春日工業株式会社	東京 802—3871代
	金岡工業株式会社	東京 363—4341代
	木下工業株式会社	東京 634—0821代
	協立工業株式会社	東京 433—1961
	日新建工株式会社	東京 803—2411
	日本綜合防水株式会社	東京 403—0171代
	野口工材株式会社	東京 444—3531代
	鍋田工業株式会社	東京 263—4861代
	藤井工業株式会社	東京 941—0271
	富士工材株式会社	東京 634—0161代
	藤澄青興業株式会社	東京 362—5697代
	北条澄青工業株式会社	東京 551—2676
	マサル澄青工業株式会社	東京 842—6311代
	大和工業株式会社	東京 802—4751代
	澄青建材株式会社	東京 861—2706～8
	石田建材工業株式会社	高崎 22—3301～3
	同和建業株式会社	新潟 45—2251代
	株式会社奈良屋商店	水戸 31—0171代
北陸地区	石橋建材株式会社	福井 23—0775
	有限会社折橋政次郎商店	高岡 22—0999
	有限会社小島工業所	高岡 23—0391
	島屋建設株式会社	金沢 42—5151

地区別	会社名	電話
東海地区	協和建材工業株式会社	清水 2—2221代
	中央建材工業株式会社	名古屋 251—3541代
	東京建材工業株式会社	名古屋 411—6621
	日本建材鋼業株式会社	名古屋 571—5541～4
	株式会社三井工業所	静岡 85—9151～3
	宮崎建材	名古屋 331—1531代
近畿地区	清水興業株式会社	大阪 372—0250～3
	棚田建材有限会社	神戸 22—9182代
	中村澄青工業株式会社	神戸 34—5884
	日新工材株式会社	大阪 541—3785～6
	フタバ興業株式会社	大阪 458—7431～3
	マサル澄青工業(株)大阪営業所	大阪 313—3817代
	マルエス工業株式会社	大阪 458—4841～3
	日新建工(株)大阪出張所	大阪 538—1621
中国地区	株式会社三洋技建	大竹 2—5155代
	東中国防水工業有限会社	岡山 23—1181代
	豊永建材株式会社	広島 61—6371～3
	大和工業(株)広島出張所	広島 71—4687
四国地区	大三工業株式会社	高松 51—6811～5
	大三工業(株)高知支店	高知 83—1786
	徳島大三工業株式会社	徳島 54—4161代
	株式会社マルマス河野商店	今治 2—5000代
	株式会社山本商会	松山 31—6261～3
九州地区	安藤工事株式会社	福岡 28—5207～9
	株式会社北原建材商会	鹿児島 3—9395～6
	株式会社工材社	北九州 38—1468～9
	株式会社大二商会	宮崎 4—1625
	日建工材株式会社	福岡 74—3548
	日新興業株式会社	延岡 2—4305～6

■建設省東計第240号認可

日本アスファルト防水工業協同組合

東京都足立区千住東2—21—28 日新工業株式会社内　電話（882）2424（代）
関東支部　東京都足立区千住東2-21-28 日新工業株式会社内　電話（882）2424(代)
関西支部　大阪市西区新町北通1—18日新工業株式会社大阪支店内　電話(531)5281～3
九州支部　福岡市大手門1—6　日新工業株式会社九州出張所内　電話（74）3461

建築の眼

野々村五四男
関西大学教授・工博

小菅滋夫
日建設計工務KK監理部長

坂内幾男
坂内建築設計事務所専務取締役

篠田駿二
KK大林組工務課長

この四つの主張のそれぞれに対して、会員読者より、ご感想・ご意見を求めます。読者の頁欄に収録します（薄謝呈上）

（七月号より十二月号まで上記の四人の執筆者で担当してもらいました。）

色彩オンチの氾濫

万国博を来春にひかえて、大阪市では「きれいな町」へと町ぐるみの市民運動が推進されているが、相変わらずドギツイ看板や雑多な色彩の広告が町にはんらんしている。

ところで最近、私立幼稚園の園舎などを見てまわる機会をえたが、そのさい痛切に感じさせられたことは、幼児に対する音感教育などは適切に実施されているようであるが、色感教育については、正直いって失望せざるをえない状態である、ということであった。

特に、園児にとって快い視環境を形成すべき遊戯施設、園舎などの建設物の色仕上げについては、全く無感覚といってもよいくらい、何の調和も配色も考慮されることなく、ただ一、二の原色だけで仕上げられている数多い事例をみると、わが国における色彩教育のみちは遠く、また建築における色彩調節・色彩計画の成果も、まだまだ遠い将来のような気がしてならない。　（No）

形式と内容

時代の合理化や省力化と共にすべてが形式のみに押流され易い時勢になりつつある。形式と内容このうらはらの事実はFIFTY－FIFTYであって、どちらかに片寄ることは人間の生活や、社会の情緒を薄くも、厚くもするPOINTであると考える。極度な形式化された社会となれば人間の考え方や性格も同じような人間ばかりとなるべきであるが、これは不可能なことで時代の発展と共に人間社会両面共その内容の充実が必要でその努力をすべきであろう。

最近町角で拾う標識や看板、建物、個々服飾に至る迄、形式と内容のアンバランスが目立って実に人の目には雑然とだけしか受取れない。見た目からまた人の内容を生むことを考えるとこれから先の時代はどうなることか、ヨーロッパの生活や様式から受ける感じは非常にその内容をもっていて生活の豊かさを感じる。また反面形式様式の統一も徹底していて人も社会もそれを保護する習慣をもっている。日本のこの雑然とした種々の具象は目に見えない一種の公害かも知れない。

（Ko）

あわただしい世

今年もあと旬日となり、あわただしい中に騒然たる70年を迎えるが、さて今年は何があったかなあ。

○万国博の建設急ピッチ、来年の3月開催を目前にひかえ道路網も大幅に整備進み、佐藤知事にこにこ。

○関西にも高層建築ぞくぞく完成。公営住宅も高いものが多くなる。一番高くなったのはその家賃。

○その他高くなったもの、建設労務者の賃金、上がりっぱなしは地価、通勤距離のびて、定期代も痛手。

○これはいかんと都市計画法出来る。しかしこれで良くなるのは大手土地屋の懐具合？

○本年も依然として大型景気続き、建設界ますます好調、来年の見通しかげりありと云うも一般に強気。

○建設業の経営合理化大幅に進むが、一方倒産、労災事故率は土木建築関係依然として高率を保つ。

○公害問題深刻の度を深める。大英断をもって手をつけねば東京も大阪も人間の住む処でなくなる。

○デザイン界も混乱はげし。クラシックあり前衛も良し、攻撃に強い時計塔スタイルもイカスなあ。

○70年安保ゲバゲリラに備え、現場の自衛力強化さけばれる。たのもしき自衛隊出現するや。

○新建材もぞくぞく開発され、コンピューターもうなる日本一の鉄屋も出現、業者の系列化も進む。

まだまだあったがもう皆の目は来年を見つめる。息つく暇もない世と相成った。健康を祈ろう。

（Sa）

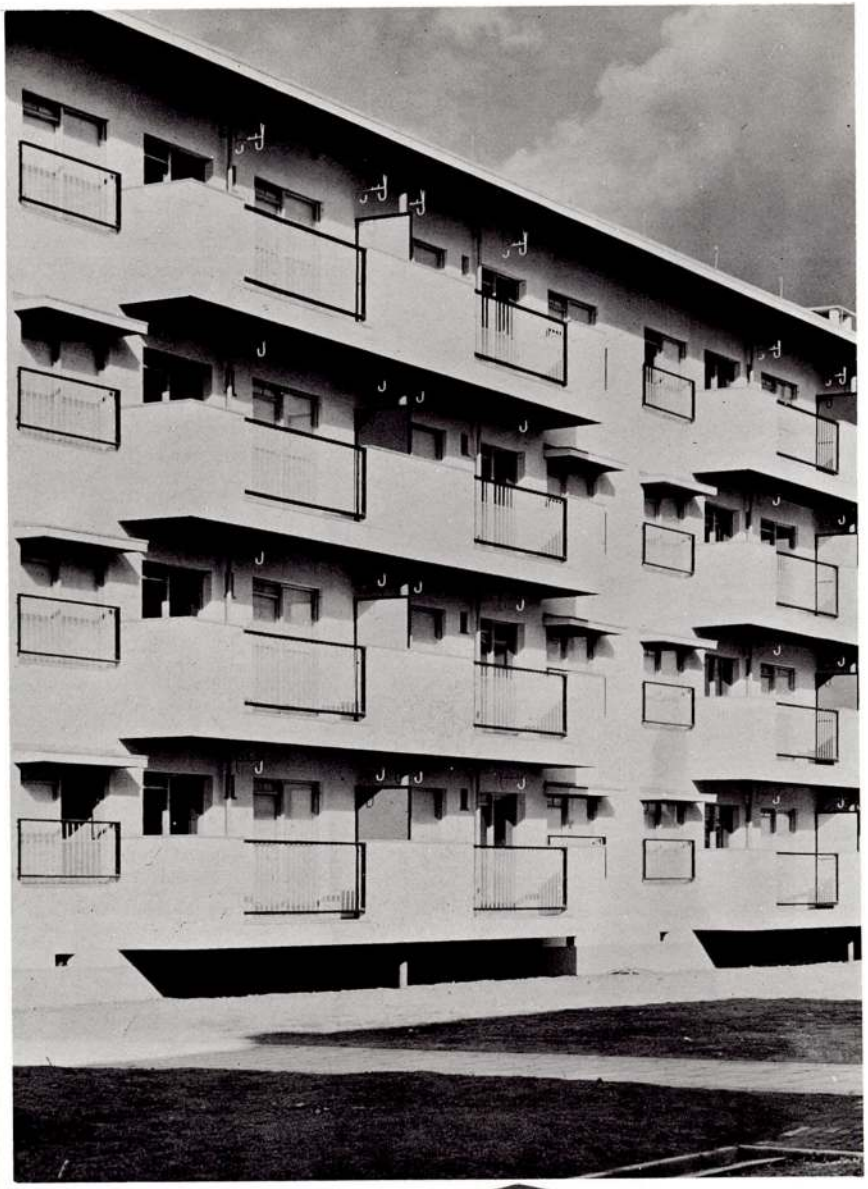
万国博の一つの功用

最近私の担当する万国博外国館工事で、いささか痛快な事が起った。この建物は盛り上げた楕円形の土手に、ガラス繊維の薄膜を張り、これに空気を送りこんで膨らませ屋根にする。いわゆる空気膜構造をとっている。この一万平方米に及ぶ大膜体を膨らませる作業は、いわばこの工事のクライマックスともいうべきものだった。その旬日前に　現場に常駐するその国の担当官に、電算機による予定日より二週間程早いその日に、いよいよ行なう旨、正式に告げると、彼はNEVER MAKE　IT！（出来るものか）と冷やかに言い放ったのである。事実万博工事の真最中で作業員も全く思うようにならない時であり、そのように見られても仕方がなかったので、我々は黙って引下った。曲折はあったけれども、秒読みは刻々進んで、予定の日の予定の時刻に見事大天幕は、湧き立つ積雲のような巨体を千里の丘に輝かせた。おさまらないのは若い人達で、絶対に一言いうという。まぁやめとけと言っているうちに、面と向かって言ってしまった。

さすがに相手も大国の人間で、あっさり自分の見通しの悪さを認め、我々に対する認識を改めるという一幕があった。

こんな事はこれに限らず屢々で、こちらの言う事なす事一々不安を持つのか、事前にとやかく言うのである。他の外国館でも所謂先進国のものでは、この傾向は程度の差こそあれ同様のものときく。ある大国のパビリオンでは既に組立てられた鉄骨から厚い鉄片を切り取って本国へ送り試験したという。これでは世界一二を争う工業国が泣こうというものだ。が同時に、こんな小さな一つづつの積み重ねを通じて、これらの国々で日本の本当の姿というものが認められてゆくとすれば、無理して万国博をやった甲斐もあるといえるだろう。　（Si）

住宅

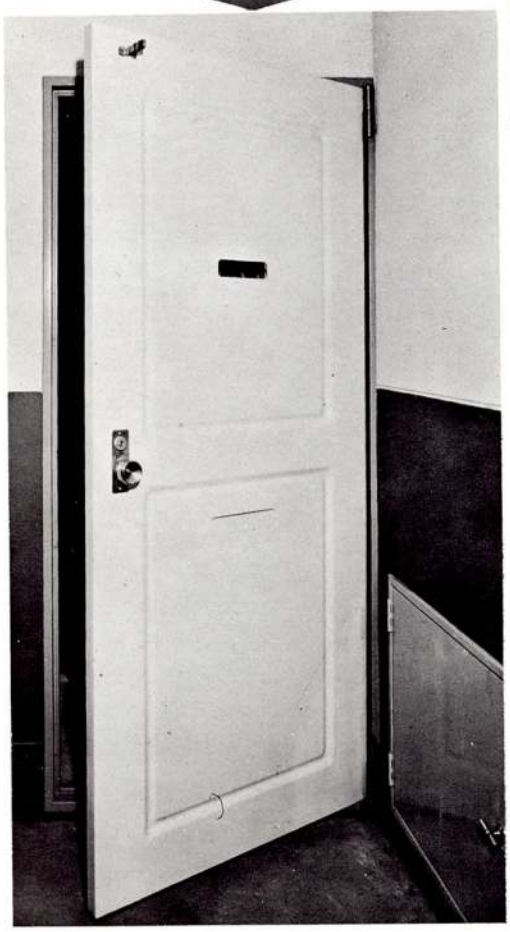


きんき

● 400,000枚の生産実績を誇る

プレスドア

防火ドアー



住宅用として開発

きんきアルミサッシ

〔KJ指定メーカー〕

製造元 **近畿車輛株式会社**

本社建材工場　大阪府布施市橋本1番地の1　電話大阪(782)1231代表
所沢建材工場　埼玉県所沢市大字所沢1415番地　電話所沢(22)5101代表

販売元 **近畿工業株式会社**

本社　大阪市北区梅ケ枝町108番地　新梅ケ枝町ビル　電話大阪(363)3371代表
東京支店　東京都千代田区神田松永町19　東京近鉄ビル　電話東京(255)8271代表
名古屋支店　名古屋市中村区平池町4丁目48番地2　電話名古屋(551)2522
福岡事務所　福岡市大名町2丁目9番地　上野ビル　電話福岡(76)3556

御一報次第カタログ拝送します。

建築と社会総目録

第50集

1969年(昭和44年)

社団法人　日本建築協会

号

特集号

建築産業の構造と方向…… 1
鉄筋コンクリート構造耐震設計の再検討…… 2
計画と住民—中部からの報告—…… 3
老人とすまい…… 4
建築史の方向—現代によみがえる過去…… 5
建築行政に期待するもの…… 6
転換しつつある住宅生産…… 7
解決をせまられる公害問題…… 8
海洋開発…… 9
民家の系譜と保存計画……10
第16回青年技術者……11
九州からの報告……12

作品作風

事務所・官公庁ビル

クリモトビル…… 5
設　計：日建設計工務㈱
施　工：栗本建設工業㈱

大阪三菱ビル…… 9
設　計：三菱地所㈱
施　工：㈱大林組

大阪マーチャンダイズ・マート……10
設計施工：㈱竹中工務店

近畿電気通信局庁舎…… 6
設計監理：日本電信電話公社
施　工：㈱大林組

京都府議会棟…… 7
設計監理：日建設計工務㈱
施　工：三井建設㈱

京都市青少年科学センター…… 7
設　計：日建設計工務㈱
施　工：㈱熊谷組

大阪府立松原職業訓練所……10
設　計：大阪建築事務所
施　工：㈱大末組

大阪国際空港ターミナルビルディング…… 4
設　計：㈱安井建築設計事務所
施　工：清水建設㈱・㈱藤田組
㈱竹中工務店・㈱大林組
㈱間組・㈱熊谷組

ホテル・宿泊所

ホテルブルースカイ…… 7
設　計：坂倉準三建築研究所
総合施工：三菱電機㈱

ホテルプラザ……11
設計施工：㈱大成建設

東洋ホテル……12
設計施工：㈱大林組

関西テレビ放送蓬莱山の家…… 2
設計施工：㈱竹中工務店

公立学校共済組合大阪宿泊所・なにわ会館…10
設　計：㈱東畑建築事務所
施　工：㈱錢高組

産業人憩の家・丸山荘……11
設　計：兵庫県建築部営繕課
施　工：㈱小西工務店

社会福祉施設・その他

豊中市立老人福祉センター…… 4
設　計：RIA建築綜合研究所
施　工：㈱永田工務店

京都市新鳥羽下水処理場 塩素混和池機械棟　6
設計建築：京都大学工学部意匠研究室
設計事務所 洋々社
構　造：京都大学工学部岩林研究室
施　工：大成建設㈱

香里ショッパーズ・プラザ…… 8
設　計：㈱泉沢建築設計事務所
施　工：不動建設㈱

東雲学園短大体育館…… 8
設計施工：㈱竹中工務店

花隈公園駐車場…… 7
設　計：日建設計工務㈱
施　工：前田建設工業㈱

宗教建築

西本願寺無量寿堂・本廟会館…… 5
設計施工：清水建設㈱

西宮トラピスチヌ修道院…… 9
設　計：村野森建築事務所
施　工：㈱竹中工務店

建築と社会　第50集　1969年（昭和44年）1月号—12月号　総目録

号

東海の新建築 ◆

愛知県……3
岡崎市民会館・愛知工業大学工学部・名古屋商科大学新キャンパス・自転車技術研究所・春日井市立藤山台小学校・新瀬戸電話局・津島公団住宅・一宮市消防庁舎・愛知県茶臼山野外活動ロッジ・名豊ビル・岡崎スポーツガーデン・名古屋学院大学・東名上郷サービスエリア・安城市庁舎・安城市農協会館・銀波荘・名古屋大学空電研究所・常滑市民病院看護婦宿舎・蒲郡市民住育館・東海産業医療団中央病院・富士製鉄上野台団地22号棟・富士製鉄体育館・上野町役場・東浦町役場・松崎病院・中部電力知多火力発電所・常滑市民体育館・刈谷市民会館・県立芸術大学・愛知県警察学校・東海銀行春日井支店・結婚式場共栄会館・農業総合試験場研修館・愛知県心身障害者コロニー・高蔵寺ニュータウン藤山台団地・サントリー木曽川工場・愛知トヨタ本社別館・名城大学天白4号館・国立療養所梅森光風園・瑞穂プール・野垣病院・メゾン東山・市立名古屋ユースホステル・安田火災自由ケ丘家族寮・吉田外科病院・サンモリッツ・名古屋工業大学一般教養学部・名古屋第二赤十字病院病棟・岡田病院・千種図書館・東海銀行汁谷単身寮・マツダオート名古屋覚王山営業所・野村証券名古屋支店・名古屋商工会議所・住友生命栄町ビル・東海電気通信局庁舎・日本住宅公団老松アパート・名古屋市消防学校・創価学会名古屋文化会館・全国信用金庫連合会名古屋支店・名古屋合同庁舎第2号館・KK大隈鉄工所本社事務所・日生ホームランド・名鉄バスターミナルビル・名古屋港郵便局・両口屋・真宗大谷派名古屋別院

三重県……3
105銀行本店・ホテル鯛池・池の浦荘・長島温泉熱帯植物園・日楽合歓の郷・上野観光日ケ崎荘・三重県農協会館・四日市市水道局庁舎・合同ビル・日本鋼管KK共同宿舎

岐阜県……3
赤阪総合福祉センター・NHK岐阜放送会館・広田KK寄宿舎・大垣市民会館・大垣商工会議所・川崎航空岐阜製作所・各務原ボウリングセンター・萱場工業岐阜北工場

≪感想≫東海の新建築を見て廻って……3

九州の新建築 ◆

福岡県……12
西鉄グランドホテル・福岡相互銀行大名支店・久留米市民会館・日本住宅公団長住市街地住宅・福岡空港ビルディング・福岡高等地方簡易裁判所合同庁舎・福岡地方合同庁舎・福岡管区気象台・福岡市立青年センター・福岡市農協ビル・三信会原病院・住友生命福岡ビル・電気ビル新館・朝日ビール九州支店・西日本相互銀行本店・日本長期信用銀行平和町社宅・新天町商店街・江崎病院・法雲寺・久留米商工会館・聖マリア病院本館・久留米大学医学部図書館・久留米大学附設高校本館・久留米信愛女学院短期大学・キリンビール福岡工場・九州カンツリークラブハウス・立花町体育館・ヤマエ商事KK本社・福岡県モーターボート会館・九州松下電気厚生会館

熊本県……12
熊本県医師会館・熊本県庁舎・熊本市民会館・熊本県知事公舎・熊本県警察学校・熊本市社会教育会館・熊本商科大学体育館・熊本税務大学校・熊本県立第2高等学校・熊本県立熊本聾学校・千歳旅館・九州産業交通熊本交通センター・安田ビル・熊本電話局・宇土市立宇土小学校・天草総合庁舎・熊本労災高等看護学院・熊本労災病院・文建ビル・本渡市民センター

長崎県……12
親和銀行本店・浦頭カトリック教会・聖カトリック教会・十八銀行本店・裁判所大村支部・諫早市体育館・雲仙ホテル新館・有明ホテル

大分県……12
ホテル児玉・錦水園レジャーセンター・なるみ・公立学校共済組合別府保養所豊泉荘

宮崎県……12
宮崎県宮崎総合庁舎・農林中央金庫宮崎支所・宮崎航空大学校・津村本店ビルリバーサイドホテル・日南簡易保険保養センター

鹿児島県……12
鹿児島県庁舎西別館・鹿児島入管港出張所・鹿児島テレビ放送・新屋敷町団地上原薬品ビル・明治生命鹿児島支社・鹿児島銀行中央市場支店・鹿児島警察武道館・富国生命館・指宿市市民会館・牧園中学校・桜島ユースホステル・鹿児島銀行指宿支店・ホテル林田温泉・鹿児島経済大学図書館

佐賀県……12
浜玉中学校・福岡銀行唐津支店

≪感想≫九州の新建築を見て廻って……12

スケッチブック（最近竣工の新建築）◆

388. 大阪駅前市街地改造ビル第1棟（西半棟）。389. 三交ボーリングセンター。390. 国立奈良病院（第3期）。391. 但馬鰡の家（増築）。392. 日本鋼管京浜製鉄所総合事務所。393. 大阪囲碁会館。394. 中宮寺本堂宝蔵庫。395. トヨタ車体富士松工場。396. 堺肥料KK堺工場。……1
397. 松下電器歴史館。398. 松下興産摂津マンション。399. 日本製麻兵庫工場及び加古川団地。400. 不二サッシ高槻工場。401. 新武庫川病院（増築）。402. 奈良カトリック教会聖堂修道院。403. 中村邸。404. 奈良万葉カンツリークラブ。405. 名古屋大林ビル。……2
406. 阪和興業KK本社ビル。407. KKサンマート唐櫃店。408. 近畿車輛KK 5B・6B工場（増築）。409. 兵庫県岩屋警察署署長公舎。410. 大阪弁護士会館。411. 松本旅館。412. 明光ビル。413. 丸善芦屋業平給油所。414. 百十四銀行松山保養所。…3
415. 吾川村庁舎。416. 御所市消防本部。417. 朝日生命成人病研究所。418. 三宅小学校。419. 東大阪市単身者住宅。420. 大阪西川第一ビル。421. 公立学校共済組合芦原保養所"芦泉荘"。422. 国鉄吹田工場会食所。423. 徳島兄弟教会。……4
424. 大阪資生堂KK事務棟。425. 公庫県摂丹児童相談所。426. 井手町庁舎。427. 相生分譲住宅。428. 住友生命保険相互会社福岡ビル。429. 労働福祉事業団関西労災病院看護婦宿舎。430. 山南町農協会館。431. ファミリーボウル宝塚。432. 塚口ボウリングセンター。……5
433. 都ホテルガーデンウイング。434. 関西外国語大学（第3期）。435. 千里高校（第3期）。436. 学校法人関西ドレスメーカー学院アベノ校舎。437. 兵庫県南淡路有料道路（渦潮ライン）料金徴収所。438. 駒込正太マンション。439. 勤住協島田東団地。440. 帝塚山学院短期大学。441. 新武庫川病院外来棟及北病棟。……6
442. 鳥取大学医学部付属病院外来診療棟。443. 関西マックス販売KK千里寮。444. 第一生命住宅白金第一マンションズ。445. 丸亀市民会館。446. KK大丸誠和寮。447. ベーリンガー川西研究所。448. ユニオン硝子工業KK独身寮。449. 烏ケ辻コーポ公社分譲住宅。450. 国際航業大阪綜合ビル。……7
451. ニューオリエンタルホテル。452. KK主婦の店ダイエー茨木ショッピングセンター。453. 甲南ボウリングセンター。454. 高松併存高層住宅。455. 大阪コクサイホテル産業労働者住宅。456. 大阪府堺府税事務所。457. 東洋ホテル千里女子寮（産業労働者住宅）。458. 交野会館。459. 池の坊北の丸。……8
460. 大阪音楽大学ホール（増改築）。461. 大阪府十三橋警察署及び大阪府警察署第2方面3隊合同庁舎。462. 大阪センタービル伊藤忠ビル。463. 福井市国民宿舎。464. ホテル百万石。465. 第二豊中電話局。466. 原病院病棟。467. 姫路工業大学体育館。468. 安宅産業KK社屋（増築）。……9
469. 富士銀行北浜ビル。470. 新大阪センイシティー。471. フジアビタ。472. ライオン歯磨KK明石工場。473. 佐太東山来迎寺本堂。474. 立命館大学体育館。475. 室蘭市文化センター。476. 明舞中央病院。477. 高知市立市民病院。……10
478. 朝銀大阪信用組合本部。479. 東洋インキ製造KK青戸工場。480. 北京料理あたか飯店。481. 志摩観光ホテル新館。482. 国際開発ビルディング。483. 美穂市民会館。484. 住友銀行千里独身寮。485. 芝浦市街地住宅。486. 毎日放送記念会館ミリカホール。……11
487. 日生日立ビル。488. 広島労働会館増改築工事。489. 凧川アンビロン。490. クラレ白鷺総合結婚式場。491. 広島医師会館。492. 寝屋川市立第五中学校。493. 日本冷蔵KK高槻食品工場。494. 神戸村野工業高等学校記念館。495. 西院市街地住宅…12

コンクール ◆

第14回工高生デザインコンクール入選作……1
（設計課題：日本万国博覧会モノレール・ステーション）

建築産業の構造と方向 ◆

建築産業のシステムとメカニズム
……島津　良樹…1
建築産業は「第四の産業」たりうるか
……松井　昭光…1
文化：建築における相克の記録
……島津　良樹…1
技術：建築業者は変貌するか…島津　良樹…1
イラストレーション……1
下請：技能労働の多能化と再編成をせまられる下請企業……松井　昭光…1
組織：建築における関連企業…島津　良樹…1
建築生産プロセスと法律……1
建築技術者の意見と実態
—アンケート調査の概要……1

鉄筋コンクリート構造耐震設計の再検討 ◆

鉄筋コンクリート構造耐震設計上の問題点
……六車　熙…2
—1968年十勝沖地震被害の教訓—
1. わが国における耐震設計研究の歴史……2
2. 鉄筋コンクリート柱のせん断耐力とじん性2
3. 不均等剛性分布の問題……2
4. コンクリート強度の不足および施工の不備2
5. その他の問題点……2
写真：地震による構造物被害……2
十勝沖地震の調査報告とRC構造の耐震対策講演会……2

号
1. RC造震害の原因とその対策はどうあるべきか—腰壁・たれ壁をどう評価するか—
……東　洋一…2
2. 震害パネルディスカッション
(1)敷地地盤と震害……2
(2)建物の構造形式と震害……2
(3)RC構造と震害……2
(4)建築物の震害対策……2
コンクリート構造の耐震性状に関する研究概況……富永　惠…2

計画と住民—中部からの報告— ◆

はじめに……3
1. 中部圏における計画とその背景……3
2. 住民生活の視点から
—計画は住民に何をもたらしたか……3
3. 住民運動の展開……3
4. 計画の実態と住民運動……3
あとがき——計画者の役割……3
付録：名古屋と周辺の計画—住居・教育・健康の面から……3
共同執筆グループ：玉置伸悟・松尾博雄・木村光宏・赤嶺健一・岩井鉄也・岡田年弘・加藤征男・神谷東輝雄・今野卓・桜井大吾・佐藤圭二・鈴木正勝・富岡孜・名口繁行・西村一朗・松浦志郎・藪田仁一郎

老人とすまい ◆

Ⅰ老人とは……4
Ⅱ老人の人口—爆発する老人……4
Ⅲ繁栄のなかの貧困—産業と経済の変化……4
Ⅳ孤独からの脱却—老人の地域社会生活……4
Ⅴ核家族から複合世代家族へ……4
Ⅵ生理能力の老化……4
Ⅶ老人福祉の方向……4
付録：参考文献と資料……4
文責：荒木兵一郎

建築史の方向—現代によみがえる過去 ◆

Ⅰ過去の構成と再発見
i 式年遷宮制とその背景……稲垣　栄三…5
ii 寺院の構成—意匠と技法—…大森　健二…5
Ⅱ住居と生産：過去と将来
i 住宅
—その歴史の成立と方向—…川上　貢…5
ii 建築史の中の建築材料……山田　幸一…5
iii 生産と人間……永井　規男…5
Ⅲ保存修景計画
i 保存修景計画の現代的意義…西川　幸治…5
ii 風土記「近江の丘」構想と保存修景計画…5
Ⅳ建築史への発言
i 先学から
研究者の層を厚くせよ……福山　敏男…5
終局目標を見失うな……浅野　清…5
ii 隣接分野から
建築史学のあり方……西山　夘三…5
構造学者から……横尾　義貫…5
創作者から見た建築史家の使命
……西沢　文隆…5
iii 隣接科学から
建築史への発言—考古学から—
……小林　行雄…5
建築史と歴史学……林屋辰三郎…5
建築史への招待—日本建築史参考文献……5

建築行政に期待するもの ◆

本特集をとりあげた意義……三品　哲夫…6
①建築行政をめぐる諸問題の実態
都市と建築……上田　隆夫…6
環境阻害……上川　恭弘・三品　哲夫…6
建築物の安全性
……西川幸之輔・平塚　哲朗…6
行政執行体制……一ノ瀬周太郎…6

建築と社会　第50集　1969年（昭和44年）1月号—12月号　総目録

号

②建築行政における建築基準法の位置づけ
建築規制の歴史……島田　儀… 6
建築規制と指導行政……原　桂一郎… 6
生産プロセスと建築規制……藤上　輝之… 6
建築行政と人あるいは業者との関係
……椚座　正信… 6
③座談会：建築行政に期待するもの…… 6
出席者：三品哲夫・林谷武雄・佐藤鉄雄・相山専二・上村正人・藤田邦昭・椚座正信・石本徳三郎・長田正雄
④アンケート：建築行政にもの申す…… 6
建築行政にもの申す—不幸な家が生れないために（越智隆晴）・建築士事務所について（清水和彌）・ハードウェアーとソフトウェアー（土居一雄）・建築業者より（田淵穣一）中小建設業者より（谷沢安治）・正直者がバカをみない行政を（柴田真一郎）
⑤建築基準法の改正の要旨……高瀬　三郎… 6

転換しつつある住宅生産 ◆

①住宅生産のプレハブ化
1. プレハブ化の必然性
—本当のプレハブ化はこれからだ…… 7
2. 住宅の工業化における国の政策…… 7
②プレハブ化の進む中層共同住宅
1. 公営住宅におけるプレハブ化
—大阪府営住宅…… 7
2. 公団住宅におけるプレハブ化…… 7
③躍進するプレハブ独立住宅
1. こんにちのプレハブ独立住宅…… 7
2. 注文住宅から商品住宅へ…… 7
④良いプレハブ住宅を造るために…… 7
1. 敷地・道路・上下水道
2. モジュール・グリッド・壁厚・基礎厚
3. モデルプラン
4. 法規・公益事業
5. 工事組織
6. 金融制度
共同執筆グループ：石本徳三郎・高橋久栄・辰己詢二・小林昭夫・平山巌・古田博・和田一男・松井昭光・森脇久嘉・関口健

解決をせまられる公害問題 ◆

①公害，その現状と問題点
……中野　道雄・中根　芳一…… 8
②公害といわれる現象を追って
・大気汚染の諸問題……中野　道雄… 8
・大気汚染の人体影響
……清水　忠彦・常俊　義三… 8
・騒音・振動……中村　隆一…… 8
・水質汚濁の多様化とその問題点
……永井　廸夫… 8
・公害とどうとり組むか—問われる都市プランナーの姿勢……三村　浩史… 8
③座談会：公害問題をえぐる
・公害とは何ぞや…… 8
・健康と生活環境…… 8
・公害対策の問題点…… 8
・対策の隘路…… 8
・公害防止と住民運動…… 8
出席者：宮本憲一・中野道雄・中根芳一・清水忠彦・中村隆一・永井廸夫・三村浩史・松井昭光
（附）資料：大気汚染防止に伴う協定書（尼崎市）…… 8
大気汚染環境基準達成計画—ブルースカイ計画—（大阪府公害室）…… 8

海洋開発 ◆

Ⅰ海洋開発の展望……椹木　亨… 9
Ⅱ海洋開発と地域開発
1. レクリェーション利用からみた海岸線の開発と保全……三村　浩史… 9
2. 臨海開発と港湾整備……高橋　基次… 9
3. 水産資源・海底牧場……加藤　重一…… 9

号

Ⅲ材　料
1. 金属材料……塚本　睦世… 9
2. コンクリート材料……水野　俊一…… 9
3. プラスチック……竹本　喜一…… 9
Ⅳ計画例・実施例
1. 沈埋工法……平川　脩士… 9
2. 建設機械……畠　昭治郎… 9
3. 水中展望塔…重藤　宗之・井上　輝一…… 9
附：海洋開発に関する参考文献…… 9

民家の系譜と保存計画 ◆

①序　説
日本民家の系譜……浅野　清…10
②地方の民家
東部：山形県の民家……白木小三郎…10
群馬・栃木・茨城・千葉県の民家
……大河　直躬…10
中部：福井県の民家……宮沢　智士…10
近畿：滋賀県の民家……永井　規男…10
奈良県・和歌山県の民家
……伊藤　延男…10
大阪府の民家……林野　全孝…10
兵庫県の民家……多淵　敏樹…10
西部：岡山県の民家……佐藤　重夫…10
島根県の民家……白木小三郎…10
愛媛県の民家……林野　全孝…10
九州：長崎県・熊本県の民家
……青山　賢信…10
③民家の修理復原……鈴木　嘉吉…10
④民家の保存計画
妻篭宿の保存計画……太田博太郎…10
民家保存の種々相—主として都市の保存と民家集落について……伊藤　延男…10
歴史的街区の保存—奈良県今井町の場合……足達富士夫…10
スカンセンとウイリアムバーグ
……浅野　清…10
⑤民家文献目録（1966年1月以降）……10

第16回青年技術者 ◆

垣内　健男　サントリー千才工場ＰＲ室・サントリー柱工場……11
寺本　敏則　殖産相互銀行本店……11
毛利　詰夫　大沢商会大阪支店……11
藪野　宜美　京都府議会棟・豊和相互銀行別府支店……11
美濃　吉昭　ホテルプラザ・七彩工芸本社…11
青柳　司　大阪商工会議所ビルの構造計画……11
竹内美智雄　東洋ホテルの構造設計……11
北村　俊男　西本願寺無量寿堂の構造計画…11
上村　幸之　毎日放送記念会館ミリカホールのスタジオ設計……11
河野　元昭　大阪瓦斯千里地域冷暖房……11
吉田　勝彦　建築現場のパレットシステムによる運搬計画……11
小西　寿一　コンピュータによる建築積算方式の開発……11
島村　昇　新千里東町団地配置計画……11
郡山　正久　住宅地開発基本計画……11
第1回〜第15回青年建築家（青年技術者）一覧表……11

九州からの報告 ◆

居住環境の現況とその背景
—北部九州からの報告—
はじめに
①北部九州における宅地・住宅供給問題について……12
②筑豊の居住環境とその背景……12
③板付基地と都市構造……12
④住民運動の展開—福岡子ども劇場運動……12
共同執筆グループ：井波益雄・川内俊彦・口ノ町尚・鈴木雅夫・萩島哲・広岡利貞
南九州の課題と都市問題

号

—南部九州からの報告—……吉野　正治
①南九州とは何か……12
②地方都市—鹿児島の都市問題……12

技術の頁 ◆

76. 施工部門：大型プレハブ工法とシルバークール構法について……諫早　信夫… 1
77. 構造部門：超高層建築のゆれ方
……井上　豊… 2
78. 目録：技術の頁一覧表…… 3
79. 構造部門：吊屋根構造の耐風問題
……川村　純夫・木本　英爾… 4
80. 設備部門：水質と配管の腐食性について
……門井　守夫… 5
81. 設備部門：屎尿浄化槽の機構と技術基準
……種田　高己… 6
82. 設備部門：冷房の人体に及ぼす影響（その1）……小林陽太郎… 7
83. 設備部門：冷房の人体に及ぼす影響（その2）……小林陽太郎… 8
84. 設備部門：避難階段の排煙について
……恩田　一則… 8
85. 構造部門：梁貫通とその補強
……高木　正敏… 9
86. 設備部門：消防法令と火災感知器
……田中　隆夫…10
87. 施工部門：EXPO'70お祭り広場大屋根工事について……新開　信之…11
88. 材料部門：左官用セメント……日本建築協会建材委員会（担当：山田　幸一）…12

海外写真 ◆

ヴェニスの石
（ヴェネツィア　サン・マルコの壁）…… 1
煉瓦は石にとって代り得るか
（ローマ，トライアヌスのマーケット）… 2
漆喰文化
（ローマ，ヴィア・ディ・チエルキの家）… 3
壁に目あり
—パリ，ノートル・ダム，南正面バラ窓… 4
パネルの思想
—ヴェネツィア，サン・マルコの壁…… 5
都市の壁
—ミラノ，カステッロ・スフォルツェスコ… 6
以上撮影と文：福田　晴虔
過去の栄光—インド・ガンダーラの遺跡(1)
（モヘンジョダロ）…… 7
過去の栄光—インド・ガンダーラの遺跡(2)
（サンチー第一塔）…… 8
過去の栄光—インド・ガンダーラの遺跡(3)
（サンチー塔門の浮彫）…… 9
過去の栄光—インド・ガンダーラの遺跡(4)
（ウデグラム山城）……10
過去の栄光—インド・ガンダーラの遺跡(5)
（パーミヤーン石窟寺院）……11
過去の栄光—インド・ガンダーラの遺跡(6)
（ガンダクの望楼）……12
以上写真と文：西川　幸治

法令コーナー ◆

17. ご挨拶（法規委員長佐野正一）
法令相談…… 1
18. 法令相談—容積地区について(その1)… 2
19. 法令相談—容積地区について(その2)… 3
20. 建築基準法の改正要旨（参考資料：建築基準法施行令の一部を改正する政令新旧対照）…… 4
21. 法令解説—新都市計画法の開発許可制度について（概要）…… 5
22. 法令解説—消防法施行令，同施行規則の改正要旨…… 6
23. 建築基準法施行令の規定に基づく排煙設備の基準（基準の図解）…… 7

建築と社会　第50集　1969年（昭和44年）1月号—12月号　総目録

号

24. 大阪市の「容積地区内における建築物の制限の特例に関する条例」について…… 8
25. 法令相談——建築基準法施行令の一部改正に関して——…… 9
26. 法令相談…… 10
27. 法令相談——開発許可制度について…… 11
28. 法令相談——駐車場法に関して…… 12

クラスメート

44. 東京工大　昭和16，17年卒…… 1
（福田道章・都藤希八郎・岡村元二・光安義光）
45. 旧大阪市立都島工業学校　昭和6年卒… 2
（矢澤治八・田中新臣・島谷稔・鈴崎孝三・天池嘉平治・川島宙次・後藤光一・中島正治）
46. 和歌山工業　昭和10年卒…… 3
（柴崎剋一・鈴木博正・雑賀孝夫・川端繁治・仁儀善之・田淵誠也・大浦利夫）
47. 大阪市立都島工業学校　昭和9年卒…… 4
（高島理一・小谷忠義・森兼三・井上竜雄・梶田若人・梶川喬・谷口勝太郎・芥田薫・井上義男・大崎憲一・明石秀之助・浅野重弘）
48. 旧西野田工業学校　昭和10年卒…… 5
（伊藤睦・中川藤三郎・須藤昇・元木貞次・正木敏也・山本茂・河合逸郎）
49. 京大　昭年15年卒…… 6
（篠崎一郎・田中重雄・佐々木保・鈴木正己・福田朝生）
50. 島根県立工業学校修道館（現県立松江工業高等学校）明治44年～昭和11年…… 7
（高橋久治・白鹿正徳・加藤清春・永井義徳・伊藤辰夫・加茂田孝蔵・福間富義・前田篤英・古川吉太郎）
51. 東京大学　昭和10年卒…… 8
（青樹英次・元吉勇太郎・芳山保蔵・高山侃也・菅澤英夫）
52. 関西工学校（現大阪工業大学）昭和14年卒…… 9
（岡西雅也・川端正造・河野一次・玄古昌一・高橋幸蔵・古澤常三郎・山本茂）
53. 早稲田大学　昭和14，15年卒…… 10
（阿部寅次郎・小笠原祥介・奥田忠男・種村恒夫・岡野武司）
54. 福井高等工業学校　昭和8年卒…… 11
（森山盛久・上野馨・吉岡一郎・大崎寛・大西惣次）
55. 南満洲工業専門学校　昭和10～13年卒… 12
（渡辺武・松田悦一・片岡敏男・延満勝朗・小松韓逸）

建築の眼

大学の卒業制度を廃止せよ・交通事故防止について・なんとかならないか・立札とPrefabrication…… 1
建築法規について思う・チリもつもれば山となる・せめて山野に木の生えるまで・新しい街づくり・"新建材"（その1）…… 2
建築家の作風・民衆駅の便所の位置をわかり易く・世相・"新建材"（その2）…… 3
末世なるかな・もっと郵便切手に新建建築の意匠を・家相・スエーデンの皮袋…… 4
庁舎の暴力・全国の歩道橋に統一感を・物のいのち・案内図…… 5
京都の風景はまた悪くなった・駅前広場や商店街にもっと個性を・梅雨・万国博に思う…… 6
以上担当：白石博三・徳永正三・七尾健三・岡野忠美…… 1，2，3，4，5，6
万国博の雑踏対策は万全か・「機能」・あまり知られていない大手建設業者・「讃歌」…… 7
大学のマスプロ化と学舎の建設・環境・技術の進歩の中で・駅前広場を考え直す…… 8
新都市計画法と地価・感覚・建築技術センターをつくろう・建築屋の眼…… 9
新都市計画法と近郊農業・歩道橋・二つの現実・無技能労働者をどうするか…… 10
用語の乱れ・リズム・経験・万博工事の現実…… 11
色彩オンチの氾濫・形式と内容・あわただしい世・万国博の一つの功用…… 12
以上担当：野々村五四男・小菅滋夫・坂内幾男・篠田駿二…… 7，8，9，10，11，12

デザインサーベイ

生活と空間の原理—京の町内1……UDO…10
生活と空間の原理—京の町内2……UDO…11
生活と空間の原理—京の町内3……UDO…12

日本万国博建築ニュース

カナダ館・お祭り広場の大屋根・英国館・タカラビューティリオン・電力館・化学工業館・みどり館・三井グループ

号

パビリオン…… 5
ソ連館・東芝IHI館・日本万国博本部ビル・ブリテイッシュコロンビア館・日本万国博覧会会場における建築指導（伊藤四夫）…… 6
空からみた建設中の会場と各パビリオン・日本政府館・古河パビリオン・日本瓦斯協会館・せんい館・サンヨー館…… 7
万国博美術館・万国博ホール…… 8
富士グループパビリオン・住友童話館・サントリー館…… 9
ケベック館・三菱館・ニュージーランド館・オランダ館…… 10
ブルガリア館・ビルマ館・ベルギー館・自動車館…… 11
太陽の塔（生命の樹）・オーストラリア館・アメリカ館・フランス館・スカンジナビア館・チェコスロバキア館・松下館・ワコールリッカーミシン館・日立グループ館…… 12

万国博跡地開発計画

日本万国博跡地開発計画1……TEAM　BARK（奥保，小北ほか）…10
日本万国博跡地開発計画2……TEAM　BARK（奥保，小北ほか）…11
日本万国博跡地開発計画3……TEAM　BARK（奥保，小北ほか）…12

読者の頁

「建築と社会」に対する読者の声—アンケート集計結果（その2）建設工事による公害問題の現状について（加藤雄三郎）1
感性の場で（T）・明治建築土木史年表関西篇（その25）2
心にも日の丸を（安田誠一）・羽仁五郎「都市の論理の非論理」（島村昇）・明治建築土木史年表関西篇（その26）3
プレハブ配筋（金沢弘真）・建設公害の理論と補償の実例について（加藤雄三郎）・旅館ホテル関係者，宿泊者に警告（田中隆夫）…… 4
地域暖冷房はガスがよいか電気がよいか—全電化ヒートポンプ式地域暖冷房について（柳町政之助）…… 5
"「都市の論理」の非論理"（高井実）…… 6
地域冷暖房の実現について（河野元昭）・「都市の論理」をめぐって（島村）・建築設計と消火器（森本茂次）・御堂筋沿道の景観の保持について・明治建築土木史年表関西篇（その30）…… 7
尼崎市の大気汚染防止について（越智隆晴）…… 8
文化財は国民的財産です（大阪府教育委員会）・明治建築土木史年表（その31）…… 9
ヤングタウン建設計画進む・動く歩道都市計画に本格的登場・明治建築土木史年表（その32）…… 10
マンション（高層住宅）と公害問題・明治建築土木史年表（その33）…… 11
都市住宅の難しさと課題・主の平安・追悼記故政岡氏（東畑会長）・建築と技術革新・アンサンブル展・無技能労働者をどうするか・構造設計者のささやかな要求・建築設備設計期間・何かを想う…… 12

建築と社会ニュース

姫路にシルバークール工法の車庫・市街化区域の設定で都市計画中央審が答申・明治建築土木史年表（その24）…… 1
第10回"建築業協会賞"を募集・ヨーロッパ最大の"動く歩道"完成・「兵庫北摂ニュータウン」の建設構想…… 2
存亡の危機にある芝居小屋—呉服座（近藤豊）…… 3
「大阪府土地建物等規制地図集成」を刊行・1969年度「建築年鑑賞」決定・ヤマギワ国際照明器具コンペ'69・明治建築土木史年表関西篇（その27）…… 4
大阪市で機構改革・ガフ講演会とアルベール作品展・明治建築土木史年表関西篇（その28）…… 5
昭和44年一級建築士試験の施行・大阪都市計画容積地区指定・大阪府建築関係の機構改革を行なう・明治建築土木史年表関西篇（その29）…… 6
最近の公害防止計画を追って（M）・四日市公害を写真でえぐる樋口健二展…… 8

座談会（前掲）

震害パネルディスカッション…… 2
建築行政に期待するもの…… 6
公害問題をえぐる…… 8

データシート

データシートは「建築と社会」の附録としてNo.11～22まで発行。
建築データシート座談会「会員と編集委員」… 4
同　座談会「掲載会社と編集委員」…… 9
建築データシート中間総合目次…… 10

号

追悼記（前掲）

故山本　潔氏……（月間の動き欄）…… 10
故大和榮衛氏……（　〃　）…… 10
故東出清光氏……（　〃　）…… 10
故政岡基次氏……（読者の頁　欄）…… 12

参考文献（前掲）

老人とすまい参考文献と資料…… 4
建築史への招待—日本建築史参考文献…… 5
海洋開発に関する参考文献…… 9
民家文献目録（1966年1月以降）…… 10

書評

西山夘三著作集4.「建築論」—建築運動の現時点から（垂水英司）…… 6
棚橋諒編集「建築材料ハンドブック」…… 6

雑

年頭のことば……東畑　謙三… 1
本年の抱負　日本建築協会常設委員会…… 1
第50集総目録（昭和44年1月号～12月号）…… 12

会告

実務に直結した建築工事説明会・超高層建築講演会…… 1
大阪マーチャンダイズマート新築工事見学会・超高層建築講演会・実務に直結した建築工事別説明会…… 2
神戸商工貿易センタービル新築工事見学会（第1回）・創立記念日の集い・台湾建築事情視察団について…… 3
監事および本部所属評議員の選任・ご造営のなった大谷本廟と清水焼藤平窯業の見学会・第4回日本の伝統工芸を見る会・日本鋼管福山製鉄所の見学と鞆の餌網見物…… 4
定時評議員会決議お知らせ・日本万国博会場建設工事見学会・伊藤忠ビル新築工事見学会・神戸商工貿易センタービル新築工事見学会（第2回）・昭和44年度収支予算…… 5
通常総会開催通知・昭和44年度日本建築協会常設委員会委員・理事会務分掌・支部選出評議員の選任・会員の受賞・第5回日本の伝統工芸を見る会「泰山製陶所と大仏タイル工場の見学会」・大阪マーチャンダイズ・マート見学会ほか…… 6
新宮殿建設記録映画の上映と講演の会・新設のビール工場を見学する会（サントリー柱工場）・新建築研究ゼミナールと見学会（大阪三菱ビルディング新築工事・ホテルプラザ新築工事）・東京の超高層建築見学会・昭和43年度事業報告・決算報告…… 7
昭和44年度第一回若い会員の集い「日本万国博覧会の建築」・日本万国博覧会場建設工事見学会・神戸の明治建築を見る会・日本万国博建築講演会（第2回）お祭り広場について・大徳寺の茶室見学の会・修学院離宮の拝観・会館基金への寄付受領…… 9
実務に直結した建築工事別説明会（第1回）「改正消防法の施行とその必要機器について」・実務に直結した建築工事別説明会（第2回）「建築の防火材料について」・第10回関西都市住宅会議開催・日本万国博建築工事講演会（第3回）・永大の本社工場と男山団地の建設状況見学会・関西で初めて完成した超高層建築の見学会…… 10
名古屋地方の建築見学会・御影グランドハイツ新築工事の見学会…… 11
会員の受章・アデュー1969年忘年懇親会・建築6団体合同新年交礼会・大阪市都市再開発のパイオニア・第15回工高生デザインコンクール入選者…… 12

日本建築協会月間の動き

昭和43年11月分…… 1
昭和43年12月分…… 2
昭和44年1月分…… 3
昭和44年2月分…… 4
昭和44年3月分…… 5
昭和44年4月分…… 6
昭和44年5月分…… 7
昭和44年6月分…… 8
昭和44年7月分…… 9
昭和44年8月分…… 10
昭和44年9月分…… 11
昭和44年10月分…… 12

建築と社会

特集
九州からの報告

1969. VOL. 50. 12

会　　告　会員の受章・アデュー1969年忘年懇親会・第15回工高生デザインコンクール入選者・建築6団体合同新年交礼会・大阪市都市再開発のパイオニア…… 9

法令コーナー　28. 法令相談—駐車場法に関して…… 13

読者の頁　都市住宅の難しさと課題・主の平安・追悼記 ※政岡氏（東畑会長）・建築と技術革新・アンサンブル展・無技能労働者をどうするか・構造設計者のささやかな要求・建築設備の設計期間・何かを想う…… 15

日本万国博ニュース　太陽の塔（生命の樹）・オーストラリア館・アメリカ館・フランス館・スカンジナビア館・チェコスロバキア館・松下館・ワコールリッカーミシン館・日立グループ館…… 18

スケッチブック　最近竣工の新建築9点（№487～№495）…… 21

クラスメート　55. 南満洲工業専門学校（昭和10～13年卒）
（渡辺武・松田悦一・片岡敏男・延満勝朗・小松源逸）…… 23

建築の眼　担当：野々村五四男・小菅滋夫・坂内幾男・篠田駿二…… 25

第50集総目録　昭和44年1月号～12月号…… 27

海外写真　過去の栄光——インドガンダーラの遺跡6（ガンダクの望楼）
……写真と文：西川　幸治… 33

作品作風　東洋ホテル……設計施工：KK　大林組… 75
九州の新建築：久留米市民会館，福岡相互銀行大名支店，西鉄グランドホテル，熊本県医師会館，熊本県庁舎，熊本市民会館，親和銀行本店他76点…… 34

特集＝＝九州からの報告

居住環境の現況とその背景—北部九州からの報告— …… 51
井波益雄・川内俊彦・ロノ町尚・鈴木雅夫・萩島哲・広岡利貞

はじめに …… 52
1 北部九州における宅地・住宅供給問題について …… 54
2 筑豊の居住環境とその背景 …… 57
3 板付基地と都市構造 …… 60
4 住民運動の展開—福岡子ども劇場運動 …… 64

南九州の課題と都市問題—南部九州からの報告—……吉野　正治… 66
1 南九州とは何か …… 66
2 地方都市・鹿児島の都市問題 …… 69

技術の頁　88. 左官用セメント……日本建築協会建材委員会(担当：山田　幸一)… 72
生活と空間の原理　—京の町内3—……U D O… 83
日本万国博跡地開発計画3……TEAM・BARK（奥保，小北ほか）… 87
月報　日本建築協会月間の動き（昭和44年10月分）…… 91

編集人　松井昭光
印刷　昭和44年12月20日
発行　昭和44年12月25日
発行人　福中定三郎
発行所　(社)日本建築協会
大阪市東区北浜3—37
電 大阪231—9648
振替口座 大阪39975

印刷者　網野栄
印刷所　(株)研文社
大阪市北区堂山町66
電 大阪361—2091
売価　1部　300円・送料共

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 山田崇雄

KENTIKU TO SHAKAI No.12 Vol. 50, December 1969

(Architecture and Society)

A Journal of "The Architectural Association of Japan"

Cover design: T. Yamada

Editor: *Akimitsu Matsui*
Publisher: *Teisaburo Fukunaka*
Published by
The Architectural Association of Japan
37, 3-chome, Kitahama, Higashi-ku, Osaka, Japan
Price: *single copy price* ¥*300*

CONTENTS

Column for Laws & Ordinances about Architecture ····· 13
Column for Readers ····· 15
EXPO '70 Architectural News ····· 18
Column of New Buildings ····· 21
Class-mates ····· 23
Essayes ("Kentiku no Me") ····· 25 — by *Ishio Nonomura, Shigeo Kosuge, Ikuo Sakauchi, & Shunji Shinoda*
50th Consolidated Index ····· 27
Photograph: A Past Glory–Gandhara Ruins of India ····· 33 — Photo: *Koji Nishikawa*

WORKS OF NEW ARCHITECTURE ASSESSED

Hotel Toyo ····· 75 — Design & Construction: Obayasi Gumi Co.,Ltd.
New Architecture of The Kyushu Region ····· 34

SPECIAL FEATURE=REPORT FROM KYUSHU

Present Condition and Background of living Environment—Report from Northern Kyushu ····· 51 — by *M.Iba, T.Kawauchi, H.Kunomachi M.Suzuki, T.Hagisima, & T.Hirooka*

Preface ····· 52
[1] Concerning house-lot and housing supply problem of Northern Kyushu ····· 54
[2] Living environment and its background of Chikuho Area ····· 57
[3] Itazuke Air Base and Urban Structure ····· 60
[4] Inhabitants Movement Development-Fukuoka Children Theater Movement ····· 64
SOUTH KYUSHU's Theme and Urban Problem—Report from Southern Kyushu ····· 66 — by *M.Yoshino*
[1] What is SOUTH KYUSHU's for us ····· 66
[2] Municipal Problems of local City "KAGOSHIMA" ····· 69

COLUMN OF ENGINEERING

88. Cement for Plaster Use ····· 72 — by *Koichi Yamada*

A Design Survey In Kyoto (3) ····· 83 — by *U D O*
Redevelopment of EXPO '70 Site(3) ····· 87 — by *TEAM BARK*

BULLETIN ····· 9, 91



海外写真

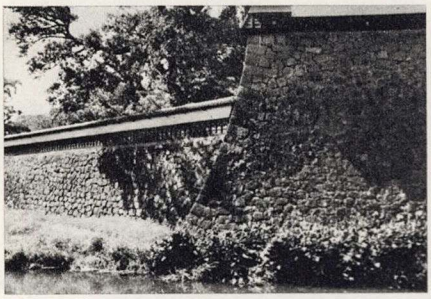
写真と文　西川幸治

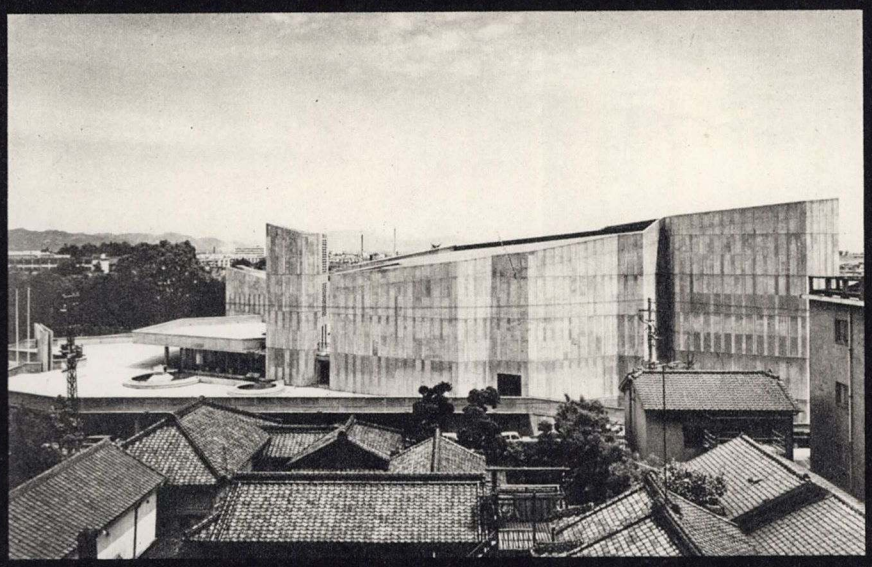
過去の栄光　インド・ガンダーラの遺跡 6

ガンダクの望楼

ガンダクの望楼はバーミヤーンに達するゴルバンド渓谷にたつ多数の城塞や望楼の一つである。その意匠や内部構造には西方イランの影響がつよい。四周を高峻な山脈でかこまれた要所に堅固な要害と望楼を設け、平安を保持することにつとめ、ながく独自の文化を形成してきたのである。

九州の新建築





南側外観

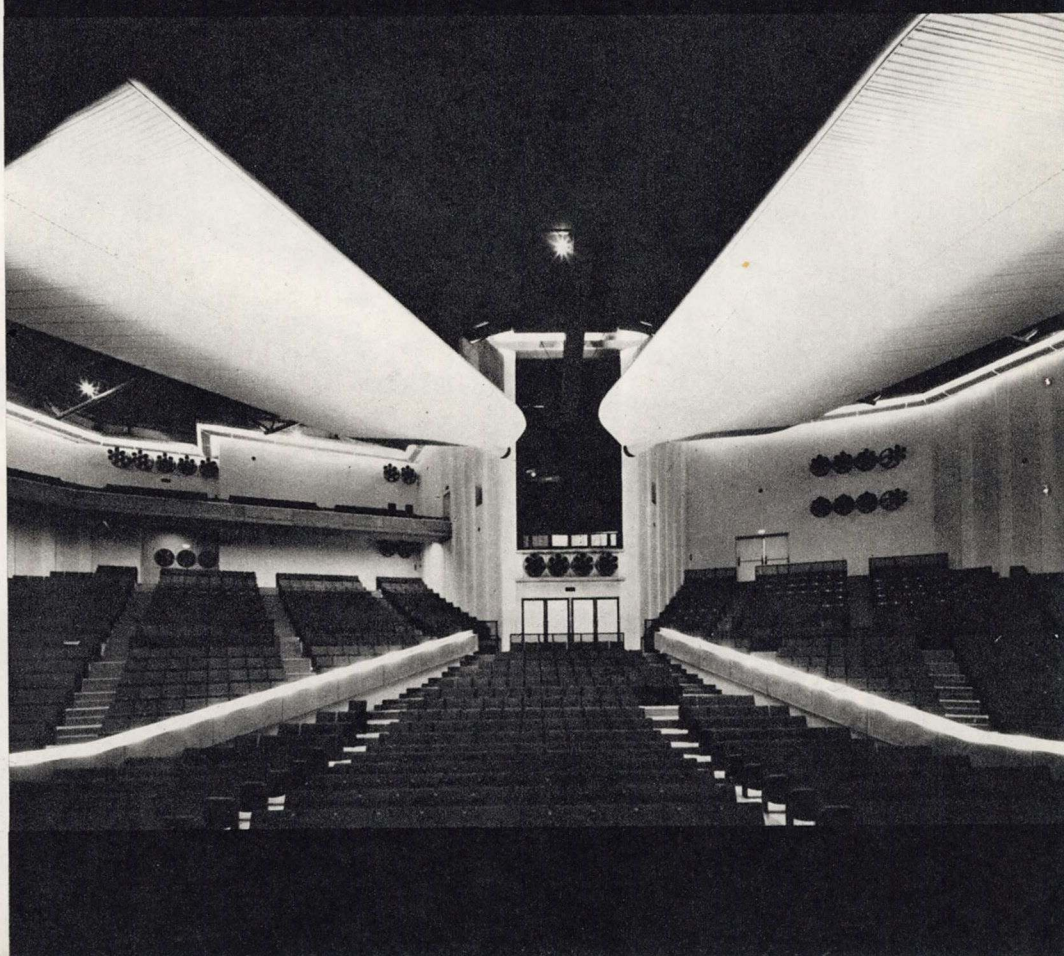
久留米市民会館

設計　久留米市民会館設計グループ
　　菊竹清訓建築設計事務所
構造　三島建築設計事務所
施工　戸田建設株式会社

所在地　福岡県久留米市両替町70－3
敷地面積　7,550m²
構造規模　RC造、一部屋根S造
　　4階建
建築面積　4,560m²
延面積　6,303m²
客席　固定席　1,297席
　　移動席　203席
工期　1967年9月－1969年3月

大ホール内部

可動音響反射板の操作により集会規模は 1,500名、 900名、700名、600名、400名、300名という6通りの開催が可能となる。



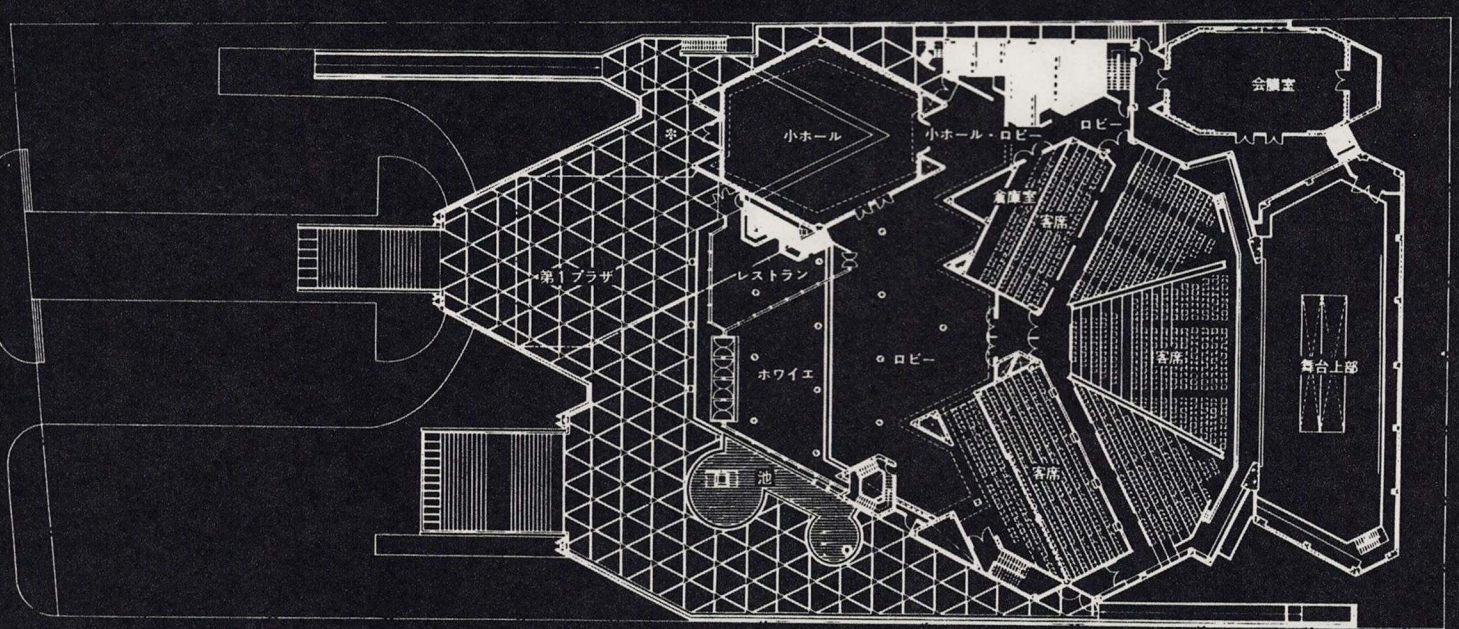
去る9月下旬に、作品作風小委員会のメンバーは、4班に分れて、それぞれ、3日間ないし4日間にわたって、九州の福岡、大分、熊本、宮崎、鹿児島、長崎、佐賀の各県下の最近1・2年間に竣工した新建築を調査して廻った。今回のこの「九州の新建築」調査は、以前の「四国の新建築」調査(昭和42年10月号集録)および「東海の新建築」調査（昭和44年3月号集録）につづく第3回目の試みである。

あらかじめ、関係者にあたってリストアップした新建築の資料をもとに、調査した新建築数は約 200点に及んだが、作品作風小委員会で選定して、そのうち80数点をここに紹介することとした。予算と紙面の都合上、ずいぶん制約された掲載の仕方しかできなかったのは残念であるが、これにより最近の九州の新建築の傾向を一応知ることができよう。短時日の調査のため、もとより調査もれの優秀な新建築があるかも知れないが、この点はご了承ねがいたい。写真は関係者よりの提供のものと委員が撮影してきたものとを使用した。この企画ならびに調査にあたって、九州各県下の官公庁、設計事務所、建設会社、本会九州支部などのご協力をえたことを感謝します。

作品作風小委員会メンバー(順不同)：寺嶋繁久・青木亮・遠藤毅・遠藤良介・尾崎勝弘・近藤繁・橋本健治・森秋孝・山口哲夫・星野三雄。（事務局＝松井・竹添）

写真撮影：村井修

正面外観



2 階平面

福岡相互銀行大名支店

設　計　磯崎新アトリエ（代表者：磯崎新）
施　工　株式会社　大林組



夕日に映る外観



外観

屋根　ネオルーヒング貼（銀色）
窓　アルミサッシュ、アルミパネル貼り



1階営業室内部

所在地　福岡県福岡市天神2丁目
建築面積　393.55m²
延面積　777.54m²
軒高　10.5m
最高　10.5m
構造規模　RC造、3階建
工期　昭和43年7月～44年3月

西鉄グランドホテル

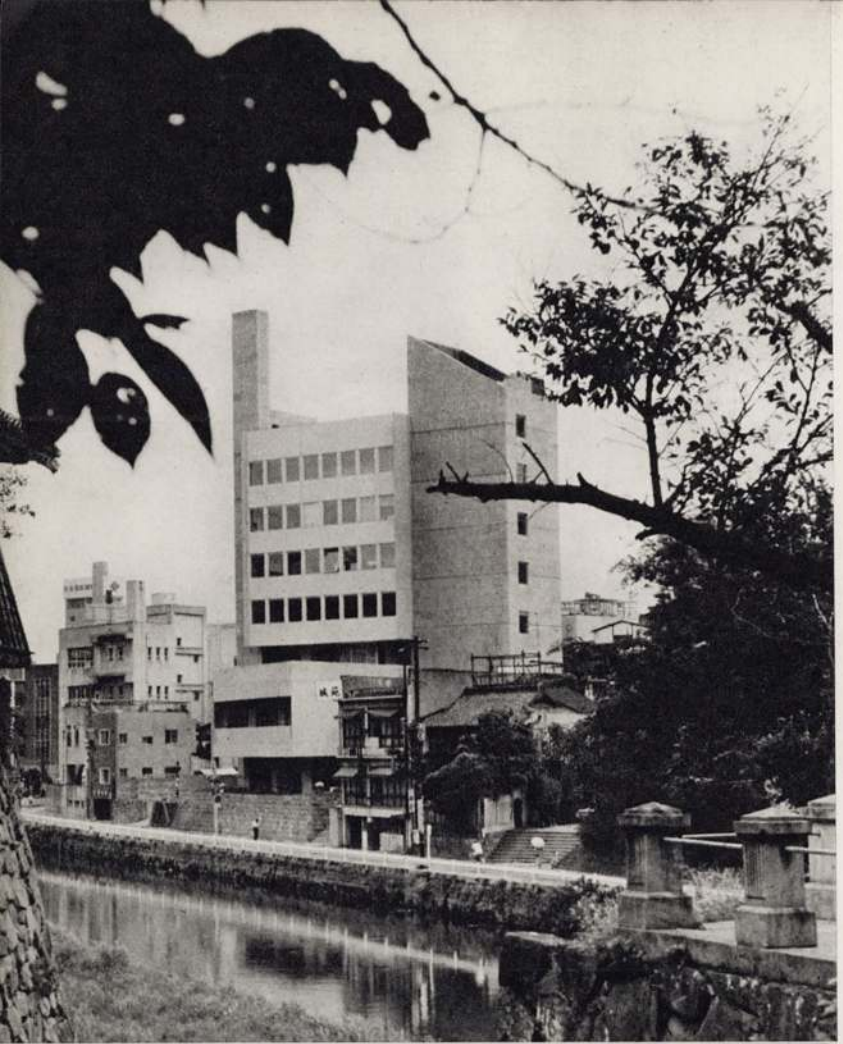
設計監理　浦辺建築事務所
施　　工　鹿島建設ＫＫ

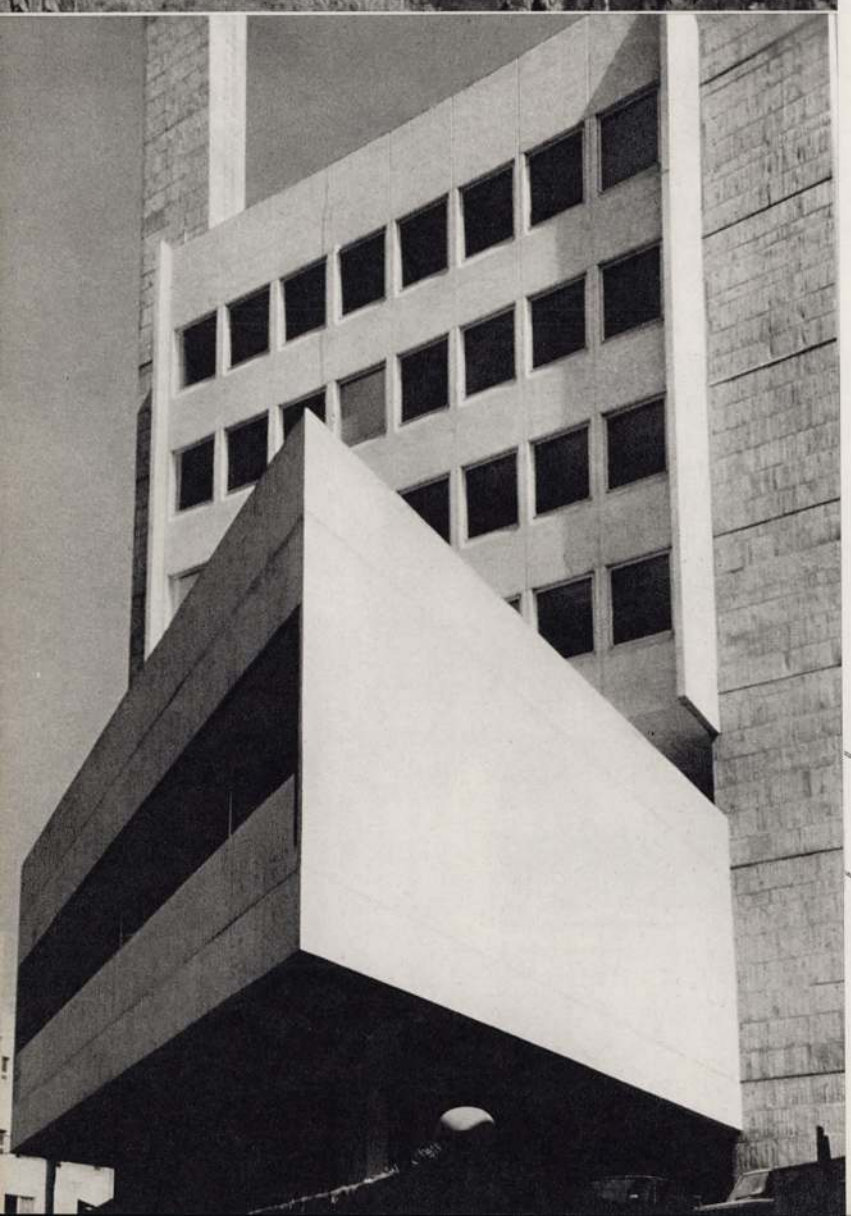




所 在 地　福岡市大名
構造規模　高層部　Ｓ造、ＳＲＣ造
　　低層部　ＲＣ造
　　地上14階、地下１階
建築面積　3,546m²
延 面 積　21,342m²
工　　期　1967年10月～1969年４月
外　　壁　１～２Ｆ　モルタル、ボンタイル吹付
　　柱型コンクリート打放シ、
　　ボンタイル吹付
　　３～13Ｆ　ＰＣ版カーテンウオール、
　　ボンタイル吹付
　　14Ｆ　キャスト、アルミ、ジュラクロン焼付
ルーム窓　エルミン窓(ブロンズペーン)
ロビー　床　変形ゴムタイル
　　巾木　ゴム巾木
　　壁　プラスターコルク撒ペンキ
　　天井　ミクライトＡＰ吹付

写真撮影＝二川幸夫

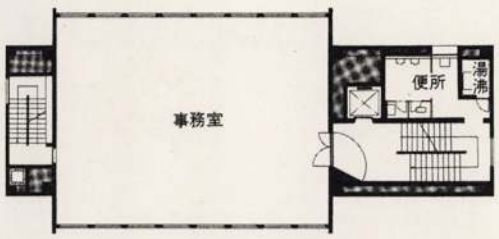




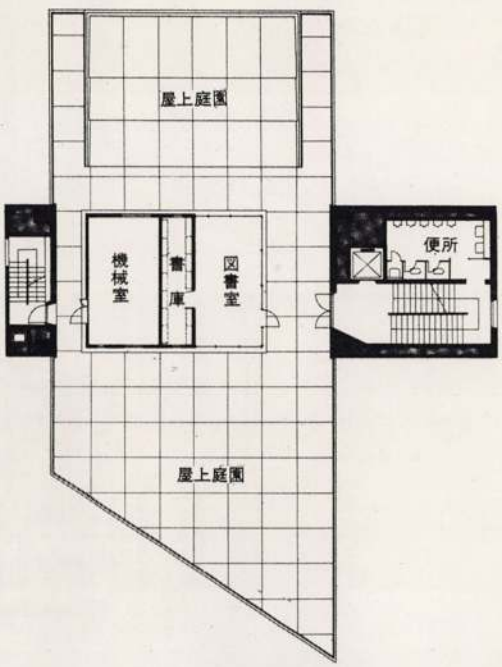
熊本県医師会館

設計監理　坂倉準三建築研究所
施　　工　鹿島建設ＫＫ

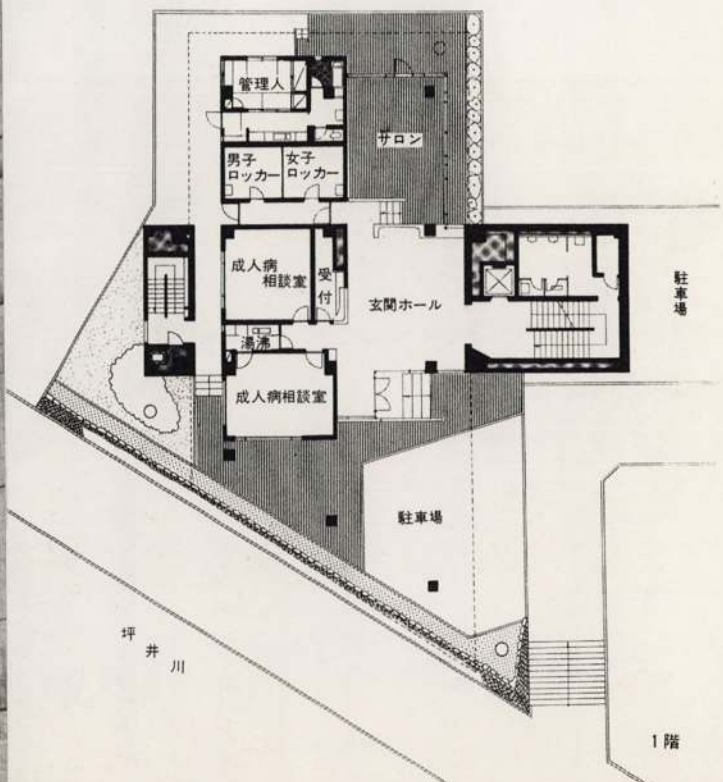
所 在 地　熊本市花畑町１番13号
構造規模　ＲＣ造、地下１階、地上７階
建築面積　498.44m²
延 面 積　2,165.98m²
工　　期　昭和42年８月～43年８月



4～7階



3階



1階

熊本県庁舎

設計監理　ＫＫ久米建築事務所
施　　工　鹿島建設ＫＫ

所 在 地　熊本市出水町
敷地面積　70,361m²
構造規模
　事務棟　ＳＲＣ造、地下２階、地上13階、塔屋１階
　議会棟　ＲＣ造、地下１階、地上３階
　車庫棟　ＲＣ造、１階
床 面 積　事務棟　38,643m²
　議会棟　5,218m²
　車庫棟　2,359m²
　計　46,550m²
高　　さ　事務棟　軒高47.55m、最高51m
工　　期　昭和40年８月～42年２月



熊本市民会館

設　　計　佐藤武夫設計事務所
施　　工　大成建設ＫＫ

所 在 地　熊本市桜町１－１
敷地面積　6,658.839m²
構造規模　ホール棟　ＲＣ造地下１階地上４階
　会 議 棟　ＲＣ造地下１階地上２階
建築面積　4,408.177m²
延 面 積　9,015.444m²
座 席 数　固定席 1,826席
工　　期　昭和41年４月～43年１月

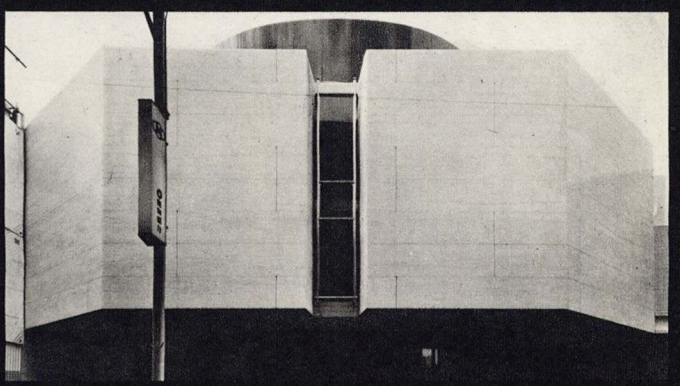


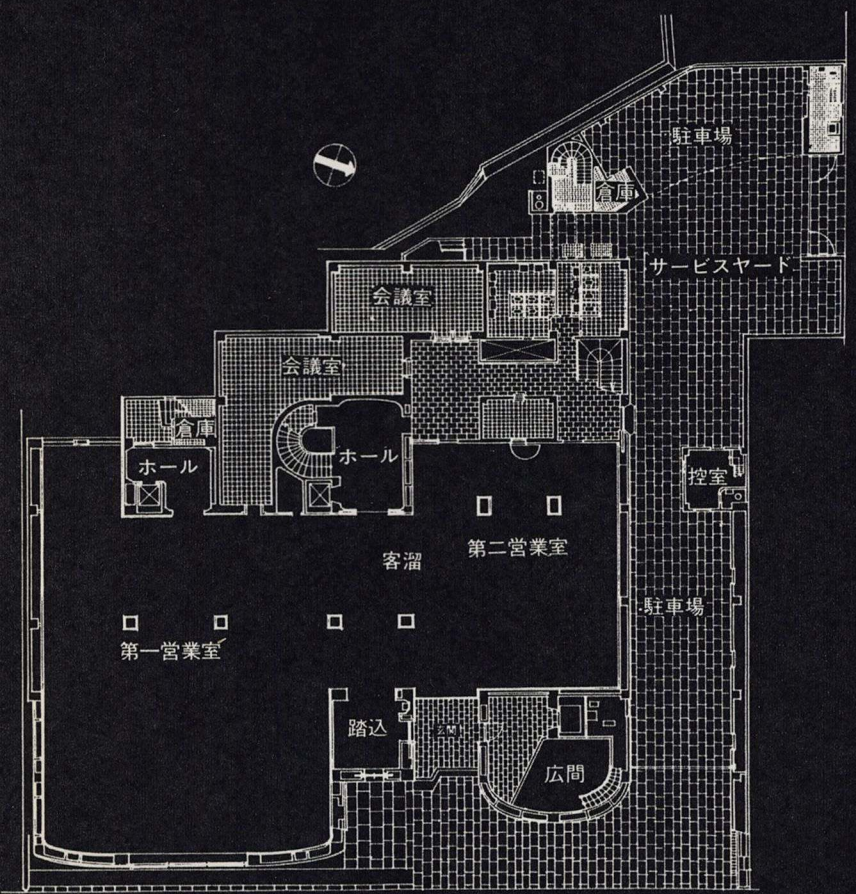


親和銀行本店

設計　白井晟一研究所
施工　ＫＫ竹中工務店

所在地　長崎県佐世保市島瀬町10番12号
敷地面積　3,065m²
建築面積　2,069m²
延床面積　9,384m²
構造規模　ＲＣ造一部Ｓ造、地下２階
　　地上６階、塔屋２階
高　さ　21.7m　塔屋高さ26.9m
工　期　昭和41年３月～44年５月





1階平面





A．諫早市体育館

設　　計　三座建築事務所
施　　工　ＫＫ松村組
所 在 地　諫早市原口名776の6
建築面積　2,362.4m²
延 面 積　4,665.7m²
構造規模　ＳＲＣ造、５Ｆ
工　　期　昭和42年５月～昭和43年６月

B．聖カトリック教会

設　　計　高田建築事務所
施　　工　鉄川工務店
所 在 地　長崎市音無町９－34
建築面積　764.848m²
延 面 積　719.137m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１・１Ｆ
工　　期　昭和43年７月～昭和44年３月

C．浦頭カトリック教会

設計施工　清水建設ＫＫ
所 在 地　長崎市下五島福江市平蔵町2715
建築面積　336.585m²
延 面 積　400.930m²
構造規模　ＲＣ造、２Ｆ・ＰＨ２Ｆ
工　　期　昭和42年８月～昭和43年４月

D．雲仙ホテル新館

設　　計　日建設計工務ＫＫ
施　　工　ＫＫ間組
所 在 地　長崎県南来郡小浜町雲仙
建築面積　620.098m²
延 面 積　3,646.093m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１・５Ｆ
工　　期　昭和43年２月～昭和43年10月

E．有明ホテル

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　長崎県雲仙
建築面積　3,028m²
延 面 積　8,591m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１・５Ｆ・ＰＨ１
工　　期　昭和42年12月～昭和43年12月

F．裁判所大村支部

設　　計　九州地方建設局
施　　工　長崎上滝建設ＫＫ
所 在 地　大村市東本町237
延 面 積　1,229m²
構造規模　ＲＣ造、２Ｆ
工　　期　昭和43年７月～昭和44年３月

G．十八銀行本店

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　長崎市銅座町１の11
建築面積　1,698.790m²
延 面 積　13,039.493m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１・10Ｆ
工　　期　昭和42年７月～昭和44年６月

H．浜玉中学校

設　　計　光吉研究室
施　　工　大成建設ＫＫ
所 在 地　佐賀県東松浦郡浜玉町
建築面積　2,459m²
延 面 積　6,034m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ・ＰＨ
工　　期　昭和42年９月～昭和43年８月

I．福岡銀行唐津支店

設　　計　ＫＫ　松田設計事務所
施　　工　ＫＫ　間組
所 在 地　唐津市大名小路
建築面積　414m²
延 面 積　626m²
構造規模　ＲＣ造、２Ｆ
工　　期　昭和42年12月～昭和43年７月

〈長崎県・佐賀県〉

（長崎・諫早その他）（唐津・松浦郡）



▲A

▼C



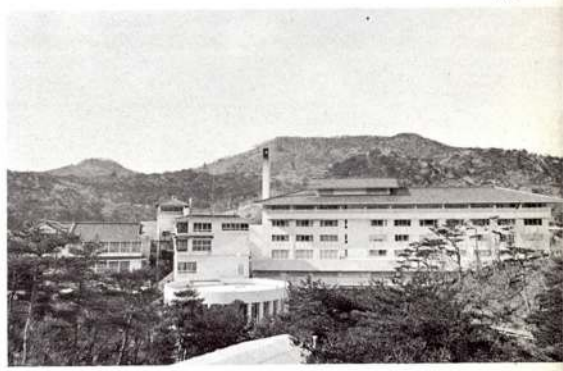
▲B



▼E



▲D



▼H



▲F　▼G



▼I







▲A



▲B



▲C

A．電気ビル新館

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　福岡市渡辺通２
建築面積　2,848m²
延 面 積　46,818m²
構造規模　S'ＲＣ造、Ｂ４・12Ｆ・ＰＨ４Ｆ
工　　期　昭和41年10月～昭和43年９月

B．福岡管区気象台

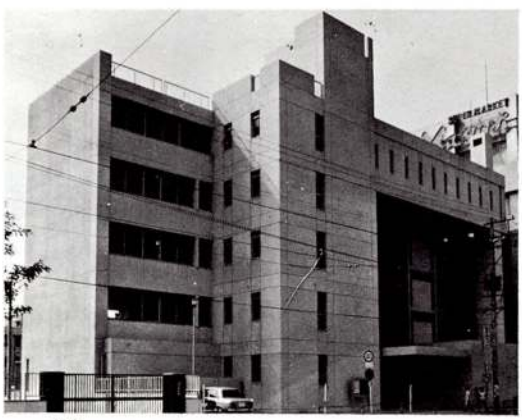
設　　計　九州地方建設局
施　　工　ＫＫ間組
所 在 地　福岡市大濠１丁目２の２
建築面積　1,062m²
延 面 積　4,287m²
構造規模　ＲＣ造、４Ｆ・ＰＨ１Ｆ
工　　期　昭和42年６月～昭和43年３月

C．新天町商店街

設　　計　松田設計事務所、三島建築設計事務所
施　　工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　福岡市天神２－26
建築面積　2,157m²
延 面 積　12,395m²
構造規模　ＳＲＣ造、Ｂ１・５Ｆ
工　　期　昭和43年６月～昭和44年５月



▲D



▲E

D．福岡高等地方簡易裁判所合同庁舎

設　　計　最高裁判所事務総局経理課
施　　工　大成建設ＫＫ
所 在 地　福岡市城内１－１
建築面積　3,691m²
延 面 積　21,131m²
構造規模　ＲＣ造一部ＳＲＣ造、
　　Ｂ１・６Ｆ・ＰＨ２Ｆ
工　　期　昭和40年７月～昭和44年２月



▲F



▲G

E．福岡市立青年センター

設　　計　那ノ津・寿建築研究所
施　　工　ＫＫ高松組
所 在 地　福岡市大名２－382
建築面積　442.78m²
延 面 積　1,702.94m²
構造規模　ＲＣ造、５Ｆ
工　　期　昭和42年12月～昭和43年９月

F．朝日ビール九州支店

設計施行　鹿島建設ＫＫ
所 在 地　福岡市中島町４の11の１
建築面積　930.67m²
延 面 積　2,550.99m²
構造規模　ＲＣ造、４Ｆ
工　　期　昭和42年６月～昭和43年２月

G．ヤマエ商事ＫＫ本社

設　　計　日建設計工務ＫＫ
施　　工　ＫＫ間組
所 在 地　福岡市比恵町295の１
建築面積　708.29m²
延 面 積　2,825.52m²
構造規模　ＲＣ造、５Ｆ・ＰＨ２Ｆ
工　　期　昭和42年９月～昭和43年６月

▼H



H．三信会原病院

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　福岡市大博町
建築面積　491m²
延 面 積　2,102m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１・４Ｆ・ＰＨ１Ｆ
工　　期　昭和42年６月～昭和43年12月

〈福岡市〉

Ⅰ．住友生命福岡ビル

設　　計　日建設計工務ＫＫ
施　　工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　福岡市天神町
建築面積　1,333m²
延 面 積　12,258m²
構造規模　ＳＲＣ造、Ｂ２・８Ｆ・ＰＨ４Ｆ
工　　期　昭和42年７月～昭和43年12月



▲Ⅰ

Ｊ．福岡県モーターボート会館

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　福岡市
建築面積　468m²
延 面 積　1,826m²
構造規模　ＲＣ造、４Ｆ・ＰＨ２Ｆ
工　　期　昭和43年12月～昭和44年７月



▲Ｊ

Ｋ．日本住宅公団長住市街地住宅

設　　計　松田設計事務所
施　　工　日産建設ＫＫ
所 在 地　福岡市長住
建築面積　1,200m²
延 面 積　7,714m²
構造規模　ＲＣ造、７Ｆ
工　　期　昭和43年１月～昭和44年３月



▲Ｋ

Ｌ．福岡地方合同庁舎

設　　計　九州地方建設局
施　　工　ＫＫ大林組
所 在 地　福岡市中比恵町
建築面積　4,324.19m²
延 面 積　30,863m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１・８Ｆ
工　　期　昭和41年２月～昭和43年10月



▲Ｌ

Ｍ．福岡市農協ビル

設　　計　ＫＫ石本建築事務所
施　　工　ＫＫ守谷組
所 在 地　福岡市天神
建築面積　992m²
延 面 積　3,796m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１・４Ｆ
工　　期　昭和43年２月～昭和43年11月



▲Ｍ

Ｎ．九州松下電器厚生会館

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　福岡市
建築面積　1,509m²
延 面 積　4,279m²
構造規模　ＲＣ造及びＳ造、３Ｆ
工　　期　昭和42年９月～昭和43年４月



▲Ｎ

Ｏ．福岡空港ビルディング

設　　計　ＫＫ梓建築事務所
施　　工　大成建設ＫＫ
所 在 地　福岡市大字上臼井板付
建築面積　5,120m²
延 面 積　17,329m²
構造規模　Ｓ造一部ＲＣ造、４Ｆ一部Ｂ
工　　期　昭和42年10月～昭和44年５月



▲Ｏ



▲Ｐ

▼Ｑ

Ｐ．西日本相互銀行本店

設　　計　日建設計工務ＫＫ
施　　工　清水建設ＫＫ
所 在 地　福岡市博多駅前１－３
建築面積　2,272.87m²
延 面 積　24,797.2m²
構造規模　ＳＲＣ造、Ｂ２・13Ｆ
工　　期　昭和41年５月～昭和43年３月

Ｑ．日本長期信用銀行平和町社宅

設　　計　日建設計工務ＫＫ
施　　工　清水建設ＫＫ
所 在 地　福岡市平和１丁目23番50号
建築面積　432.4m²
延 面 積　1,150.9m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　昭和43年８月～昭和44年３月



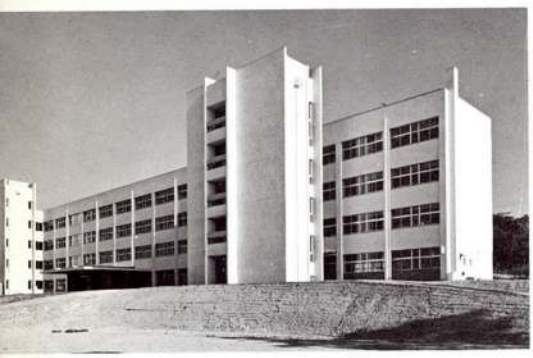
〈福岡市〉



▲A



▲B



▲C



▲D

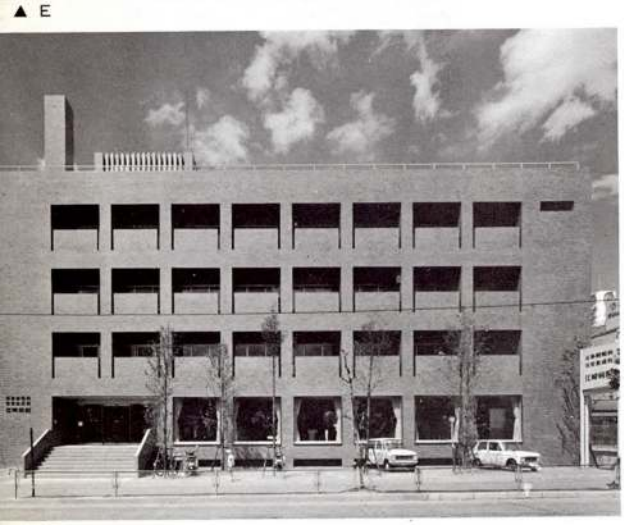


▲E



▼H

▲F



▲G

▼I



▼J





A．聖マリア病院本館

設　　計　三島建築設計事務所
施　　工　戸田建設ＫＫ
所 在 地　久留米市津福本町
建築面積　2,014m²
延 面 積　3,808m²
構造規模　ＲＣ造、２Ｆ
工　　期　昭和42年５月～昭和43年10月

B．久留米大学医学部図書館

設　　計　松田設計事務所
施　　工　戸田建設ＫＫ
所 在 地　久留米市旭町
建築面積　1,115m²
延 面 積　2,787m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　昭和42年６月～昭和43年６月

C．久留米大学附設高校本館

設　　計　三島建築設計事務所
施　　工　戸田建設ＫＫ
所 在 地　久留米市野中町23の12
建築面積　1,147m²
延 面 積　4,366m²
構造規模　ＲＣ造、４Ｆ
工　　期　昭和42年６月～昭和43年７月

D．久留米信愛女学院短期大学

設　　計　三島建築設計事務所
施　　工　戸田建設ＫＫ
所 在 地　久留米市御井町2278の１
建築面積　1,677m²
延 面 積　3,229m²
構造規模　ＲＣ造、５Ｆ
工　　期　昭和42年６月～昭和43年２月

E．久留米商工会館

設　　計　三島建築設計事務所
施　　工　安藤建設ＫＫ
所 在 地　久留米市篠山町３の２
建築面積　789m²
延 面 積　4,700m²
構造規模　ＲＣ造、５Ｆ
工　　期　昭和41年11月～昭和43年５月

F．法霑寺

設　　計　長谷川浩平
施　　工　大成建設ＫＫ
所 在 地　北九州市八幡区帆柱町２
建築面積　231.2m²
延 面 積　650.95m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　昭和41年10月～昭和42年８月

G．江崎病院

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　北九州市黒崎
建築面積　376m²
延 面 積　1,802m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１・４Ｆ・ＰＨ１Ｆ
工　　期　昭和42年12月～昭和43年７月

H．立花町体育館

設　　計　菊竹清訓建築設計事務所
施　　工　ＫＫ間組
所 在 地　八女郡立花町谷川
建築面積　1,892.88m²
延 面 積　2,540.88m²
構造規模　ＲＣ造、屋根Ｓ造、２Ｆ
工　　期　昭和42年３月～昭和42年９月

I．キリンビール福岡工場

設　　計　三菱地所ＫＫ
施　　工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　甘木市大字馬田字中原
延 面 積　6,047m²
構造規模　ＲＣ造及びＳ造、１Ｆ
工　　期　昭和43年５月～昭和44年３月

J．九州カンツリークラブ・ハウス

設　　計　ＫＫ一粒社ヴォーリズ建築事務所
施　　工　ＫＫ吉弘工務店
所 在 地　筑紫郡才野町手頭
建築面積　945m²
延 面 積　1,412m²
構造規模　ＲＣ造、２Ｆ一部Ｂ１
工　　期　昭和43年５月～昭和44年１月

〈福岡県〉　（久留米・北九州・甘木・その他）

A．津村本店ビルリバーサイドホテル

設　　計　梶原建築事務所
施　　工　岡崎工業ＫＫ
所 在 地　宮崎市川原町１－18
建築面積　222.17m²
延 面 積　1,519.59m²
構造規模　ＲＣ造、７Ｆ
工　　期　昭和43年２月～昭和43年９月

B．なるみ

設計施工　太田建設ＫＫ
所 在 地　別府市鶴見字砂原115－1
建築面積　2,200m²
延 面 積　4,800m²
構造規模　Ｗ造及びＲＣ造、２Ｆ
工　　期　昭和41年９月～昭和42年９月

C．宮崎県宮崎総合庁舎

設　　計　日建設計工務ＫＫ
施　　工　ＫＫ熊谷組
所 在 地　宮崎市橘通東１の45
建築面積　2,068m²
延 面 積　8,236m²
構造規模　ＳＲＣ造、Ｂ２・６Ｆ
工　　期　昭和43年２月～昭和44年４月

D．ホテル児玉

設　　計　草野建築事務所
施　　工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　別府市鶴見字砂原106
建築面積　3,197m²
延 面 積　11,237m²
構造規模　ＳＲＣ造、Ｂ1・10Ｆ・ＰＨ3Ｆ
工　　期　昭和41年11月～昭和43年７月

E．錦水園レヂャーセンター

設計施工　清水建設ＫＫ
所 在 地　別府市大字別府字中間
建築面積　3,694.823m²
延 面 積　8,688.573m²
構造規模　ＲＣ造及びＳ造、３Ｆ・ＰＨ１Ｆ
工　　期　昭和43年７月～昭和44年２月

F．農林中央金庫宮崎支所

設　　計　三菱地所ＫＫ
施　　工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　宮崎市橘通東４－２－２
建築面積　796m²
延 面 積　1,711.9m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ・ＰＨ１Ｆ
工　　期　昭和43年１月～昭和43年10月

G．日南簡易保険保養センター

設　　計　山田守建築事務所
施　　工　西松建設ＫＫ
所 在 地　日南市大字平山
建築面積　1,873m²
延 面 積　3,465m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　昭和42年10月～昭和44年１月

H．公立学校共済組合別府保養所 豊泉荘

設　　計　梓建築事務所
施　　工　ＫＫ佐藤組
所 在 地　別府市青山町５の73
建築面積　1,722.53m²
延 面 積　4,185.55m²
構造規模　ＲＣ造、５Ｆ
工　　期　昭和42年５月～昭和43年５月

I．宮崎航空大学校

設　　計　九州地方建設局
施　　工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　宮崎市赤江飛江田
建築面積　1,935m²
延 面 積　3,480m²
構造規模　ＲＣ造及びＳ造、３Ｆ・ＰＨ１Ｆ
工　　期　昭和42年12月～昭和43年７月

〈大分県・宮崎県〉


▲A


▲B


▲C



▲D



▲E

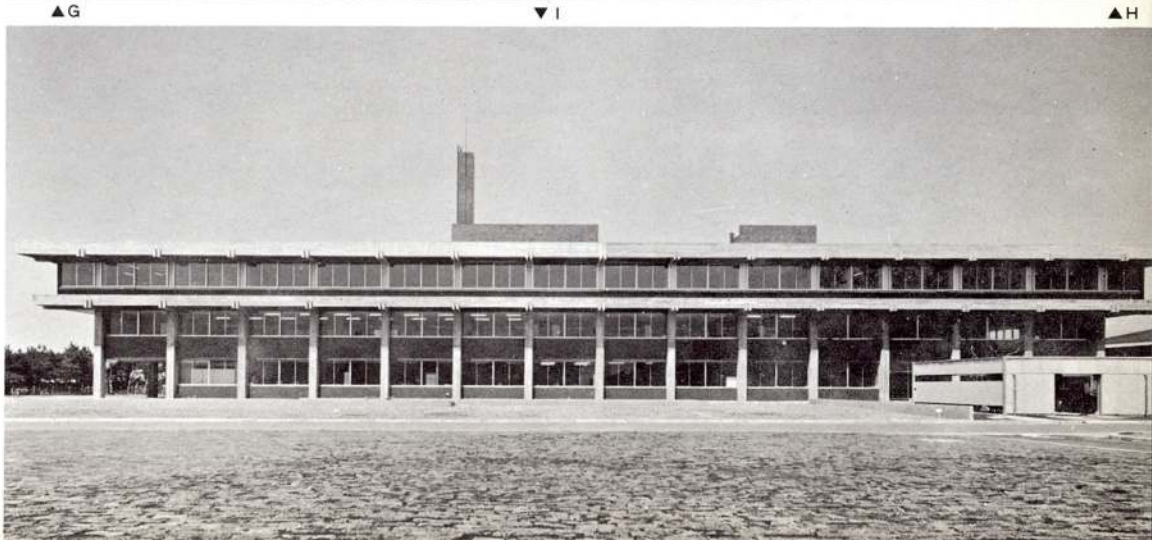


▲F


▲G

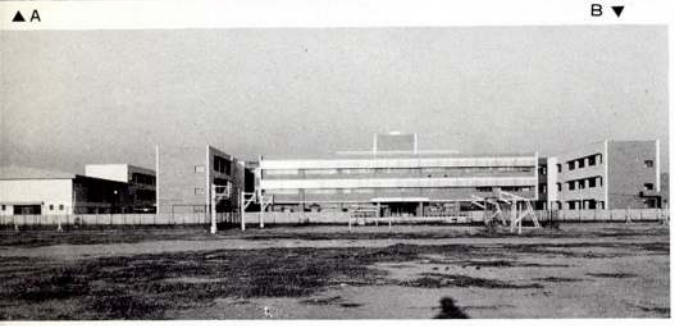
▼I


▲H

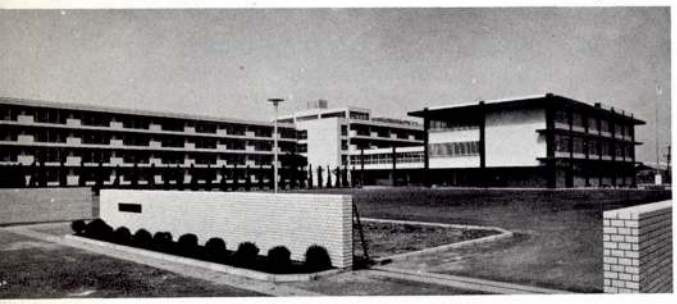




▲A　　B▼　　C▼



D▼



▼E

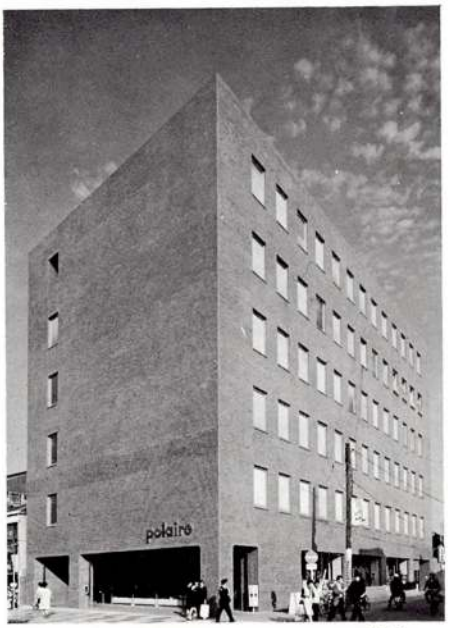


F▼





▲G　　▼H



I▼





A．九州産業交通熊本交通センター

設　　計　石本建築事務所
施　　工　三井建設ＫＫ
所 在 地　熊本市桜町３の10
建築面積　6,772m²
延 面 積　25,758m²
構造規模　ＳＲＣ造、Ｂ１・７Ｆ
工　　期　昭和42年10月～昭和44年３月

B．熊本県立熊本盤学校

設　　計　日建設計工務ＫＫ
施　　工　ＫＫ岩永組、工藤建設ＫＫ
　　ＫＫ熊本金子組
所 在 地　熊本市東町
建築面積　6,386.58m²
延 面 積　12,511.3m²
構造規模　管理棟ＲＣ造３Ｆ、小学年棟ＲＣ造３Ｆ、中高年棟ＲＣ造３Ｆ
工　　期　昭和43年12月～昭和44年９月

C．千歳旅館

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　熊本市京町１－56
建築面積　427m²
延 面 積　1,801m²
構造規模　ＲＣ造及びW造、Ｂ１・５Ｆ　ＰＨ１Ｆ
工　　期　昭和42年12月～昭和43年９月

D．熊本税務大学校

設　　計　九州地方建設局
施　　工　佐藤工業ＫＫ、三井建設ＫＫ
所 在 地　熊本市東本町13の２
建築面積　学校4,458m²、寄宿舎1,617m²
延 面 積　6,599m²
構造規模　学校ＲＣ造、３Ｆ、寄宿舎ＲＣ造、４Ｆ
工　　期　昭和43年７月～昭和44年３月

E．熊本県警察学校

設　　計　九州地方建設局
施　　工　建吉組
所 在 地　熊本市大江町渡鹿
建築面積　1,491m²
延 面 積　4,733m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　昭和42年12月～昭和44年３月

F．安田ビル

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　熊本市下通り１－12－27
建築面積　502m²
延 面 積　3,252m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１・６Ｆ・ＰＨ２Ｆ
工　　期　昭和42年10月～昭和43年９月

G．熊本県知事公舎

設　　計　久米建築事務所
施　　工　増永組
所 在 地　熊本市水前寺本町
建築面積　423.02m²
延 面 積　293.97m²
構造規模　ＲＣ造、１Ｆ
工　　期　昭和43年８月～昭和44年３月

H．熊本商科大学体育館

設　　計　日建設計工務ＫＫ
施　　工　ＫＫ小竹組
所 在 地　熊本市大江２丁目
建築面積　2,487.45m²
延 面 積　4,728.11m²
構造規模　ＲＣ造、２Ｆ
工　　期　昭和43年９月～昭和44年６月

I．熊本電話局

設　　計　日本電信電話公社建築局
施　　工　清水建設ＫＫ
所 在 地　熊本市花畑町82番地
建築面積　1,291m²
延 面 積　9,295m²
構造規模　ＳＲＣ造、B2･8F
工　　期　昭和40年５月～昭和42年３月

〈熊本市〉

J．熊本県立第二高等学校

設　　計　連合設計社市ケ谷建築事務所
施　　工　増永組
所 在 地　熊本市東町
建築面積　5,412m²
延 面 積　11,358m²
構造規模　ＲＣ造、４Ｆ一部３Ｆ及び
　　体育館Ｓ造、１Ｆ
工　　期　昭和42年８月～昭和44年３月

K．文建ビル

設　　計　建築設計事務所文化建築社
施　　工　ＫＫ酒井建設
所 在 地　熊本市出水町今901の10
建築面積　242.721m²
延 面 積　948.0m²
構造規模　ＳＲＣ造、４Ｆ一部１Ｆ・ＰＨ２Ｆ
工　　期　昭和44年２月～昭和44年８月

L．宇土市立宇土小学校

設　　計　宇土市建築課
施　　工　西松建設ＫＫ
所 在 地　宇土市
建築面積　532m²
延 面 積　1,598m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　昭和42年９月～昭和43年５月

M．天草総合庁舎

設　　計　連合設計社市ケ谷建築事務所
施　　工　ＫＫ吉永産業
所 在 地　本渡市今釜町
建築面積　1,036.45m²
延 面 積　3,989.173m²
構造規模　ＲＣ造・４Ｆ
工　　期　昭和43年10月～昭和44年８月

N．本渡市民センター

設　　計　大栄設計事務所
施　　工　ＫＫ吉永産業
所 在 地　本渡市東町３番
建築面積　3,265m²
延 面 積　4,800m²
構造規模　ＳＲＣ造、３Ｆ一部２Ｆ
工　　期　昭和42年９月～昭和43年８月

O．熊本市社会教育会館

設　　計　野中建築事務所
施　　工　ＫＫ多々良工務店
所 在 地　熊本市草葉町５
建築面積　354m²
延 面 積　1,877m²
構造規模　ＲＣ造、５Ｆ
工　　期　昭和42年３月～昭和43年３月

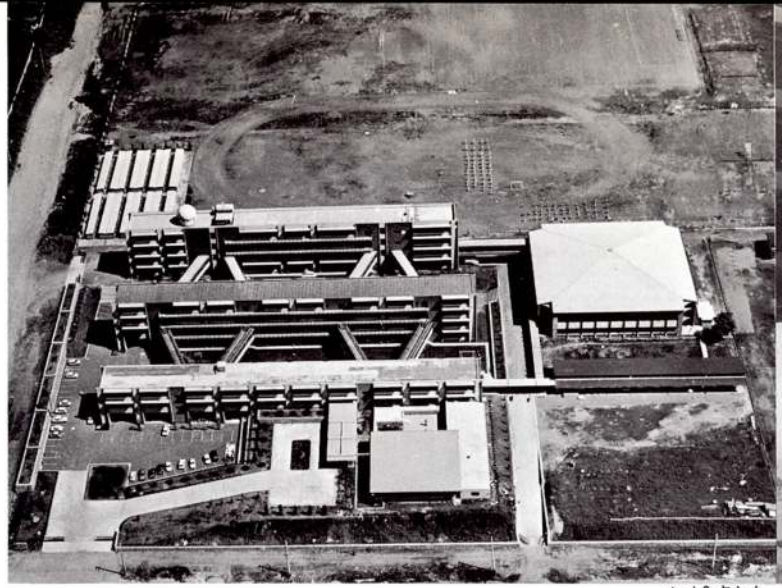
P．熊本労災病院

設　　計　安井建築設計事務所
施　　工　西松建設ＫＫ
所 在 地　八代市
建築面積　1,050m²
延 面 積　3,013m²
構造規模　ＲＣ造、４Ｆ
工　　期　昭和43年４月～昭和44年３月

Q．熊本労災高等看護学院

設　　計　安井建築設計事務所
施　　工　西松建設ＫＫ
所 在 地　八代市竹原町1670
延 面 積　校舎1,498.5、寄宿舎1,392.2
構造規模　ＲＣ造、校舎２Ｆ、
　　寄宿舎４Ｆ、その他
工　　期　昭和43年７月～昭和44年２月

（八代・本渡・宇土）



▲J３点とも





▼L



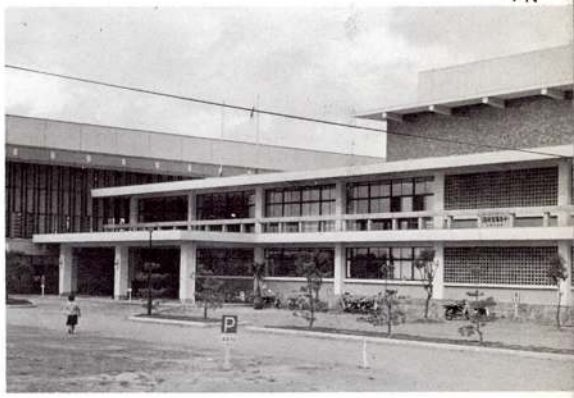
▲K



▼M　▼N



▼O





▶P



▶Q





▲A



▲B



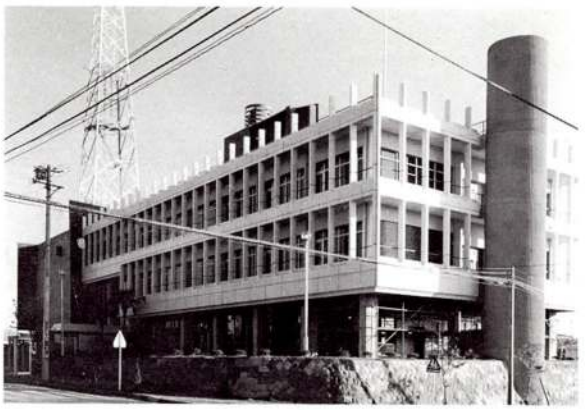
▲D



▼C



▼E



▼F



▼G

A．鹿児島入管港出張所

設　　計　九州地方建設局
施　　工　小林組
所 在 地　鹿児島市城南町
建築面積　1,089m²
延 面 積　1,435m²
構造規模　ＲＣ造、２Ｆ
工　　期　昭和43年10月～昭和44年３月

B．鹿児島警察武道館

設　　計　川島建築設計研究所
施　　工　戸田建設ＫＫ
所 在 地　鹿児島市新屋敷町
延 面 積　1,814.76m²
構造規模　ＲＣ造一部Ｓ造、１Ｆ
工　　期　昭和41年10月～昭和42年３月

C．鹿児島銀行中央市場支店

設　　計　永園設計ＫＫ
施　　工　大成建設ＫＫ
所 在 地　鹿児島市南林寺町
建築面積　426.404m²
延 面 積　841.597m²
構造規模　ＳＣ造、２Ｆ
工　　期　昭和43年６月～昭和44年１月

D．鹿児島県庁舎西別館

設　　計　鹿児島県建築課
施　　工　住友建設ＫＫ
所 在 地　鹿児島市山下町
建築面積　1,109.5m²
延 面 積　4,501.48m²
構造規模　Ｓ造、４Ｆ
工　　期　昭和42年12月～昭和43年８月

E．鹿児島テレビ放送

設　　計　三菱地所ＫＫ
施　　工　大成建設ＫＫ
所 在 地　鹿児島市宇宿町
建築面積　1,351m²
延 面 積　3,427m²
構造規模　ＲＣ造、B1･3F･ＰＨ2Ｆ
工　　期　昭和43年８月～昭和44年４月

F．新屋敷町団地・上原薬品ビル

設　　計　松田設計事務所
施　　工　ＫＫ鴻池組
所 在 地　鹿児島市新屋敷町１－７
建築面積　674.37m²
延 面 積　8,467.73m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１・12Ｆ
工　　期　昭和41年１月～昭和43年７月

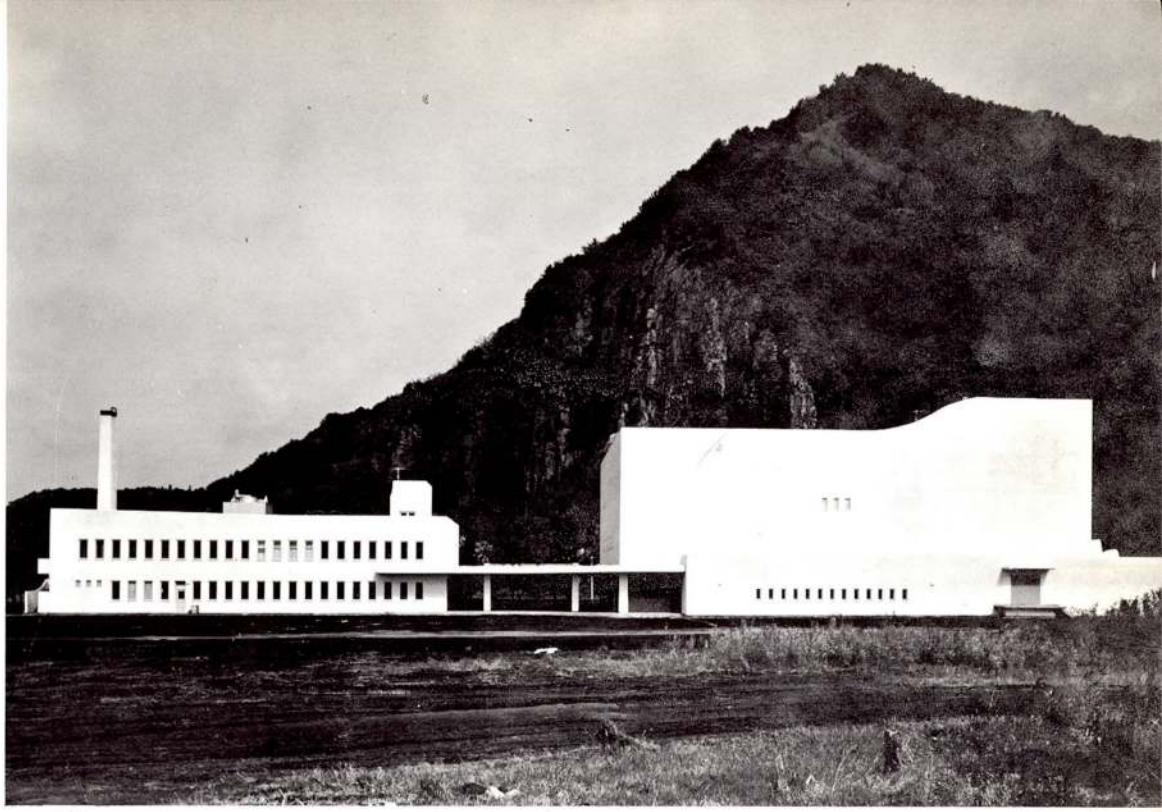
G．明治生命鹿児島支社

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　鹿児島市加治屋町14－７
建築面積　574m²
延 面 積　2,655m²
構造規模　ＲＣ造、６Ｆ・ＰＨ２Ｆ
工　　期　昭和42年５月～昭和43年４月

〈鹿児島市〉

H．指宿市市民会館

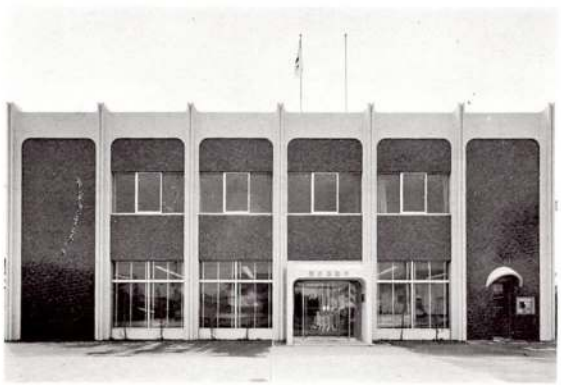
設　　計　日建設計工務ＫＫ
施　　工　大成建設ＫＫ
所 在 地　指宿市大字東方浜町
建築面積　2,286.90m²
延 面 積　3,019.54m²
構造規模　ＳＲＣ造、３Ｆ
工　　期　昭和43年３月～昭和44年２月



▲H

I．鹿児島銀行指宿支店

設　　計　永園設計ＫＫ
施　　工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　指宿市十二町字馬竣
建築面積　336.91m²
延 面 積　664.07m²
構造規模　鋼管構造
工　　期　昭和43年７月～昭和43年12月



▲I

J．桜島ユースホステル

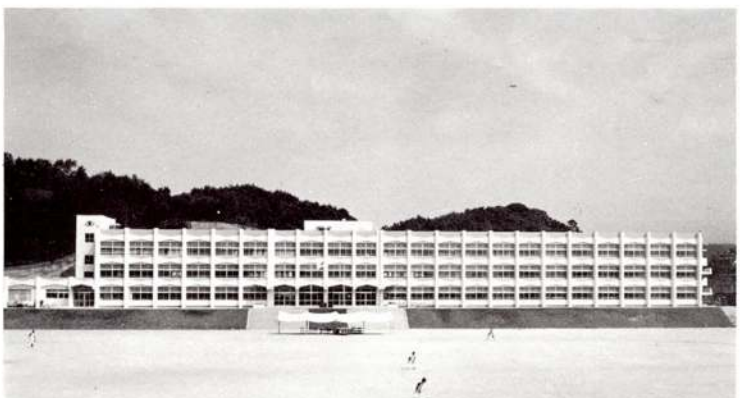
設　　計　志賀設計ＫＫ
施　　工　ＫＫ前田組
所 在 地　鹿児島郡西桜島村
建築面積　580.50m²
延 面 積　1,449.30m²
構造規模　ＲＣ造・３Ｆ
工　　期　昭和42年12月～昭和43年５月



▼J

K．牧園中学校

設　　計　永園設計ＫＫ
施　　工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　姶良郡牧園町
建築面積　2,034.30m²
延 面 積　4,486.88m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　昭和43年７月～昭和44年４月



▲K

L．ホテル林田温泉

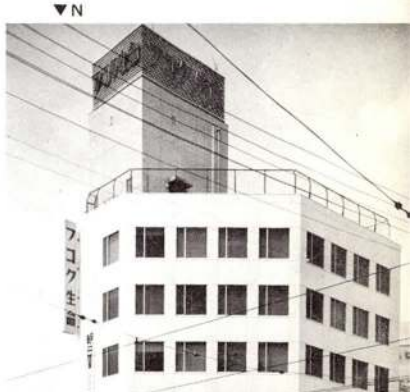
設　　計　永園設計ＫＫ
施　　工　ＫＫ藤田組　ＫＫ大林組
所 在 地　姶良郡牧園町霧島
建築面積　8,355.815m²
延 面 積　20,333.24m²
構造規模　ＲＣ造、４Ｆ
工　　期　昭和41年12月～昭和43年12月



▼L

M．鹿児島経済大学図書館

設計施工　三井建設ＫＫ
所 在 地　鹿児島市福元町全ヶ迫
建築面積　714.8m²
延 面 積　1,411.2m²
構造規模　３Ｆ
工　　期　昭和42年12月～昭和43年５月



▼N

N．富国生命館

設計施工　清水建設ＫＫ
所 在 地　鹿児島市中町１－11
建築面積　230.115m²
延 面 積　1,683.744m²
構造規模　ＲＣ造、B1･6F・PH2F
竣 工 日　昭和44年６月



▼M

〈鹿児島県〉

（指宿・鹿児島・姶良）

《感想：九州の新建築を見て廻って》

地方新建築特集の第3弾として、九州の新建築をとりあげ、作品作風小委員会の皆さんは、それぞれ三日間ないし四日間にわたって見て廻られてきたのですが、その印象を話していただきたい。4班にわかれたとは云え、九州全域という広い場で、しかも調査件数200点近くを消化するのには非常な限界があったと思うんですが、有体に感想を述べていただこうと思うんです。

――廻っていて絶えず私が感じたところなんですが、〝色〟の使い方が全般的にしっくりいってない、もう少し工夫が欲しいですね。

――特にカラー鉄板がそうですね。車中から景色をみていると、カラフルな屋根が非常に目につく、それが周辺とあっていませんね。

――それは、〝色〟もそうなんですが、材料〟面でも〝デザイン〟面でも云えるんじゃないんでしょうかね。余りにも材料を使いすぎている、デザインがこりすぎているという感がどうしても抜けきらない。だからさらっとした材料・デザインのものに好感を感じましたね。これは、九州には関西に比べてまだまだ自然が残っているから、同じような材料・デザインでも関西とは違った感じがでてくる。そういう環境的な相違を考慮せずに都会に追いつこうというところに悪い面が出てきているんだと思うんですがね。

――住宅建築に良いものがなかったんですが、特にこの方面にそういうことがいえるようです。

――住宅建築に都会的影響の悪い面が極端に出るというのは、ある町の建築で中心的なものができると、それに周りが影響されるということがあるんですが、都会では設計者がいてその影響をこなしていく。ところが地方では大工が直接その模倣を追う、こういうところに原因の一端があるように思うんです。

――そこで、地方性というものに関わってくるんですが、地方と云えばそこには何か特別なものがある、そういうイメージが依然としてあるように思うんです。ですが、新しい建築ということに限ってみれば、そういうイメージは変えねばならんような気がするんです。交通機関が発達し、流通機構はあらゆる面で日本全国に貫徹していく方向にいってる。だから、東京、大阪で、中心的に活動する建築家の仕事が次第に拡がっていくのは、当然なので、それをどのように消化していくかというところに視点を向けねばならんような気がする。

――地方の建築家になるものより、官庁建築家とか中央の建築家になるものの方に良いものがある。これも、今言われたことに関係してくると思いますね。

――東海地方の時もそうだったんですが、官庁建築が目につきますね。熊本県庁舎は地方都市に建ったもののしては超デラックスだし。熊本市の中心に役人住宅ブロックとも云うべきものがあるんです。道路の正面に知事公舎があって、その手前道路両側に役人住宅が並んでるんです。日本の地方官僚根性の根強さを見たようで……。

――非常に良い例は、牧園中学校の場合で、これは新建築なんですが、古い建物の方は役場が転用しているんです。こういう風なことがどんどんおこなわれば非常に良いんですがね。

――学校建築には抜群に良いと思われるものがなかったんですが、それでも全体的にはデザインに無理がなくすっきりした感じを受けましたね。技術的にも都会と変わらないし……。

――福岡市から北九州市に向かう線路沿いはずっと丘陵地帯で、私学の大学がずい分建っているんですが、良いものが見あたりませんでしたね。

――親和銀行本店はどうでしたか

――九州に着いて一等最初に親和銀行本店をみたんです。随分時間をかけて案内してもらったんですがね、強烈な印象を受けたのは事実です。とにかく設計者の美意識・個性というものが存分に働いている。私共のようにいつも金に縛られて設計している身にはうらやましい限りで……。

――内部に入ってみると確かに独持の雰囲気に包みこまれる。一階の営業室、そこから上階に通ずる階段、これをたどっていくと雰囲気というよりも、もっと強烈な思念のようなものに捉われる。私の場合には、それは、ちょうど写真集でみて想像する中世キリスト教の建築のようなものだったんです。でも、何か根底で違うものがある。実際に中世キリスト教建築に接していないので、私の想像の問題になるわけですが、写真集で接していると私の耳にはあの荘厳でしかも泥臭い教会音楽が聞こえてくる。何かしら私の心に満ちてくるものがあるんですね。ところが親和銀行本店の場合、満ちるというよりむしろ逆に弾き出される感じ、断絶の感じがでてくるんですよ。

――そうですね、器のために建築があるという観点からすれば非常に優れた建築と云えると思うんです。この場合、器というのは〝金〟じゃないか。〝金〟につながる一連の上部の組織ではないのか。勿論、設計者は、そういうものを手玉にとって自分の美意識に供している積り、いやそれが成功しているからあれほどの作品になったんですが、しかし、その〝金〟の論理を破壊するほど強力な美理念を設計者が所者していたかどうか、疑問だと思うんです。

――親和銀行本店の翌日、私の班は八幡を中心とする北九州の工場地帯を見たんです。これも随分時間をかけて……。というのも、ひきずりこむような力がそこにあったわけです。あの辺一帯の町、そこに生活する人々はあの大工場に依存している。だが、全体として活気に満ちているかと云えばそうじゃない。むしろ恐ろしく沈んでいる。

――私達もボタ山と炭坑街をみたんです。非常な印象を受けたわけで。荒れ放題のアバラ屋、そこでも人々は生活している。古いものが新しいものにとってかわられていく、これはいい。しかし、その変り方が問題だと思いますね。

――ええ、九州と云えば、炭坑や北九州の活気にみちた工場地帯というイメージがピンときた。ところがそれはどんどん廃れていってる。破壊し、それと関連して、新しいものが創られていくのはよい。しかし、実際は、古いものは除けものにされて、まるでそういうものと別個な形で新しいものが出てきている。はたしてそれは本当の新しさだろうか。炭坑の問題は政府の石炭産業合理化政策の犠牲になった面が大きいので、こういう古いものから新しいものへの転換の方法を講じなければいけないという気がする。それが地方が発展するかどうかの鍵になるように思うんです。

――どうもいろいろありがとうございました。最初に云いましたように短時間で随分限界があったと思うんです。まあ、云わば〝旅の目〟ともいうべきなんですが、でも、こういう風な形で建築を見て廻るという経験は普通あまりないと思うのです。そういう意味で私達の印象も資するところがあるのではないか、自負にしれませんがね。

特集：居住環境の現況とその背景
北部九州からの報告

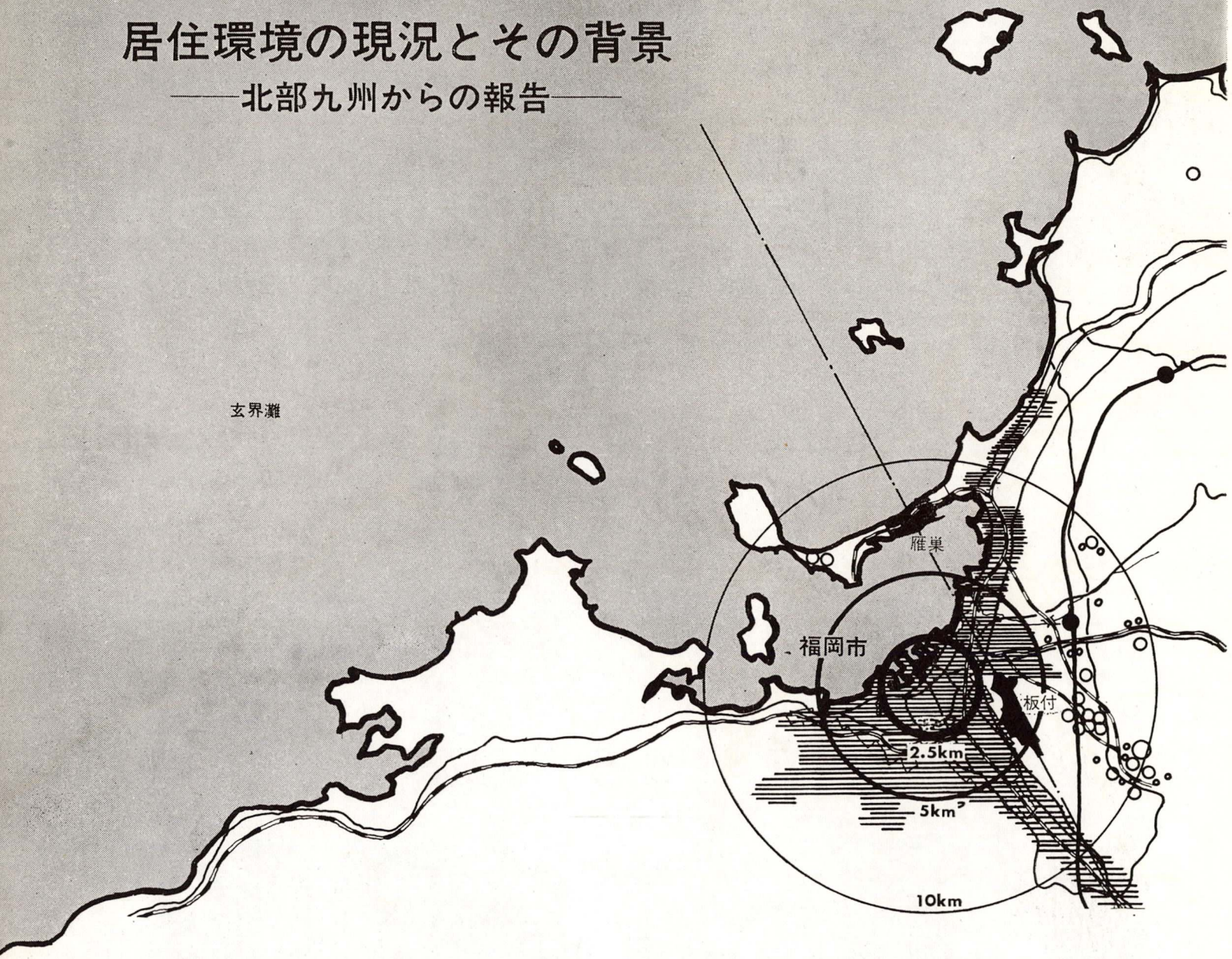
井波益雄（近畿大学建築科教室）
川内俊彦（綜合建築設計研究所）
口ノ町尚（日本住宅公団福岡支所）
鈴木雅夫（九州大学建築学科教室）
萩島　哲（九州大学建築学科教室）
広岡利貞（建設省九州地方建設局）

開発とは、いったいどういうことなのか。　どういった人たちが企画立案し、だれのための計画であるのか、あったのか。もっとはっきりいえば、〝開発〟によって一体だれがしあわせになったのか、われわれ生活する人間にとっての〝開発〟とは、一体どういうことなのか！

そういった構造を、自分の眼でとらえることを抜きにしては、われわれは〝開発〟・〝都市計画〟の名のもとに都市を計画し、建築とデザインに直線的に夢をかけることはできない……。

居住環境の現況とその背景

――北部九州からの報告――



はじめに

"みどりと太陽の国　九州" "北部九州工業地帯" "黒ダイヤの宝庫筑豊"……。

かっては例外なく九州もまた，さまざまなキャッチフレーズのもとに，"開発"が推し進められてきたし，今もかたちをかえて産炭地振興計画，地域開発計画といったキャッチフレーズをかかげて開発がもくろまれている。

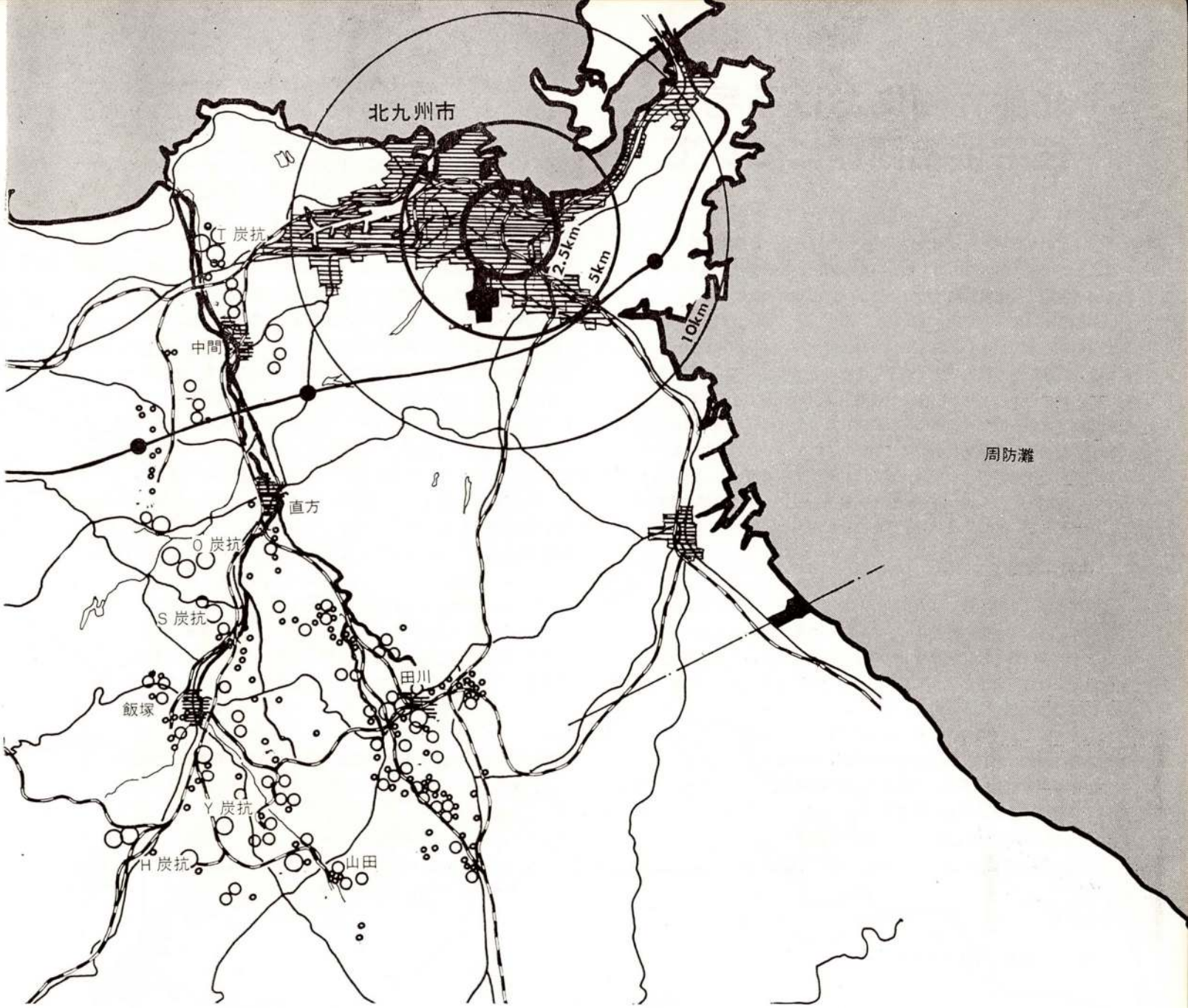
開発とは，いったいどういうことなのか，どういった人たちが企画立案しだれのための計画であるのか，そしてあったのか，もっとはっきりいえば，"開発"によっていったいだれがしあわせになったのか，われわれ生活する人間にとっての"開発"とはいったいどういうことなのか。

そういった構造を，自分の眼でとらえることを抜きにしては，われわれは"開発" "都市計画"の名のもとに都市を計画し，建築とデザインに直線的に夢をかけることはできない。

供給する開発主体のもんだいは後述するにしても，あまりに計画者的であり，あまりに建築家的であるだろう。何よりもまずアプリオリに計画は，開発は前堤となる。矛盾を隠蔽する形で……。まさに現実にはこういった力がものごとを推し進めてゆくのであり，どうしょうもない事実である。その中にあって苦闘している現場技術者は多い。北部九州における住宅供給もんだいも，また，こうした開発の内側にあって共闘しているレポートであり，開発のもんだい点とその提案としてなされている。

そして，産炭地，板付基地のもんだいは，開発の外側からのレポートであり，その矛盾がいかに現出しているかを述べている。内側からの意図とは全く別の，さらに矛盾の拡大された形で現存している。

地域開発の一環として産炭地振興政策が筑豊地域に実施されつつある。さまざまな優遇処置を伴なって企業誘致が進められる。そこでは生産能力のみが大きく前面に押し出され雇用者のもんだいはほとんど論じられない。地域開発の本来の目的は，低賃金・失業者・労働力流出による地域格差の解消で



あって，企業自体の能力や数では決してない。現実に進行している事態と開発の本来の目的とのずれは，いったい何を意味するのか。開発が地域住民の生活環境の整備そのものとしての地域開発の視点をとりもどすためにも，開発の実体を今一度違った視点からみる必要がある。

また国内空港および軍事基地としての板付もまた，同様のもんだいをかかえている。つまり，基地を心臓部に内包する福岡市は，日本の都市一般がもっている，いわゆる"都市問題"をさらに複雑にしている。空港への離着陸に伴なう騒音の影響は，きわめて大きく旅客機の巨大化・ＳＳＴ時代の問題を先取り的に示すと考えられる。さらに軍用機の墜落事故による生命の危険は，住民の現実的な問題としてある。こういった問題を一切抜きにして，都市の発展・成長といった形で都市構造の歪みは増長している。さらには，周辺農村地区へのスプロールと基地周辺のスラム化である。これもまた，開発をかかげてなされる居住環境の劣悪さを助長している。そしてこれらは，自然環境を破壊し，さまざまな都市問題を顕在化させる。このような開発によって，"いったいだれがしあわせになろうというのか"というメカニズムの見える立場をわれわれは確保したいのだ。

そのような開発計画，または工場公害に対する住民の抵抗が種々の形態をとりながら各地で起こっている。それらの住民運動には，現実の生活維持をおびやかす直接的な加害者の姿が，明確なかたちで存在する。それは，対症療法としての，また予防斗争として住民運動である。一方われわれの日常生活をとりまく環境の中に，明確な姿を示さない，日常生活に直接的には影響はないが，われわれの精神的側面に大きな影響をおよぼしている文化的生活環境がある。明日の生活に直接的に影響を与えないというまさにそのことゆえに問題は大きく複雑であり，将来への影響は大きい。ここにとりあげた子供劇場の運動は，日常生活の守りの運動（これを決して否定するものでないが）ではなく，積極的創造的性格をもった，獲得のための住民運動としてみることができる。われわれは，現在的にはいくつかの問題点は認めるにしても，この運動を積極的に位置づけたいと考える。

なお各レポートは，開発者，研究者，運動をになっている者といったグループによって執筆されている。各職場とこのグループ討論とのギャップやあるいは時間的にも非常に困難となったことなど，各々所属によって各自の見方も姿勢もおのずと異なっている。開発者からのレポートは住宅もんだい，研究者からは基地・産炭地もんだい，運動をになう者からは子ども劇場運動といった具合である。これらの中にある論旨の不統一，欠陥は，具体的にたずさわっている設計者あるいは研究者に共通のテーマであろうと考え，あえて，そのままにした。またグループによる作業であるので，いろいろ記述の重複などによって読者の方々への迷惑をおそれるが，忌憚のないご叱正，ご批判を賜われば幸いである。

1 北部九州における宅地・住宅供給問題について

はじめに

普通，北部九州といえば，福岡，佐賀，長崎，大分，熊本の五県であるが，ここでは北部九州の都市機能分担の軸となる福岡都市圏と北九州都市圏の宅地・住宅供給問題について，最近どのような動きを示しつつあるかを簡単に説明したい。

人口の都市集中化は全国的な傾向であるが，特に九州についてみると，首都圏，近畿圏への流出の他に県庁所在地の地方都市へ集中する傾向がみられ，特に福岡・北九州都市圏への集中度が最も高いとみられる。福岡都市圏は九州の中枢管理都市として，また，北九州都市圏は石炭産業の衰退，製鉄所の移転など地盤沈下が云々されているが，新たに瀬戸内沿岸地域が新工業地帯として脚光をあびて発展する基盤をもっているとみられ，空地・住宅供給サイドからみた場合，福岡・北九州都市圏を一つの圏域として，この地域に焦点をあわせて行なわれるべきであろう。

1. 福岡都市圏について

福岡都市圏（1市5郡）は天神ビジネスセンターである天神を核として，東西，南へT字型に発展しており，これがそのまま拡大傾向を示しているが，東は飛行場，南は油山でいきどまるゆえに，今後の宅地・住宅供給は東は飛行場をとびこした和白・古賀方向と笹栗方向の201号線沿い，南は二日市から小郡方向，そして，西は今宿・早良方向へと進められるであろう。（**図—1参照**）福岡都市圏の住宅需要は，九州経済調査協会研究報告（No.133）によれば194千戸，そのうちわけは，40年時点での住宅困窮者需要81千戸，世帯増を中心とする50年までの新規住宅需要が113千戸であり，なお，福岡市と周辺郡部の住宅需要は，それぞれ123千戸，71千戸と推計している。（**表—1参照**）

そこで，現在の市域内での最近5カ年間（38年～42年）の年平均住宅建設戸数は12千戸であり，このうちわけは持家3,600戸（30%），公営・公団・公社2,600戸（22%），民営借家5,300戸（44%），給与住宅500戸（4%）であり，民営借家の占める割合が大きく今後の住宅供給の在り方を示唆するものの一つであろう。また，周辺郡部においても都市化傾向にあるため，市域内と同様に考慮すべきであろう。（**図—2参照**）

家賃について検討を加えれば，市域内での民営借家の家賃平均は昭和38年に5,500円であったのが昭和43年には8,288円と1.5倍に高騰している。公営・公団・公社住宅の平均家賃は4,592円から5,717円となり，1.25倍であり，なお，消費者物価指数の上昇も1.32倍であるから，民営借家人は生活費に対して負担増の家賃を支払っているのが実情だろう。

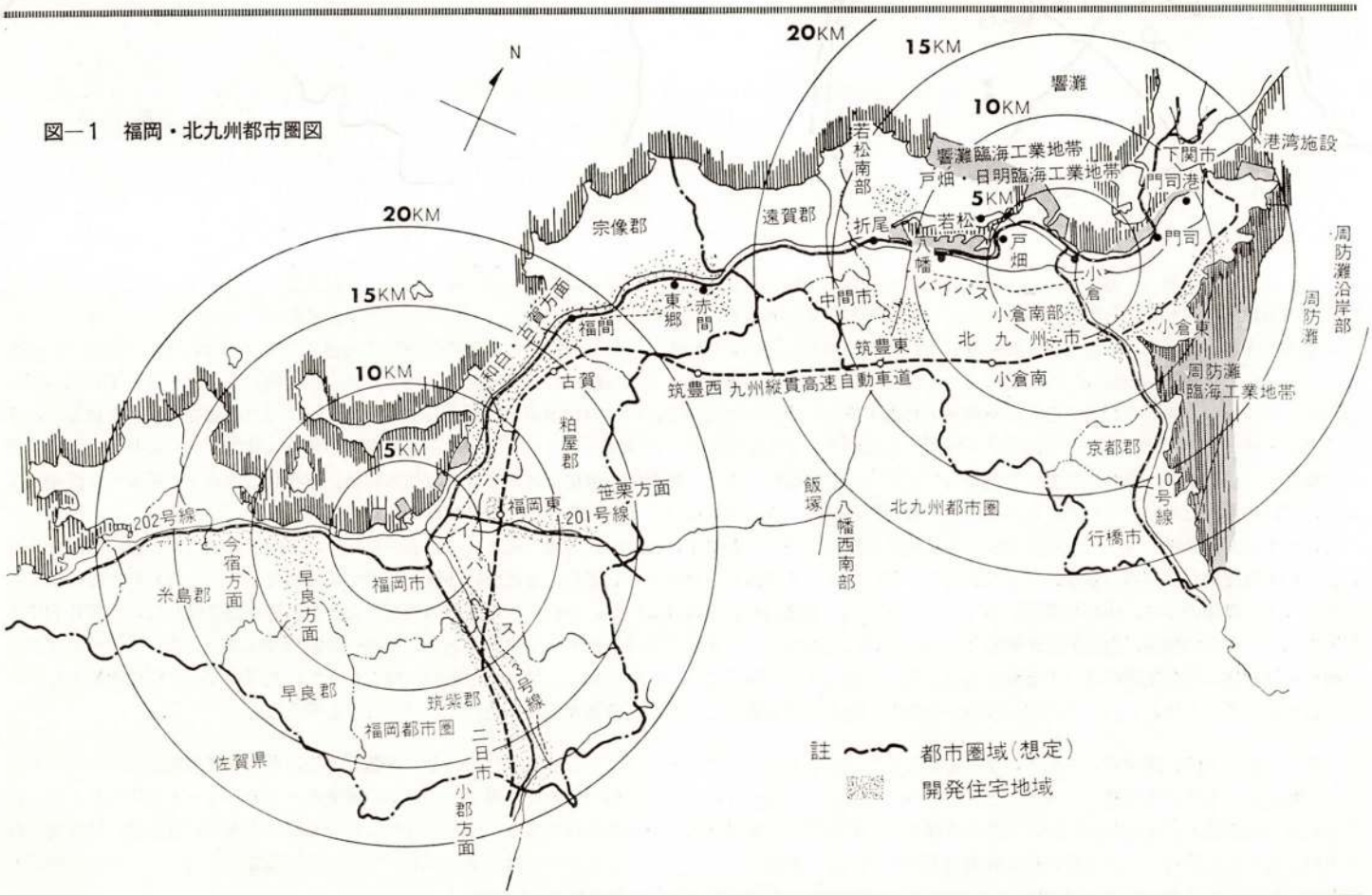
また，一方，質的なものとして，市域内での民営借家の1住宅あたりの平均延床面積は36.68㎡であり，昭和38年の38.76㎡に比して減少し，1戸の住宅としての質は低下している。一世帯あたりの平均室数は2.33室であり，公営・公団・公社住宅2.75室，持家4.55室より少なく，1人当り平均畳数も3.96畳と公営・公団・公社住宅4.17畳より少ない。(福岡市の住宅事情調査，43年10月による）さらに，公団住宅（空家）申込世帯調査（44年2月）においても，民営借家からの応募者の大部分は設備のよい点と，現住宅より広くて家賃が安いことを大きな理由としている。

現在の市域における勤労世帯の実収入は，最近4カ年間(38年～42年)で年平均5,800円UPで10.5%の伸び率であるが，今後，実収入の伸びの割合が家賃の伸びを上廻るかどうか，諸物価や地価も上昇し，その推測は簡単にはできない。しかし，公共住宅の低家賃化の努力はなされるべきであり，都市圏内の住宅問題の実態を十分把握し，所得階層別住宅計画をたてることが必要だろう。（**図—3参照**）

福岡都市圏の宅地需要は，九州経済調査協会研究報告（No.133）によれば，福岡市で1,218ha，周辺郡部で703ha，合計1,921haと推計している。（**表—2参照**）

そこで，現在の市域面積は24,049haであり，このうちわけは人口集

図—1　福岡・北九州都市圏図



中地区面積5,090ha，住宅地外面積10,673ha，住宅地面積8,286haである。住宅地面積のうち今後の宅地供給可能面積は2,225haであり，一応は宅地需要面積は確保されるが，新都市計画法に基づく市街地化区域，市街化調整区域との関連を配慮するとか，大規模な団地あるいは，総合的な住区を確保しようとすれば市街化調整区域や周辺郡部に宅地を求めざるをえないだろう。

表—1　住宅需要の推計

		福岡市	郡部	合計	備考
人口	40年実績	750千人	370千人	1,120千人	
	50年実績	900	486	1,389	
普通世帯	40年実績	187千戸	81千戸	268千戸	普通世帯人口比率93.3%，50年普通世帯員数1戸当り3.62人で試算。50年郡部は人口比（35%）で按分した
	50年実績	234	126	360	
新規住宅需要					
1.世帯増による		47千戸	45千戸	92千戸	普通世帯の純増分。郡部比49%普通世帯の住宅率94%滅失・建替比率5%普通世帯の住宅率94%，空家率3%
2.滅失・建替		10	3	13	
3.社会移動調整（空家）		5	3	8	
40年現在の住宅困窮者需要					
4.絶対的不足数		13	} 20	} 81	} 市外は市内困窮率38%の⅔＝25%で推定
5.質的不足数		48			
合計		123	71	194	

'67年九州経済調査協会研究報告No.133より

表—2　宅地需要の推計

	福岡市	郡部	合計
住宅需要（千戸）	123	71	194
宅地需要（千坪）	3,690	2,130	5,820

'67年九州経済調査協会研究報告No.133より

2.　北九州都市圏について

北九州都市圏（3市2郡）は主に響灘に面し，東西方向に門司の港湾施設地域，小倉の流通地域，戸畑・若松・八幡の洞海湾工業地域が核となり同心円的に発展しており，これがそのまま拡大傾向を示しているが，東は関門海峡・瀬戸内海でゆきどまり，南は比較的に郊外の広い小倉南部・周防灘沿岸部へ，西は遠賀川をこして遠賀郡・宗像郡方向，および郊外の広い八幡西南部方向へと「型に開発が進められるであろう。

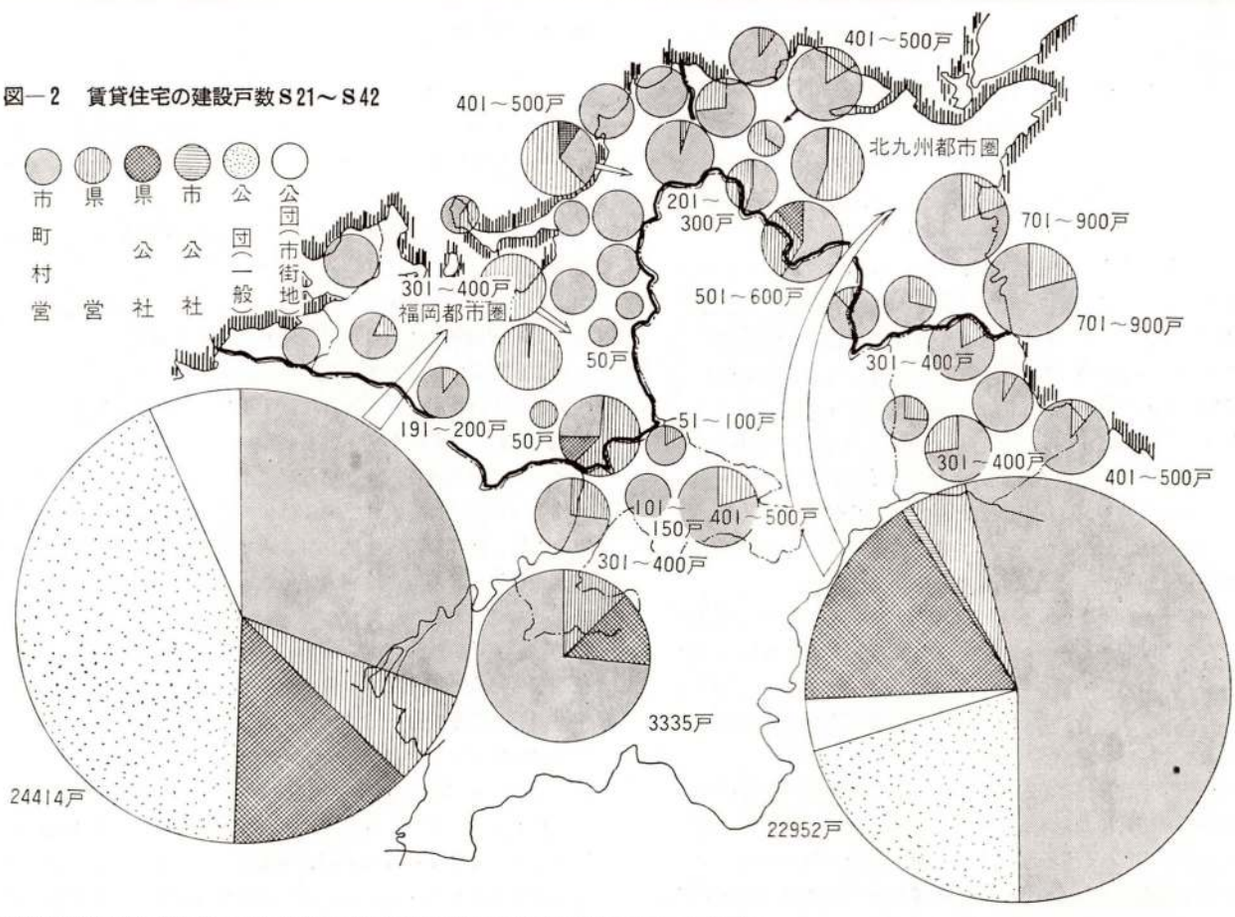
北九州都市圏における，住宅地域として開発される地域は，都市再開発予定地区を除くと，響灘臨海工業地帯および洞海湾工業地帯を考慮した若松区西部と八幡区黒崎西南部，戸畑・日明臨海工業地帯および小倉地域流通センターを考慮した小倉区南部日田線沿いと小倉区南部国道10号線沿い，周防灘臨海工業地帯を考慮した周防灘沿岸部の住宅団地の建設が企画されている。（図—1参照）

これにより，北九州都市圏の都市開発は，公害への関心が市民の間に急速に高まり工場群と住宅の分離政策が迫られたことが十分うかがえる。また，国鉄新幹線・関門架橋・九州縦貫自動車道を基にした交通体系の整備と開発住宅地域を結ぶ支線の道路網の整備は，開発発展上の重要度合からいって欠くべからざるものであり，既存市街地の公共施設の整備とともに当面の緊急課題となる。

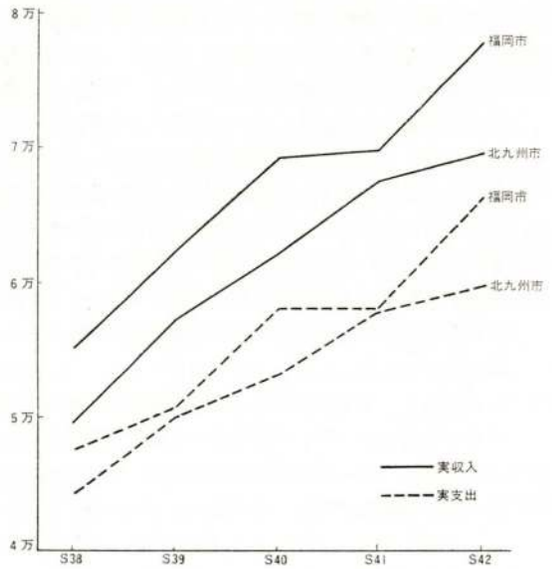
最近は大手企業が社宅の入居年令制限を計画，または実施し，そして社宅中心だから持家政策への移行に本腰を入れだしたため，今後の宅地・住宅供給においては，給与住宅依存の態勢から北九州が脱皮することを考慮しなければならないだろう。また，所得階層別賃貸住宅入居者の同系列分譲住宅・宅地への移行の傾向が見うけられるので，供給側としてどのような種類の宅地・住宅をどの地域に，どの程度供給するかが大きな問題として立ちはだかってくるだろう。

北九州の石炭産業の衰退，製鉄所の移転など地盤沈下が云々されているが，宅地・住宅供給側からみた場合，42年度の県民所得で斜陽石炭産業の県経済への影響力は，全産業の1.7%となり，小さくなっている。県民所得は前年比19.1%増で国民所得の伸び率18.3%を上廻り，斜陽石炭から脱出したと県は発表しており，宅地・住宅供給側への影響力はないものと判断される。さらに勤労世帯の実収入および実支出からも影響力はないと判断される。ただし，福岡市の勤労世帯者に比べ10%

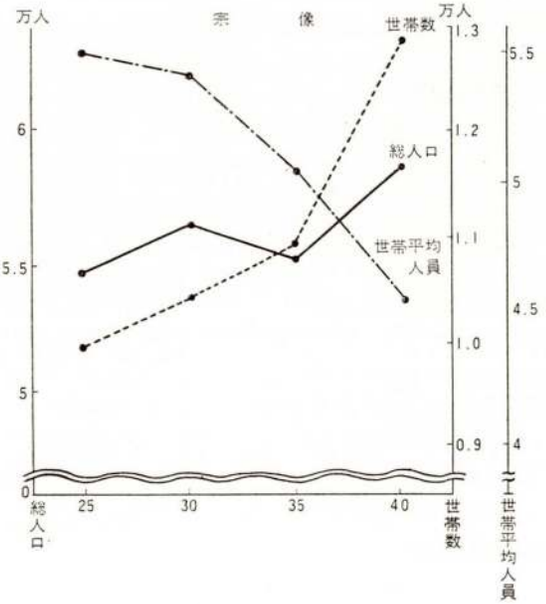
図—2　賃貸住宅の建設戸数S21～S42



図－3　勤労世帯の実収入および実支出図



図－4　人口・世帯数・世帯平均人員（宗像郡）



位低いことは，北九州市の鉄鋼産業を基幹とする工業都市としての性格などによるものであると判断され，家賃支払の限界などの実態が把握され，有利な供給がなされなければならない。（図－3参照）

3.　両都市圏間地域の開発について

福岡都市圏と北九州都市圏とを一つの圏域として，焦点を合せると，この地域は両圏の接面として，要衝の地であり，この地域での宅地・住宅供給は宗像町に住宅公団の「日の里ニュータウン」（5,000戸）と「葉山ニュータウン」（600戸）が造成された。また，民間による森林都市（1,000～1,200戸，内420戸完了）があり，その他教育大学，東海大学（分校）がある。福間町には県の福間住宅団地（1,800戸）と八幡製鉄社宅（600戸）があり，新しいコミュニティを形成している。

現在，これらの輸送機関は国鉄（鹿児島本線）・国道3号線に依存されており，日の里ニュータウンを起点として，国鉄で博多駅まで25分，小倉駅まで47分で，各ニュータウンとも，快速電車の停車が実現すると，福岡・北九州への通勤時間はぐっと短縮される。なお，新国道3号バイパス（宗像バイパス，赤間―福間町，45年度完了・香椎バイパス，福間町―浜男，45年度完了・博多バイパス，下原―臼井，用地買収中）・九州縦貫自動車道（福岡―筑豊東間，50年完成予定）および鹿児島本線の複々線化（折尾―博多間，46年度完了予定）の増強によって，福岡・北九州市民の後背地としての理想的職住接近の地となり，この地域の遠いという既成観念が数年をまたずして打開されるだろう。

これらの地域の一番の魅力は，自然の景観を残し，緑地帯をたっぷりとり，陽当りが良く，静かで，スモッグがない，子供を育てるのに理想の地である。なお，この地域における人口・世帯数・世帯平均人員の経年変化は都市化傾向を示し，また，世帯増に対し住宅の所有関係の比率も同様な傾向を示している。（図－3参照）

両都市圏の昭和60年人口指標から考察すれば，この地域での交通整備は密度のある交通機能としなければならないだろう。現在，都市交通審議会北部九州部会は60年を目標年次とする，新全国総合開発計画に対応させながら，都市交通における，高速鉄道の整備・高速道路の整備・路面交通機関の整備などを具体的に審議中である。

また，この地域の開発の方向性として，居住地としての性格をもたせると同時に，白砂青松の玄海国定公園の持味を生かした総合的利用計画とあいまって，最適性を見出しつつ，福岡・北九州市民の後背地としての理想的職住接近の地として，分譲住宅・分譲宅地を主体とした開発を促進しなければならないだろう。

おわりに

今後の北部九州における宅地・住宅供給については，国当局の抜本的な対策が必要であるとともに，地方独自の開発計画が必要であり，不断の努力と研究が要求される。ここでごく大まかにいえることはつぎのようである。

現在において住宅需要は，他の大都市圏の絶対数ほどではないが，民営借家に住む世帯が多く，収入に比して，高い家賃を支払っている階層が少なくないし，今後この階層はさらにふえる傾向にあるので，公的資金による賃貸住宅建設は現段階以上に必要である。

宅地需要面積は3カ年の割合いで，2倍になっており，土地対策・地価対策を十分考慮するとともに，土地有効利用上大規模な総合住区，高層住宅建設の必要性が大である。

勤労者の収入は首都圏や近畿圏に比べて1～2割の格差があり，人口・世帯の伸びに伴ない住宅需要は少なくないので低家賃住宅の大量供給のために，建設技術的合理化による住宅のコストダウン，利子補給，公共施設に対する地方自治体の費用負担などをできる得る限り利用すべきである。

新規募集の賃貸住宅への応募に対して，現家賃より安いとか，都心へ便利なら応募しようということがらなどからして，都心と周辺部とを結ぶ線の交通を整備し，通勤・通学輸送対策を早急に図るべきである。

今後の宅地・住宅供給の一方向づけとして，県の指導によって，県，市，県・市の公社に住宅公団を加えた6団体で都市住宅協議会を構成し，都市・住宅側からみたマスタープランの検討，都市圏における宅地開発計画や住宅建設計画の調整を検討している。たとえば，福岡都市圏における香椎浜埋立地とか，北九州都市圏では大手町ブロックの住宅建設計画などの検討を行なっている。

2 筑豊の居住環境とその背景

はじめに

昭和30年頃から石炭合理化が本格的に進められ，炭鉱は次々に閉山あるいは経営を縮少した。多くの炭鉱労働者は失業し，筑豊から去って行った。明治以来約100年にわたって，日本の産業発展を支えてきた産炭地も，荒涼たる廃墟となり，そこにはいまだ炭鉱から抜けでられない絶望的な滞留者群が悲惨な生活を営んでいる。

北部九州の中央部には無数の炭鉱がひしめきあい，広大な炭鉱社有地とボタ山は新たなる方向転換をめざして"開発"が進められようとしている。筑豊の繁栄をきずいた炭鉱労働者が労働災害，職業疾患，老衰で動けなくなった時，これらの滞留者を追い出すことによって"開発"が進められるとすれば，あまりにも苛酷であるといわざるを得ない。

北部九州の居住環境を問題にするとき，筑豊の劣悪な環境を特殊な例外として片付けるわけにはいかない。独占資本の収奪と合理化政策によってつくりだされた必然的帰結とみられるからである。

筑豊の地図には無数の炭鉱の記号がしるされ，鉄道網が錯綜し，尾ひれのようにとび出した引込み線には大手の炭鉱があった。そのなかから遠賀川の川筋に沿った5つの炭鉱を選び居住環境を取材した。

1. 炭住の概況

合理化が始ってからすでにかなりの年月が経過し，閉山した中小炭鉱の多くは崩壊してしまって，施設は売却され取りこわされた後であり，その居住環境を観察することは困難であった。一方規模を縮少し経営を続けている炭鉱と閉山しても最近まで経営していた炭鉱では，施設は部分的にとりこわされかけているが，まだ多くはそのまま残されている。大手炭鉱は石炭鉱区のめぼしいところを独占し，そのまわりに中小炭鉱がとりまき，相互に依存しあっている。社有地は広大でありその中にいくつかの社宅がまとまって炭住(区)を形成し，規模は炭量によって異なる。

大規模な鉱区では小・中学校が成立することもある。団地規模は100世帯以下のものが圧倒的に多く，木造平屋建ての長屋が画一的に配置されている。小規模の団地では長屋だけであるが，中規模の団地には共同浴場，広場，売店，共同便所，共同洗濯場が設けられている。大規模の団地には炭鉱の事業所，詰所，会館，寮，組合事務所，病院(診療所)，公民館(集会所)，巡査派出所，郵便局，購売店，小学校，グランド，各種商業・サービス施設が立地して，鉱区の中心部を形成している。中小炭鉱ではこのような施設を設けていない。大手炭鉱との生活利便の格差は著しい。

社宅の規模は同じでなく，職員用の住宅は一戸建ての独立住宅で部屋数は3部屋以上あり，敷地も広い。一般の坑夫の炭住とは離れた条件の良いところに建てられている。戸数は非常に少ない。炭住のほとんどは長屋であり，部屋数は1部屋6帖のものから3部屋まであって，その入居資格は家族数によるのではなく，勤続年数や勤務成績によって決められている。部屋数の多少のほか，便所の専・共用別，玄関の有無，台所の広さ，押入の数で細かく格差がつけられている。炭住の特徴は洗面所，洗濯場，浴室がないことである。洗面と洗濯は台所出入口の外にある水栓の下にタライを置いて洗うか，道路の側溝にとりつけた露天の共同洗濯場で洗うことになり，入浴は共同浴場を利用することになる。

団地の建設年次は古い炭鉱では明治30年代の炭住もあるが，昭和23年頃に大量に炭住が建設された。終戦後に建設された社宅は戦前のに比べると材質などが劣り，破損と老朽の程度が著しくあらわれている。

社宅と敷地の所有状況は炭鉱閉山後，入居者，地方公共団体，一般企業に払い下げたり譲渡したり，あるいは事業団に買い上げられており，炭鉱の所有率は低下してきているものの，いまだ過半数を占めている。

2. 炭住の実態

筑豊の炭住については，以上のような知識を得た上で，現地に向かった。筑豊の中心都市である飯塚と直方を一歩離れると，周囲は活気がなく，ボタ山は風化して雑草が生い繁っている。まず，遠賀川上流のY炭鉱を訪れた。広大な社有地に炭住が建ち並らび，附近には人気がなく，ひっそりしていた。空屋が多く目立ち，出入口と窓に板が打ちつけられている。床板，天井，建具が持ち去られた廃屋がいくつかみられた。空屋と隣り合わせにまだ人が住んでいる。いつどこが空屋になるかわからない。いつのまにか床板や建具がなくなってしまう。炭鉱は閉山して間がないのにもう荒廃しはじめている。ひき潮のように炭鉱を去って行く人々から取り残された再就職のできない人々とその家族がひっそりと空屋にかこまれて住んでいる。出て行く先がないのである。空屋だけになった棟ではすでに建物を解体している。業者は2戸分の古材を2～3万円で払い受け，小屋組，柱，カワラなどを車につんでいた。すでに解体した炭住跡がいくつか空地になっていた。雑草の中に土壁，コンクリートの土間，流し台，堀りゴタツのレンガが残り，大きな庭木が住居跡をしのばせている。抗口附近の選炭機や機械類は雨ざらしになり，すっかり錆びついている。大きな事業所には残務整理の人が数人いるだけである。いたるところに求人募集，退職の事務手続，社宅備品の持出し禁止の貼り紙がはられている。購買店は生鮮食料品，酒，タバコ，米穀，雑貨を販売し，いくつかの店は閉鎖している。共同浴場が取りこわされ，雑草にかこまれて，タイルの床，浴槽，貯湯槽があたかも野天風呂のように白く光っていた。他の共同浴場も12日一杯で閉鎖されようとしている。炭があるうちだけ沸かすということである。炭住には風呂を置く場所がないし，あるとしても風呂を買い，水道代と燃料代を支払える者がどれほどいることだろう。

広い社有地全域にわたってまばらに人が住んでいるので，取りこわしも思うようにできないという理由で，会社側は住民を1カ所に集めようという意向を持っている。条件の悪い所に集められることを住民は気付いており，不安に動揺している。

炭鉱経営の施設は一方的に閉鎖され，炭鉱の病院，保育所，会館など利用できなくなった。残されたものには老人，病人が多く，治療には遠くまでバスで通院しなければならず，経済的にも負担は大きくなっている。

石炭合理化は炭鉱の閉山を余儀なくし，身動きのできない住民の居住環境はますます劣悪な状態に進行しようとしている。

H炭鉱は分離縮少して経営を続けている。社宅に空屋はみられるが，廃屋はみあたらない。広場や保育所の遊び場では子供達が遊び，買物の婦人達，カバンをさげた坑夫達がみられた。炭鉱の事業所，商店，診療所，共同浴場など従来通り経営しているが，施設は老朽化している。炭住は破損したままであるが，丘の上の1戸建ての職員住宅は修理されており，広い庭と樹木にかこまれた高級住宅と粗末な炭住と鋭い対比を示していた。

炭鉱は部外者に対し閉鎖的であるのかもしれないが，取材中幾度か不安と心配の表情でみつめられた。全体として明るさがない。いつ閉山し失業するかもしれないという不安が労働者の気持の中にあり，一方，会社としては，労働者がいつ炭鉱に見切りをつけて出て行くかもしれない



空屋と隣り合わせの炭住

ということを心配しているのかもしれない。隣接したY炭鉱が閉山したことはH炭鉱にも大きな影響を与えているようである。

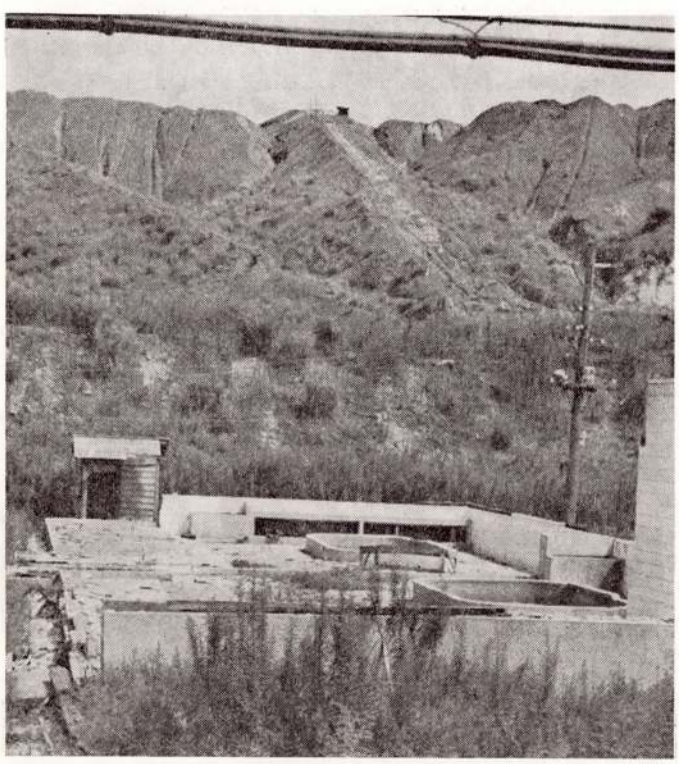
S炭鉱は筑豊の中央部に位置している。閉山して間がないのに，整理は大部進んでいた。滞留者は町有地の不便な炭住に集められ，社有地の社宅はとりこわしが始まっていた。病院，会館，公民館などは閉鎖され，事業所の広い建物には残務整理の職員が数人みえた。生協購買店は商品を並べていたが，客はみあたらなかった。

ボタ山は売却され，けずり取ったボタを積んだ大型トラックが社宅内をホコリをたててつっ走っている。とりこわした炭住の古材も順次運び去られている。

取り残された人達の炭住は急な坂をのぼった山の上にあった。屋根は波形スレート葺きで，すっかり風化し，雑草がしげる中に，かなりの空屋があった。長屋は天井と床下が続いているので，一部に廃屋があるとそこから伝わって他人に侵入される危険がある。道端にはコンクリート製の共同洗濯場があって最近まで使われていたが，閉山後炭鉱から汲みあげた坑内水を送水しなくなったため使われなくなった。会社の飯料水は1日に朝夕1時間の給水に制限されて，さらに飯料水で洗濯することになって，水量の不足は耐えがたい状態になっている。その後，会社は炭鉱の水道を町の水道に切り替えてしまい，各戸に水道メーターが取り付けられた。以前は風呂と洗濯は坑内水を使い飯料水と区別していた。共同浴場が閉鎖され，共同洗濯場が使えなくなって，町の水道に切りかえられたため，風呂をわかすにも，洗濯するにも飲料水を使い，水道料金を支払わねばならない。住民は水が豊富に出ても充分に使えない状態であり，生活をより貧しくさせる結果になった。

住宅の型は4帖半と6帖に台所と便所がついた簡単なものであり，台所にはコンクリート製の小さな流しとカマドが1つついている。カマドは時代遅れのものであり，現在でも薪を使っている家がある。取りこわすことができなくて，その上にガスコンロを置き，プロパンガスにした家が多い。風呂と洗濯は近くの空屋を借りているところもあれば，拾い集めたベニヤ板やトタンで狭い庭に小屋を建てているところもある。家賃は月800円程度を管理費という名目でとられている。老朽した住宅と劣悪な生活環境の割には決して安くはない。

S炭鉱の附近にあるO炭鉱は分離縮少し経営を続けている。スリバチ状の地底からトラックが炭を運び上げ，また下って行く。露天掘りの現場には炭住が空屋のまま続いている。多くは老朽して廃屋のようになっ



とりこわされた共同施設



解体されゆく炭住

てしまった。合理化によって労働者を減らしても，出炭量を維持しさらに増産させている。はげしく選炭機が動き音をたてているが，まわりの炭住はひっそりとして人の気配が全くない，建物の構造はしっかりしているが，内部の建具，床板，天井などははぎとられ，ガランとしている。まだ住民を一カ所に集めていないので，所々に人が住んでいる。会社は川から水を汲みあげて飯料水にしているが，水量が少なく水をためてから使っていた。炭住に必ずあった共同浴場は次々に閉鎖し，1カ所だけ残っている。以前は一昼夜沸いていた風呂は日中だけとなり，女子湯は時間を制限した。広かった浴槽は半分に仕切り狭くしてしまった。広大な社有地に分散した炭住から風呂に入りに来なければならず，利用しにくくなった。遠賀川を下って北九州に近いT炭鉱の場合は縮少して経営を続けている。周囲の工場や住宅地にかこまれて分散した炭住はすでに町や企業に社有地と一緒に払い下げてしまい，事業所の附近にいくつかの炭住を配置して鉱区をまとめた。

かっての繁栄を物語るように丘の上の樹木の間に立派な会館が建っている。事業所，寮，病院，保育所，郵便局，購買所などは従来通り利用されていた。共同浴場はすでに公民館とか集会所に転用され，各戸に風呂場を増築していた。この炭住では廃屋はみられなかった。庭も比較的広く手入れがよく行きとどいている。都市に近く交通の便が良い炭住は立地条件に恵まれ，通勤，買物などあらゆる生活の利便はよいので，炭鉱がたとえ閉鎖されることになっても炭住が空屋になる可能性は少ないと思われる。炭住に住む人達に必要な各種の生活施設は閉山と同時に閉鎖されて利用できなくなった。周囲が山にかこまれて立地している炭住では生活ができない状態に追い込まれている。都市周辺に立地している炭住に比べ非常に不利である。炭鉱の多くは筑豊の山の中にあってT炭鉱のような例は少ない。

3. 周 辺 へ の 影 響

石炭合理化による直接の影響は炭住に住む人々の居住条件を悪化させることになったが，炭鉱に関連のあるものに与えた衝撃も大きい。

筑豊の市町村の財政はどこの場合も破産寸前に来ている。石炭と共に発展してきた山田市は石炭と共に衰退してしまった。最盛時には，人口約5万人を数え，大手を含め23～24の炭鉱が集中していたが，今では2～3鉱になり人口も2万人を割って市から町への格下げが話題になっている。炭鉱からの鉱産税と固定資産税は激減し，それに加えて生活保護費と失対事業費が増加し，市財政の過半数を占めている。一人でも人口増をはかろうと市営住宅を建て市外からの転入者を期待し，工場誘致に努力しているが効果は上がっていない。最近起こったガス爆発事故は閉山→人口流出へ連鎖的につながる可能性がある。

人口の流出は児童・生徒数の減少としてあらわれ，かってのマンモス小学校には教室の空きが目立っている。一時は体育館，職員室，図書室まで教室に転用されていたこともあり，先生の机は廊下に並べるといった状態のことなど想像もできない。教室不足の時はスシ詰めで利用し，今ではガラ空きになった教室は，特別教室，クラブ活動，視聴覚室，教材



部分的に解体された炭住

室にふんだんに使えるようになったが，中に入れる教材，設備などがないため，生徒の利用が少なくて物置きのようになっている。遠方に延びた教室は解体されている。市町村財政が窮乏していて，学校の改修に手がまわらず，老朽して危険な状態の校舎が多い。地盤沈下は床を傾斜させ，段ちがいが生じ，建具は開きにくい個所は年中閉まったまま，開きやすい個所では突然建具がはずれてガラスが破れてしまう。屋根は波打ち，雨もりしても多少の修理ではどうにもならない。

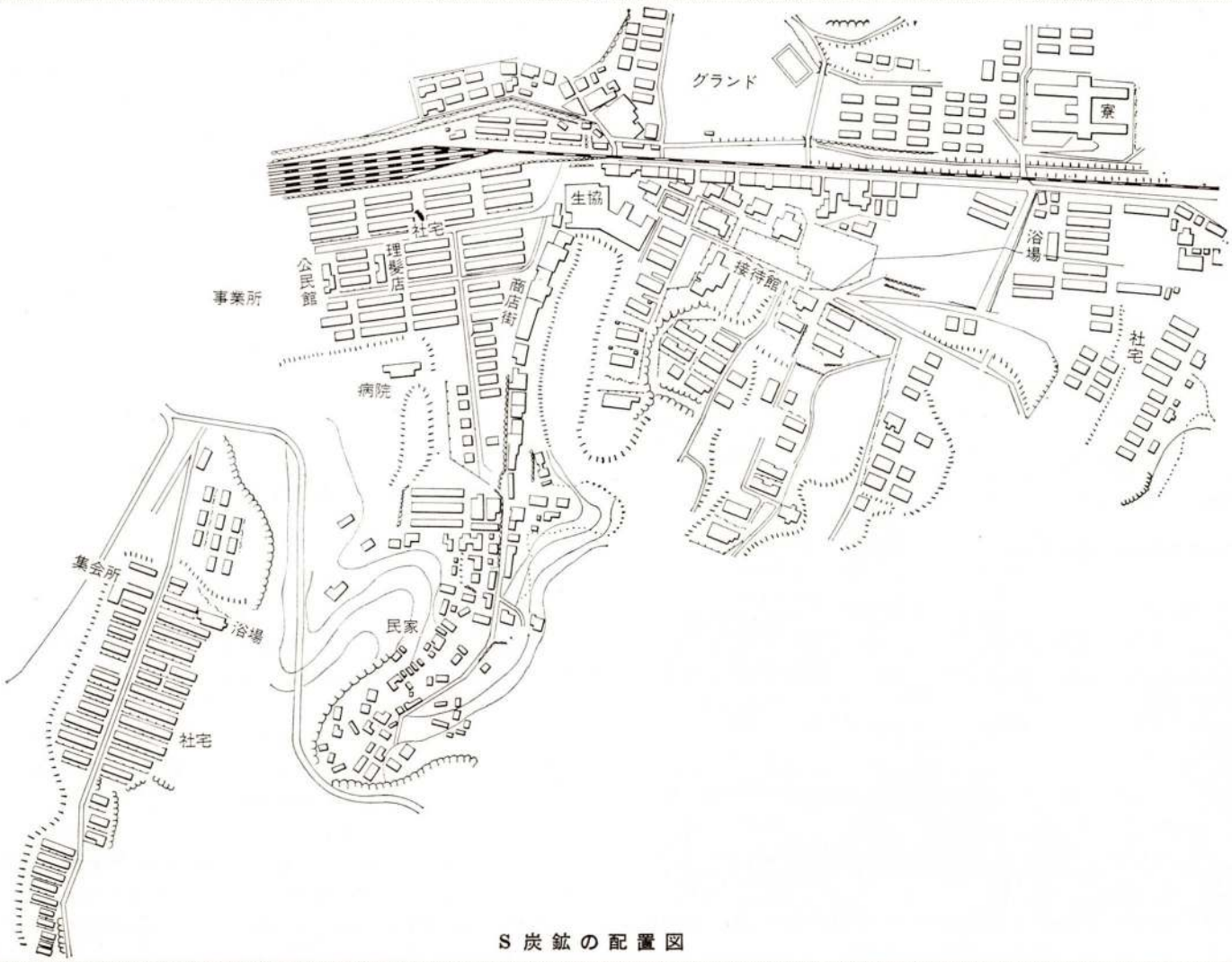
家庭生活にも大きなひずみを与えた。中高年層の失業者は生活保護にたより，失対労務者として生活しているが，生活に何の夢も希望もなく，一度でも病気になり，事故に逢うともう立ち上がれないぎりぎりの最低生活を強いられ，子供達の教育はおろそかになってしまっている。長期欠席，怠学，無気力となった児童は非行に走りやすい。このようになった原因に全く手がふれられず，単に規則をおしつけ，問題児として補導するだけではとうてい解決できない。校舎と同じように子供達の気持も荒廃している。炭鉱が閉山したあと，炭住周辺の小売業者の多くは未回収の売掛け金をかかえたまま廃転業を余儀なくされ，店をたたんでしまった。店を続けている場合でも売上げは激減し，いつまで続けられるかわからない状態である。炭鉱を縮少して経営しているところでは，炭鉱の商事会社がマーケットを独占し，一般の小売店の業者に打撃を与え，営業不振に拍車をかける結果となっている。

炭鉱に長い間働いていると，怪我をして不具になったり，結核，神経症，硅肺などの病気に犯され，労働者を働けないようにしてしまう。炭鉱とは大量に労働者を使いつぶす産業である。炭鉱が閉山し，炭鉱病院が閉鎖されると，身近かに病院がなくなった。病院があっても利用できないような経済状態ではあるが，治療の必要な患者が潜在的に多い。また，将来の生活に希望が持てずアルコール中毒になったり，精神に異常をきたした者が目立っている「知らぬまに老人が死んでいた」という痛ましい出来事，そこには失業と貧困のなかで命を断たざるを得ないところに追い込まれた炭鉱労働者の悲劇がある。

おわりに

筑豊を離れることができずに滞溜している失業者達を悪い居住環境に落とし込み，炭住から追い出すことによって，広大な社有地を企業に提供しようと意図する方向に"開発"が進もうとしている。産炭地振興は大量の失業者，広大な炭鉱用地，市町村の誘致運動が結びついて行なわれるところに大きな問題がひそんでいる。

「石炭産業の斜陽化」とか「エネルギー革命」といったムードのなかで，大手炭鉱は「合理化政策」を採用した。少数の優良鉱区を残し，多



S炭鉱の配置図

数の老朽炭鉱を第2会社に移管したり，閉山した。第2会社では労働者を減らし生産を上昇させて合理化を進めた。安全性より採算性に重点がおかれ，事故が必然的に続発した。

災害疾病者は生活保護をうけ，他産業に転職が困難な中高年令の失業者は失対または公共事業の日雇い労働者となって炭鉱に滞留した。特に北九州工業地帯に近い筑豊北部に比べ，南部は雇用機会が少なく，低賃金労働者として雇用される条件を備えている。

中小企業は融資，税免除，奨励金交付など優遇措置を受けて筑豊に進出してきている。地方公共団体は産炭地振興の美名のもとに企業の誘致と育成には熱意を示し，少しでも財政が豊かになるように期待しているが，一方において住民の生活を一層苦しい状態に追い込むことになっている。

我々は筑豊における居住環境の実態とその背景を住民の側からとりあげて報告した。住民にとってあまりにも暗い側面ばかりであるが，このような現実から明るい希望を生み出すためには住民の要求の組織化と同時に，多くの支援のもとに，生活を守る闘いとなって発展することが必要であるのだが……。

参考資料 ① 炭鉱住宅実態調査結果報告書
S44年 建設省住宅局
② 産炭地域振興調査報告書
S43年 福岡県
③ 経済—筑豊失業地帯・白水洪平
1967年10月 新日本出版

（国勢調査による）

	世帯数	人口
S35年	199,291	952,529
S40年	189,470	770,746
40/35	95.1%	80.9%

（単位 人）

	生活保護率	福岡県	全国
S35年	57.8	33.0	17.4
S40年	135.9	58.9	16.2

（事業所統計による）

	鉱業事業所数	従業者総数
S35年	407	89,640
S38年	281	37,041
S41年	257	27,904

（単位 百万円）

	1商店当り年間平均販売額	福岡県
S35年	5.5	14.2
S41年	6.8	28.8

石炭鉱業

	炭鉱数	出炭数（千トン）	実働労働者（人）
S35年	190	14,862	70,086
S40年	65	8,624	19,527

財政力 （単位 千円）

	財政力指数	固定資産税	鉱業税
S35年	61.5	1,185,371	311,566
S40年	34.9	1,289,513	248,933

歳出決算 （単位 千円）

	消費的経費	投資的経費	その他
S35年	4,021,381	2,391,297	660,840
S40年	9,410,859	5,470,748	1,459,703

石炭鉱業からの税収入 （単位 千円）

	筑豊の市町村税
S35年	903,526
S40年	672,875

小学校

	学級数	教員数	児童数
S35年	3,205	3,825	157,818
S42年	2,188	3,053	77,740

中学校

	学級数	教員数	生徒数
S35年	1,335	2,003	62,990
S42年	1,283	2,364	52,119

	棟数	住宅数	一戸建	長屋建	共同建
T炭鉱	243	435	34	401	0
Y炭鉱	430	1,614	2	1,610	2
H炭鉱	189	605	38	567	0
O炭鉱	630	2,016	40	1,967	9
S炭鉱	229	722	13	702	7

3 板付基地と都市構造

はじめに

板付基地と呼ぶのは，板付飛行場を中心とした雁ノ巣空軍施設，春日原住宅地区等の諸施設からなる一連の在日米軍提供区域をいい，関係面積は，356万坪にまたがっている。

昭和38年末，在日米軍の再編成による縮少に伴いそれ以来予備基地となっており，予備基地化によって常駐の機数は少なくなったが，しかし板付飛行場は，三沢(青森) 横田(東京) とともに日本における米空軍の三大基地の一つとして整備されている。したがって，ベトナム状勢の緊迫化，朝鮮のプエブロ号事件等，また日米合同防空演習その他の不定期に飛来して訓練が行なわれている状況であり，あくまで前進基地としての性格は濃厚である。このように，板付基地は，とくに朝鮮半島における軍事行動の第一線基地として重要な任務をおびており，表面的には予備基地となってはいるが，第一線基地としての機能は十分に温存され，実戦のための訓練基地として常用されているのが現状である。後述するとおり，事故・被害はそれによって決して減少はしない。

このような基地が都市住民に及ぼす精神的・肉体的影響は，はかりしれない。それは，米機墜落事故・騒音・電波障害・都市機能と全く相反する一等地の空地占拠としての都市構造の歪み等々に現象しており，それによって影響を受ける周辺の地域住民の叫びは悲痛である。

われわれは，これらの多面的な基地災害を都市問題の観点から以下明確にしてゆくが，その前に，板付飛行場の福岡市の中での存在状況を明らかにしておく必要がある。

板付は，福岡市都心部から3.5km，時間—距離15分圏内に位置している。飛行コースは，ほとんど市街地上空であり，事故・70db（デシベル）以上の騒音等の直接的影響圏も，飛行場を中心に半径5km圏に及んでいる。福岡市全域との割合でみると，面積で約30.6%，人口33.5%，世帯33.2%に及んでおり，この圏内にある公共施設は，教育施設109，生徒数85,240人，医療施設713，ベッド数7,213，社会福祉施設26，収容人員1,980人となっている。それらもほぼ福岡市全域の3～4割を占める直接的影響圏の大きさがうかがえよう。

市街地と飛行場との距離を比較すると，例えば厚木は横浜市まで20km小牧は名古屋市まで15km，三沢は八戸市まで20kmとなっている。また人口80万都心部に隣接して基地をもつことはほとんど稀であるし，かような都心部に敷地面積135万坪（飛行場のみ）の立入禁止区域の広大な空白状態を創り出しているのは世界でも皆無である。

1章 直接影響圏域のもんだい

1. 安全性

昨年6月2日九大キャンパス内に墜落したRF4—IIファントムZ機に象徴的に見られるように，直接的な生命の危機・脅威は日常生活の中に深く潜在しているといえる。昭和20年以来，今回の九大墜落事件までの事故回数を見ると，23年間に109件に及んでおり，年間5～6件の割合で確実に直接的な事故が続発している。この間の死亡者は20人にも達し，負傷者13人を合わせて人身被害が33件の多数にのぼっている。また建物全壊13，一部損壊59合わせて72件その他の物件の被害は252を数えている。事故地点は，基地滑走路の南北，離着陸コースに集中しておりそれの4km圏内に物件172を数えている。

九州大学と宮松小学校は，この離着陸コースの直下で離着陸時40～60秒の地点であり，頭上70m～170mの高さをジェット機は飛行する。「新鋭軍用機の滑空能力はほとんどなく，エンジンが故障すればただちに失速墜落する」といわれている。「雁ノ巣上空で着陸態勢に入るとき

は，時速240 mの低速で，仮りに九大上空でエンジンが2コ共故障したとすれば，半径数百mの範囲内に数秒で到着する。したがってパイロットには，墜落地点を選択する余裕はほとんどない。しかも，米軍の場合，パイロットの養成費が機体費用を上まわることもあって，パイロットの脱出を機体よりも優先させる方策がとられている」と日本科学者会議は述べている。しかも，米軍機が民間機に比して決定的に危険であるのは兵器搭載の点にある。

九大の箱崎・堅粕キャンパスにある「放射性物質を取り扱う施設は，潜在的危険性をもっている故に，災害・被害に関して安全性が保証されねばならぬ」と九州大学のレポートは示しながらも，さらにつづけて「民間機に比べてはるかに事故率の高い軍用機〔注〕が爆弾薬を搭載している場合，墜落によりこれが爆発すれば，さきにのべた安全対策をもってしても被害の防止を保障することは困難だ」としている。

一方，「基地移転協」も基地の性格からもいって報復措置を懸念し，「ロケット兵器の発達にともない核弾頭をつけたロケットが1万キロ以上の地点から目標物に対して正確な命中率で発射される時代において，基地存続に対する住民の不安感・恐怖も誠にゆるがせにできない実情にある」と訴えている。

このように，人間の存在そのものを抹殺してしまう可能性をもつ基地。基地の機能を発揮すればするほど具体的な一個の人間の生活・生命を奪い去る契機をもつ基地に対する住民の怒りは，それゆえはかり知れない。そして基地撤去を叫び，立ちあがった福岡市の住民たちは，ある時は陳情し，ある時は生命を守る斗いを組んでからすでに20年近くになる。だがしかし，それに対して国家は，「遺憾の意を表明する」か，「2・3年のうちに移転を考慮する」といった声明によって問題をすりかえ，あまつさえ運動の停滞期には，国際空港のための滑走路拡張に名をかりて，さらに基地の拡張を提案してくる。

〔注〕6月2日九大構内墜落事件のとき，米軍基地司令官は「米軍機は安全性が高い。むしろ日本の民間機の方が危険だ」という談話を発表した。だが事実は全く逆で，10万時間当りの事故率は民間機0.03件に対して米軍機5～6件となっており，板付基地での事故は，すべて米軍機によるものである。

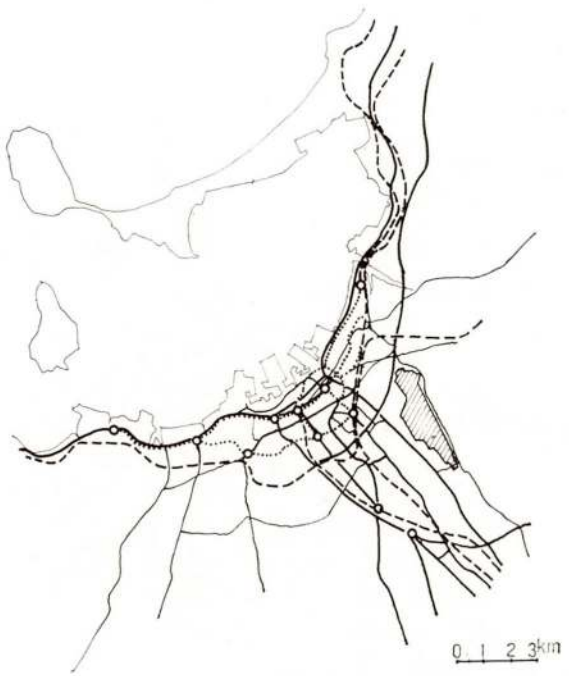
2. 居住性

直接影響圏域内での公共施設の数は先に示した。基地と住民生活の矛盾の根本解決は，基地の撤去以外に道はないが，しかし他方では現実的なもんだいとして，住民生活への基地の被害を少しでも除去する手段として居住性の改善をはかる努力を忘れてはならない。基地周辺の住民生活を考える時，飛行機の爆音，整備音に対する騒音のもんだいが論じられねばならぬ。直接影響圏域内の公共施設の例として九大構内で行なわれた騒音調査の結果を引用すると，昭和43年8月時点において70db（デシベル）以上を与える飛行頻度は，10～13時と15～16時の時間帯が大きく，たとえば，10：30～12：30までは平均22回にわたって授業防害を与えている〔注〕。

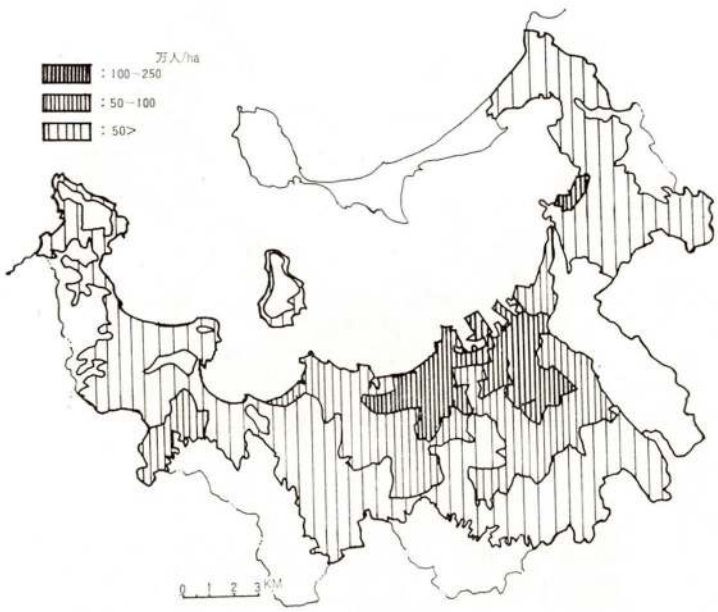
〔注〕詳細は，九大環境工学浦野研究室のレポートにある。S38.10，S39.6，S39.8，S40.4，の各週，総地点39地点を選び騒音調査結果が報告されている。

これらの騒音による精神的・肉体的影響は大きい。例えば「人身影響調査」によると，①被害地区の住民は，高血圧の人が多く，飛行機騒音による慢性的影響をうけている結果とみられる ②騒音地区中学校では，騒音が精神的疲労を高め，学習能率に影響を及ぼし，学童の心理面の発達をゆがめる可能性がある ③聴力の低下が明らかである，などの影響があることが明らかにされている。また爆音の強振動により「瓦がずれ，壁土が落ち棚の物品も安定せず，家の建付が狂う」といった結果も報告されている。これらの騒音対策は，数回の要望・陳情の結果，小・中学校の対象校及び数カ所の病院に防音工事がなされたに過ぎず，圧倒的多数の住民には特別の補償もなくただ騒音になれることによって，自衛しているのが実情である。

また，人身に及ぼす影響のみではなく，環境に及ぼす影響も決して見過ごせない。例えば，離着陸時の周辺交通の遮断，基地内市道延長44kmの使用不能，用排水路延長32kmの潰滅・切断などによる都市交通・農畜産に対する被害，その他地下水の涸渇と汚染等多様な被害が，周辺地域の荒廃を生み出し，人間の生活体系を蹂躙している。このように，基地の影響によって地域の居住性が悪化し，まさに都市の「巨大な癌細胞」を作り出している。さらには，それによって地価が安くそれゆえ中小企業の工場が立地し，スラム化し，実に都市そのものを荒廃に導くような傾向さ



図—1 交通ネット現況



図—2 人口密度

え起こってきている。

〔注〕これの影響結果については，「爆音の住民に及ぼす被害」「爆音が教育に及ぼしている阻害」「爆音が児童生徒に及ぼす心理的影響」等のレポートに詳述してある。

2章　都市構造と基地―間接影響圏域のもんだい

基地が存在するしないにかかわらず，現代の都市問題（例えば過密と過疎・郊外へのスプロール・それにともなう交通混雑等々）は，あらゆる都市に共通して存在している。このような問題をかかえている都市に「基地」の存在によって，さらに，いかなる影響を都市構造の中に及ぼしているか，を解明することはきわめて困難である。局部的には，先に基地周辺での安全・被害・騒音等の直接影響圏域でのもんだいとして第1章において述べたが，ここでは，そのように居住性・安全性も低劣な基地周辺地区が，福岡市全域の都市構造にいかなる影響を与えているか，を生態学的に分析することがテーマである。福岡市のほぼ4割を占めるこの直接影響圏域の広大な空白地は，決定的に都市構造の歪みを創り出し，間接影響圏を創り出している。もちろん普遍的なもんだいと，基地もんだいは相互にからみ合いながら問題の所在を複雑化・不明確化している。それは，福岡市都市「発展」の構造のダイナミズムの中にこそ，つまり，人口密度―増加傾向，交通体系の変化，土地利用傾向等の中にこそ，矛盾の基本的構造を求めなければならない。

1.　板付基地及びそれの直接影響圏とは相対的に独立した都市構造

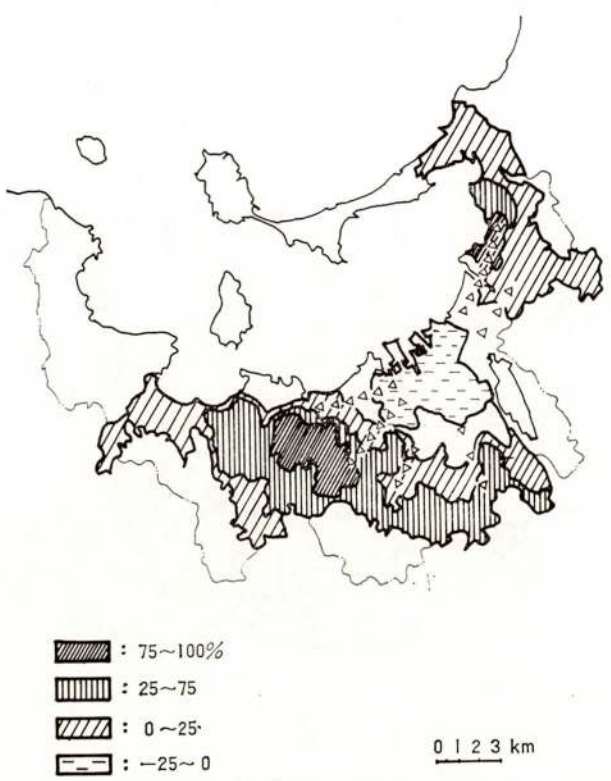
昭和30年代の福岡市の都市構造を観察すると，T字形の構造を示し，西南部地区は，広大な住居供給地区でかつ農村地区であり，東南部地区は板付基地の立入禁止地区で都市の空白地帯であり，したがって，都市パターンとしては，古典的ともいえる理想的なT字形構成を示している。つまり，国道3号線・国道202号線，及び鹿児島本線・筑肥線，私鉄大牟田線・宮地嶽線等によってほぼ福岡市の構造は決定づけられているといってよい。そしてそのT字形の交点に都市中心部（商業・業務地区）があり，その線上の形態に沿って市街地が展開している。工業地区は，博多湾に沿ってコンビナートを形成し，それにわずかに国道3号線沿いの郊外に立地が見られるのみである。(もちろんT字形構造そのものが基地による影響と考えられないことはないが）そこでは，直接影響圏域自体の居住性のもんだいはありながらも，相対的には「基地」の空白地は都市構造上あまりもんだいとはなっていない。都市問題は主として，そのT字形の市街地に顕在化していたし，交通もんだいも同様にT字構造上に展開していた。つまり，直接影響図の都市構造上におよぼす影響は弱く，福岡市の構造はそれとは相対的に独立していたと考えられる。ところが最近の都市の「発展」「成長」「膨張」は，具体的には人口増加・自動車交通の増大等によって，地域空間の均質化を推し進め，急速に郊外へのスプロール現象を展開し始めた。そして都市もんだいは，都市活動のT字形構造そのものの桎梏として顕著になりだしてきた。具体的には，S35・S40・S42の傾向を見ると，かって農村地区であった西南部地区へのスプロールが激しく，都心部（商業・業務地区）がそれにともないT字形の交点より西南部方向に漸次移行をはじめている。また，国道3号線沿いへの工業立地によって構造の変化がより明確になりつつある。それも板付基地周辺の「直接影響圏域」を完全に避けた形成をもって自己保全的に展開しつつある。（図―1）

2.　「発展」「膨張」するに従い，直接影響圏域の存在によって，都市構造の歪みが顕在化する

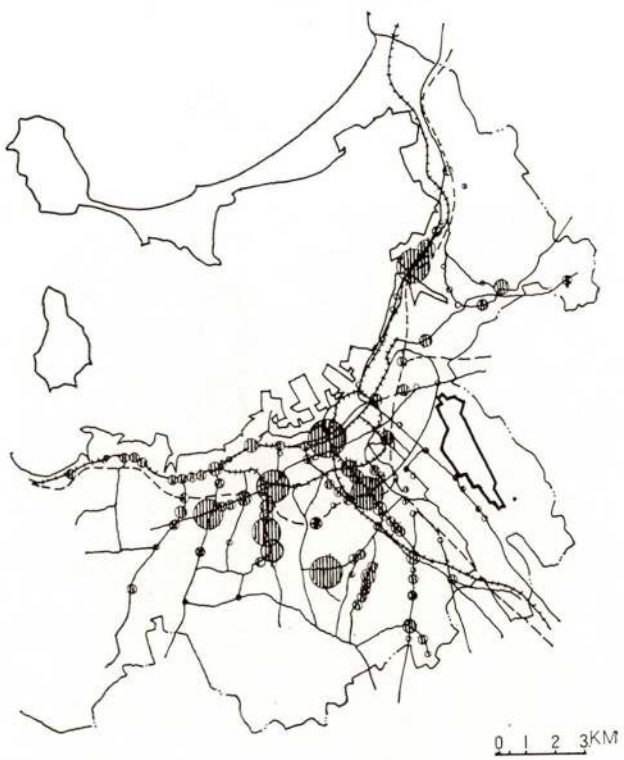
昭和40年の人口密度を見ると，ほぼT字形の交点を中心にしてドーナツ現象を見せながら同心円状分布を示し，直接影響圏域の箱崎・馬出・千代・吉塚校区も・その同心円状の一環に接触しながらも高密度分布を保持している。しかしながら人口増加傾向をみると，例えば，基地をかかえる蒲田地区・金隈地区は0～25％で，昭和30年度で社会・経済・交通的に類似していた長尾・三宅地区等が50～70％の割合で増加しているのと鋭い対照を示しているので明らかなように，その全般的傾向もまた，都心部から3㎞の板付基地周辺の「直接影響圏域」を全く避けた形で西南部地区にその住宅地を展開している。

一方もし，板付基地がなかったならば，この地区は住宅地として西南部地区同様に発展したはずであるが，しかし，今まで述べてきたように巨大な「真空地帯」によって，せきとめられた都市生成の波は，その地区を見限ってさらに8㎞離れた北東部地区の名島・香椎地区まで流れ込んでおり，完全に西南部地区と分断されて歪んだ都市構造を助長している。

このような都市の「膨張」「発展」は，背後に山地を控えながら丘陵



図―3　人口増加率



図―4　通勤・通学時満員で乗れない停留所駅

地帯まで住宅地区を拡大しており，遠距離通勤—生活環境不良等を促進しているし，交通もんだいも，T字形の線上から漸次西南部地区に移行しはじめ，激しい交通滞留もT字構造から西南部地区へのアプローチ・分配道路に移行している。つまり，ここでは，人口重心が西南部地区に移動することにより，福岡市の癌細胞的性格の板付基地が，都市構造に間接的に及ぼす影響として明確となる。（図—2，3，4）

3. 補完作用として直接影響圏域内の再編

「直接影響圏域」は，先に述べた如く，住宅の伸びは全く見られない。しかしながら，隣接している国道3号線沿いに輸送立場の工場がはりつき，しかも居住性が低くそれゆえ地価が安いために中小企業の工場群及び流通センター等が，無秩序に立地し始め，それは着実な増加を示している。そこでは川の汚染が現出し，工場による交通量の増大によって騒音が飛行機爆音に拍車をかけている。ちなみに，「福岡市都市計画書」ではこの地区を準工業地区に指定しており，まさに西南部地区の住宅地区としての機能特化を補完する形で提案している。それは，生活構造よりも産業構造を優先した形で，都市の雑種地帯の形成に手をかしており，都市環境悪化の促進を推し進めるものである。したがって次のことが結論できよう。

つまり，都心部（商業・業務地区）と隣接している直接影響圏を，そのまま準工業地域に指定することによって今迄以上の劣悪な生活環境を創り出しスラム化し，かつそれによって，基地周辺地区の土地利用上の固定化をはかるものであるし，基地拡張の布石ともなるものである。（図—5）

4. 板付基地の固定化

「福岡市都市計画書」によると，T字形構造の片肺部である西南部地区は住宅地，もう一方の東部地区（基地及直接影響圏域）は工業・準工業地区となっており各々機能を特化し，それに応じた交通体系が開発されることになっている。

つまり，西南部地区のスプロールによって生じる交通問題に対しては，各住区を通る循環交通体系によって，しかも東部の直接影響圏を避け，一点集中型の都心部を形成するよう意図されている。一方東部地区つまり基地の進入路地帯は工業立地を見込んでの3号線バイパスが計画されている。

このようにして基地及び「直接影響圏」を準工業地区に指定することによって，さらにはそれに見合った交通網体系の計画によって意識的にせよ，無意識的にせよ基地を固定化させることは明白である。

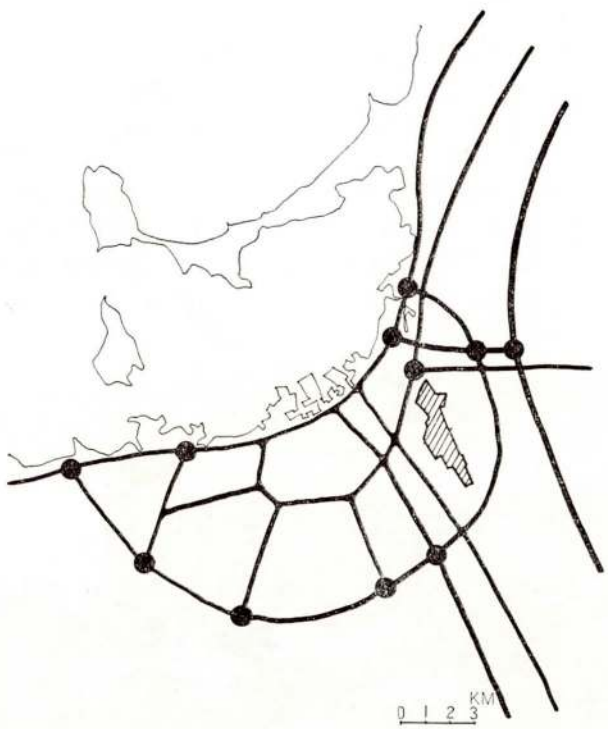
福岡100万都市を構想するにしても，都心部の一点集中型は今日までの他の都市を引き合いに出すまでもなく絶対に考えられないし，また西南部地区の住宅地はあまりに狭隘である。現在展開されている宅地は丘陵地で背後は山地であり，これ以上人口増加を見込むことは過密化状況を拡大再生産するだけであり，環境の悪化を招くのみである。たとえそれを一歩譲って認めるにしても，福岡広域圏の母都市としての福岡市を考えた場合，まさに都心部に工業地区が，それ以上に悪化したスラムが現出することになり，決して容認できるものではない。（図—6）

以上見てきたように，板付基地と都市構造の関係は，①板付基地及び直接影響圏とは相対的に独立した構造　②「発展」「膨張」するにしたがい，直接影響圏の存在によって，都市構造の歪みが顕在化する　③補完作用として直接影響圏域内の再編　④板付基地の固定化といった4つの段階をえながら「基地」の都市構造への包括化，固定化が促進されつつあることが理解できた。それは一見して，基地の矛盾を，都市構造の「発展」「膨張」「成長の中に解消され解決されたかのように見える。だがしかしそれは，非常に危険な火薬庫を心臓にもちながら「発展」する都市に似ている。第1章において述べた如く，何ら安全性も居住性も保証されていない地区であり，生命の脅威と直接向きあう形での「成長」「発展」であることにかわりはないのだ。都市構造は，「成長」「発展」といった表現で基地の矛盾を隠蔽する方向で進むが，本質的には矛盾の拡大が進行し，悲惨な事故は繰り返され，具体的な都市もんだいはますます激化するだろう。それはまさに，大資本が安全性を無視して合理化を推し進めてゆくメカニズムと全く軌を一にした構造をもっていることがわかるであろう。

参考文献　「板付基地問題資料集(下)」板付基地移転協。「都市問題」西山夘三・佐藤武夫。「基地と大学」九州大学。「住民の公害白書」社会新報。「都市再開発構想（第2部）」九州大学野村研究室。「航空基地周辺の騒音性状に関する研究」坂田展甫



図—5　**建築用途占処率**（用途建築総面積／建築総面積>25%）



図—6　**道路計画**（福岡市都市計画書）

④ 住民運動の展開 福岡子ども劇場運動

前段までに，住宅問題・産炭地問題，基地問題を住環の観点から各々の矛盾の構造・背景を摘発してきたが，ここでは，それを克服するひとつの手だてとして住民運動を具体的にとりあげ，その方向・可能性をきわめてみたいと考える。解決の方法は，現在的にいろいろ提示されている（おお！　開発という名において）と考えられるが，われわれの立場は，住民運動を具体的にいかに展開するか，にかかっていると思う。地方自治体にしろ企業の開発部にしろ，その内部での良心的な部分での都市問題の克服の努力を私たちは安易に否定しようとは考えぬが，しかし，私たちが，今回のレポートで住宅・産炭地，基地の問題を検討した範囲内では，そういった内部での努力がむなしくも実は矛盾をさらに拡大化しているのではないのか，という一定の結論が，明確化できたことである。はっきりと限界があるのだ。と……

であるが故に，そのような結論をふまえて，ここでは問題を先取りした形で展開しているところの住民運動を評価して，今後の展望を語りたいと考えている。

たとえば，例としてとり出すまでもないのだが，「恐るべき公害」では次の如く述べている。つまり，資本主義国で私企業が，都市問題の対策にのり出す理由として第1に，一般住民の生活はもとより私企業の生産活動をも妨害するようになったこと，第2に，民間資本に必要な労働力の再生産が，都市問題によって妨害され始めたこと，そして第3に，住民や世論の運動にあると。すなわち，第1と第2の理由が資本家にない場合は，ほとんどその解決は困難であるし，それゆえに住民運動による他はない。

福岡市における地域住民運動は，大きく展開しているものに基地撤去運動と福岡子ども劇場運動がある。前者は，20年間にわたって基地周辺の住民を中心として市全体に展開されており，全国の基地斗争とほぼ軌を一にした運動である。生命の危機・居住環境の悪化による直接的な利害と結びつく故に予防斗争としての，ないしは対症療法としての住民運動として成り立ち，怒りを基盤にしているゆえにその斗争は強い。一方後者の運動は，文化運動的要素をもっており，教育斗争としての住民運動でもあり，それは明確なる階級的視点なしには住民運動は組みえない。にもかかわらずしかし，現在的には，明確なる姿勢を打ち出しえぬままに，今日に至っており，さまざまな批判を受けながらも，全国でもユニークな運動として発展してきている。この運動には，環境計画研究者が，一貫してコミットしてきており，この章では，この福岡子ども劇場運動について述べ，発生，生成そして現在の矛盾点をとらえあわせて住民運動の将来的なあり方，建築・都市計画家の住民運動とのかかわり合いに言及したいと思う。



1.

出発は，大学時代の友人同士の読書会・サークル運動から始まる。現場で働くマスコミ労働者・教育労働者・児童文化研究者・環境計画研究者などの7人が核となり，各現場からのさまざまな矛盾が議論の対象となった。「幼稚園教育の体制が確立していない」「遊び場がない」「児童の文化施設がない」「子供にコミニケートされる文化といえば，商業主義に流されたマスコミ文化の氾濫と退廃」「親と子どもの関係」「学校における受験コース環境」「子どもの創造性・想像力とは何か」等々。現場の教師（小学・中学・幼稚園・保母）が周囲に結集して，「文化や教育の歪みは著しく，家族や学校だけでは解決できない深刻な事態を生み出している」ことを基底に押さえながら，まずわれわれのやることは何か！　である。

具体的には，子どもが積極的にかかわれる催物（人形劇・舞台劇・音楽等）が皆無であること，そしてそのための子どものための遊び場・施設が決定的に不足していること，まずこの単純な，まさに単純な目標を設定して行動していった。

2.

昭和41年6月，会員300名でスタートした。組織は，大人と子ども独自に，3名以上で1つのサークルを構成し，年3回の定期例会を目標にした労演方式である。中央で苦斗している人形劇・児童劇・音楽等の劇団をさらに自主的に選択し，例会において観劇する。そして特別例会においては「子どもまつり」を催し，子どもの創造性や自発性を高める。こうした方法で出発して半年後に1,700名の会員を超えるに至り，「大人と子ども達」の児童文化に対する希求が，いかに強いかを確認している。この間，福岡市民会館の「使用料が高い」「入場税をとられるのはおかしい」といった問題がおこり，これをめぐって子ども劇場の各サークルが，討論を深めてゆく中で，市議会への請願がなされ，同時に各サークルの活動は，動きはじめた。当時の請願書は，次のように訴えている。「市民会館使用料，市の助成金，および子ども劇場設置についての請願書，福岡市民会館の使用料が非常に高いために文化活動を阻害していること，および自主的に会費を出し合って活動を続けている会に税金をかけてくることも大きな障害になっていること」を訴えている。

第2年度に入ると，会員が2000名を超え，次第に例会活動・サークル活動の2つの大きな方針が実質ともに明確化されていった。

例会は，年5回の開催，人形劇団「プーク」，影絵等が上演され，さらに小例会・特別例会等によって，文化に対する大きな視角が養われる。サークル活動においては例会で開催される作品についての問題意識を持ち，鑑賞後の合評会等が行なわれる。また，映写会・母親との討論会・子どもだけのキャンプ・ハイキング及研究会等のサークル活動が活発になり，子ども劇場の大きな支えとなって展開された。そして，こういったサークル活動を基盤にして，前年度の問点としてあった対外的な問題，つまり，使用料・税等のもんだいが，さらに大きな要求運動となって展開された。そのときの総括を見ると「全国でも例のない運動だけに当初予



想もしなかったいくつかの困難な問題が出てきた。その一つは税金問題。月々に出し合っている会費は，劇を見るためにだけ積みたてているとみなし「入場料金」として扱うということである。この課税方法でいくと，月々の会費の一割が税金でとられる。また一つの問題は，市民会館などの使用料もんだい。会場費は8月例会で1日16万円が請求されている。全国的にみて，10万円をこえる市民会館はない。例えば北九州の市民会館は，1日6万円となっている。もう一つは，市からの助成金であり，現在市教委の補助金は，年間1万円にしか過ぎない……」となっている。

そして第3年度になると，会員2,500名～3,000名となり，例会は年5回，ここでの基本課題として次の4点があげられている。①例会を充実させ，ジャンル別に多彩にとりあげ，（人形劇・舞台劇・バレー・合唱・音楽等）各劇団の作品の内容に対して注文をつけてゆく　②「親と子の断絶」をどう発展させるかはサークル活動の課題　③児童文化・劇場運動の研究活動　④他の地区・他県での「子ども劇場」運動結成を支援してゆく――例えば，静岡・長崎・下関・北九州等……。

この方針は具体的には，例会活動に対して見る側（子どもと親たち）が積極的に演じる人々に要求を出すようになり，「児童文化」に対する明確な選択の目をもつようになってくる。一方サークル活動においても，子ども達や親達も家庭の枠からぬけ出し，影絵・人形劇等を自分達で創り出し児童文化の押しつけをはねのけて実質的に自分の手にとりもどしつつある。そしてそれまで一貫して運動を続けてきた子ども劇場建設要求は，児童センターといった形で実現をかちとるに至った。これによって，子ども劇場運動の出発時点よりの懸案は，一定程度の成果をおさめつつも次のような問題をはっきりと押さえている。すなわち「一方会館のつくりからくる音響効果のもんだい，人形劇では広さのもんだいなど，せっかくの舞台も会場に起因する多くの問題がある。このようなことを考えても，私たちが安心して使える会館，すなわち子ども劇場会館を私たち独自の力でも建設することを目ざしたい」としている。

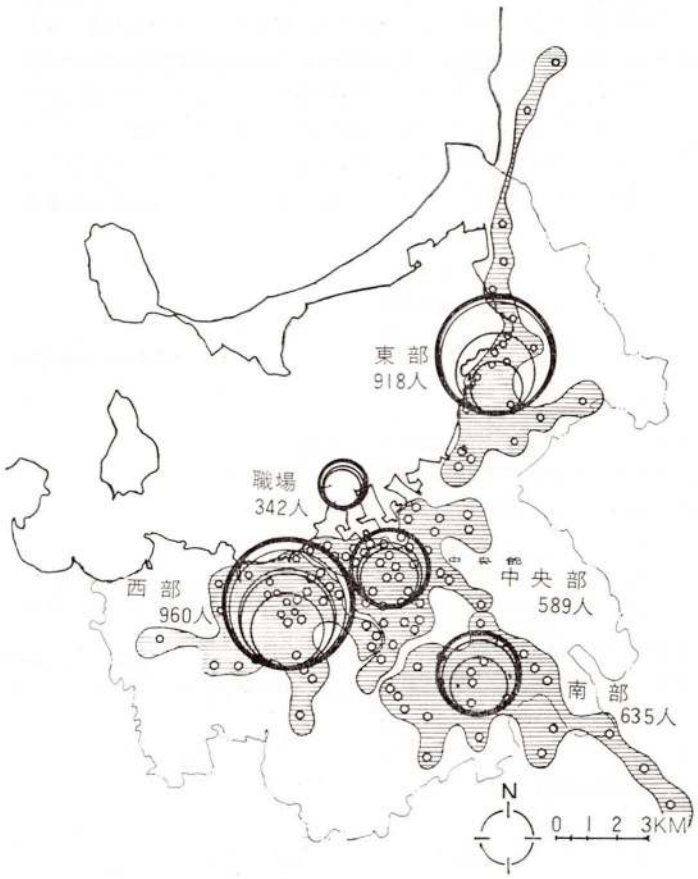
3.

「運動論のみを論ずることは不毛である」だがしかし，「本質論を展開しても運動は始まらない」とは，この子ども劇場においても真理である。「子ども」と「教育」の明確なる理念的位置づけもなされぬまま運動は展開されても，具体的現場における矛盾の克服は少しづつ進みつつある。もちろん，理念としての子ども劇場運動の方針を大きく打ち出す必要は認めながらも，なおかつ現運動のあまりにも卑弱さを自己批判的に把らえ，まず具体的な矛盾の克服・展開である。たとえば，例会におけるテーマの選択においては「シンデレラ姫」と「竜ノ子太郎」の場合に子ども達は後者にその圧倒的評価を与えており，子ども達のある程度の選択眼を認めることができるだろうし，また，サークル活動においても，子ども達の自主性，自ら創り出してゆく体験を着実に自分のものにしてきている。また，大人，青年達のサークルは，そういった子ども達のサークルを発展・維持する環境を創り出すことにその運動の主力をおきつつも，同時に，児童文化とは何か，子どもにとって文化とは何か，教育とは，を論理的に追求しているし，直接的な利害関係ではないにしても，例会でのテーマ選択・サークル活動等での具体的学習においてその姿勢を明確にしつつある。そう，最初に述べたように，あらゆる運動がそうであるように，性急にイデオロギーを云々しても単に権力の攻撃目標になるだけで決して永続化しない。それゆえ，運動の外側からの視点では，きわめてあいまいなものと映りうる。運動論的に見れば，まさに「ねばり強い長期的展望」のもとに住民運動は構築されねばならない。

児童センター建設が決定し，そのプロセスを彼ら（子どもや親たち）は，くもりのない目で追っかける。例えば設計プロセスにおける設計業者間のハレンチなやり方，そして，全く「子ども」という観点を抜きにした設計建設されれば，結局は，料金は高く，時間の制約があり，使用は「自由」ではない。そして決定的なことは，市に1コの児童センターを作り，それによって子ども達のさまざまな要求をすべて圧殺しようとする意図。



会員増加状況



サークル（1969年9月現在）及会員増加状況

つまり，住民（子どもと親たち）が望んでいる空間は，その行動圏に応じて「自由に遊べる場」なのだ。決して都心部に1カ所といった発想はしない。これによって，自治体で建設される児童センターは「与えられるもの」であっても決して「自分たちのもの」ではないことを直感として十分認識し始めているのだ。このことは子ども劇場の方針としても明確になってきている。

問題を，建築家に限るならば，ここに一貫して運動にかかわってきた環境計画研究者と，施主―設計者といった図式との相違は明らかとなる。つまり，子どもにとっての必要な設計条件のわくを広げてゆく斗いと，一方設計条件を前提とした設計プロセスの結果は，実現されるまでもなくこれによって自明となる。いかに良心的な建築家でも資料集成でしかとらえることができず，「子ども」を具体的にとらええないゆえに，かつまたつくられた設計条件が前提であるゆえにその破たんは大きい。一方運動へのコミットは，具体的な「子ども」を把握し，それゆえ子どもにとっての設計条件のわくを打破ってゆく斗いともなる。もし「建築に何が可能か」を論じる者であるならば，この問題を素通りすることは決して許されないだろう。

南九州の課題と都市問題 —南部九州からの報告—

吉　野　正　治

1 南九州とは何か

はじめに

九州特集の一環として南九州からも何かしかるべきレポートを寄せていただきたい，という連絡を受けたとき，実は何をレポートしようかと迷った。大多数の読者は関西居住者であろう。そして建築実務にたずさわっている人々であろう。そのような読者にあれや，これやの南九州のできごとを紹介しても，一体何程の役に立つことだろうか？　そのものズバリのいい方をすれば，よい悪いは別として，大部分の人々にとっては，「南九州のことなどどうでもよい」ではないか？　こんなことを考えるとペンが重くなってしまう。そしてこの状態が数日続いた。そのうちに何とかよい考えが出るだろう。ところが，その期待とは反対にその迷いはかえって拡大し，はっきりとした不安をともなった。その不安とは何か？

それは，「南九州とは一体何なのか？——それは取残されつつある存在であり，その意味で，どうでもよい存在になり下っているのではないのか」という疑惑と不安の入り混じった迷いであった。皆様はオーバーなといわれるかも知れない。しかし地図の上では無視できないほどの拡がりをもつ地域が，日本の営みの中から陥没するという事例があるのである。その最も典型的な事例は産炭地である。産炭地にもまして疎外された地域として農山村や離島，沿岸漁村があるのではないのか？　疎外された地域とは日本の営みに参加を拒否された地域であり，参加を拒否された地域とは生き甲斐を取り去られた地域ではないのか？　私は過疎の山村を歩いたときいいようのない無気力感がただよっているのをたびたび察知した。これこそ，生き甲斐の地域ぐるみの喪失ではないのか？

このような思考の推移の中から，「——南九州とは何か」という問題を考えてみることが，非常に重要であると思うようになった。そして実際問題としても，「この問題」を避けてはいかなるニュースもむなしいものとなってしまうだろう。——このレポートはそのことを軸にして展開されている。

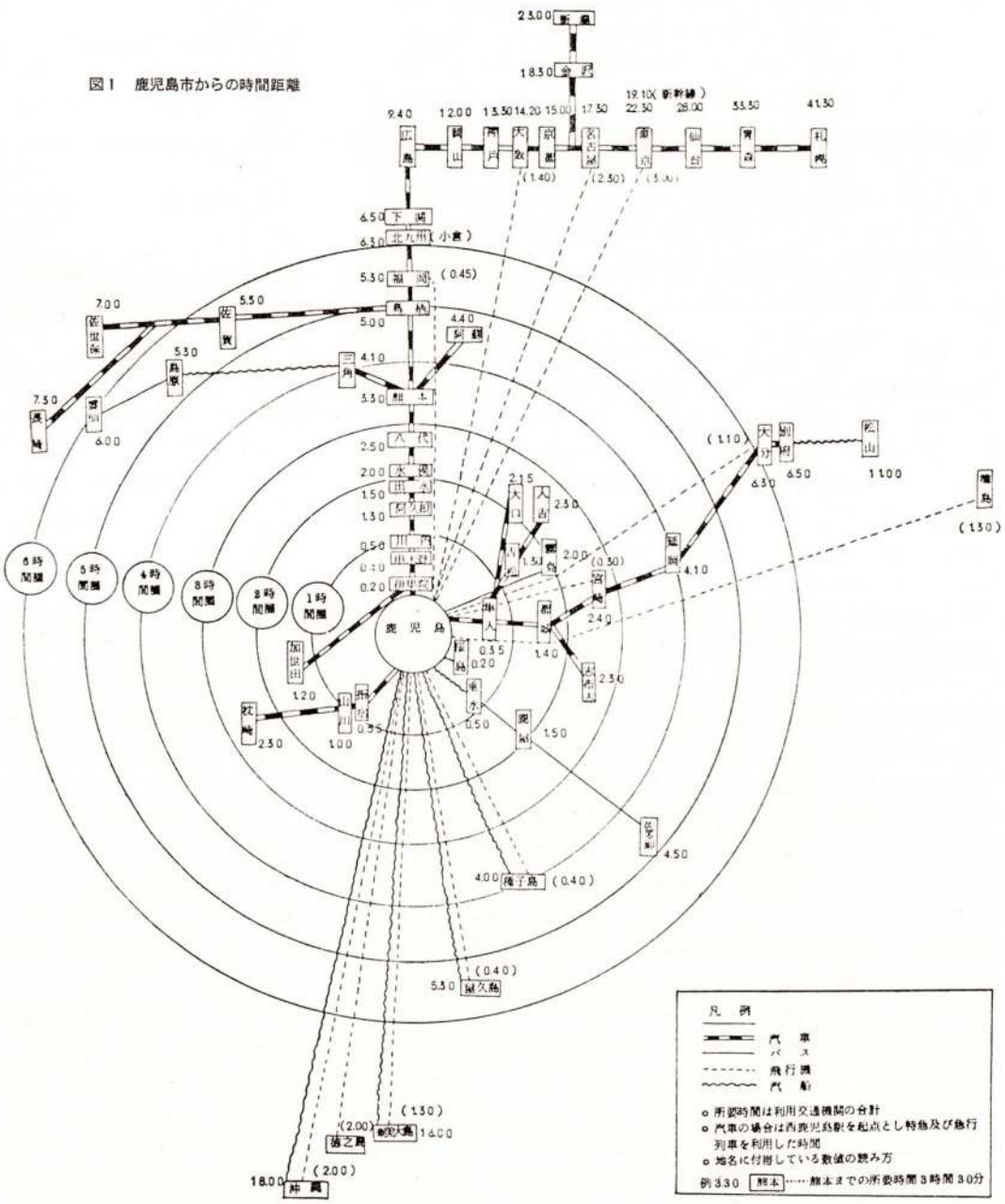
南九州の制約

南九州の立場を考える上で何としても無視することができない点は，南九州のもつ制約である。

南九州には，わが国経済社会の発展に伍し，積極的な参加を確保してゆくうえでの多くの制約——困難がある。

第1に，経済中心から遠く隔っているということ。大阪，東京からの時間的，経済的距離が遠いということは，競争社会の中ではきわめて大きなハンデキャップであることはいうまでもない。大阪から汽車に乗ってせめて博多くらいだったら——夜乗れば目が覚めると着いている——とそのたびに思う。鹿児島につくにはそれから5時間も，日中，車の中に閉じこめられてしまうのである。

図1　鹿児島市からの時間距離



南九州から東京・大阪はさすがに遠い

第2に，特殊土壌や傾斜地が多く，しかも台風，集中豪雨の災害がひん発するという悪条件がある。これは諸々の経済活動，とくに農業の発展に決定的なマイナス影響をおよぼす。

一夜のうちに穂がもぎとられ，緑の葉が黒枯れする様は農民ならずとも見るものをして絶句せしめる。

第3に，上述した制約の歴史的累積の結果として各産業とも経営は零細であり生産性は低くまた（概して）すぐれた人材が地域外に流出して地域内に留まらないという問題も大きな障害となっている。

図2　台風の通過路　南九州は台風によっていためつけられている

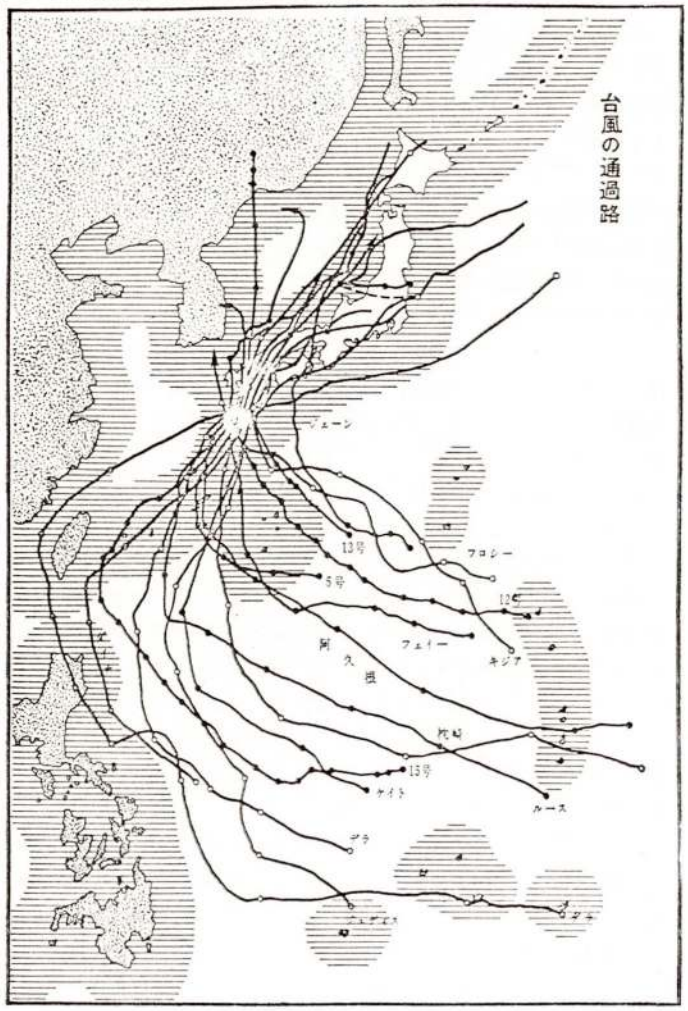




図3　南九州のシラス分布

鹿児島県本土の50%はシラスと呼ばれる火山灰土壌によっておおわれている。シラスは農業の発達をおしとどめる。

南九州の生き甲斐

上述した制約はもちろん今にはじまったことではない。南九州は慢性的な低生産性になやまされ続けてきたのである。

南九州の経済が不活発であることを示す次のようなエピソードがある。それは「煙の都大阪」というのが繁栄のシンボルとして形容された時代，鹿児島市の城山から街を見ると煙突は風呂屋とショウチュー工場の煙突だけであった，という。スモッグ反対の今日の時世にマッチする訳であるが，とにかく経済的には全く振わなかった。ところが，それにもかかわらず，当時の南九州——鹿児島の人々は意気揚々たるものであった。それはどうしてか。

当時の南九州——鹿児島は軍人王国であった。鹿児島市の都心に近く加治屋町という町があるが，この一町内だけで大山巌以下10人以上の大将を輩出しているという。少将くらいでは問題にもされないという。

南九州は明治維新以降軍国日本を支えるすぐれた人材を陸続と送り出すことによって，きわめて積極的に国の繁営に参加していたのである。経済活動では引けを取っても，そのことによって充分まかなってあまりある「存在価値を誇り」「自からの生き甲斐」としたのである。世にいわれる貧しくとも豪快という南九州男子——薩摩隼人像はこんなところから生みだされたものと考えられる。

ところがこの「誇り」は反面，経済——商いは男子一生の仕事でない，という経済蔑視の考え方を生み出したことはいなめない。はじめに述べた自然の制約にカンゼン挑戦する積極努力を怠らしめ，経済環境を低いままに止めおくことになる。偉人とは軍神であった。鹿児島出身の希有な経済人である。

大阪商工会議所の初代会頭，五代友厚の名が鹿児島ではあまり知られず戦後，それも数年まえにはじめて再評価されるということからもそうしたことをうかがうことができよう。

しかしそれはそれとして軍国日本が華やかであった時はよい。ところが，昭和20年8月15日——敗戦，それは南九州と日本国との誇り高いかかわりを一挙に押し流すことになる。

新憲法の制定は「軍人となって国につくす」という路線をたち切る。それは南九州の再出発を意味することになる。ここに残されたものは兵士を送り出して荒廃した，後進地域南九州であった。戦火に焼かれた町や村であった。——本土爆撃の進路に当っていた南九州は余った爆弾の捨て場のようなものであったという。

後進地域，南九州

多くの人々のイメージの中にある南九州，それは「農業の国」であり「観光の国」である南九州であろう。

たしかに工業らしい工業，がないという点からすれば，南九州は農業国である。しかし，この農業国の農業は米の秋田，新潟，果樹の岡山，酪農の北海道といった農業に伍するにはあまりにもみじめな，「からいも農業」である。

からいも——さつまいも——は澱粉の原料として生産されている。大地にはいつくばるように生えているために台風の被害も少ない。それに砂地で水がなくともできる。栽培も高い技術はいらない。草とりもいらない。——こんなことから「からいも農業」は怠けものの，無気力な農業という，ヤユとしてもいわれる——だがこの後進農業「からいも」にも強力な競争相手コンスターチ（とうもろこし澱粉）があらわれることによってその存在はおびやかされることになる。からいもの代りに何が可能か，資本なく，技術なく，基盤のととのっていない，現実の中で。このような農業国である。このような農業はあってもなくてもよい農業でないのか？　若者が去るのは当然である。

ここには生き甲斐を発見できないという。抜本的な対策，たとえば耕地の装置化——用排水の完全コントロール，作業道の整備，耕地の区画整理——なしには若人を引きとめることはできない。かくして今日いわれる過疎が南九州にくりひろげられる。一人ずまいの老婦がはだか電球一つと山かげに孤立して住む姿は胸が苦しくなるほど悲しい。

南国ブーム

「土佐の高知のはりまや橋で……」と南国ブームで息を吹き返したのは，歌手だけではない。停滞と不振になやむ南九州にとって，南国ブー

ムはまさにさがし求めていた停滞からの脱出口と映ったにちがいない。市場へ売るべきこれといった農産物のない南九州にとって，青空と太陽が売りものになる，自然の緑と南国の海岸線が売りものになる，とは大きな発見であったにちがいない。かくて観光立県，観光立国が与望をになって登場する。

南国ムードを振興するために，もともとは生息していない，カナリー耶子や海紅豆やビロウやそ鉄が自然の分布相とおかまいなしにいたるところに植生される。それは，ジャポニカムードをフジヤマ，ゲイシャガールとして売り込んだにがにがしい過去のあやまりを思い出させる。

囚われた南国か，本物の南国かを吟味するような観光客は稀である。観光ブームにのって指宿や日南海岸は成長につぐ成長である。年間150～200万人がおとずれ，その伸び率は年15%，なお強気である。

南国観光によって得る売り上げは，昭和42年度125億円，と推定されている。そして5年後には300億円を目標としているという。一方昭和42年の農業生産額は約1020億円，5年後の目標的見透しは1471億円である。

強気の観光，それはよい。南九州が観光を通して日本とかかわりあう。それはよい。しかし上述した数字から知られるように，観光が農業にとって代るにはほど遠い。しかも観光には特殊な立地条件があり，どこでもよいという訳にゆかない。

このようなことは，地域の中に不均等な発展を持ち込んでくる。もうかるのは一部の巨大な観光業者だけでないかという農業的地域住民の感情的反発もある。これに対しもっと観光農業を工夫すべきだという声もある。しかしそれが安定したものとなるためにはさまざまな困難がある。

このようにみると，「観光南九州」に徹するにはあまりにも問題が残されていると見なければなるまい。

表1　県外観光客数および消費額　　単位千人　百万円

年次	総数		鹿児島・桜島		霧島		指宿		その他	
	人員	消費額	人員	消費額	人員	消費額	人員	消費額	人員	消費額
昭36	2,134	4,089	1,170	1,853	495	1,094	362	890	107	252
37	2,435	4,671	1,253	1,980	604	1,328	461	1,106	117	257
38	2,995	5,447	1,439	2,614	648	1,177	773	1,405	135	251
39	3,292	6,433	1,581	3,088	734	1,434	818	1,601	159	310
40	3,735	8,915	1,755	4,188	811	1,934	993	2,374	176	419
41	4,226	10,030	1,938	4,599	922	2,188	1,161	2,756	205	487

南国ブームは観光地に活況をもたらした。しかし県民一般にはその恩恵はめぐってこない。中小旅館は経営難であるという。

後発地域のメリット

農業と観光の国，南九州はまだ自信のある生き方を発見できないで停滞を続けている。

労働力として若人を大都市に送り続けた南九州も人口再生産力は急速に下降し，今や自からの規模をも維持しえなくなりつつある。老令人口比率は急上昇している。南九州はこのまま老衰してしまうのであろうか？

ところが最近2，3年，南九州にとって耳ざわりのよい「後発地域のメリット」ということがいわれはじめている。

「後発地域メリット」とは何か？

それは次のようにいわれている。

既成工業地帯は過密，公害，地盤沈下，交通マヒ，等々によって完全な空間的な行きづまり状態にある。そしてその近傍にも住家や諸々の既得権が超高密にはりついており，もはや大規模な用地を取得することは不可能に近い。

しかも国際的な経済競争に打ち克つためには設備の巨大化，革新化は必須である。

このような状況の中で，後発地域，たとえば南九州がそうした要求を満たしうる処女地として将来大いに期待される。

南九州には長い海岸線とすぐれた臨海部があり，比較的に入手の容易な土地がまとまってあり，公害対策も比較的楽であり，地方拠点的都市にはかなりの都市的機能の集積があり，しかも，東南アジア，中国などに近い位置にある。

南九州は老衰してゆくのではない。輝く未来が託されている処女地である——これが「後発地域のメリット」論である。

ビッグプロジェクトの動向

そしてこの「後発地域メリット論」を現実のものとする動きが，最近にわかに活発になりつつある。

その第1号は日本石油KKによる原油貯蔵基地の建設である。日石によれば基地は昭和50年までに10万トン原油タンク30基をそなえ35～50万トンの超大型タンカーを出入させる規模のもので，第1期分96.3haの埋立地，工費237億円にのぼるものであるという。まさに東洋一である。そしてその操業は44年10月14万トンの開聞丸によって開始された。

将来の展望としてすでに埋立権を取得した92.9haに石油製油所の建設を希望しているという。これによって財政規模3億円余，人口1万3093人の地元喜入町に約5億円近い税収が入ると見込まれている。県内唯一の黒字市町村となる訳である。

ここでは「南九州の制約」といわれたものは，完全な自動制禦，遠隔地からの情報コントロール，などによって代替され，その他のマイナス要因も，他に求めえない「用地条件」のまえにほとんど問題とされていない。

そしてこの企業側の上陸成功——反対運動もあったがそれ程盛り上がらなかった，反対が観光業者から出たことは注目される——を見て，第2，第3の動きが志布志湾ですすめられつつあると伝えられている。

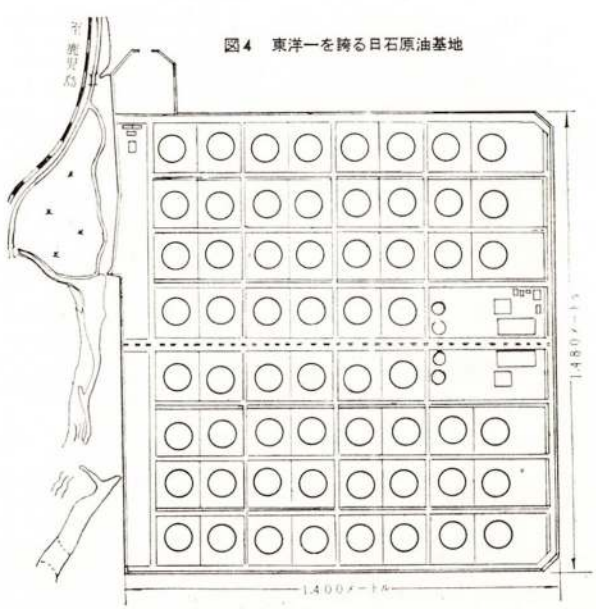
他方，「遠隔性の克服」という至上命令のために，県当局は地方第二種空港としては最高レベルをゆく2500M滑走路をもつ新空港を建設すべく，その用地接渉を終え，昭和47年開設をめどとして着工にふみ切った。この空港は九州縦貫道によって鹿児島市に結びつけられる。

この他，九電の原子力発電所用地取得，松下電器や大和ハウスの鹿児島工場開設，京都セラミックの工場開設や東芝の工場用地取得など，次第に活気を帯びつつある。

すでに設置されている我国の宇宙開発基地（東大=内の浦・科学技術庁=種子島）を含め，南九州は「東洋一」の数を次第に増大することになろう。

南九州は新しい時代を迎えるのであろうか。

図4　東洋一を誇る日石原油基地



ずらりと並ぶ10万トンのタンク群。30～50万トンタンカーがここに出入する。将来はこの隣りに製油所をつくりたいとの希望が表明されている。

新しい南九州とは何か

それがほんとうの新しい時代を意味するものであれば，それは南九州のために望ましい動向であることはいうまでもない。しかしほんとうに新しいといいきれるのか，疑問も多い。

第1に公害の心配である。後発的処女地の魅力の一つは公害対策費が安価にすむところにもあるという。真に安全，無公害であるならば原子力発電所を南九州にもってくる積極的理由は見当らないではないかという。もしこの指摘が真実であるならば，公害に際し組みしやすしと見たことになり，この方向はまさに「新しい」とは正反対である。

日石基地の場合も最大の心配は鹿児島湾の油濁である。この点については一億数千万の化学消防艇を買ったからとか海面拡散防止フェンスの準備があるから大丈夫という説明はあるが，検知のためのポニタリングポスト一つないという状態であり，人々の不安は強い。

第2にそれがはたして地域をうるおすか？という疑問である。

ほとんど人手もいらない，すべての物資の購入は本社(東京)で行なう。若干の社員は東京から交代で来るという。結局地元は最も良い土地を非常な安値で企業に売り渡し，塵芥処理と給水義務が残されることになる，という訳である。

第3に，企業の立地が全く恣意的に行なわれる結果，土地利用を混乱させているという心配である。その混乱がやがては何をもたらすか，それは既成の工業地帯で見た通りである。このような状態が新しい時代と呼びうるだろうか？——南九州は，はじめ労働力を売った。次に美しい空気と自然を売った。そして第3番目に自からの土地を売り海を売った。しかも南九州の最もすぐれた部分をよりどりみどりで安易に売った。そしてこれでおしまい。その時南九州の湾が大阪湾となっていたらどうだろう。

南九州は今，転機に立っている。そのことはまちがいない。しかしこの転機を真に新しい時代の先がけとするためには，それにふさわしい準備が必要のように思われる。その準備は残念ながら極めて不充分であるといわねばならない。

2 地方都市・鹿児島の都市問題

はじめに

地方都市といってもいろいろある。ピンからキリまであって，その都市がかかえている問題も様々である。ここでは鹿児島市という地方の中心都市の都市問題を紹介しようと思う。

紹介に入るまえに，簡単にピンからキリまである地方都市の動向を整理してみよう。

地方——巨大都市の直接影響のないところ——における都市の動向は大きく三つの型にわけることができる。

表2 各種将来人口推計試算 南九州の人口減はどれによっても避けられない。

推計主体	50年 実数	50年 対40年	60年 実数	60年 対40年	推計対象
人口問題研究所（max）	1,719,800	92.8%	1,730,200	93.3%	全県一括 総人口
企画課（暫定）	1,694,423	91.4	1,570,944	84.8	市町村別積上 総人口
ビジョン研究会（暫定1）	1,648,889	89.0	1,567,265	84.6	郡部一括，市部4分割 総人口
統計課	1,661,116	89.6	1,532,137	82.7	全県一括選択推計 5歳階級配分
人口問題研究所（med）	1,634,500	88.2	1,468,000	79.2	全県一括 総人口
ビジョン研究会（暫定）	1,622,456	87.5	1,467,002	79.1	郡部一括，市部一括 総人口
開発計画会議（暫定2）	1,582,681	85.4	1,379,193	74.4	全県一括 5歳階級別積上
ビジョン研究会（暫定2）	1,565,775	84.5	1,291,625	69.7	全県一括 総人口
人口問題研究所（min）	1,570,800	84.7	1,245,300	67.2	全県一括 総人口

表3 グレータ鹿児島・鹿児島市の県内シェアー 鹿児島市はその中枢性において，東京が全国に占める位置を相対的には上廻っているといえる。

			県全域	グレータ鹿児島	鹿児島市	グレータ鹿児島シェア	鹿児島市シェア	註
1	人口	昭和35年	2,044,112	727,255	334,643	37.0	16.3	
		40年	1,853,541	734,943	371,129	39.7	20.0	
		60年	1,570,944	837,511	504,241	53.3	32.3	
2	面積	総面積	9,141,600	1,761,300	279,200	19.3	3.3	昭40km²
		民有宅地	16,950	4,674	1,913	27.6	11.3	昭42ha
		農用地	151,663	31,868	4,215	21.0	2.7	昭40 中間センサス
3	事業所従業者数（昭41）	建設	50,787	26,587	16,042	52.4	31.6	昭41人
		製造	74,604	34,624	21,840	46.5	29.3	〃
		卸小売	120,518	66,898	47,017	55.4	39.2	〃
		金融	12,495	8,353	6,017	67.0	48.2	〃
		不動産	1,835	1,411	1,253	54.5	68.3	〃
		運輸通信	34,634	20,251	15,539	58.2	44.8	〃
		電気・ガス	3,181	1,585	967	49.8	30.4	〃
		サービス	98,842	44,167	28,461	44.9	28.8	〃
		公務員	19,334	9,475	5,592	49.0	28.9	昭40国調
4	産業	製，出荷額	9,926,164	4,784,094	2,990,091	48.2	31.0	昭39万円
		商店数	28,804	11,794	6,445	42.2	23.0	〃
		同上従業者数	86,438	47,667	33,849	55.2	39.2	〃
		同上販売額	27,012,979	19,963,581	17,377,037	73.6	64.2	万円
5	交通	乗用車数	17,215	10,025※	6,600	59.6	38.4	昭42 小型4輪
		バス台数	1,615	1,211※	1,040	82.6	69.5	
		車両総数	111,210	55,538※	35,666	49.9	32.5	
		交通事故	5,688	4,081※	3,223	71.9	56.7	
6	コミュニケーション	電話	96,094	67,047※	45,745	64.6	47.4	昭42
7	医療	病床数	19,726	11,476	7,528	50.6	38.2	昭42
		医師数	1,732	1,000	687	57.7	39.6	〃
		診療所数	1,008	489	266	48.5	26.4	〃
8	学校	高校生	95,881	50,142	32,636	53.7	34.1	〃
		幼稚園教員	511	345	255	67.5	49.9	〃
9	観光	旅館	13,155	7,187※	5,283	54.6	40.2	昭42室数
		ホテル	446	322	63	72.2	14.2	
10	財政	歳入	35,535	13,196	7,363	37.1	20.7	百万円

第１の型は，県庁所在都市に共通してみられるもので，人口の伸びはかなり高く，立派な都市問題現象が存在する型である。南九州では鹿児島市，宮崎市がこれに相当する。

第２の型は，停滞から，全体として人口減に向かう中小都市がこれに相当する。人口集中（ＤＩＤ）地区さえもたない都市，ＤＩＤ地区人口が３万を割る都市は例外なくこの型に属する。ヒンターランドであった農村地域の人口減少のあおりをまともにうけ，しかも第１の型の都市の支配面積が自動車の普及によって飛躍的に拡大されるという前門後門からの勢の間にあって，じり貧におちいりつつある都市である。

第３の型は特別な都市である。南九州でいえば指宿(いぶすき)市のような都市である。指宿市は別府や熱海が歩んだ道を歩みつつある。

上述した３つの型は当然異なった都市問題を生み出す。

第１の型は，すでにふれたように大都市型の都市問題をかかえているし，第２の型は，農業地域をどうするのかという，農村計画と深いかかわりのもとに都市問題を考えねばならない都市である。

第３の型は新興都市としての問題つまりいかにして都市としてのまとまりを形成せしめてゆくかという問題を抱えている。

鹿児島市の地位

南九州の人口は減っている。南九州の農業は停滞している。南九州はまだ工業を持つに至ってない。それなのにどうして鹿児島市が，静岡や姫路に匹敵する人口増を記録するのか――このような質問をたびたびうける。鹿児島市の人口は40万人であり，その伸び率は30～35年5.6%，35～40年10.９%と人口30万以上の全国類似都市の中では上位に属している。このような数値をみるとさきのような質問が出るのはあるいは当然のことかも知れない。ではその質問にいかに答えるべきか？

そのためには鹿児島市の特別な地位，南九州の特別な地位を説明せねばなるまい。

特別の地位とは鹿児島市が南九州においてしめる絶対的な集積の大きさである。恐らく集積の比率からすれば東京の全国におけるその割合を上廻ることになるであろう。

表をみていただきたい。表には鹿児島市が直接的に支配する圏域――鹿児島都市圏――のシェアーも計算されている。また20年後の人口推計値も示してある。表から知られるように，県人口の22%が，そして，ものによっては70%もの集積がここにある。そして，このような空間的な仕組が，都市，農村を問わずにすすむ生活様式の都市化，新しい消費型の展開を受けて肥大しつづける都市機能のほとんどすべてを，鹿児島市に集積せしめるという方向に働くことになるのである。つまり農村が変るその変化，再編成を鹿児島市がことごとく吸収するとでも言うべきかも知れない。自動車が普及すればその普及によるサービス機能の大半は鹿児島市に，インスタント食品が出まわればその新しい流通機構の大半は鹿児島市に吸収される，ということであろう。その吸収――予想以上のものであり，それが予想以上であるというところに都市時代――情報時代の特色がある――の結果が，鹿児島市の人口増であり，都市の肥大化であるということになろう。そして都市問題はこの肥大化によってひき起こされているといえる。

表４　鹿児島地区への依存

地域	購入度	集中度
北薩西部	86.1	78.4
北薩東部	93.7	77.5
薩摩半島	87.8	81.3
大隅半島	93.9	87.5
奄美	95.9	79.9
種子屋久	98.9	85.0

流通調査の結果も鹿児島市の特別な位置を示している。

どのような都市問題があるか

では具体的にどのような都市問題が鹿児島市にあるというのか？――と東京や大阪の方は問われるかも知れない。人口1000万の東京，300万の大阪，それと40万の鹿児島市，その間にいちぢるしい差があることは当然である。しかし東京や大阪にある都市問題の一通りは，鹿児島市にもある。その点では同等であることは明確にせねばならない。

12坪ほどの小住宅でも借りようとすればやはり１万2000円は覚悟せねばならないという程度に住宅難はあるし，車に乗ってもはやデパートにはゆけないし，駐車場もそう簡単に発見できないという程度に自動車交通問題はあるし，汲み上げる冷房用水に次第に海水が入り込み用水の汲み上げ規制をせねばならないという程度の地下水問題もあるし，５年先の上水道需要をまかなう水源が得られないという上水道問題もある。

ラッシュ時には満員で，お客を積み残すという市電が赤字で廃止されるのではないかという公営交通問題があり，子供と老人の自動車事故が激増するという交通事故問題もある。

表５　鹿児島県における自動車保有台数の見通し

車種	昭和40年度	昭和46年度	昭和50年度	昭和60年度
乗用車	16,031台	73,791(4.60)台	112,297(7.00)台	208,563(13.01)台
バス	1,403	2,594(1.85)	3,388(2.41)	5,373(3.83)
小型貨物	50,419	58,284(1.16)	63,528(1.26)	76,636(1.52)
普通貨物	5,227	13,146(2.52)	18,425(3.52)	31,623(6.05)
その他	1,964	4,949(〃)	6,913(〃)	11,882(〃)
計	75,044	152,764(2.04)	204,551(2.73)	334,077(4.45)

自動車をいかにするかは地方でも重大な都市対策の課題となっている。

（注）車種分類は，乗用(軽乗用，乗用)，バス，小型貨物(軽貨物，小型)，普通貨物，その他(特殊)とした。

表６　鹿児島市の宅地開発状況（含計画）　（1ha以上）

番号	造成地区名	造成面積	造成戸数	居住人口	事業主体
1	吉野北部	252.6 ha	5,000戸	17,500人	鹿児島市
2	緑ケ丘	33.9	1,260	4,400	県住宅供給公社
3	鹿児島西部	72.7	2,500	8,750	開発事業団
4	吉野南部	160.0	3,000	10,500	市住宅公社
5	伊敷小野	62.3	1,200	4,200	鹿児島市
6	上之原	13.0	480	1,700	〃
7	中部	126.7	2,400	8,400	開発事業団
8	永吉	3.7	300	1,050	日本勤労者住宅協会
9	原良	120.0	3,000	10,500	県住宅供給公社
10	薩摩土地	6.4	260	900	馬場信男
11	安藤	6.1	240	850	安藤文夫
12	上野	6.6	450	1,550	上野千年
13	第１不動産	3.7	150	500	第一不動産
14	田上	4.1	176	600	馬場信男
15	下園	1.3	50	200	下園広行
16	一ツ葉	2.0	80	300	中島好夫
17	森山	6.7	250	900	森山清治
18	紫原	221.7	4,400	15,400	鹿児島市
19	谷山北部	121.2	2,400	8,400	開発事業団
20	希望ケ丘	13.4	310	1,100	県住宅供給公社
21	谷山南部	26.0	500	1,750	開発事業団
22	坂上	2.0	85	300	日本勤労者住宅協会
23	九州土地南港	7.5	300	1,050	九州土地株式会社
24	二軒茶屋	5.6	170	600	米盛建設
25	つつじケ丘	4.5	180	650	〃
26	笹貫	3.7	150	500	〃
27	諏訪	2.6	70	250	〃
28	波之平	1.0	30	100	〃
29	梶原	3.4	140	500	梶原重雄
30	満田	7.3	290	1,000	満田信義
31	斉野	1.2	50	200	斉野実徳
32	住原	4.7	190	650	住原誠一
33	松崎	2.9	115	400	松崎義光
34	白石	2.7	100	350	白石栄之助
35	瀬戸口	1.3	50	200	瀬戸口清吉
36	有迫	2.7	100	350	有迫清典
37	保	1.5	60	200	保　直次
38	末吉	1.8	70	250	末吉二夫
		1,320.5	30,556	107,000	
1ha未満85ケ所		31.5	1,260	4,150	
総計		1,352.0	31,816	111,150	

宅地難はここでも激しい。11万余の居住人口は市人口総数の¼に相当する。

都市中心部の小中学生がどんどん減少し，周辺部の小中学校が体育館をベニアで仕切って急造教室をつくらねば，転入増に追いつけないという公共施設問題もある。

海面下零米に相当する地帯，台風と高潮がかさなれば市街地の半分はあぶないという防災問題もある。

このようにあげればきりがない。ただ工場の煙突からでる大気汚染はさすがにないが，年中降りつづく桜島噴煙の公害がある。

そして本年6月28日～7月5日にかけてひきおこされた集中豪雨によるシラス災害もまた住宅造成という中で生み出された新しい都市問題の一つであるともいえる。

シラス災害の問題

シラス災害について語るにはシラスについてある程度の説明をせねばならない。シラスというのは火山灰土壌の一種である。その比重は軽く，成因によって差があるが，0.7～0.9である。乾燥時には固いコンクリート状の層をなしているが，ひとたび流水に洗われて水分が吸収されると，きわめて崩れやすく，その様は角砂糖にたとえられている。

シラス地層の形成方法の差によって一次シラス，二次シラス，および盛（埋）土シラスが区別される。一次シラス，二次シラスは自然シラスである。そしてこのシラスが鹿児島県本土面積の50%をおおい，鹿児島市もまたシラスデルタの上に成立した都市に他ならない。

ところで，鹿児島市がこのデルタの上に収まっている間はシラス災害とはもっぱら農業の特殊土壌地帯災害を意味する言葉であった。

それが，鹿児島市の人口がデルタから溢出し周辺のシラス台地――鹿児島市は周辺を100～200米のシラス台地によってさえぎられている――に登ったとき，それは都市災害を指すことになる。事実，昭和37年ごろから住宅がこのシラス台地の宅造地にはりつくことになるのであるが，毎年必ずといってよいほどシラス宅造地の崩壊がくり返されてきている。そして6月30日，200.5ミリの未曽有の集中豪雨を受けて発生したシラス災害こそこれまでの総決算ともいうべき大災害であったのである。

6.30災害の教訓

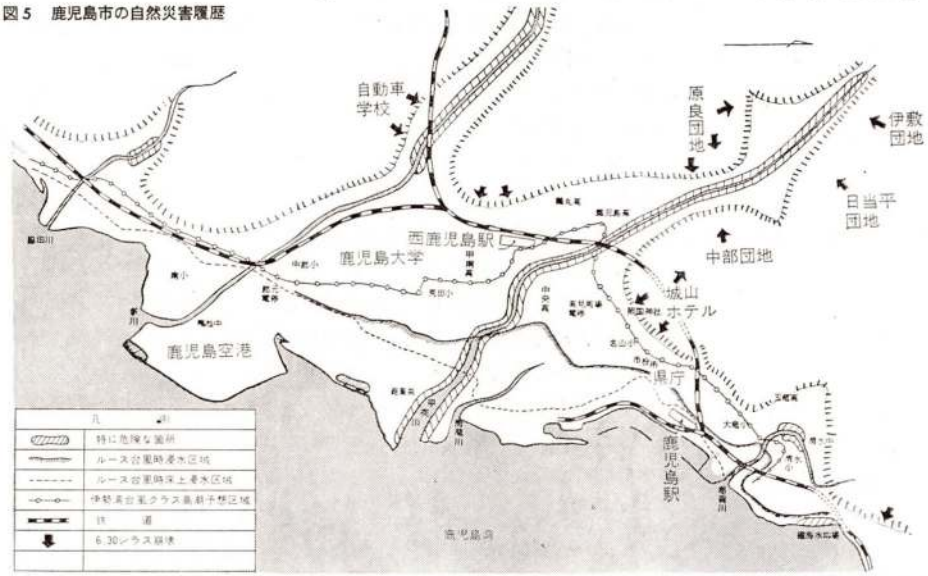
記録によると降雨は6月28日から開始されている。6月28日13.0ミリ，6月29日129.0ミリ，6月30日200.5ミリ，ここで小休止がある。7月1日30.0ミリ，7月2日13.5ミリ，7月3日0ミリ，7月4日77.0ミリ，7月5日74.5ミリ，以下計880ミリ，これは年間降雨量の約半分に相当するものである。未曽有とは決して誇張ではない。しかし問題は自然災害のたびにいわれる。50年に一度の大雨にあったと割り切ってしまう訳にゆかない。というのは，この大雨で災害とくに人身事故や住宅破壊といった大規模な被害は，何らかの形でシラスに人工の手を加えたところに限って発生しているからである。

もともと，シラスを甘く見てはいけない，シラス台地の大規模改変は危険なことである，とはシラスの工学的研究をすすめてきた上田通夫（鹿大教授）博士らのはやくから指摘してきたところであった。ところが近年とみにその威力を拡大してきた土木工事機械の大型化の中で，その機械に対する過信と，かっての人力ペースでの改変と全くスケールの違った大開発を行なっているのだという感覚がうすれ，それにまた，大台風がここ数年幸に来なかったことも手伝って，危険に対する配慮がゆるみ，その上なにもなければ儲けものという下心が建設業者側にもはたらいていた――その弱点を6月30日の豪雨は突いたともいえる。とくに県住宅公社によって計画工事中であった原良団地―116.6ha―からのシラス流出はかって見なかった規模のものであった。その工事は，雨期を計算に入れた6段構えの砂防堤をもつ，公社が自信をもつ計画であったが，そのうち4段までが破壊され，そのシラス流が団地下手の住宅を押したおし，田畠を埋めたものであった。

つまり，自然シラスを切り崩し，水に対して最も弱い状態になっていた数万立米のシラスが自然のおもむくままに奔流となってあばれまわった訳で，シラスの性状をまざまざと見せつけた災害であったということができる。その意味では，まがうことなき人災といわねばなるまい。

6.30シラス災害を契機に，それまであいまいなままに捨ておかれていた「シラス工学的研究」がようやく開始されようとしている。それによって，シラス防災の合理的な対策が次第に明らかにされるだろう。それはシラス地帯に住む人々にとってよろこばしいことである。しかし，新しい，第2のシラス災害のようなものが都市化の進展，地域開発の過程でうみ出される可能性がある。このことを，6.30のシラス災害の中から学び取ることができる。

図5　鹿児島市の自然災害履歴



もしも伊勢湾台風級のものが来たら，市街地は全滅に近いことになる。

図6　鹿児島市原良住宅団地（造成中）のシラス災害　（鹿児島大学工学部上田通夫教授のご好意による提供）



原良団地は，116.6haの県下最大のマンモス住宅団地として県住宅供給公社が誇りにしていたものだった。

左官用セメント

日本建築協会建材委員会（担当：山田幸一）

左官工事の中ではセメントモルタルの施工量が最も多いにもかかわらず，左官専用セメントは未だに開発されず，コンクリート用のポルトランドセメントをそのまま流用している実情である。しかしそれでは良いモルタルのできるはずはなく，本文にも述べるとおりセメントの品質が向上すればするほど，かえって欠陥の多いモルタルになるという矛盾さえ目立つようになってきた。当建材委員会でも，つとにこのことに着目して，政岡前委員長の時代から左官用セメントに関する研究会を持つ必要性を痛感していたのであるが，主査に予定されていた筆者の外遊その他の事情で延々となり，ようやく今回採り上げることになったのである。本テーマの委員会は42年9月29日から同年11月24日まで，3回の研究会と1回の見学会を行なった。研究会にはセメント及びモルタル混和材メーカーの出席を求めて説明をきき，委員より疑問点を質し，見学会はイビセメント，NSセメント及びスタッコセメントの3工場を見学した。なおこの間，委員会には常任の委員の他に，特にお願いして星野二郎・長谷川哲之助両氏に臨時委員として参加していただいた。これら関係諸氏に厚く謝意を表する。

1. 左官用セメントの必要性

左官用セメントの必要性は相当早くから指摘されており，これに関してはすでに本誌40年9月号「技術の頁 37. 材料部門　最近の左官材料モルタル混和材について」で詳述している。いまその要点を再録すれば次のとおりである。

まず現在のポルトランドセメントその他の混合セメント（以下単にセメント）はコンクリート用に生産されているものであって，左官用に造られているものではない。いうまでもないことであるが，セメントの需要はコンクリートに対して圧倒的に多く，左官工事に使用されるセメント量は，白色セメントを含めても全生産量の10%にみたないといわれており，したがってセメントメーカーとしては，左官用だけに適した特別な製品を造り供給する営業的なメリットがないからである。しかるに現実には，左官工事でもっとも多く施工されているのはセメントモルタル（以下単にモルタル）である。その理由は，主材料のセメントが他の左官材料（たとえば石こう，石灰，ドロマイトプラスター等）に比しもっと低廉で，かつ仕上りの強さ（主として表面硬度）ももっとも大きいゆえと考えられている。結局，もっとも多く使用されている左官材料は，本来その目的に造られたものでなく，他の用途にあてられる材料を便宜的に流用しているわけである。この点に左官工事側の不満があり，従来から種々の対策が，あるいは現場の経験から，あるいは実験室における研究結果によって講じられ，その成果が今日モルタル混和材（以下単に混和材）という形で具体化してきたのである。ここでは個々の混和材の種類や性質を論ずる前に，まず現在までのモルタルにどのような欠点があったかを概略述べておく。

モルタルとはセメントと川砂を水練りしたものである。そのセメントは凝結硬化の際，一般に収縮を伴なうが，この収縮を防ぐことは，現行のセメント製造技術では不可能といわれている。そこでモルタルを壁等に塗付けた場合，この収縮は当然亀裂となってあらわれるから，亀裂を少なくしょうと思えばモルタル中のセメントの比率を少なくすること，すなわち貧調合のモルタルとすることが必要である。しかるにあまり貧調合にすれば，セメントペーストが少なくなりいわゆるパサパサのモルタルしかできず，また水を多くすればやはりペーストの濃度が落ちて粘性が不足し，いずれにしても作業性（ワーカービリティ）が極端に悪くなる。つまり亀裂を少なくしょうと思えば作業性が悪くなり，作業性を重視すれば亀裂の発生が多く，かつ材料の経済性も失なわれてくる。加えて前述のとおりセメントはコンクリート用として調整されているから，強度，とくに早期高強度の発現に重点がおかれ，したがって硬化が速すぎて鏝押え時間が不足し，かつ急激な硬化は急激な収縮，すなわち亀裂の中でももっとも目立ちやすい集中亀裂の発生を促す。この意味ではセメントの品質が向上すれば向上するほど，左官材料としては使いにくい材料となってくるわけである。

このような矛盾を解消するため，左官業者，とくに関西の左官は以前から浅黄土（淡路島産，一部京都や明石地方でも産出する）をモルタルに混入していた。この土はもともと日本壁の大津壁用の色土で，もとよりセメントのような自硬性はもたない。しかしこれを混用するとモルタルの凝結・硬化の時間が遅延し，粘性を増し，したがって作業性が著しく向上し，かつ亀裂の分散にも役立った。反面，モルタルの強度が低下することも否定できず，過度に混入するときわめて脆弱な壁面となり，モルタルの一つの利点と考えられていた表面硬度の優位性が失なわれ，かつ亀裂も非常に多くなってくる。幸か不幸か，浅黄土はその名のとおりセメントとほとんど同色で，しかも価格も著しく廉かったので，一度浅黄土混入の習慣が生まれると，いつとはなしに混入比率が増加し，本来の目的を逸脱してはなはだしい強度低下等をまねき不測の事態に立ち至ったことも一再ではなかった。その結果，各現場とも浅黄土の混入を極度に警戒しその搬入を禁止したので，かえってその使用法が潜在化し，左官業者はセメント空袋に浅黄土を詰めて現場に持込むといった苦肉の策まで考えた。ともあれ浅黄土の使用は左官業者が経験から割出したもので，その意図するところはよく理解できるが，しかし実際面で種々の弊害を伴なったことも事実である。混和材はそのような使用上の誤ちをできるだけ少なくするよう，また混入比率も科学的データに基づいて正確に定めようとするものである。

2. 混和材の種類とその得失—樹脂系と無機系の比較

現在使用されている混和材には，大別して合成樹脂系のものと無機系のものがある。

樹脂系のもので現在もっとも普及しているものはMC（メチールセルローズ）とPVA（ポリビニールアルコールまたはポバール）及びこれらを基剤として合成された若干の製品である。MCやPVAはもともと海草糊の代替品として漆喰用に開発されたものであるが，モルタルに使用しても効果のあることが明らかとなり，漆喰よりモルタルの施工量が著しく多いところから，最近ではむしろ混和材として有名になったものである。この系統の混和材の特徴はごく微量で効果を発揮することで，MCに例をとれば，通常セメントに対し0.2°/wtが適量とされている（MCの品質あるいはモルタル施工時の気象条件等により若干の開きは

ある）。その意味で運搬が容易で，全国津々浦々どこでも使用できる利点がある。この混和材は常温の水に完全に溶解することが必須の条件で，その水溶液が全モルタルのすみずみまで十分行きわたるよう，よく混和しなければならない。なお材料はセメント1袋（50kg）に対する混和量を基準として包装されている。

無機系の混和材としては前述の浅黄土のほか，消石灰，ドロマイトプラスター，珪酸白土，フライアッシュあるいは石綿粉などがある。これらが従来から単独でセメントと混和されていたことは浅黄土の場合と同様である。しかし現在，混和材と銘うって市販されているものは，それぞれの素材を適宜加工(たとえば焼成，あるいは樹脂系材料の添加)し，それらを単独で使うよりも混和材としてより優れた性質をもたせようとしたものが多い。そのような例はとくに消石灰，白土および浅黄土に多く見られる。これらの材料もセメント1袋に対する混和量を基準として包装されているが，樹脂系と異なり1袋の重量が25～30kgとなるのが普通で，この点、輸送費の関係からどうしても使用の範囲が生産地から一定距離内に限られ，いかに優れた製品であっても工場を各地方に分散させない限り，同一銘柄を全国的な規模で市販することは困難である。それから練り上ったモルタルの中で混和材が偏在しては困るので，樹脂系材料とは違った意味で，やはり混練は十分に行なわなければならない。

以上，樹脂系と無機系とを対比すれば，使用効果は一応同じとしても，前者は少量で効果を発揮するから運搬に便利でどのような辺ぴなところでも使用しやすく，反面ごく微量で効果があらわれるだけに，現場における粘度等の調整を非常に慎重にしなければならない。これに対し後者は量が多いからセメント増量材としての効果ももち，とくに混和材に比してセメント価格が割高なときに有利となるが，輸送費等に問題のあることはいま見たとおりである。

3. 必要な性能と試験方法

現行のポルトランドセメントの性格から推して，モルタル工事に関し何等かの混和材的なものが必要なことは明らかであり，また混和材混入の主目的が作業性の向上にあることも，以上述べたところからおおむね承認されるであろう。しかしこれを実際に使用する場合，その性能を単なる概念としてではなく，具体的な数値であらわすことができればより使いやすくなる。今日まで混和材の必要性を認めながら，なかなか実際の使用に踏みきれなかったのは，そのような信頼すべき性能判定の基準のなかったことも一因であったろう。もっとも今日からいえば10数年も前に，左官用モルタルの規格案が作成されたことがあった（別表参照)。しかしこれも遂に「案」以上に出ず，これに対し本格的な検討が加えられたことも聞かないし，それに基づく製品が試作されたことはあっても，市販されたということはさらに聞かない。ところが最近になって住宅公団が主唱し，建築研究所が中心となって現在市販されている主要な混和材に関し一連の試験が行なわれた。これは混和材として必要な性能を幾つかの試験項目に分け，それぞれに規準値を設定し，これを目安として合否を判定したものである。試験は一つの混和材に関し全項目が行なわれ，そのうち一項目でも規準値に達しなければ全体として不合格と判定される。考え方によっては相当厳しい判定法で，とくにこの場合は住宅公団が主唱したために，その合否は公団住宅に使用を認められるかどうかの別れ目となり，個々のメーカーにとってはそれこそ死活に関する重大問題であり，それだけに試験項目や規準値の設定のしかたに大きな関心がもたれたわけである。

そこでその試験方法の概要と項目及び結果について，星野二郎委員の解説を次に掲げることにする（ただし本解説は建材委員会当時提出されたものではなく，後に，とくに星野委員に依頼して作成してもらったものである）。

A．試験方法の概要

○セメント　普通ポルトランドセメント　4週圧縮強度390～420kg/cm²のもの

○細骨材　比重2.55以上，吸水量2％以下，FM2.40±0.15，粒度は次表のとおり

フルイ目の大きさ	5	2.5	1.2	0.6	0.3	0.15
通過率重量％	100	95～100	75～85	45～55	20～30	2～10

○混和材の混入量　商品固有の仕様による。

○比較用プレーンモルタル　1：3（重量比）フロー180±5mm

○ワーカービリティ

1：3のプレーンモルタルをフロー180±5mmの軟かさに作りKIP装置にかけ，プランジャー貫入量が75mmになる重錘を求め，混和材入りモルタルの貫入量が75mm以上ありフローが165±5mmになるように水量を調節する。

○保水性　JIS A 6904（せっこうプラスター）に規定されている保水率試験に準じて，2分後，10分後の保水率と保水比を求める。

○凝結　セメントペーストにより，JIS R 5201（セメントの物理試験法）による。

○強度　JIS R 5201に準ずる。養生は室内気乾養生。

○付着強度　ラワン合板の型枠によるコンクリート表面にモルタルを塗って，4週目の引張強度を求める。

○収縮率　JIS A 1124または JIS A 1125に準ずる。材令は4週までよい。

B．試験項目及び結果，ただし（ ）内は規準値

○ワーカービリティ（貫入量75mm以上，フロー165mm以上）

左官モルタルのフローは160～200mm範囲が多いが，プレーンモルタルフロー180mmのワーカービリティはMC混入モルタルフローの145～150mmに相当する。フローを180mmに合わせたMC入モルタルは水量が相当増大し，強度が極端に落ちる等，欠点が出る。ゆえに貫入試験の特性を生かしてフローと貫入量とを組合わせた。結果でも，樹脂系混和材ではフローを165mm程度まで下げられたが，無機系混和材の中には下げることのできないものもあった。

○保水性　（保水率80％以上〔2分〕，75％以上±〔10分〕，保水比1.05以上〔2分，10分〕）

左官工事の上から，保水性が悪ければ鏝の伸びが悪く，また下地による吸水のため強度に支障をきたす。しかし水引加減もよくはならない。

結果ではMCがよく，次いで消石灰，フライアッシュとなっているが，MCの成績がよいのは空気量の入りすぎということも考えられる。

○凝固（始発1時間30分以上，終結2～12時間，プレーンとの差は始発2，終結4時間以内）

この試験はセメントの早強性や緩凝結性をチェックするもので，普通ポルトランドセメントに比較して極端に異なる凝結性でなければよいものである。

結果から見れば消石灰，フライアッシュの始発はややおそいように見られた。

○空気量（15°/vol 以下のこと）

空気量が適当であればワーカービリティはよくなるが，多すぎると仕上りが悪く，また附着強度が低下するので，最高限度を押える。結果ではMCなど樹脂系が非常に高い値を示している。混入量の調節によって空気量も調整できるから問題はないが，混入量を誤ると相当な支障をきたす。

○強度（曲げ強度30kg/cm²，圧縮強度*150kg/cm²以上，強度比，曲げ*50％以上，圧縮45％以上）

一般的に普通ポルトランドセメントを使用しているので，左官用セメントは必要以上の強度をもちすぎる。

左官用セメントは強度が出すぎると亀裂剝離の事故が起り易い。

諸外国のメーソンリーセメントはわが国の左官用とは若干異なるが，圧縮強度4週で70kg/cm²程度のものが多い。また材令3日，7日，28日と3材料を求めるのが普通であるが，初期強度が比較的低強度であっても問題はなく，またこれをあまり高く規定すると，良い混和材をしめ出すおそれもある。結果では曲げ強度はプレーンモルタルに対し67～110%で，圧縮は同じく50～90%とやや低い値が出ている。

○附着強度（6kg/cm²以上，**強度比95%以上）

左官用モルタルにとって非常に重要な性能である。一般的な試験方法は確立されていないが，従来からの調査研究でよく使用されている方法をとっている。

モルタル附着強度は，同一モルタルにおいては圧縮強度に比例すると考えることもできるが，その比率は1/50～1/10と変化する。またワーカービリティのよいものほど附着力がよいという結果も出ている。しかし試験面にバラツキが多いので十分注意が必要である。

結果から見ればプレーンの附着は圧縮の約1/30であるが，混和材入りは1/18～1/45とよいことがわかる。樹脂系混和材，一部の混合セメントは圧縮強度が50～57%と低いにもかかわらず附着は1/20前後とよい結果を示している。

○収縮（11×10^{-4}以下）

モルタルの自由収縮は亀裂の発生とは関係はないが，極端に大きな収縮を示すものは使用しても亀裂・剝離など支障が出るものと考えられる。ゆえに普通ポルトランドセメントのモルタルと同程度以下であればよいと考えられる。結果では水量の多かった消石灰等が他の混和材と比較して大きな値を示している。水量を減少しても良好なワーカービリティを得られる混和材が，収縮も少ないことは当然といえる。

（注）＊ 公団規準では120kg/cm²以上，60%以上となっている。
＊＊ 公団規準では95%以上の規定なし。

実際の試験は市販品11品種について行なわれ，第1回目には9品種まで合格，残る2品種も追試の結果合格になった。したがってこの試験法によれば，現在の主要製品はすべて適格ということになる。もっともその試験項目ないし規準値が妥当か否かということについては議論の余地があろう。私見によっても，たとえば強度の規準値が余りにも低すぎ，これでは土間や巾木に用いるとき支障が起りはせぬかと懸念される。また附着と収縮がそれぞれ独立して試験されているが，実際施工した場合は，附着力が大であれば収縮はある程度拘束されるから，この両者の規準値には相関関係をもたせてもよさそうである。その他いろいろの問題が将来の宿題として残されるであろうが，しかしながらこのような規準がはじめて設定され，試験が実施されたというところに大きい意義があり，とくに公団という大需要家の主唱によったことは混和材業界全体に大きい刺激をあたえ，その品質向上にあずかって力があったとしなければならない。この点，試験関係者の努力は高く評価されるべきであろう。

モルタル混和材は今後のモルタル工事に必要欠くべからざる材料である。以前，浅黄土がこの役目を果していたときは，ともすれば本来の目的が忘れられ，セメントに比し価格が廉いから使用されるという傾向が強かった。したがってその場合は，セメントの値段が高いときは混和材が多く使用され，逆に混和材に比しセメントが廉いときにはほとんど用いられないというようなこともあった。しかしながら混和材はモルタルの価格調整のために使用する材料では断じてなく，あくまでその品質を向上するためのものであって，これからは「混和材を使用しないものはモルタルにあらず」という考え方を徹底させなければならない。しかしながら再三述べたように，混和材使用の目的はあくまで作業性の向上にあり，他の性能，たとえば防水性や下地との接着性等がとくに向上するというものではない。それどころか現行のいかなる混和材を用いても，強度は常に低下するものであるということは十分理解しておかねばならない。この点を誤り，近頃よく使用される合板型枠のコンクリート面へモルタルを施工する場合，混和材さえ入っていれば安心というような観念が植えつけられれば，かえって混和材の信用を傷つけるようなクレームをおこしかねない。また強度面からは，下塗と上塗とに分けて，下塗には幾分混和材の使用量を控えるとか，あるいは土間モルタルの場合は一般壁のときより，その使用法を一層慎重にするといった配慮が望ましい。この辺のところは現場の技術者のみならず，この材料を取扱うメーカーや代理店の営業マンにも十分注意してほしいことである。

最後に，これは冒頭に述べたことであるが，モルタル混和材という材料を必要とする理由は，適当な左官用セメントが存在しなかったゆえである。したがって，もし優秀な左官用セメントが開発されれば，現在のように現場においてセメントと混和材との比率に気を使いながら混練するというような悩みはなくなり，モルタル工事に対する信頼性が飛躍的に向上するであろうことは疑いない。しかも樹脂系・無機系を問わず，混和材の品種がきわめて豊富になり，品質も安定してきた昨今，左官用セメントを造る技術的な素地は完全にととのったと考えてよい。すなわちポルトランドセメントと混和材を工場で配合しておけば，ただそれだけで，最少限，現在使用されつつある混和材入りモルタルに匹敵する材料の得られることは自明である。これが実現しないのは，もっぱらセメント及び混和材両メーカーの営業上の思惑からではあるまいか。この点，竿頭一歩を進めてレディ・ミックストをした左官用セメントを待望しているのは，あえて筆者一人でないことを重ねて強調して建材委員会の報告にかえる。

付　記

本報告は遅くとも昨夏中にまとめるべきものでした。ところが筆者が昨年7月，不慮の災で入院療養のやむなきにいたり，そのため取りまとめのタイミングを失し今日になってしまいました。読者の皆様，就中，種々御協力をいただきました建材委員各位に対し，筆者の怠慢を深くお詫び申上げます。

別表（朝倉書店刊「建築材料ハンドブック」P.533の表）

種別	比重	ブレーン (cm²/g)	フロー	凝結 水量 (%)	凝結 始発 (時)	凝結 終結 (時)	強さ (kg/cm²) 曲げ 7日	曲げ 28日	圧縮 7日	圧縮 28日
左官用セメントJIS規格試案	—	—	—	—	—	<24	>12	>20	> 40	>100
ポルトランドセメントJIS規格	>2.05	>2.300	—	—	>1	<10	>25	>40	>110	>220
高炉セメントB種JIS規格	>2.90	>3.000	—	—	>1	<10	>24	>38	>100	>210
フライアッシュセメントB種JIS規格	>2.85	>2.700	—	—	>1	<10	>24	>38	>100	>210



東洋ホテル

設計施工　ＫＫ大林組

情報化時代の都市ホテル

大林組建築本部設計部次長　吉岡吉雄

情報化時代、情報社会という言葉は情報の処理自体が新しい都市の機能にとってかわろうとしていることである。この時代では都市は物の流通のために便利のよい場所から、人が情報をもち運ぶため、人間の移動のためのターミナルとなり、都市機能に要求される施設はオフィス、道路鉄道、空港、それとホテルということになる。

大阪のような経済活動の情報センターとしての都市をとらえるとき、都市ホテルの性格はおのづから決定される。東洋ホテルはこの意味で都市ホテルとして拡大する経済規模に適応するホテル需要に応じ、ホテルの新しいパターンを形造ること、なった。

延面積34,000m²、700室を収容した平面計画もその一つではあるが、エコノミーな企業ベースにのせるためコスト低減のため新しい技術が試みられたことはいうまでもない。外装、インテリアについてもクールな現代的表現となって、過剰なデコレーションを一さい避け、全体としての統一が優先されている。こうした中で単調さを破るため、素材、カラーの選択に前衛的な感覚をもとめた。ホテルの印象は何んといっても、フロントロビーで決る。極端なエコノミーホテルではなく、情報化時代にふさわしいシンプルなデザインとして、これからの都市ホテルの一つの方向を造り出すことが出来たと考えている。

施工について

㈱大林組豊崎工事事務所長　橋爪謙介

工期が正味19ヶ月ということで、それには普通の一般工法を採用して工事をする場合、どうしても1ヶ月～2ヶ月の遅延となることは明白であるため、パイルコラム工法、ＯＷＳ工法の採用に踏切った。

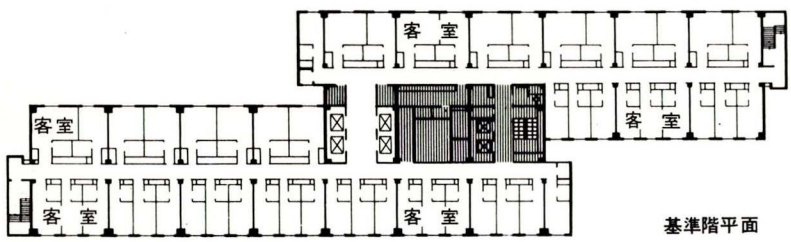
パイルコラム工法として、基礎完了を待たずに柱当りのベノト基礎杭(φ1,500－27m、天満層へ支持)へ鋼管杭(φ800)を建て込み、それを柱として鉄骨を最上階迄建方を実施（当組特許据付方法特許出願中），順次１Ｆより上部へコンクリートの主体を構築する一方、地下堀削を開始、順次B_3迄、コンクリートの主体を構築した。すなわち１Ｆを境として、地下、地上へ同時に工事を進める工法を採用した結果、基礎工事完了時には、上部４Ｆの主体が完了することができた。

敷地周辺は、ＯＷＳ工法のコンクリート壁に依る土留壁を構築して周辺道路、建物に及ぼす被害の皆無を図ると共に、工区をＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄの４工区に分け、段違い水平工法を採用した。

(1)　１次堀削　中央部　B_1中央部ＳＲＣ
(2)　１次堀削　周辺部　２次堀削、B_1周辺部ＳＲＣ
(3)　３次堀削　B_2中央部ＳＲＣ　１ＦＳＲＣ２次周辺堀削、
　　B_2周辺ＳＲＣ　３次周辺堀削
(4)　４次堀削（１部切梁）基礎主体ＲＣ　B_3ＳＲＣ

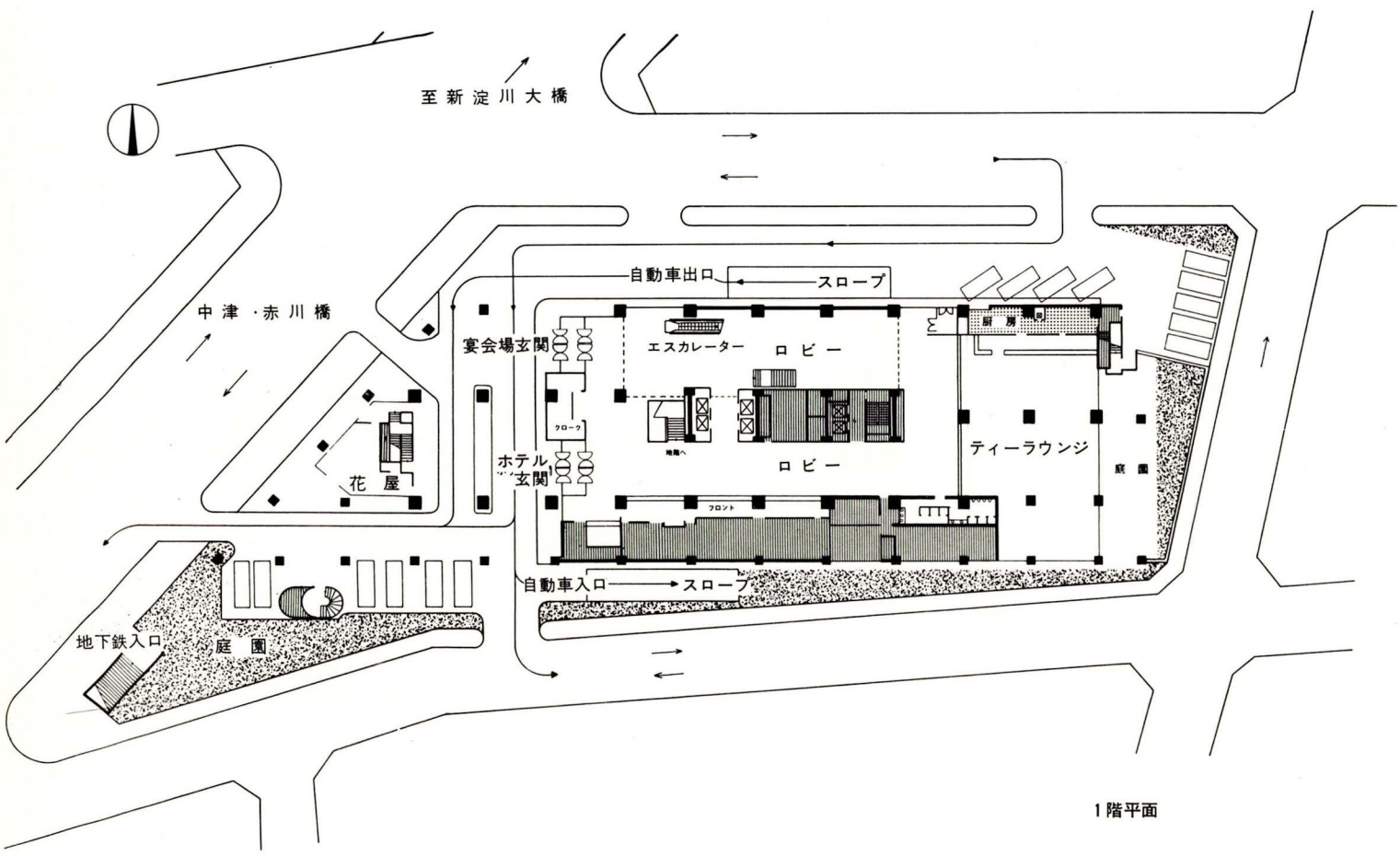
以上の様な工法を採用した結果、土留切梁は補強的に使用したのみで、大部分のものは省略し得、それの設置、解体作業を減少する事が可能となった。

鉄筋耐震壁は、鉄骨梁へ熔接しコンクリートの主体が上る先々と取付を実施した結果、１フロアのコンクリート打設完了後の鉄筋組立時間を極実施した結果、１フロアのコンクリート打設完了後の鉄筋組立時間を極力節約する事に努め、外側柱、フープ、外壁筋のみを型枠組立と同時に施工する事とした。この結果、１フロアのコンクリート打設期間を９～10日の短期間に短縮し、コンクリート打設にはポンプ車4"φ 5"φ ２台使用し、約500m³／日工程となし、月３階分を打設する事を可能にした。



基準階平面

所在地	大阪市大淀区豊崎西通１
地域地区	準工業、準防火。第６種容積地区
敷地面積	5,121.540m²
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下３階、地上16階、塔屋３階
建築面積	3,125.703m²
床面積	34,363.618m²
高さ	軒高45m、最高部57m
客室数	シングル484室、ツイン197室
工期	昭和43年３月１日～昭和44年10月31日
主要外装	低層部　人造石ブロック 高層部　ＲＣ打放しボンタイル吹付



１階平面

東洋ホテル

設計 施工　株式会社 大林組



電気・衛生・空調設備工事
大阪電気暖房 株式会社

電気設備工事
近畿電気工事 株式会社

電気設備工事
栗原工業 株式会社

衛生設備工事
須賀工業 株式会社

空調設備工事
高砂熱学工業 株式会社



TILE Bonn ボンタイル株式會社

本　　社	東京都中央区京橋3－4	TEL 03－281－1357
大阪支店	大阪市大淀区豊崎西通2－3	TEL 06－372－7271
名古屋営業所	名古屋市中村区米屋町2－16	TEL 052－571－9538
九州営業所	北九州市小倉区船場町15－4	TEL 093 －54－3979
仙台営業所	仙台市東1（丹野ビル）	TEL 0222－22－4126



▲16階スカイルーム

家具造作工事

株式会社 高島屋大阪支店装飾部

大阪市浪速区日本橋筋３－40 TEL 632－3191

富士厨房設備株式会社大阪支店

大阪市西区江戸堀３－１０２ TEL 448－0401㈹

▼1階

厨房設備





ボンタイル・シポレックス責任施工

桑田硝子株式会社建材部

大阪市東淀川区塚本町4－5　ＴＥＬ 302－8121

アスファルト防水工事

三星産業株式会社大阪出張所

大阪市西区京町堀１－７４　ＴＥＬ 443－9721

大　建　工　業　株　式　会　社

大阪市北区中之島２－２２(新朝日ビル)　ＴＥＬ 203－5541(大代)

▼天井　　ロックウール吸音板ダイロートン





▲地下店舗・主食堂・中華食堂

空調設備

エアロマスター株式会社

大阪市東区大川町27(住友生命淀屋橋ビル)　TEL 202－0241(代)

東洋ホテル

岩崎通信機株式会社

大阪市東区南本町4－47(イトウビル)　TEL 252－1081(大代)

▼客室　TR－650A形ホテル用電話機(トーンリンガー式)





東洋ホテル

ロータス防水工事

株式会社 関城化学工業所

大阪市北区茶屋町78 TEL 372−2170㈹

電気設備工事

大栄電気株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀2−35 TEL 443−0631(代)

気送管設備工事

株式会社 太平洋行大阪支店

大阪市北区老松町3−56 TEL 362−8551㈹

ステンレス工事

大光電機株式会社

大阪市東成区大成通1−103 TEL 972−4881(代)

大理石工事

株式会社 矢橋大理石商店大阪支店

大阪市東区高麗橋2−9(野村ビル) TEL 202−4905㈹

照明器具

株式会社 田島順三製作所大阪支店

大阪市東区平野町2−10(平和ビル) TEL 203−4151㈹

各種硝子工事請負

堀江興業株式会社

大阪市西区南堀江通3−76 TEL 538−2201

塗装工事

竹林塗装工業株式会社

大阪市東淀川区十三西之町1−16 TEL 301−9281㈹

株式会社 柏商会

大阪市南区高津6−4 TEL 358−0991

生活と空間の原理・京の町内・3・ADESIGN SURVEY IN KYOTO by UDO

■ トオリ

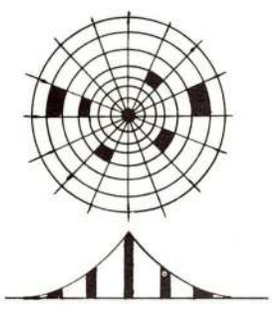
京都の均質なグリッド状街路は，それ自体の整合性をもつ一方，これによって区画された各ブロックのユニットとしての性格と同時にユニット相互間の類似性，統一性をもつくり出している。グリッド状街路は，稀有な歴史的条件によって現代まで継承され，その間の社会的変化をこの格子の中によく組み込み融合化してきた。格子状のネットワークは，都市の基本的構造としての機能をもつと同時に，町にとっては，コミュニティの共同広場として，住戸にとっては，戸内スペースの延長としての機能をも果してきた。

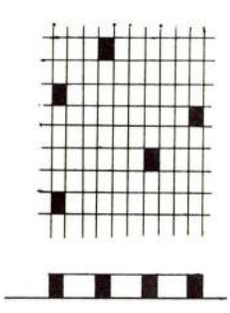
京の町の固有性は，三方（東・西・北）を山で囲まれた平坦な地盤に，規則性をもって整然と敷かれた格子状街路とこれを挟んで軒を並べる町家の景観としてイメージされるが，これらは古都京都の景観的統一性，均質性についての視点であり，ある意味では象徴的な把え方には違いない。しかし，このような統一性，均質性は，歴史的所産として，つまり生活そのものの統一性，均質性として近世以来の伝統を持続してきた市民と不可分であり社会的発展への適応性につよく依存している。

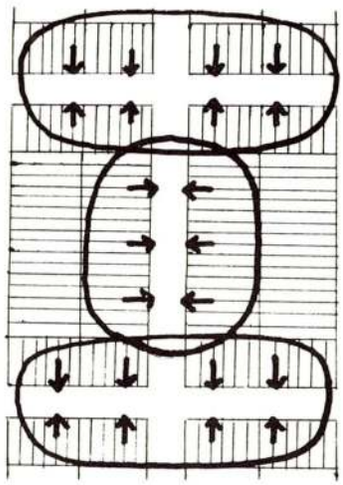
40〜50戸を内包する長方形ブロックの数千の集合体として京都をとらえるとき，われわれはまず，巨大な集合住宅（低層高密）地域としての規模と，それを貫く規則性におどろく。そして，このブロックは，内部の細分化された宅地や住宅の漸次的な空間的変化，移行と同時に，総体として新しい都市機能の要請に適応してきている。あるブロックは小学校に，あるブロックは区役所に，あるブロックは変電所に，またあるブロックの一部は公園や消防所や保健所にといった具合に。

このようにして，すでに形成された均質な集合（併用）住宅地域のグリッドの中のいくつかのブロックは新しい都市施設に更新し，この地域の生活基盤を支えるものとして機能する。そして，それらは「すまいの町」の中に，グリッドの中に，この規定性を維持しつつセットされるゆえに地域と融合化する。この意味で京の町は，何らかの核をもつ求心的な都市構成でなく，全体的な均質性の中に諸施設が点在する均一な都市構成をもっているといえる。街路を歩くとこのことはよく分る。家並，街路の交点，商店，ところどころで学校，幼稚園，公園，派出所などに出あう。それらは，町家と隣りあい，町家にとり囲まれ，生活の中に混在し，日常生活と溶けあう。新都市開発における核やセンターゾーンの求心的な計画手法とは逆の都市構成として注目されねばならない。これは新開発の場合の施設不足とコミュニティ構成への性急さによってあらわれるヒエラルヒィシュな現代の計画方法論と，歴史的背景をもつ生活基盤が諸施設を内包してゆく移行過程の対比として学ぶところが多い。「施設の町」と「町の施設」の差異ともいえよう。

トオリを挟んだface to faceの町内の地割と空間構成は，中世から

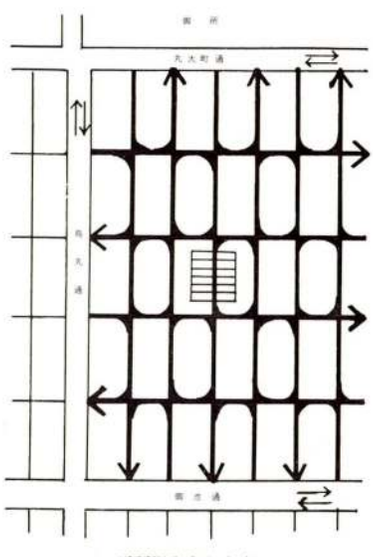






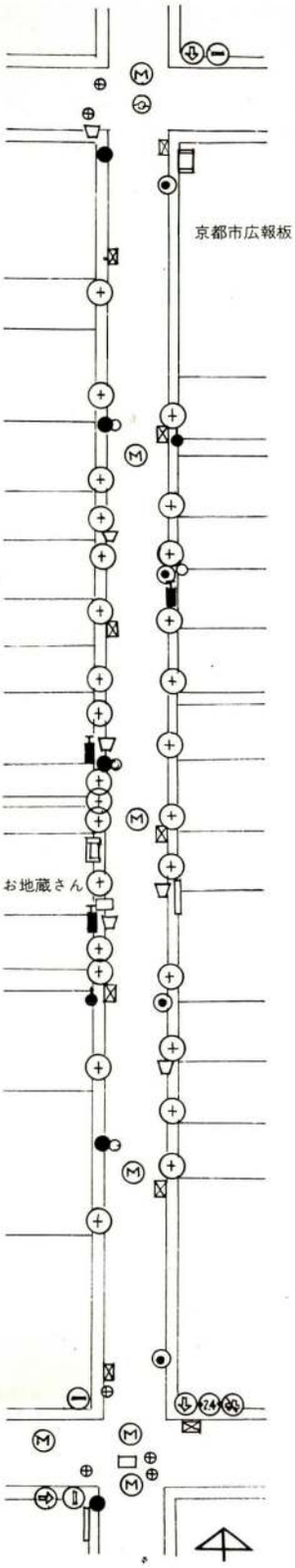
近世への移行期（天正18年，1590年）に秀吉の成したわざであった。平安京造営当初からそれまで，40丈×40丈（121M角）を単位として機能してきた空間構造が，商品経済の成熟に起因する流通構造の合理化，および軍事的要請の外的要因に対応して，生活密度や空間の稠密化とをもたらし，空間の内的飽和と不効率となって現れた。南北に街路を通した半町ごとの短冊型地割りは，坊条パターンの細分化ではあったが，動脈をいきわたらせることによって市街地の新陳代謝を誘起させるに足る都市改造であった。それまでのグリッドとしての街路と，それに囲まれたブロックとの空間の対応関係，つまり街路を境界とし中庭を中心としていた町組とその生活が，街路の方に向き，街路を生活行為のより重要な機能的媒体空間として取り込んだ空間構成への変化をうながしたのである。都市空間の基底としての坊条は，ここにおいて，単なる地割としての意味から，積極的な空間機能を展開するのである。

現代都市にとって，街路は交通，都市脈絡施設（上・下水道，ガス，電気，電話など），屋外生活空間などのネットワークとして，きわめて高度な機能を果す空間である。しかし，今日のモータリゼーションによる経済活動と生活行為の拡大は，街路の空間的許容量を越えて進展している。平面的な自動車交通にとっては，坊条はCross grid(直交格子)であるから全ての交点が徐行や信号待ちや右折禁止を伴う交差点となって効率が悪いともいえよう。あるいは，最短距離を結ぶ斜方向へのshot（短絡）がなしえない。タクシーなどはよく，信号待ちを嫌って交差点の手前の小路に入り込むことがあるが，右折にしろ左折にしろ再び大通りに出るまでの距離は同じである。しかし，これらの観点は，自動車側の交通効率的な立場であり本来は無事故や歩行者の安全性に基準をおくべきであろう。その最低限の努力として，現在京都では，基幹的なネットワーク(大通り)や周辺部を除いて，地区内小路（通り）の一方通行規制を行なっている。この場合，坊条の規則性が，規制のパターンとサーキュレーションを明快なものにしていることはいうまでもない。



一方通行規制とサーキュレーション

対象町内の地区は商業地域であって，経済活動の上で自動車の果す役割は大きいし，間之町通りの通過交通量(南行)も多い。現在，町内の自動車保有量は34軒中8軒（24%），職業上車の駐停車を伴うものを含めると，50%ほどがモータリゼーションにまきこまれてい





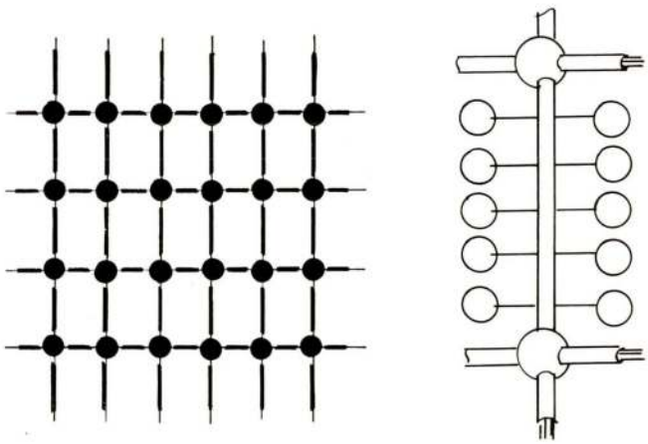
る。このようなモータリゼーションが引き起こしている町内や周辺地区における変化は，トオリにおける駐車や通過交通による生活行為の疎外や景観への影響，トオリドマやオモテノマなどの改造による車庫の確保，角地などでの貸ガレージ業(オープンスペース化)として空間化されている。車がなによりも空間占拠を伴うゆえの，町家空間との相剋の姿とみるべきであろう。地区内の交差点は，幅員が6.5M程度なので信号機などは設置しようにもないが，それでも，おのおのの角には数個の交通標識(一方通行規制，時間帯規制，大型車輌通行規制，車輌幅員規制)が乱立してモータリゼーションを証言している。

トオリは，このような流通機能に加えて，さらに，生活の利便性を支える基盤的な施設を付帯している。上水道，下水道（雨水・雑排水，汚水），側溝といった水利系統，エネルギー系統としての電気・ガス，情報系統としての電話線などが脈絡施設として，トオリに埋設され，あるいは軒先から軒先に架線され，あるいは景観を形づくっている。埋設系統は，トオリの本管から直角に分れた枝管が，トオリドマを通って台所または浴室・便所へと連絡しているのが普通であって，本管と枝管のジョイント部分では，メーター，止水栓，ガス・バルブ，雑排水溝掃除口などによって，個別的なサービスの結節点となっている。町内の枝管を集結した本管は，南へ下って角（交差点）で他の町と合流し（京都市は北から南へ平均して1/150～1/200の下り勾配），マンホール，制水弁，止水栓などの集結的な装置を付帯して1ランク上の結節点を形成している。このような個別的なサービスとともに町内随所で共同的な施設，とくに防災装置をみいだすことができる。町内2カ所の消火栓，4基の消火器，2カ所の非常ベル（スイッチは各戸配線），水をたたえて玄関わきの軒下に置かれた防火バケツ（原則として全戸），電柱または，軒先に付随した外灯（町内5カ所）などが生活の安全と防災の役割を果すとともに，共同性の絆ともなっている。埋設系統以外の電柱（線），電話線は空中架線であるがゆえに，あまりにも景観への影響に無神経すぎるようだ。せめて，地下ケーブルであることが望まれよう。





このように，町内の家並が相対して挟み込んでいる街路は，トオリとして，まず生活と空間機能を充足するフイジカルなストラクチャーである。都市の全体的なグリッド状骨格の中で，町内におけるトオリは，節(交差点・角)と節を結ぶ線材単位にもたとえられる。それは，いままでみたように，生活基盤としての脈絡系統を内蔵被覆化し，節において集結の結節点をもつ全体的な格子状ネットワークを構成している。グリッドパターンの空間構成の特質は，この場合，ユニット性，規則性に基づいて，サーキュレーションの等質な可能性とか，ユニットが定量的であれば，節において合流量が定量的であり，末端（下流）においても反覆



格子の規則性とユニット性

加算的に定量的であるというように作用する。このように坊条は，単なる空間パターンから，部材や空間単位の規格的構成として把えられると，都市（再）開発単位や計画時系列の段階的プロセスの可能性として示唆するところが多いと思われる。



グリッドの節は，交通や脈絡施設の結節点としてのファンクショナルな，あるいはフイジカルな側面とともに，シンボリックな意味をももつ。「角」には，交通標識などのサイン類とともに町名表示板があって，町内と他町内との合接点(分岐点)であり，南北のトオリの場合には，角の家が妻側壁面（通常，真壁板張）をトオリに向けるので，角の手前で景観と空間的な雰囲気の変化をもっている。町名表示は，たとえば，「間之町通夷川下ル夷町」とか「二条通間之町西入ル松屋町」などの例が示すように，地名が，通りと通りの交点としてのポイント位置概念と，町(ちょう)の領域概念の複合概念をとっている。京都において，一般的に，この交差点におけるポイント位置概念が，町(ちょう)の呼称として優先してきたのは，坊条に規定された空間構造上の特性でもある。対象町

内は間之町通をトオリとして持つので，「間之町通夷川下ル（あるいは二条上ル）」であり，となりの松屋町は，二条通をトオリとする町内なので，「二条通間之町西入ル（あるいは東洞院東入ル）」あたりの領域ということになる。そして，「東入ル」，「西入ル」，「上ル」，「下ル」，は交点（角）を基準点として，オリエンテーションと合致した方向（上ルは北行，下ルは南行）への運動をうながしている。このように軸と軸の組合せとポイント優先の呼称，そしてポイントからの運動方向を表現する町名表示は，「丁目」，「地番」の静的で抽象的な位置概念や基準点をもたない領域概念に比べて，きわだって特徴的なことであり，これもやはり，グリッド構造に由来するものであることを知る。格子状の空間パターンが，交通や建築の配列や街路自体の機能や意味とともに，その特性を通じて，空間認識や行動様式の規定的な背景となっていることを認識するのである。







連続的な軒線をもつ家並の統一性



いまだに揚棚のついている古い京の町家

景観論がたんなる意匠としてのみ論じられることは，形式美学に陥る危険性をもっている。京の町を歩いて感じられることは，まずこのことである。そこでは，全体的な統一性に貫ぬかれた家並がまず印象づけられるものの，その統一性の中には種々なアクセントをもっており，同一パターンの単純な繰返しとはいえない。各住戸の連続性は一定高さの軒線の連続性によって表現され，一つの町内の協調性の造形化ともいえる。事実，各住戸は平入り形式であるため，道路に面して切妻をそびえさせて個別的な強調と誇示によって自他を識別させる個人主義的な造形と対照的である。最近の狭小な建売住宅は壁を接して連続的に建てられているものの，妻入りとして，小さいながらそれぞれの独立性，個別性を強調し，露骨な商業主義をうかがわせる。このような各住戸の強調性をできる限り押えて，住戸を群としての統一性によって特徴づけた町内は，まさしくそこに町内コミュニティが成立していることを認識させる。そして，この統一性は軒線の連続性と同時に，さらに素材や色調の共通性，ファサードを特徴づける窓や出入口の形状の共通性によってつよめられている。京の町家によってイメージされる紅殻格子と白シックイの壁は，この統一性や共通性の調和の美として周知のことであるが，戦後の生活様式の変化と新建材のハンランは，このような昔日の町並を次第に壊しつつあり，とくにここ数年の変化は著しい。

対象地区の場合，自家営業をおこなう世帯においては，営業の近代化，営業スペースの拡大のための旧家屋撤去，新築，専用住宅においても，採光のためのムシコ窓の引違いガラス窓への変更，自家用車格納のための1階玄関部分の改装などによって，町家独特の都市景観・家並は失われつつある。対象地区の34住宅のうち，ここ数年の間に旧家屋を撤去して新築（RC造）したもの2戸，ファサードを全面的に改装したもの3戸であり，新築2戸は床面積増のために3階建，表面仕上げはタイル貼およびリシン吹付である。ファサードの改装は木摺下地モルタル塗リシン吹付上であるが，構造体は変更されないので軒高は変わらない。景観にいわゆる京情緒をそえていた犬矢来や駒寄は実生活上の機能を失いほとんど除去され，出入口の狭くて低い格子のくぐり戸は，片引きガラス戸に変えられている。そして，かつてのムシコ窓や出格子の一部にクーラーがすえられ，出格子の前に自動車が置かれている。



まれにみる平家の町家、とり除かれた駒寄







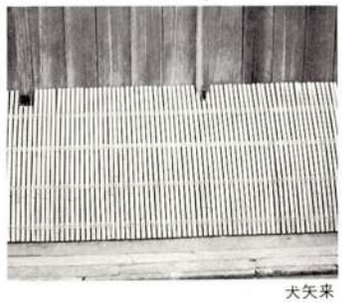
とり去られるムシコ窓



出格子



古い町家と新しいクーラー



犬矢来

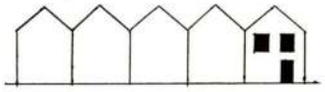


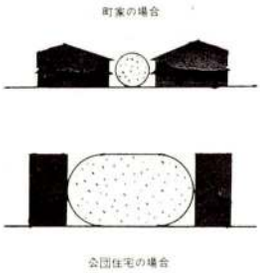
古い町家のおもかげをとどめて改装されたファサード



改築されたファサード







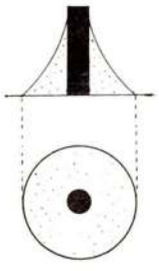


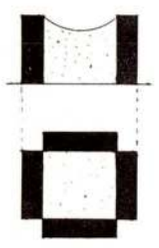
数戸連続の軒線のそろった古いファサード

このようにして，家並は古いものと新しいものが混合しあって急激な社会変化の，したがってまた生活様式の変化の移行過程を如実に具現している。われわれは，このような状況を極だった形でとらえるため，対象地区周辺のいくつかの町内をも歩きカメラにおさめた。しかし，現時点においては，先に述べた統一性や共通性が，やはり根強く残り町内の雰囲気を感じないわけにいかなかった。たとえファサードの多少の変更があったとしても道路幅員，軒高によってつくられる道路オープンスペースのヒューマンなスケールは，居住地域の質としてまことに適しいものと思えた。幅員6.5Mの道路と高さ約5Mのファサードによって構成されるトオリ空間は，両側の家並がかなり接近しているためにひきしまった感じがする。一般に空間領域を決定する場合に使用するアイストップの手法はここでは特にみあたらないが，町内近隣居住空間の領域は充分なテンションをもっているといえる。中層集合住宅団地にみられる隣棟間空間は，幅約25M，高さ14Mの大きな空間であり，この空間領域の人間化（質・スケールの面での）が求められていることと対比すると，町内のトオリ空間のヒューマンなスケールが重要な意味をもってくる。このようなスケール感というものは，人体寸法から永年の間につくり出された木割術からくるものであると同時に，壁面を構成する素材（木材，白シックイなど）のテクスチャー，落着いた色調や窓の外に吊り下げられたスダレなどの，いわばハンドメードの温かさが，このヒューマンなスケールの質を大きく特色づけていると思えた。そして，各住戸の間口（平均約5M，住戸として決して広いといえない間口であって，新築，建替の場合もそれを維持する）は，やはりヒューマンなスケールをもっているといえよう。このような間口は，ほとんどの場合，道路から約1Mセットバックし，その上に低く軒がはり出して，この小さな空間が公私の交流しなじみあう領域となって，鉢植がおかれたり，テントを張り出して自転車置場や営業スペースとして使用するなど，生活の種々な側面が屋内からはみ出し，賑いをまた親しみをつくりだしている。









このような生活のトオリへのはみ出しは，道路オープンスペースを単なる交通のための機能的役割にのみ終らせず，そこに日常生活の彩りを与え，各住戸がそれぞれの衣裳をまとってトオリに登場し，たとえ1個の鉢植も居住者の代替としてつねに共同の広場に参加し，発言しているといえる。総体に緑の少ない家並の中で，塀越しにオーバーハングする樹木のシェルター的な役割に対して，鉢植は小さな緑のオブジエといえよう。これらの緑は町家の統一的な空間の中で，白い土蔵とともに景観にアクセントを与えている。

このようなトオリ空間はすぐれてシンボリックな生活空間である。何らかのモニュメントによる空間の象徴法は凸状物質（たとえば寺の塔）による周囲の空間支配を目的とするが，これに対して主体を囲む型の空間的構成は，前者の視覚的，側面的な感受に対して全感覚的，総体的な感受となりうる。　（つづく）



トオリにかぶさるみどり



トオリをいろどる草花





倉をともなった格調ある京の町家、白シックイのアクセント

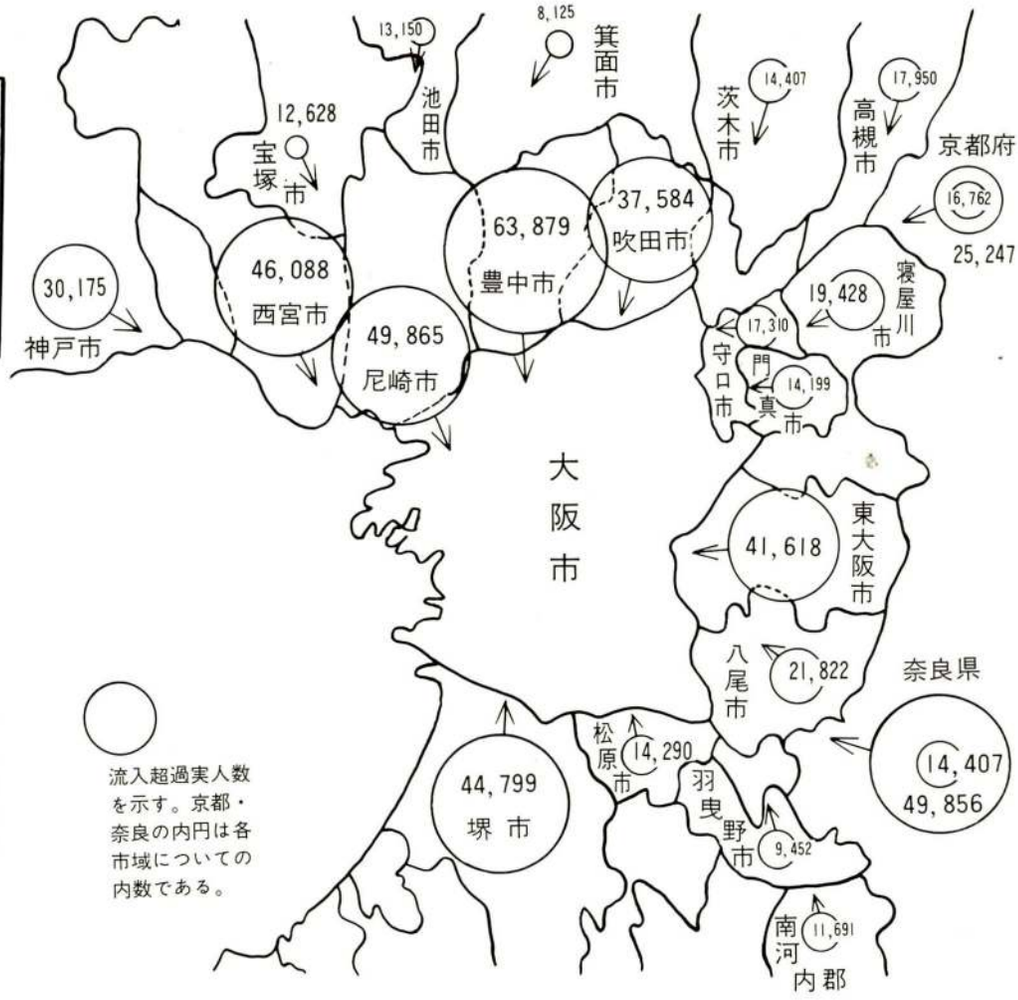
日本万国博跡地開発計画

TEAM BARK

3

TEAM BARK

プランナー	奥保多聞
	小北博一
	佐久間照弥
デザイナー	植田昌吾
	清水正俊
	長崎哲士
リサーチャー	佐野武仁
	芝野孜
	中東達男
	中村守保



附図－1　近郊各都市より大阪市への流入人口（昭和40年）〔「数字で見た近畿経済」による〕

第1章　都市人口の策定

1－2　大阪地方計画における位置づけ

1）大阪都市圏の流動人口

跡地開発計画の一段階上部のグレードに大阪地方計画がある。昭和39年度を初年度とし，昭和50年度を目標年度とする大阪府の総合計画が大阪地方計画である。この計画に基づいて，跡地開発計画を考察して見る。

昭和40年に650万人であった大阪府の人口は，その後3年間に50万人増加して，昭和43年に710万人に達した。

さらに昭和45年には750万人，50年には820万人に達するものと推定される。

昭和60年での大阪都市圏（50キロ半径）人口は，「大阪都市圏における高速鉄道網基礎調査」によると，これは40年人口の1.5倍と予想される。現在北大阪地域よりの都心へのアプローチは，阪急，神戸線・宝塚線・京都線のうち降車人員33万人，国鉄大阪37万人を数える。

鉄道利用の人の動きも，これに応じて増大し，北大阪地域よりの輸送需要の伸びは1.8倍と推定されて，鉄軌道の新設が予想される。

大阪地方計画によると，地域別人口の予測は，北大阪，東大阪においての伸びが非常に大きく，大阪市は減少し，南大阪は横ばいという傾向を示している。

北大阪の増加のテンポは，昭和37年100に比して，45年 1.54，50年 1.80と予測される。

さらに，都市機能が活動している昼間人口を見るとき，豊中は，夜間人口29万人に対し7万人の流出，吹田は夜間人口29万人に対し3万人の流出となっている。大阪市に対する流入人口は **附図-1** に示す。大阪市における業務機能の拡大化と集中化がみられる。

総持寺・旭ヵ丘・東豊中・五月ヵ丘・千里の公営公団を中心とする住宅団地に対して，民間ディベロッパーの手によって大阪都市圏の一角として，川西市・宝塚市を含み100万坪から50万坪までの住宅大規模開発が盛んである。この上，住宅団地の網目をうめつくして，ブドウ状球菌の増殖のように進行する。

このとき，広域的多核都市開発の方向に基づき，業務センター分散，人口集中抑制，住宅地区との関連において，副都心としての位置づけが考えられる。

2）北大阪の開発

大阪地方計画によると，大阪府は，既製都市地帯・整備開発地帯・臨海開発地帯・緑地保存地帯の4地帯に大別される。

千里地区は，整備開発地帯のうちにあり，北大阪における都心的業務センターとして育成し，これを中心に市街地を整備することが計画されている。

交通体系はＳＳＴの航空路からモールに至るまで，スピードの系に従って，グローバルな都市連合から幼児の遊歩圏までを組織化する。サーキュレーションのパターンは人間の全生活圏のヒェラルキーの枝葉から根幹に至るまでの有機的構造形態をあらわにする。

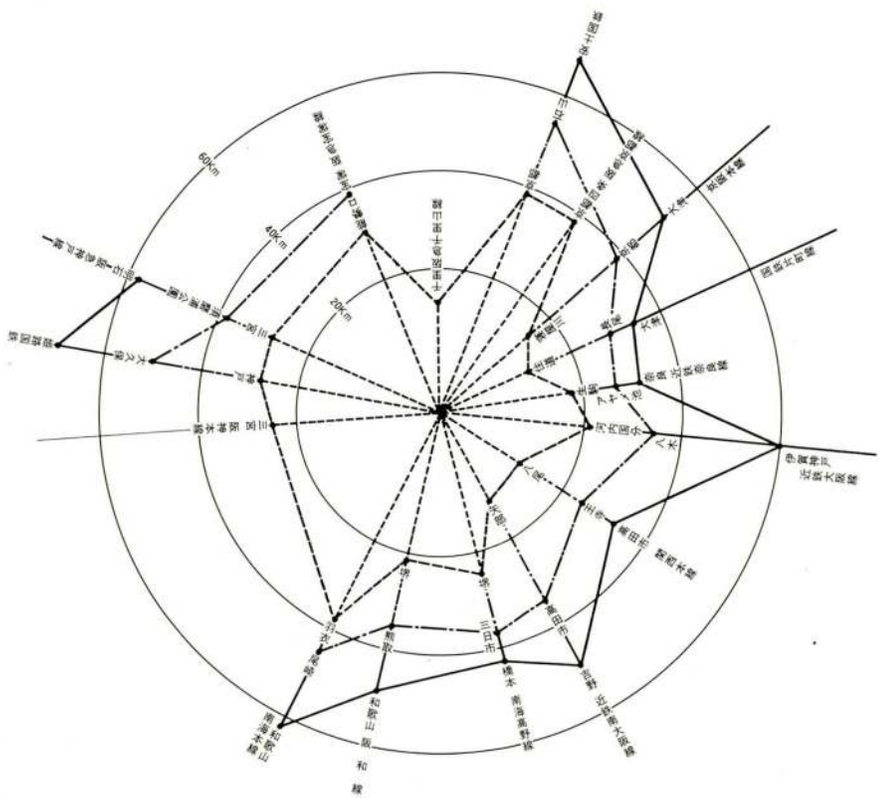
ル・コルビジェのＶ7の法則に従えばＶ1は国土を組織化し，Ｖ2は大都市および大都市間を組織化する。Ｖ1は200k/hの速度をもつ新幹線だろう。大都市の副都心を組織化する機能をもつＶ3と対応する。環状線と御堂筋線のそれぞれの結節点は，千里中央センター，繊維卸商団地を形成する。Ｖ1またはＶ2に対応する名神高速・中国縦貫およびＶ3の環状線のジャンクションとしての，跡地地区は，大都市を連帯化するコアとしての情報センター，あるいは研究開発機能を有する地区が，また，大阪都市圏における業務機能を有する副都心の形成が，可能ではなかろうか。

文化学園都市の形成は大阪地方計画における北大阪開発基本方向の一つである。万国博の北端に接し，吹田市，茨木市の東側の静かな丘陵地帯に，大阪大学，金蘭の学園が連なり，政府の新構想大学なども計画にあがっている。

この大学都市群は，跡地の中心地と内的連関性を保ちながら，情報化社会における研究センターとして，跡地中央の人工湖附近に存在する美術館・万国博ホール・お祭り広場とともに文化的地域として形成されるだろう。すなわち，これは，トポロジカルな意味において，すり鉢型の土地造成は中央に向かって，北側に静かなエリアを，南側はよりダイナミックな都市空間を形成するだろう。

	例	速度km／h	機　　能
V_1：地方間連絡道	新幹線 国土縦貫道 幹線鉄道	150～200 100～150 80～120	国土全体を組織化し、都市圏、都市群を開発する
V_2：都市間連絡道	一般鉄道 一般高速道路	100 100	首都圏など地方（Region）を組織化し、沿道沿線に都市を開発する。
V_3：都市圏主幹線	通勤鉄道 都市高速道路	50～ 80 50～ 80	大都市圏（メトロポリタンエリア）を組織化し、沿道に副都市などの地区（District）を開発する。
V_4：都市内幹線	一般街路	40～ 60	都市の骨核をなし、都市内各地区を連絡し沿道にスーパーブロックを開発する。
V_5：地区内街路	区画街路	20以下	都市構成の最小単位を組織化し、一般の街区を画定する。
V_6：	アクセス	10以下	都市構成の最小単位(住戸)などにサービスする。
V_7：	フットパス	4	都市内各地区を連絡する歩行者専用路。

附図－2　交通路の段階的構成



附図－3　1.大阪都市通勤圏（大阪中心）

1－3　都市交通機関のキャパシティ

1）万博輸送機関

日本国民の祭りとしてのＥＸＰＯ'70の魅力は今や万博開催中の６カ月間に4,000万人から5,000万人が予想されている。それは１日に平均20万人から30万人，ピーク時には60万人の人が会場にアプローチされることになる。

このたび，新設された北大阪急行電鉄をはじめ，阪急千里山線，国鉄茨木，阪急京都線，国鉄私鉄を合わせて鉄軌道４本が主役である。すなわち，万博会場流入人口の７％を輸送する能力が期待されている。その中でも梅田から会場まで地下鉄１号線をへて北大阪急行は会場まで25分で運転されダイレクトにメインゲートに客を導入するよう計画されている。

次に，東名，大阪中央環状を背景にした自動車による人のアプローチである。会場全体では各ゲート周辺に合計26,000台の駐車場が用意されている。それは全体の入場人員の割合からすると数％にすぎないが，会場計画では，東名を背景とした会場の位置は，日本交通の要所であって，多方面，遠距離のドライバーの集まりとして，これからのモータリゼーションにおける指針を与えてくれるであろう。すなわち，日本での行動半径が，欧米並に段々と広くなり，今や500キロ行動圏に東名の開通とともに開始された今日，それを受けとめる駐車場なり諸施設は今後の都市計画上の大きな試金石となるであろう。

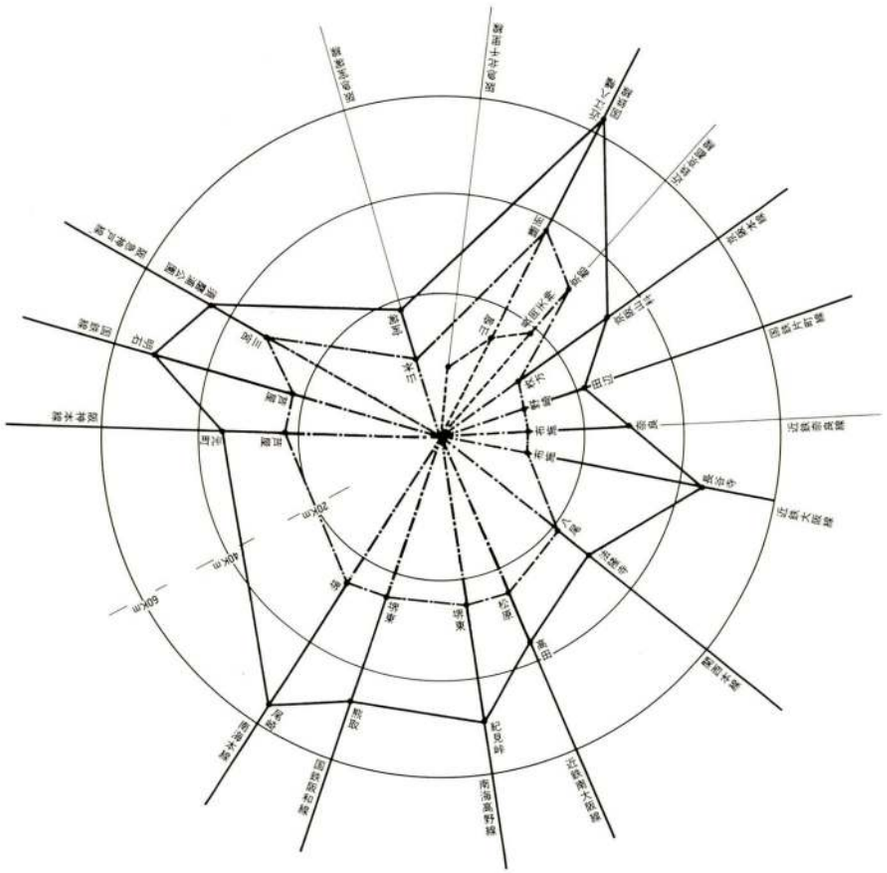
2）都心の交通の現状と未来

④　自動車における現状は，万博関連事業に伴なって整備され，近畿圏の道路網に代表されるであろう。すなわち，十大放射，三環状道路，日本の動脈である東名，名神，または中国従貫自動車道路等々と関連事業費7,500億円の中，50％の巨費を投入しているのである。またこの万博を契機に近畿圏内の経済の発展の妨げになっている自動車の停滞緩和を一気に解消すべく，各関係公私団体を含め，国民運動にまで発展している。

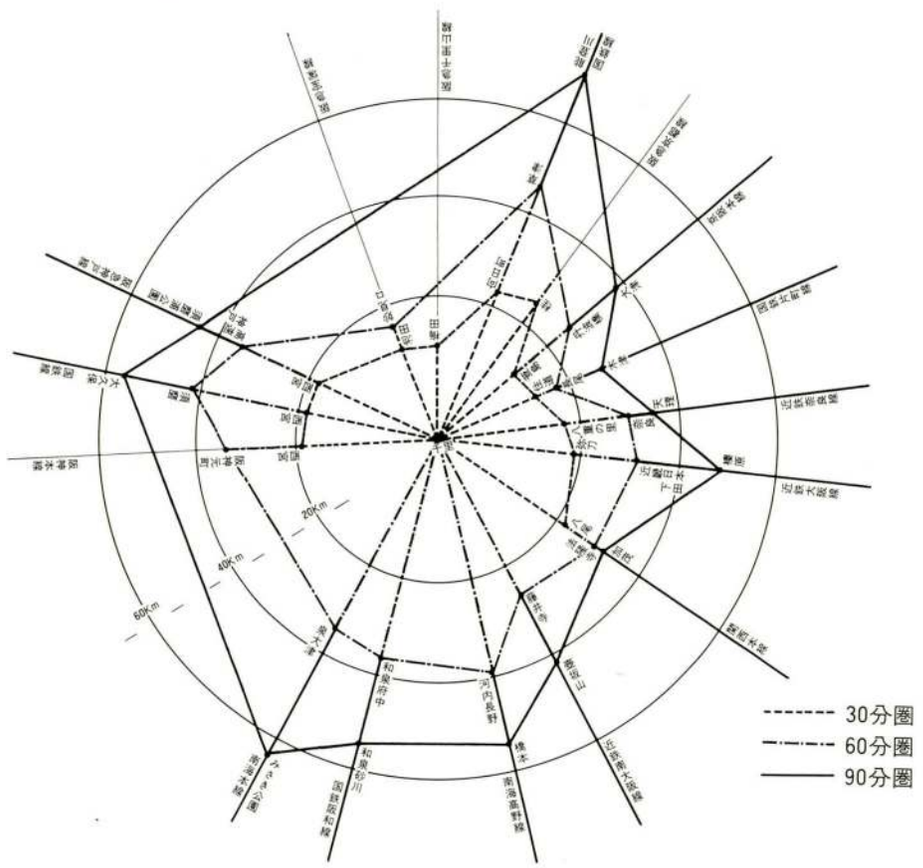
㊁ 次に鉄軌道における現状は，万博関連事業に伴なって整備されるとともに，大阪都市圏の膨張と人口集中で，将来予想される鉄道交通事情の悪化に備えるため，大阪府は，1985年度へ15年後を目標に新しい高速鉄道網構想を打ち立てている。すなわち，それによると，昭和60年での同都市圏（50km半径）の人口は，18,420万人と見積もられるので，現況の鉄軌道では，20万人以上の人々が乗物からあふれる。そこで神戸，北大阪方面，京都，奈良方面，南河内，和歌山方面にそれぞれ1本づつ，計6本の新しい鉄道線路を必要になるというのが骨子である。例えば，万博の位置する大阪都市圏の北方向の延びは，現在の1.8倍輸送需要の伸びを考えねばならない。

3）新交通網の提案

例えば，北大阪のニュータウンからの足となっている阪急電鉄は，それを見込んで，阪急宝塚線を箕面線経由でループを描く計画もある。これは，大阪都市圏における画期的な提案として注目すべき点である。すなわち，大阪都市圏構想なる大阪府の提案は都心への雪ダルマ的集中化の傾向をますます呈している。それは大阪の歴史的発展に起由しているのであるが，放射状に延びた私，国鉄の発展は，今や，都心を動脈硬化させ，救いようのない都市にしている。そこで私たちは，それらを結ぶ現状鉄軌道の提案をここで改めてしてみた。すなわち単的に述べれば，北大阪急行を残すとともに，さらに，それを延長して千里を中心に，東は国鉄茨木，阪急茨木，国鉄新幹線，京阪守口，片町線住道，近鉄奈良線入の里，近鉄大阪線，関西線八尾，近鉄南大阪線松原，東阪和線，高野線を経て南海線の堺まで，西は阪急箕面，阪急神戸線，国鉄阪神それぞれの西宮に，接続される。すなわちち附図3，4，5の対比によると，かなり各通勤圏における面積が増大し開発されることが，判明すると同時に，大阪都心の過密化緩和に役立ち，それに伴なって大阪都市圏の質的変化を期待したい。



附図－4　2. 大阪都市通勤圏（路地中心）1970年3月15日現在



附図－5　3. 大阪都市通勤圏（跡地中心）環状鉄軌道を想定した場合

公園―都市	テ　ー　マ	年月日	提　案　者	内　　容
①	情報センター ＋文教研究施設	'66.05.23	万博会場基本計画 原案作成委員会	文教地区(北部)70Ha.高層住宅(南部)35Ha.情報地区(南部)40Ha.流通センター(周辺地区外を含める)180Ha.
②	公園＋学術研究施設	'69.05.01	万国博関連隣接 都市市長会	公園（中央)146Ha.学術研究(北部)92Ha.業務情報(南部)。北大阪急行跡地乗入れを存続する。吹田、豊中、池田、箕面、摂津、茨木、高槻の各都市々長会
③	緑地帯	'69.05.01	万国博跡地問題 こん談会　通産省	会場全域を森林をもつ緑地帯、法人又は公団方式の一括管理
④	自然公園＋諸施設	'69.05.01	大阪商工会議所	大阪産業界へのアンケート。大部分を自然公園とし、有用な施設も設置。公園(展示)126Ha.（公園案80%に対し、文化施設案50%)。公園(場周道路外)134Ha。所有は国有化。地元による管理。北大阪急行存続。
⑤	森林文化公園	'69.06.01	芦原義重 (万博協会副会長)	全域を国が買い上げ、森林文化公園にする。絶対切り売りしない。管理運営の一元化、将来は国際機構の誘致。
⑥	科学技術センター	'69.06.18	大阪工業技術推進協議会（阿部孝次郎）	科学技術研究集団 100Ha.（関西中央研究所＋国立公立試験研究機関）大阪府知事・市長・芦原・菅野各氏顧問承諾。
⑦	青少年記念センター	'69.06.30	中央青少年団体連絡協議会	自然公園とオリンピックに対応する青少年センター設置。
⑧	大規模森林公園	'69.07.12	市川　忍 (大阪商工会議所会頭)	大阪経済界の意向を調査審議した結果、管理経営は一元化する。
⑨	労働力開発センター	'69.08.18	労働省	技能開発・勤労青少年・婦人各施設からなる労働開発センター、5ヵ年計画、30Ha.
⑩	モデル市街地	'69.09.25	大蔵省	モデル市街地又は流通業務団地。 基礎投資66億（都市施設）を活用する。
⑪	WEO（世界環境機関） ＋記念公園	'69.02.27	大阪府知事	展示区域126Haを都市計画法に基づく国費による記念公園。公害に関する国連専門機関の誘致。 1972年に開かれる国連(人間の環境に関する国際会議)の議題になる機関施設の候補地。
⑫	道州制	'69.10.24	東西経済団体連合会	道州制推進の根拠地とする。 政府館を近畿圏の道庁、鉄鋼会館を議会。

附図－6

第2章　都市機能は何が適当か

2－1　各方面の跡地利用について

万博跡地の都市的機能の策定に関し，最初に現在多方面で述べられている意見を紹介し，その世論を私たちの計画にくみ取り，適切な方向付けとしたい。EXPO '70の迎賓館は，日本庭園の中にその柔かい屋根の姿を現わし始めた。しかし，そのバルコニーから庭園を眺めるとき，緑の樹，特に竹林の生気のないのが印象的である。

跡地利用の策定は，すでに原案作製委員会の第2次案の時点から，多方向の意見をバックにして，大学・娯楽・文化・供給・情報と多核的にとらえてきた。しかしその中にあるのは，情報化社会の中における，ネットワークの結節点として，また，きたるべき産業社会に課せられた新しい研究と業務をつなぐ情報センターとしての位置づけが，緑と水と太陽の理想的環境の中に骨格としてあった。次に諸提案を図表化した。（附図－6）

以上要約した各提案と一部分重複するのであるが，10月8日付の各新聞は各省庁独自の跡地利用計画の予算要求を報じている。すなわち，

外務省―国際文化センター設置調査
文部省―阪大・大阪外大・大阪教育大土地購入
厚生省―国立循環器センター調査
農林省―政府倉庫地盤調査
通産省―跡地利用関係調査
　　国際開発大学校調査
　　中小企業振興事業団
郵政省―郵便機械化処理局土地購入
　　青少年レクリエーションセンター
電々公社―電報電話局土地購入
労働省―労働力開発センター設置調査，土地購入
自治省―近畿地方広域行政関係用地

以上の諸提案であるが，主なものに文部省の阪大・大外大・大教大の土地購入費がある。会場基本計画の提案の中にも，文教地区として，同一の提案があり，それは後述する「大阪地方計画」の中の「文化学園都市の形成」と合一するものである。

大阪府市商工会議所は，跡地利用は高い水準と内容のある文化施設を持つ記念公園となるよう配慮するとの要望書を政府に提出した。とサンケイは8月29日に紹介し，佐藤首相は跡地の一括利用を述べている。

しかし敷地造成・道路整備・上水下水の供給処理施設・電力およびガス・地域冷房etc.の都市的基礎施設130億のデンシティの最も高い場周道路内部を記念公園にのみ使用しうるのは適当であろうか。30万人の都市人工環境装置は地下に埋設されたままでいいのであろうか。

現在の地相の状態は，公園たらしめるには，あまりにも不適当であると思われる。

計画は，都市的ポテンシャルを最も顕在化し得る開発の方向が，市民の期待に添うものではなかろうか。万博の動く装置道路のパターンに，オーバラップしてある豊かな水際を含めた並木の緑道のパターンは都市的骨幹の一系列であろう。公園はあくまでも都市のエレメントの一つとして考えたい。都市のスプロールを防ぐ緑地帯は，箕面国定公園を中心に考えるべきである。

日本建築協会 月間の動き

□昭和44年10月分□

理　事　会

16日　4時～5時半　於会館集会室
出席者　東畑，塚本，松村正副会長
五十嵐監事ほか7理事
議事(1)忘年懇親会開催の件
(2)定時評議員会開催の件
(3)事務局職員採用の件
(4)入退会者承認の件
(5)報告事項
建築業務基準委員会委員　福田，山根両委員より第1回委員会の経過報告ならびに今後採り上げる問題点等について説明が行われた

住　宅　委　員　会

住宅資料蒐集委員会
2日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　楢崎主査ほか3名
議事(1)今年度活動の成果について
(2)今後の事業方針について

住宅スライド小委員会
7日　5時半～8時半　於会館集会室
出席者　上田主査ほか4名
議事(1)今年度の活動成果について
(3)今後の事業方針について
(3)来年度の住宅展構想について

委　員　会
14日　5時半～8時半　於会館集会室
出席者　山本，楢崎主査ほか12名
議事(1)来年度の住宅展規模について
(2)各小委員会について
(3)そのほか

建築データシート編集委員会

原稿執筆説明会
2日　1時半～2時半　於会館集会室
出席者　朝日機材，松村副委員長
議事　原稿執筆内容について
16日　1時半～2時半　於会館集会室
出席者　ヒーロ化学ほか1社
長浜幹事ほか1名
議事　原稿執筆内容について
20日　1時半～2時半　於会館集会室
出席者　日本アスベストほか4社
樫原幹事ほか2名
議事　原稿執筆内容について
20日　3時～4時半　於会館集会室
出席者　シエル石油ほか4社
篠崎幹事ほか2名
議事　原稿執筆内容について
22日　1時半～2時半　於会館集会室
出席者　三基産業，宮武幹事ほか3名
議事　原稿執筆内容について
22日　3時～4時半　於会館集会室
出席者　アイカ工業ほか6社
松村副委員長ほか1名
議事　原稿執筆内容について

委　員　会
23日　5時半～8時半　於会館集会室
出席者　中原，松村正副委員長ほか2名
議事(1)掲載会社の確保と今後の見込みシート数について
(2)各編集グループの運営とDグループの運営について
(3)企画グループの運営について
(3)そのほか

教　育　委　員　会

工高生デザインコンクール打合会
3日　4時～6時半　於会館集会室
出席者　篠原幹事ほか2名
議事　募集規程による応募図面の検討について

工高生デザインコンクール審査会
17日　1時半～6時　於会館集会室
出席者　浦辺審査委員長ほか7委員，辛木教育委副委員長，篠崎幹事ほか2名
応募作品の審査

事　業　委　員　会

展示会小委員会
7日　5時半～7時　於会館3階会議室
出席者　窪田副委員長，木原幹事
内野委員ほか2名
議事(1)展示候補建物の順序について
(2)展示期間について
(3)賛助金について
(4)そのほか

若い会員の集い小委員会
8日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　上田副委員長，佐藤幹事
南委員ほか2名
議事(1)第1回若い会員の集いの経過について
(2)第2回以降の事業企画について
(3)そのほか

忘年懇親会小委員会
9日　正午～2時　於会館集会室
出席者　山本副委員長，打浪，佐藤幹事
奥尾委員ほか3名
議事(1)忘年懇親会企画要項について
(2)企画の具体的内容について
(3)分科会の構成員について

見学会小委員会
9日　5時半～7時半　於会館3階会議室
出席者　山野副委員長，荒川委員ほか2名
議事(1)9月に実施した見学会についての報告
(2)10月～12月の見学会企画について
(3)1月～3月の見学会企画について
(4)そのほか

委　員　会
15日　5時半～7時　於会館集会室
出席者　岡本，山野各副委員長，木原，三宅各幹事ほか6名
議事(1)各小委員会の事業企画について
(2)10月～12月の事業企画について
(3)1月～3月の事業企画について
(4)そのほか

展示写真打合会
23日　正午～2時　於会館3階会議室
出席者　窪田副委員長，木原幹事，RIA建築総合研究所(3名)京阪交通社(2名)
議事　第1回建築写真展示について最終打合せ

忘年懇親会抽せん分科会
27日　正午～2時　於会館集会室
出席者　原田幹事ほか2名
議事　抽せん作業内容について

忘年懇親会受付分科会
27日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　打浪幹事
議事　受付作業内容について

忘年懇親会会場分科会
28日　正午～2時　於会館集会室
出席者　平田幹事，太閤園小林氏
議事　会場配置，料理内容について

忘年懇親会進行分科会
28日　5時半～8時　於会館3階会議室
出席者　佐藤幹事ほか2名
議事　余興内容と進行プログラムについて

編　集　委　員　会

委　員　会
8日　4時～6時半　於会館集会室
出席者　足立委員長ほか10委員
議事(1)11月号＝第16回青年技術者特集経過報告
(2)12月号＝九州特集
1. 九州の新建築調査報告
2. 北部九州からの報告
3. 南部九州からの報告
(3)1月号＝現代社会の問題点（仮称）
(4)2月号＝建築と安全特集
(5)3月号＝日本万国博と技術開発特集
(6)4月号以降の特集
(7)シリーズもの
(8)そのほか

表紙デザイン小委員会
15日　正午～1時半　於会館集会室
出席者　村尾主査，橋本委員
山田デザイナー
議事(1)昭和43年，44年の表紙について
(2)昭和45年の表紙担当者の選考

21日　正午～1時半　於会館集会室
出席者　村尾主査，山元氏ほか3名
議事　昭和45年正月号以降の表紙について

出版委員会

建築基礎工法と実例幹事会

20日　6時～8時半　於会館集会室

出席者　山肩委員長，山口，多々見幹事

議事(1)編集幹事として宮川達郎氏の委嘱について

(2)原稿検討と出版工程について

法規委員会

委員会

23日　3時～5時　於会館集会室

出席者　福田委員長ほか15委員

講師　前田治氏ほか2名

議事(1)大阪市の都市再開発について

1. その現状とマスタープラン

大阪市総合計画局再開発課長　近藤達夫氏

2. その事業化―阿倍野地区再開発構想

大阪市都市再開発局再開発部第二課長　前田　治氏

(2)法令コーナーの件

(3)そのほか

建材委員会

委員会

24日　3時～5時　於会館集会室

出席者　堀内委員長ほか6名

ゲスト　青山幹氏

議事　接着剤について

見学会

新建築研究ゼミナールと見学会

(東洋ホテル新築工事)

(大阪府建築士会・日本建築学会近畿支部と共催)

3日　1時半～5時

参加者　90名

設計・施工　株式会社　大林組

ゼミナール

挨拶　東洋ホテル株式会社社副社長　木村伊太郎氏

建設計画および設計計画について

㈱大林組建築本部設計部次長　吉岡吉雄氏

構造計画について

同　上　設計部主査　樋口元一氏

空気調和設備その他について

同　上　設備部設備課　中原信生氏

電気設備について

同　上　設備部電気課　堀　大成氏

施工について

㈱大林組豊崎工事事務所長　橋爪謙介氏

第4回万博工事見学会

(大阪府建築士会・日本建築学会近畿支部と共催)

8日　12時半～6時

参加者　209名

(大成建設株式会社，鹿島建設株式会社のバス提供による)

神戸の明治建築を見る会

旧ハンター住宅（重文）ほか5建物

18日　1時半～5時半

参加者　39名

第2回大徳寺の茶室を見る会

25日　2時～5時

参加者　28名

講演会

第2回日本万国博建築講演会

「お祭り広場について」

(大阪府建築士会，日本建築学会近畿支部，日本建築家協会関西支部と共催)

23日　1時半～5時

於大阪科学技術センター

聴講者　70名

設計計画について

㈱双星社竹腰建築事務所代表取締役　福田朝生氏

㈱都市建築設計研究所代表取締役　神谷宏治氏

大屋根の構造について

法政大学教授工学博士　川口　衛氏

大屋根の施工について

㈱大林組お祭広場建築工事

共同企業体工事事務所長代理　新開信之氏

説明会

実務に直結した建築工事別説明会（第1回）

「改正消防法の施行とその必要機器について」

29日　1時半～5時

於大阪科学技術センター

聴講者　150名

改正消防法の要点について

大阪市消防局予防課建築係長　田中隆夫氏

煙感知器について

「イオン化方式について」

東京報知機株式会社技師長　桑形忠和氏

「光電式について」

東北沖電気株式会社研究部部長　谷　和明氏

避難器具について

上田消防建設株式会社代表取締役　上田博己氏

3会事業委員長打合会

16日　正午～2時　於会館集会室

出席者　矢野士会委員長，三品学会幹事ほか事務局員6名

議事　11月以降の共催事業について

建築6団体事務局打合会

21日　1時半～4時　於会館集会室

出席者　事務局員9名

議事(1)新年交礼会開催について

(2)第2回建築祭について

(3)そのほか

関西都市・住宅会議

「職住近接」

27日　1時～5時　於大阪商工会議所

参加者　130名

講演

職住近接について

建設省住宅局建築生産企画室技官　鎌田宜夫氏

パネルディスカッション

前掲　鎌田宜夫氏

大阪府建築部市街地建築課長（司会）　椚座正信氏

大阪市総合計画局企画調整課長　花木幸一郎氏

近畿日本鉄道㈱経営企画室次長　砂田純男氏

大阪大学医学部名誉教授　梶原三郎氏

日本住宅公団大阪支所長　青樹英次氏

住友不動産㈱大阪支店理事支店長　田村勝次氏

共催団体

日本建築協会，大阪府建築士会，大阪建設業協会，大阪住宅建設促進協議会，日本建築家協会関西支部，日本建築学会近畿支部日本建築材料協会，大阪市街地再開発促進協議会

後　援

朝日新聞社

10月の入会者〔敬称略〕

〔団体会員　4社〕

アイゾール産業KK　九州建設コンサルタントKK

鐘淵化学工業KK　丸和基礎KK

〔個人会員　40名〕

安達清次	嶋田聖二	仲　秦孝
有元一陽	城島博実	西川精一
糸井康雄	鈴鹿幸雄	西村敏明
猪岡博子	田井中伸夫	東　祥造
上田　猛	田中詔生	福井早人
大垣裕嗣	田中正志	藤本宏子
大崎治良	高橋武男	古川　修
大谷八十路	寺井希代嗣	松田　潔
柏木良雄	鳥生　護	松野俊治
堅山正彦	名口繁行	毛利詰夫
國宗照美	中　昭良	山本幸一
佐久間利雄	中井宇佐男	山本隆史
佐々木正次	中井康行	
佐藤　博	中野敏明	

〔准会員　21名〕（氏名省略）

求人広告

構造技術者・見習

構造デザインセンター

（構造図面・構造計算）

大阪市天王寺区上本町4丁目1の2

TEL（768）4475

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話　大阪364代表 0206～9

室谷

内装資材専門店

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　(英和ビル)
直通電話　神戸(33) 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル5階 502号室)
直通電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5 (電話㉒2923)

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

OKUYAMA·KAKOGYO WATER·PROOF OAM

カッパー防水帯

コーパータイト

パーフェクトな 冷工法 デラタイト

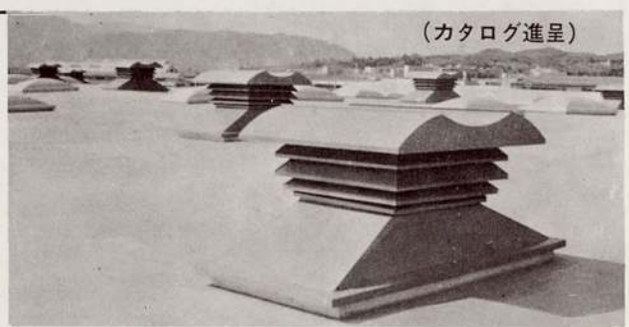
奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座8－4－11　電話(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所　大阪市都島区都島中通り5－4　電話(921)2497・(922)7280
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話(811)3660・3104

特許　岩元式ベンチレーター
(電動式並固定型各種)

岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置（コンチニヤス・ベンチレーター）
新型　換気塔 NSライン　（強制換気扇付）
新型　換気塔 SFスーパー　(特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する)
最新型　採光排気塔(風光)スーパーライン特殊増幅装置付

スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式



(カタログ進呈)

岩元工業株式会社

大阪市東成区東今里四丁目40番地
電話 (981) 0616 ～ 0618

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　店　大阪市東淀川区加島町357　電話（302）2271～9(代)
大阪支社　同　上
東京本社　東京都港区芝浜松町2－7　電話（434）6171(大代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・盛岡・横浜・神戸

冷暖房　各種サッシ
給排水、衛生水道　環境衛生施設
電気　荷役運搬機械
厨房　化学鉱山機械

三機工業 株式会社 大阪支店

取締役社長　大前玉男
取締役支店長　樋口勝栄
大阪市東区北浜２丁目２２番地　電話 大阪（202）代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山
出張所　横浜、金沢、静岡、高松

電気・空調・給排水・衛生設備・設計施工

大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷知巳
本店　大阪市西区江戸堀１－６０　電話（441）8231大代
支店　東京・名古屋・福岡
営業所　札幌・仙台・金沢・神戸・広島
出帳所　京都・岡山・高松・熊本・横浜
新潟・富山・福井・豊田

空気調和設備
衛生設備　設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市都島区都島本通４－10－30　電話（922）6251(代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町２－22　電話（667）3431(大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平
大阪市北区高垣町一・電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4945(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸34局 5892

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃商会

本　社　大阪市北区富田町16番地 電話(363)大代表1371
支　店　東京都千代田区神田小川町2丁目1番地　電話(292)代表7751
広島市紙屋町１丁目２番22号　電話(47)代表4535
福岡市大名１丁目８番12号　電話(76)代表3795
出張所　名古屋・富山・金沢・福井・京都・松江

営業種目●空気調和設備●給排水衛生設備●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機／設計・製作・施工

空気調和のケンザイ 株式会社 建材社

本社・東京支店＝東京都中央区銀座６－６－７　㊫(572)7411代
大阪支店＝大阪市北区中之島２－22　㊫(203)3721代
名古屋支店＝名古屋市中区錦２－２－13　㊫(211)1535代
出張所＝札幌・仙台・豊田・金沢・神戸
広島・松山・福岡・バンコック

須賀工業株式会社

空気調和 衛生設備

大阪市西区土佐堀通１丁目１４　電話 441－5171
支店－東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所－広島　出張所－北九州

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
（旧斎藤久孝事務所）

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町１１番地
電話　大阪（443）５０４１～５番
東京本社　東京都千代田区大手町２の８番地（日本ビル）
電話　東京（270）７４１１番（代表）
札幌営業所　札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル　電話 札幌22)5756
金沢営業所　金沢市高岡町２番１６号　電話 金沢21)2074
福井出張所　福井市御幸２の１　電話 福井24)2436
高松出張所　高松市２番丁９　電話 高松21)5195
岡山出張所　岡山市大供３８０の１　電話 岡山24)5486

空気調和　地盤凍結　冷凍冷蔵

精研冷機株式会社

本　社　大阪市南区瓦屋町３番丁６８番地
（オートセンタービル２階）　郵便番号542
電話 大阪（06）761(代)1141～８番(直通)
東京営業所　東京都千代田区九段南２丁目２番５号
（九段ビル８階）　郵便番号102
電話　東京(03) 262－３２４１～４番

創業　暖冷房・換気・温湿度空気調和 設計
大正二年　病院諸設備・給排水衛生・水族館設備 施工

株式会社 斎藤省三商店

東京店　東京都千代田区丸の内２の２　丸ビル６７６号
電話 212(代)3751
大阪店　大阪市西区土佐堀通１の１　大同ビル６１６号
電話 443代 3361
札幌店　札幌市北十条西１８丁目３６番地　電話 61(代)4371
名古屋店　名古屋市中区栄３の５番２９号　千代田ビル５１４号
電話 261(代)0641
京都店　京都市南区西九条春日町４８番地　電話 681(代)1781

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区北同心町１丁目５７
電話（351）（代表）２８０８
本社　東京都文京区本郷１丁目１２－５
電話（814）（代表）５１５１
支店出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

温湿度調整装置、暖　房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話 (361) 5177(代)
(364) 0977(代)
本　社　東京都千代田区丸ノ内3－2(新東京ビル)
電話 (211) 8511・8561(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話 (21) 4491
名古屋支店　名古屋市東区東門前町3－6
電話 (971) 3621

㊀ 平山工業株式会社

衛生・空気調和設備　・　設計・施工

TEL (441)㈹ 1994.(443) ㈹0331　大阪市西区江戸堀通2の2

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

高砂熱学

大阪支店　大阪市北区梅田8番地(新阪急ビル8階)
電話 大阪 (312) 4521 (代表)
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和・恒温恒湿・冷凍・冷蔵
給排水衛生設備　設計施工

Ⓕ 不二熱學工業株式會社

本　店　大阪市南区順慶町2－50　電話 261－2436㈹
東京支店　東京都大田区西馬込1－2－1　電話 773－1231㈹
営業所　銀座・浜松・京都・神戸・福岡

Carrier
空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工

東洋キヤリア工業株式会社 大阪支店

大阪市北区堂島浜通1－25(新大ビル)
電話 大阪 (344) 1512 (大代)
本社 東京都中央区日本橋本石町4－2(三井第二別館)
支店東京・名古屋出張所九州
工場埼玉県北足立郡・東京都足立区

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀1丁目6.2　電話(443) 代表8161～9
支店　名古屋市中村区水主町1の12　電話(541)0966(551)1655
出張所　東京都港区赤坂2丁目3～12
赤坂ビークビル5階　電話 (583) 1467
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話 (34) 1778・4386

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備　設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀4丁目　TEL(443) 8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支店　名古屋・福岡

空気調和装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪支店　大阪市東区高麗橋5－45(興銀ビル別館)
電話 (06) 202－7745番(代表)
本社・工場　東京都北区神谷3の10の8
電話 (03) 902－3111番(代表)
支店　東京・名古屋・仙台

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

㊀ 日本管工業株式会社

代表取締役　市川繁雄

本　社　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話 (352) 3501～3
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話㊸7431～3
大津出張所　大津市打出浜13－15　電話 0775 ㉒9738
津営業所　津市栄町2－111　電話⑧3610

Carrier
冷暖房は CARRIER キャリア

東洋キヤリア工業(株)製品販売店・特約工事店

㊏ 日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所　大阪市西区土佐堀通1－16(石川ビル)
電話大阪 (443) 3661～5

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

㊎ 株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11　電話大阪(458)3531番
出張所＝京都・福岡

エレベータ・リフト・カーリフト
設計・製作

日本エレベータ工業株式会社

代表取締役　長尾正大

本社　大阪市大淀区天神橋筋六(天六阪急ビル)　(351) 4927代 4540
大阪営業所　(351) 4927代　サービス事業所　(328) 0364代
東京営業所　(822) 0995代　工場　(328) 0363代

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町ノ丁目22
電話大阪(362)8701
東京支社　東京都港区赤坂1丁目5番7号
電話(481)8621代表
支　店　名古屋・札幌・福岡
営業所　旭川・横浜・浜松・姫路・高松

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本博三

本　社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(448)1361
営業所　大阪市西区土佐堀通り4の8
TEL　代表　(448)1361
営業所　京都市西京極郡三反田町11の5
TEL　代表　(311)1185

電気工事設計施工

太陽工藤工事株式会社

取締役会長　西村庄市
取締役社長　小林四郎

本　社　大阪市此花区恩貴南之町73
電力工事本部　TEL(06)462−1301(代)
施設工事本部　大阪市北区野崎町69
TEL(06)313−3451(代)

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪(202)0325〜9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番地5号
支　社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地(東阪急ビル)
電話　大阪(313)1101(大代)
支店　東京・名古屋・舞鶴・大阪南・神戸・広島・九州

電気工事 中 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本　社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341〜5
0388・2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町三丁目一一　電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通り360　電話御所(2)2607・4259

電気工事設計施工

株式会社　**三興社**

代表取締役　林　敏夫

本　社　大阪市北区絹笠町50(堂ビル7階)
電話㊫3671(代)
支　店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話㊫1478(代)
出張所　川崎・相模原・堺・福山

各種電気工事設計施工・制御盤製作

野里電気工業株式会社

取締役社長　池内文夫

本　社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話大阪(472)代表1101〜7
支　店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号(福島ビル)
電話東京(491)1746(492)0182・0350
営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話小倉(56)5665・5818
出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納伝三

本　社　大阪市北区絹笠町五〇(堂ビル三階)
電話(364)1471(代)
支　社　東京都中央区明石町6−23(辻孝ビル)
電話(542)5641
営業所　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話(991)5131〜3
出張所　神戸市・堺市・高槻市・姫路市

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長　田中実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541)0564〜7・7148〜9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役会長　今村騰
取締役社長　立石行男

本　社　大阪市北区梅ケ枝町56番地
電話　大阪　大代表(312)8881
支　店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島・福岡

各種電気工事設計施工

株式会社　**ヤマト電気商会**

取締役社長　山本永造

本　社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(364)代3056
東京支店　東京都港区新橋5−34−6　相馬ビル5階
電話東京(434)3848・(431)8435
出張所　大阪南・札幌・名古屋・四日市・松山・徳山

奉仕感謝の店

タイル工事施工

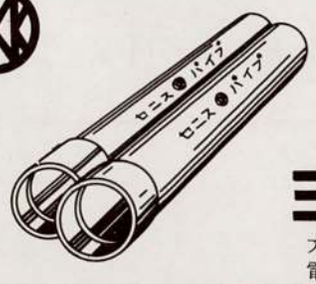
特許申請中・完全滑止タイル

サンエス
SSS タイル 新発売

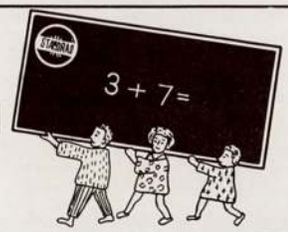
（カタログ進呈）

株式会社 川岸窯業商店
大阪市西区靱本町２丁目９８　靱本町電停前
電話　大阪（532）０４６１～４番

窓掛、緞帳、日除、壁紙 室内装飾 絨毯、舗床材一般
東洋リノリューム
川島織物 代理店
亀井株式會社
大阪市東区南久宝寺町四丁目(心斎橋筋)
電話　大阪（251）1353（代）～６・9996
営業所　名古屋・福岡・札幌・東京



トラフ・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール
株式会社
三幸商會
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話　大阪(358)　４０３１



Standard Board&Slate
フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目１０１番地　電話大阪(717)4561～２

営業品目
● ケネボウゴーレックス防水
●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
●樹脂砂壁エバーサンド吹付
●樹脂蛭石エバテックス吹付
合同特許建材工業株式会社
本社営業所・大阪市東住吉区駒川町３―54　電話(702)代7814～６
特約代理店・東京・名古屋・金沢・広島・今治・福岡

●法定不燃材の屋根長尺現地成型
ガスにも／熱にも
酸・薬品にも
大丈夫です
●責任施工・型録送呈

特許●耐酸・耐アルカリひふく鉄板
オリエンタルメタル
●永久建材の超ひふく鉄板
スーパーオリエンタルメタル (SPM)
カラースーパーオリエンタルメタル (CSPM)
●新時代にマッチした各種のカラー製品があります
オリエンタルメタル製造株式会社
本社工場　兵庫県尼崎市長州字稲川新田44　電話　大阪(481)8085～9
大阪支店　兵庫県尼崎市長州字稲川新田44　電話　大阪(481)8085～9
東京支店並工場　埼玉県蕨市塚越５－６－３２　電話　蕨（42）３１１５
支店・出張所　郡山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・教賀・三原・徳島・徳山

特許　内外式　意匠登録
電動ベンチレーター
屋上強制換気装置製作のパイオニア
50年の豊富な経験と技術、研究により
1。最高の換気率　4。価格の低廉
2。スマートな外観　5。直傭工による施工の完璧
3。雨仕舞の完全　6。行届いたアフターサービス
近畿コカコーラボトリング美原工場
NK型口径 900m/m（モートル 3HP）40基
内外建材株式会社
本　社　大阪市西区江戸堀北通１―25（相生ビル）　TEL(441)3983～4・4396
工　場　大阪市城東区天王田町１の１４１　TEL(962)１１４９
内外式コンチニアスベンチレーター
筒型ベンチレーター
内外式ガラス屋根
内外式連続採光換気装置
設計施工

製造発売元・責任施工

特許ニッポン防水液
ニッポン防水液B号
ニッポン急結液壱号
ニッポン耐寒剤
ニッポン防水目地材
ビルコート

標準セメント防水剤

特許 ニッポン セメント防水剤
国立大阪工業試験所御創製 ○強度増加 ○絶対防水 ○硬化促進

黒川化学のセメント防水

有限会社 黒川化学工業所
本店 工場 神戸市東灘区住吉町反高林 TEL (85) 2723

内外

N.G.C.式

米国パブコ・アスファルトコンパウンド
米国バイヤーライト・アスファルトコンパウンド
} 販売

各種シート防工事 責任施工
新防水材リベットルーフ 責任施工

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト（樹指）
モルタル工事

内外工業株式会社

本社 大阪市阿陪野区旭町1丁目1番地30号 電話(641)3434～6
(631)0810(夜間)
工場 大阪市東住吉区桑津町3丁目16番地

スチール
アルミ
ステンレス
／
サッシ・ドアー
カーテンウオール
シャッター
三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所
本社・工場 尼崎市神崎五反田280番地
電話 大阪(499) 8151 代表

近代建築の要求する

＊特許 小俣式 ステンレス・アルミニウム 防火シャッター

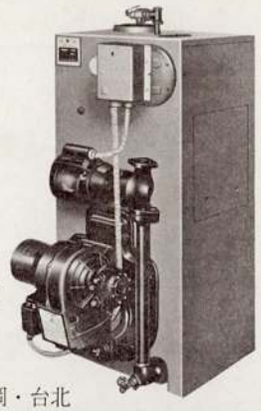
設計
製作
施工

小俣シャッター工業株式会社大阪支店

大阪支店 大阪市北区若松町30 電話大阪(364)9004・9016・4825
本社工場 東京都北区田端町1138 電話東京(893)5211～5

セントラルヒーティングは世界最大の規模を誇る

アメリカン・スタンダード社製 **A-3ボイラ**



＊予算が許せるなら、多少のむりを押してもA－3ボイラを組み込んで下さい。必らず施主から感謝される高級品です。

AMERICAN STANDARD IDEAL STANDARD 提携 汽車製造株式會社

■米国市場の80%を独占■鋳鉄製本体は耐久性抜群(米国で70年、日本で40年の実績あり)
■暖房と給湯が一台で可能■全自動で操作は簡単■静かな運転者■A重油・灯油・軽油いずれでも可
■家庭用から営業用まで72機種■部品の在庫豊富

KSK 汽車製造株式會社 大阪市此花区島屋町406 〒554 電話(06)461-8001 札幌・東京・名古屋・草津・広島・福岡・台北

KANDAN

●空気調和設備 ●給排水衛生設備
●各種送排風機 設計施工

関西媾房工業株式会社

本 社 大阪市住吉区万代東六丁目三番地 電話 大阪 (672) 大代表1281
出張所 名古屋・広島・福岡 工 場 和泉・名古屋

全国で好評の……新興の内装壁材を!

新しい時代の新らしい壁
ヒル石基材の燃えぬ壁材



ダイシンコート

(特長)

・耐火 ・耐水 ・耐アルカリ ・防音 ・保温 ・吹付 ・塗付

革新塗料現る

①ソフトな感覚、優雅な味
②ペイント塗料に優る
③塗りかえ自由
④安価で塗りよい
⑤吹付施工も自由
⑥洗いも下地も自由

繊維塗料の
シンコゾール

全国有名建材店又は当社へ

新

繊維壁材(通称)わたかべ

耐水、耐アルカリ性時代来る

漆喰差支なし
ドロマイドプラスター
セメントモルタル下地
落ちない
塗り良い
塗面が強く
水に強く
(特長)

・すき ・すずか ・新いすゞ ・四香 ・七宝 ・錦紋 ・王座

●カタログお送りします



発売元

(株)新興建材工業所
大阪市西区西長堀南通1丁目5番地 TEL 大阪(538)2951～5・(541)5757～9
営業所 東京・高槻・明石・姫路・四国・中国

新興壁材工業(株)
大阪市住吉区粉浜本町4丁目26番地 TEL 大阪 (672) 1661～3

(株)九州新興建材工業所
福岡市上牟田八田町26の1 TEL 福岡 (41) 5225～6

ニードルパンチカーペットの決定版

ユーロン®パンチョス

ポリプロ　70％　ナイロン　30％

P.Pの特性とナイロンの特徴を最大限に生かし、独特の新方法を加え、
ニードルの欠点を全く解決した驚異的な……パンチョス
表に特殊加工（特許申請中）
裏に合成ゴム（特許）
ピリングを防止し、伸縮がなく、耐摩耗性にすぐれ、耐久力は抜群……
土足のところに絶対強く、フレヤーの起らない……ユーロン®パンチョス

本州・四国・九州地区発売元　装栄株式会社　　北海道地区発売元　株式会社　三晃

電植、ナイロン100％
ニチレ®ナイロン ユーロン®カーペット

デラックス……スベリ止め加工、重量感のある豪華さ。
スタンダード……裏は板ゴムで特に工事向の価格。

TSK 大誠化工株式会社
本社　大阪市東区安土町1丁目23(新船場ビル)　電話（06)261－5716(代表)
工場　京都市南区吉祥院西ノ庄向田町8　電話(075)313－8834(代表)

コーキングパテ

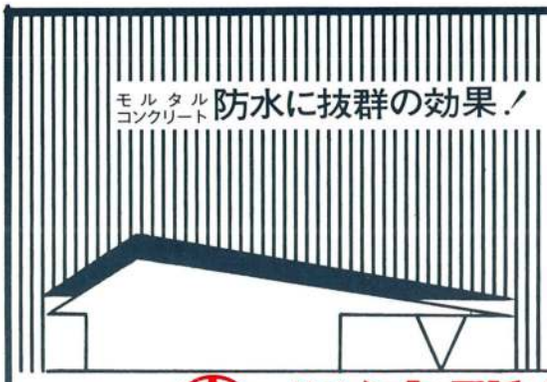
ウヅラ印



柏原瀝青株式会社

本社工場　大阪市西淀川区御幣島東2ノ5　電話大阪(471)1493～4・8267
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西3ノ99　電話大阪(471)　0426

パテタイル



モルタル コンクリート 防水に抜群の効果！

マノール防水剤

マノール防水剤は、屋上、内外壁、地下室などのモルタルやコンクリート、ブロックの防水、防湿に最適です。
その上、亀裂予防はもちろん、作業能率も著るしくあがり、仕上り面が特にきれいな点にも人気があつまっています。

マノール製品
〈モルタル コンクリート用〉
防水剤
急結剤
早強剤
接着剤
剥離剤
防凍剤
エスコート（セメント起泡剤）
エアコール（空気連行剤）
山富貴黄華（着色剤）

株式会社 油脂化工社
東京都品川区大井1-15-1 電東京(774)4111代表

大阪営業所 大阪市東成区西今里町2－48 電 大阪(971)4765-6
名古屋営業所 名古屋市中区門前町5－37 電 名古屋(231)5440
福島営業所 福島県信夫郡吾妻町下野寺遠原 電 福島(34) 7428
盛岡営業所 盛岡市南大通3－12－50 電 盛岡(22) 2204

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

仕様書 型録 贈呈

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本社 大阪市東区船越町2－31（船越ビル）電話（941）2626・2628
連絡所 宝塚市高台上の池 電話 宝塚（86）2153
出張所 電話 東京(431)8648・名古屋(331)1531・仙台(23)0721・札幌(87)1111
オォータイト式防水工事代行店 電話 大三工業 高松(2)0016 安藤工事 福岡（28）5207
豊永建材 広島（61）6371
東邦防水工業 電話 札幌（82）3133



●基礎施工の悪條件を克服する

武智式 日信三角杭

特許●第233744号
特許●第250108号
実用新案●第25－10942号
実用新案●第37－36106号

株式会社 武智工務所

本社 大阪市東区高麗橋2－20（高麗新ビル）
TEL 大阪（202）3233(代)・7501(代)
名古屋営業所 名古屋市中区錦1－3－2（殖産住宅ビル）
TEL 名古屋（211）3086(代)
大阪工場 大阪市住吉区北加賀屋町5－27
TEL 大阪（672）3223・3224
名古屋工場 愛知県海部郡弥富町佐古木
TEL 弥富（7）1191・1192

日本建鉄の

PS80Aレディメードサッシ



PA60A・PA70Aサッシドア

日本建鉄株式会社

本社 東京都千代田区大手町2～8 TEL東京(270)6511(大代)
大阪支店 大阪市北区梅田町47(新阪神ビル) TEL大阪（341)4331(代)

屋根●外壁●内壁●天井に

建設省認定 朝日の不燃建材を



工場・倉庫・住宅に

法定不燃材
朝日波形スレート
朝日フレキシブルボード
朝日大平板
朝日ステンドスレート
朝日ネットインスレート

ビル・工場に

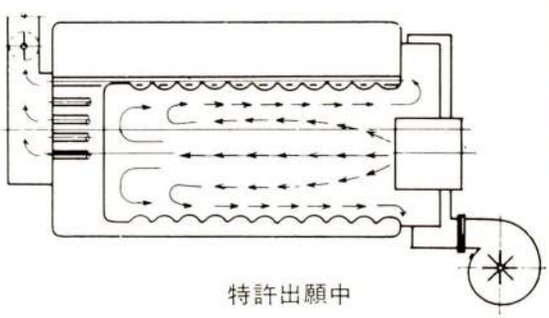
朝日耐火パネル
朝日防火パネル
朝日グラスインパネル
朝日フェザーパネル
朝日コルゲートインパネル
吹付石綿
朝日プロベスト

ASK
朝日石綿工業株式会社

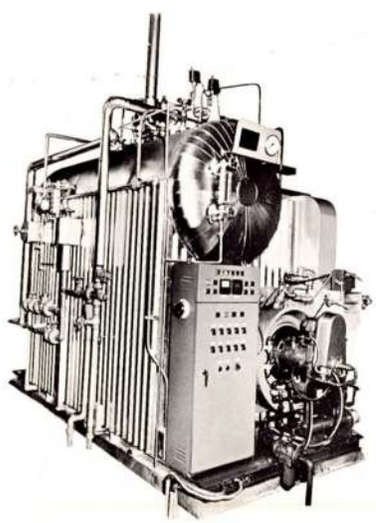
大阪支店／大阪市北区神山町43 電話(312)8521(代表)
本　社／東京都中央区銀座7−3 電話(573)5111(大代)
営業所／東京・横浜・静岡・名古屋・富山・大津・姫路
岡山・広島・門司・福岡・長崎・延岡・高松
新居浜・札幌
工　場／横浜・山梨・大阪・水島・玉島・門司

わが国初の戻り燃焼方式!!

MPボイラ 800型



特許出願中



特長
●ボイラ効率90～88％
●すす吹きはワンタッチ
●構造簡単・小形軽量
●スチームアップが早い

〈その他の営業品目〉
用廃水処理装置

株式会社 平川鉄工所

WTP水管ボイラ
●25T/Hまでトレーラで輸送できます

本社・工場　大阪市大淀区大淀町北1丁目11番地　電話(06) 458−8681(代)
東京支店　東京都中央区八重洲6の7城辺橋ビル　電話(03) 272−2721(代)
名古屋営業所　名古屋市中区新栄町1の6中日ビル　電話(052)262−2451(代)
札幌26−8018　福岡76−3146　滋賀工場(07758) 7−1450